CARDIOVASCULAR INTERVENTION AND THERAPEUTICS

第20回日本心血管インターベンション治療学会 CVIT2011 抄録集

The 20th Annual Meeting of the
Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics : CVIT 2011

CVIT

July 21(Thur.)-24(Sun.), 2011 Osaka

CVIT 2011

第20回日本心血管インターベンション治療学会

「道を究める：豊かな知識、確かな技術、そして新たな工夫を」

プログラム・抄録集

2011年7月21日(木)･22日(金)･23日(土)･24日(日)

会　場

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
TEL：06-4803-5555㈹　FAX：06-4803-5620

リーガロイヤルホテル大阪

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68
TEL：06-6448-1121　FAX：06-6448-4414

会　長

南都　伸介
（大阪大学大学院 医学系研究科 先進心血管治療学　教授）

事務取扱（学術担当）

株式会社ハート・オーガナイゼーション

〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5-2E
TEL：0532-57-1410　FAX：0532-52-2883
E-mail：cvit2011@heartorg.gr.jp

事務取扱（運営担当）

株式会社JTBコミュニケーションズ

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-10　梅田ダイビル4階
TEL：06-6348-1391　FAX：06-6456-4105
E-mail：cvit2011@jtbcom.co.jp

http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/

目　次

開催にあたって……3
CVIT2011実行委員会／プログラム委員／査読者一覧……4
International Faculty／Japanese Faculty……7
会場までの交通案内……9
会場案内図……10
参加者へのご案内……13
専門医・認定医の更新点数……15
各種委員会・関連行事……16
Live Cases Viewer……17
ライブデモンストレーション……18
特別セッション……20
ハンズオンセミナー……26
発表・討論要項……28
　口演／ポスター発表
日程表……32
第21回日本心血管インターベンション治療学会：CVIT2012開催のご案内……41
特別プログラム……45
　特別講演／特別企画／パネルディスカッション／シンポジウム／コントラバーシ／タウンホールミーティング／共催シンポジウム／教育セッション／コメディカル特別講演／コメディカルシンポジウム／コメディカルパネルディスカッション
共催セミナー（プログラム）……83
　サテライトシンポジウム／モーニングセミナー／ランチョンセミナー／コーヒーブレークセミナー／ファイアサイドセミナー
J-PCI/EVT レジストリー登録施設一覧……103
メディカル一般演題（プログラム）……111
　口演／Case Report／ポスター
コメディカル一般演題（口演プログラム）……181

Greeting……197
International Faculty……198
Access to the Meeting Site……199
Floor Guide……200
Guidelines for Attendees……203
Live Demonstration……206
Special Session……208
Guide for Presentations……209
　Oral Presentation/Poster Presentation
Program at a Glance……214
Greeting from The Next CVIT……222
Special Program……225
　Special Lecture/Special Program/Panel Discussion/Symposium/Town Hall Meeting/Sponsored Program
Sponsored Seminar（PROGRAM）……241
　Satellite Symposium/Morning Seminar/Luncheon Seminar/Coffee Break Seminar/Fireside Seminar
Medical（PROGRAM）……265
　Free Paper/Case Report/Poster Session
Abstract……343～609

特別プログラム（抄録）……343
　特別講演／特別企画／パネルディスカッション／シンポジウム／共催シンポジウム／教育セッション／コメディカルシンポジウム／コメディカルパネルディスカッション
メディカル一般演題（抄録）……407
　口演／Case Report／ポスター
コメディカル一般演題（口演抄録）……579
著者索引……611
展示会場図……636
協賛企業及び団体一覧……637

第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会（CVIT2011）の開催にあたって

CVIT2011 第二十回日本心血管インターベンション治療学会学術集会
会長　**南都　伸介**（大阪大学）

第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会(CVIT2011)を開催にあたり御挨拶申し上げます。

私の属しております大阪大学先進心血管治療学講座は平成19年に誕生いたしました。その開設目的は、まさに心血管インターベンション治療に特化した臨床、研究、教育の実践であります。本講座開設五年目を迎える2011年に、歴史ある本学術集会の第二十回を担当することは、講座の開設成果を問われる意味もあり、身に余る光栄と感じつつ、責務の重大さに身が引き締まる思いであります。

おかげさまで、956題もの一般演題の応募をいただきました。厳正な査読により874題の演題を採択いたしました。この場を借りて査読委員の先生方に感謝申し上げます。本年次集会のメインテーマは「道を究める：豊かな知識、確かな技術、そして新たな工夫を（Toward greater knowledge, skills, and technology）」とさせていただきました。そして、特別講演を3セッション、特別企画を12セッション、教育講演を10セッション、シンポジムならびにパネルを44セッション、さらに大阪大学からPCIの関西労災病院からEVTのライブを用意しました。インターベンションのエビデンスから技術におよぶ幅広い知識を学んでいただき、インターベンションのさらなる成績の向上と心血管疾患全般への適応を目指した新しい治療機器の情報を習得し、確かなインターベンションの技術をライブで学んでいただけると確信しております。

本年三月に東北地方を襲った地震ならびに津波により多くの人命が失われました。また、多くの人々が復興に向けて大変な毎日を過ごされています。従いまして、本集会では、会長招宴を取りやめ特別企画＜大災害時に循環器医が何をすべきか、何ができるか＞を設定しました。今回の震災に何ができたのかを振り返り、もし今後に起こるような場合に何ができるのか、何をすべきか皆さんとともに考えたいと思います。会場では義捐金箱を設置しております。皆様の熱いご支援をお願いいたします。

CVIT2011 実行委員会（敬称略、五十音順）

実行委員長	大阪大学	南都　伸介
実 行 委 員	大阪大学	朝野　仁裕
		奥山　裕司
		熊田　全裕
		黒田　　忠
		坂田　泰史
		坂田　泰彦
	関西労災病院	粟田　政樹
	済生会千里病院	伊藤　賀敏
事 務 局 長	大阪大学	山崎　慶太
実行委員会顧問	大阪大学	小室　一成

角辻　　暁
橘　　公一
野嶋　裕兵
溝手　　勇
南野　哲男

飯田　　修
甲斐　達朗

金　　京子（看護師）
近藤　智勇（臨床工学技士）
佐藤　和彦（放射線技師）
丸山　雄一（臨床工学技士）
三木　　弘（放射線技師）

プログラム委員（敬称略、五十音順）

飯田　　修	関西労災病院
伊苅　裕二	東海大学
池野　文昭	Stanford University
一色　高明	帝京大学
伊藤　賀敏	大阪府済生会千里病院
上田　恭敬	大阪警察病院
上松　正朗	関西労災病院
尾崎　行男	藤田保健衛生大学
小田　弘隆	新潟市民病院
黒田　　忠	大阪大学
小室　一成	大阪大学
角辻　　暁	大阪大学
曽我　芳光	小倉記念病院
高山　守正	日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院
塚原　玲子	済生会横浜市東部病院
中川　義久	天理よろづ相談所病院
中村　正人	東邦大学医療センター大橋病院
南都　伸介	大阪大学
西野　雅巳	大阪労災病院
林　　孝俊	兵庫県立姫路循環器病センター
挽地　　裕	佐賀大学医学部
日比　　潔	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター
藤井　謙司	桜橋渡辺病院
本江　純子	府中恵仁会病院 / 岐阜ハートセンター
南野　哲男	大阪大学
山崎　慶太	大阪大学
横井　宏佳	小倉記念病院
吉町　文暢	青森県立中央病院

コメデイカルプログラム委員（敬称略、五十音順）

稲田　　毅	岐阜ハートセンター（臨床工学技士）
太田　悦雄	CVIT 事務局（臨床工学技士）
金　　京子	大阪大学（看護師）
佐藤　和彦	大阪大学（放射線技師）
島袋　朋子	湘南鎌倉総合病院（看護師）
清水　速人	倉敷中央病院（臨床検査技師）
添田　信之	星総合病院（臨床工学技士）
平田　和也	北海道社会保険病院（臨床工学技士）
丸山　雄一	大阪大学（臨床工学技士）
三木　　弘	大阪大学（放射線技師）
横山　博典	国立循環器病研究センター（放射線技師）

査読者一覧（敬称略、五十音順）

秋満　忠郁　大分循環器病院
浅野　竜太　日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院
味岡　正純　公立陶生病院
阿部　秀樹　三友堂病院
天野　哲也　中部労災病院
雨宮　　浩　葉山ハートセンター
粟野孝次郎　三木市立三木市民病院
安斉　　均　聖路加国際病院
飯田　　修　関西労災病院
伊苅　裕二　東海大学
井阪　直樹　博仁会村瀬病院
石原　正治　広島市立広島市民病院
石綿　清雄　虎の門病院
伊藤　　彰　大阪市立総合医療センター
井上　一郎　広島市立広島市民病院
井上　直人　仙台厚生病院
岩崎孝一朗　岡山旭東病院
岩崎　義博　光晴会病院
上田　欽造　洛和会丸太町病院
上野　高史　久留米大学
上村　史朗　奈良県立医科大学附属病院
臼田　和生　富山県立中央病院
内山　隆史　戸田中央総合病院
梅澤　滋男　平塚共済病院
浦澤　一史　時計台記念病院
及川　裕二　心臓血管研究所付属病院
大島　　茂　群馬県立心臓血管センター
大嶋　秀一　熊本中央病院
大辻　　悟　東宝塚さとう病院
大手　信之　名古屋市立大学医学部附属病院
大畑　和義　甲府共立病院
大平　洋司　江戸川病院
大村　延博　川崎幸病院
岡田　尚之　聖隷浜松病院
岡本　光師　広島県立広島病院
小田　弘隆　新潟市民病院
小田代敬太　九州大学病院
落合　正彦　昭和大学横浜市北部病院
角田　恒和　土浦協同病院
風谷　幸男　愛媛県立中央病院
樫田　光夫　公立技留医療センター
片平　美明　東北厚生年金病院
勝木　孝明　自治医科大学附属病院
勝田　洋輔　福岡市医師会成人病センター
加藤　　敦　仙台市医療センター・仙台オープン病院
加藤　　修　豊橋ハートセンター
門田　一繁　倉敷中央病院
金谷　　透　公立学校共済組合東北中央病院
金谷　法忍　石川県立中央病院
神畠　　宏　関西医科大学附属病院 枚方病院
川井　和哉　近森病院
川口　克廣　小牧市民病院
河口　正雄　立正佼成会附属佼成病院
川崎　友裕　天神会新古賀病院
瓦林　孝彦　東住吉森本病院
神田　順二　国保旭中央病院
岸　　宏一　徳島赤十字病院
木島　幹博　星総合病院
北山　道彦　金沢医科大学病院
木村　一雄　横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター
木村　　剛　京都大学医学部附属病院
久保　典史　埼玉社会保険病院
小岩屋　靖　宮崎産業保健推進センター
小島　　淳　熊本大学
小林　智子　京都桂病院
小林　　裕　東京医科大学八王子医療センター
小林　欣夫　千葉大学医学部附属病院
小松　宣夫　太田総合病院附属太田西ノ内病院
小宮山伸之　埼玉医科大学国際医療センター
小山　　豊　総合新川橋病院
近藤　泰三　小牧市民病院
坂井　信幸　神戸市立医療センター中央市民病院
榊原　雅義　イムス葛飾ハートセンター
桜田　真己　所沢ハートセンター
佐藤　匡也　秋田県成人病医療センター
佐藤　康弘　国立病院機構災害医療センター
佐野　宏明　名古屋掖済会病院
塩出　宣雄　土谷総合病院
志手　淳也　神戸大学
篠原　昇一　高清会香芝旭ヶ丘病院／倚山会田岡病院
柴田　剛徳　宮崎市郡医師会病院
下村　英紀　福岡徳洲会病院
城谷　　学　近畿大学医学部奈良病院
鈴木　秀治　大阪医科大学附属病院
鈴木　孝彦　豊橋ハートセンター
住居晃太郎　マツダ㈱マツダ病院
瀬尾　俊彦　大阪府済生会中津病院
曽根　孝仁　大垣市民病院
高岡　秀幸　愛仁会高槻病院
鷹津　文麿　鷹津内科循環器科
高野　仁司　日本医科大学
髙橋玲比古　さくら会高橋病院

査読者一覧（敬称略、五十音順）

滝澤　明憲　静岡市立静岡病院
滝澤　　要　仙台厚生病院
武　　俊介　大阪府済生会野江病院
竹中　　孝　国立病院機構北海道医療センター
武安　法之　茨城県立中央病院
嶽山　陽一　昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
伊達　晴彦　宮崎大学医学部附属病院
田中喜美夫　水戸ブレインハートセンター
田中　信大　東京医科大学附属病院
田辺　健吾　三井記念病院
田巻　健治　岩手県立中央病院
辻　　貴史　草津ハートセンター
土金　悦夫　豊橋ハートセンター
鶴見由起夫　横浜総合病院
土井　　修　静岡県立総合病院
友渕　佳明　誠佑記念病院
中尾　浩一　済生会熊本病院
中川　義久　天理よろづ相談所病院
長嶋　淳三　横浜市スポーツ医科学センター
中島　　均　国立病院機構鹿児島医療センター
中村　　茂　京都桂病院
中村　　淳　新東京病院
中村　正人　東邦大学医療センター大橋病院
中村　仁信　彩都友紘会病院
南都　伸介　大阪大学
西内　　健　川島病院
西垣　和彦　岐阜大学医学部附属病院
西川　英郎　三重ハートセンター
西田　育功　高清会高井病院
西野　雅巳　大阪労災病院
新田　　裕　富山赤十字病院
丹羽　明博　平塚共済病院
野口　祐一　筑波メディカルセンター病院
野崎　英二　岩手県立中央病院
野崎　洋一　カレスサッポロ北光記念病院
土師　一夫　市立柏原病院
長谷　　守　札幌医科大学
馬殿　正人　回生会宝塚病院
濱崎　秀一　鹿児島大学大学院
濱嵜　裕司　昭和大学医学部附属病院
濱田　芳夫　済生会下関総合病院
浜中　一郎　洛和会丸太町病院
治田　精一　福山循環器病院
東野　順彦　東宝塚さとう病院
挽地　　裕　佐賀大学医学部
日比野　剛　岐阜県立多治見病院
冷牟田浩司　国立病院機構九州医療センター
平山　治雄　名古屋第二赤十字病院
廣上　　貢　手稲渓仁会病院
福井　和樹　神奈川県立循環器呼吸器病センター
福澤　　茂　船橋市立医療センター
藤田　　勉　札幌心臓血管クリニック
藤田　　博　京都第二赤十字病院
藤永　裕之　徳島県立中央病院
藤本　和輝　国立病院機構熊本医療センター
舩田　淳一　国立病院機構愛媛病院
細川　丈志　大崎病院東京ハートセンター
堀田　祐紀　心臓血管センター金沢循環器病院
本江　純子　府中恵仁会病院／岐阜ハートセンター
本田　　喬　竜山リハビリテーション病院
舛谷　元丸　兵庫医科大学
松岡　　宏　愛媛県立今治病院
松下　豊顯　総合大雄会病院
松田　光雄　市立岸和田市民病院
松村　昭彦　亀田総合病院
三木　真司　三菱京都病院
三角　和雄　千葉西総合病院
道下　一朗　横浜栄共済病院
密岡　幹夫　仙台厚生病院
宮崎　俊一　近畿大学医学部
宮本　　明　菊名記念病院
武藤　　誠　埼玉県立循環器・呼吸器病センター
村里　嘉信　新行橋病院ハートセンター
村松　俊哉　済生会横浜市東部病院
森田　　寛　協仁会小松病院
安田　　聡　東北大学病院
安武　正弘　日本医科大学付属病院
安本　　均　昭和病院
八巻　　多　北海道循環器病院
山口　浩士　天陽会中央病院
山下　武廣　心臓血管センター北海道大野病院
山本　博昭　長野中央病院
山本　正和　厚生連高岡病院
横井　良明　岸和田徳洲会病院
吉岡　二郎　長野赤十字病院
吉野　秀朗　杏林大学医学部附属病院
吉町　文暢　青森県立中央病院
若槻　哲三　徳島大学病院
我妻　賢司　東邦大学医療センター大森病院
渡邊　浩毅　済生会松山病院
渡辺　重行　筑波大学
度会　正人　安城更生病院

International Faculty (Alphabetical order)

Gary M. Ansel	Riverside Methodist Hospital, USA
Thomas L. Armitage	Medtronic, Inc., USA
Jang Ho Bae	Konyang University Hospital, Korea
Andreas Baumbach	Bristol Heart Institute Bristol Royal Infirmary/University of Bristol, UK
Jei Keon Chae	Chonbuk National University Medical School/Hospital, Korea
Donghoon Choi	Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea
Germano Di Sciascio	Campus Bio-Medico University of Rome, Italy
Choong-Won Goh	Sanggye-Paik Hospital, Inje University, Korea
John Gorcsan III	University of Pittsburgh, USA
Mark A. Grise	Ochsner Heart and Vascular Institute, USA
Myeong-Ki Hong	Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea
Fumiaki Ikeno	Stanford University, USA
Elvin Kedhi	Maasstad Hospital, Belgium
Mitchell W. Krucoff	Duke University Medical Center and Duke Clinical Research Institute, USA
John R. Laird	UC Davis Medical Center, USA
Michael Lim	St. Louis University Health Sciences Center, USA
Scott Lim	University of Virginia , USA
Akiko Maehara	Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA
Detlef G. Mathey	Medizinisches Versorgungszentrum, Germany
James Muller	InfraReDx, Inc., USA
Toshinari Onishi	University of Pittsburgh, USA
Nico H.J. Pijls	University of Technology and Catharina Hospital, The Netherlands
Suwatchai Pornratanarangsi	Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand
Antonis Pratsos	Bryn Mawr Hospital, USA
Seung-Woon Rha	Korea University Guro Hospital, Korea
Mohd Ali Rosli	National Heat Center, Malaysia
Andrej Schmidt	Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany
Ki Bae Seung	The Catholic University of Korea, Seoul/St. Mary's Hospital, Korea
Charles A. Simonton	Abbott Vascular, USA
E. Murat Tuzcu	Cleveland Clinic, USA
Renu Virmani	CV Path Institute, Inc., USA
Wan Azman Wan Ahmad	University Malaya Medical Center, Malaysia
Barry S.Weinstock	Mid-Florida Cardiology, USA
Jeremy Williams	Tokyo Dental College, Japan
HongBing Yan	Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China
Xinchun Yang	Chaoyang Hospital, Capital Medical University, China
Xuchen Zhou	First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China

Japanese Faculty（敬称略、五十音順）

Medical

浅井　徹　滋賀医科大学
浅沼　俊彦　大阪大学
東　信良　旭川医科大学
安達　仁　群馬県立心臓血管センター
阿部　高明　東北大学病院
宇津　貴　滋賀医科大学
大浦　紀彦　杏林大学医学部
大北　裕　神戸大学大学院医学系研究科
大庭　正敏　大崎市民病院
大場　泰洋　春日井市民病院
岡田　靖　九州医療センター
荻野　秀光　湘南鎌倉総合病院
奥山　裕司　大阪大学大学院
落　雅美　日本医科大学付属病院
加藤　雅明　森之宮病院
北野　育郎　新須磨病院
吉川　公彦　奈良県立医科大学附属病院
駒井　宏好　東京医科大学八王子医療センター
小室　一成　大阪大学
古森　公浩　名古屋大学医学部
坂田　泰史　大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学
坂田　泰彦　大阪大学大学院医学系研究科
鈴木　規仁　日本医科大学
高梨秀一郎　日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院
高野　博之　千葉大学医学部附属病院
高野　真澄　福島県立医科大学
高山　勝年　医真会八尾総合病院
滝　和郎　三重大学医学部
竹内　正明　産業医科大学病院
田崎　淳一　京都大学大学院医学研究科
辻　依子　新須磨病院
津田　悦子　国立循環器病研究センター
長尾　建　駿河台日本大学病院
中村　仁信　彩都友紘会病院
中村　真潮　三重大学大学院医学系研究科
長山　雅俊　榊原記念病院
西川　政勝　三重大学医学部附属病院
野原　隆司　北野病院
濱岡　建城　京都府立医科大学
檜垣　高史　愛媛大学大学院
東浦　渉　奈良県立医科大学附属病院
平田久美子　和歌山県立医科大学
廣　高史　日本大学
福井　大祐　信州大学医学部
藤野　明子　国立循環器病研究センター
古田　隆久　浜松医科大学医学部附属病院
松丸　祐司　虎の門病院
三谷　義英　三重大学大学院
南野　哲男　大阪大学大学院医学系研究科
宮田　哲郎　東京大学医学部
本村　昇　東京大学医学部附属病院
森本　剛　京都大学大学院医学研究科
夜久　均　京都府立医科大学
山岡　輝年　松山赤十字病院

Co-medical

石井　典子　榊原記念病院
上田　祐二　今里ハートクリニック
大築　理和　岐阜ハートセンター
橘内　秀雄　菊名記念病院
栗本　幸子　小倉記念病院
佐藤　真治　大阪産業大学
嶋田　誠治　小倉記念病院
園村　恭子　東京西徳洲会病院
寺川　彰一　大阪市立総合医療センター
中村　康雄　社団法人有隣厚生会　富士病院
福西　康修　彩都友紘会病院
堀江　誠　桜橋渡辺病院

会場までの交通案内

BUS JR「大阪駅」－リーガロイヤルホテル間で、無料シャトルバスを運行しております。
詳しくはリーガロイヤルホテルHPをご覧下さい。

大阪国際会議場（グランキューブ大阪）

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
TEL：06-4803-5555㈹　FAX：06-4803-5620
URL： http://www.gco.co.jp/

リーガロイヤルホテル大阪

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68
TEL：06-6448-1121　FAX：06-6448-4414
URL：http://www.rihga.co.jp/osaka/index.htm

■電車・市営バスにてお越しの場合

●京阪電車中之島線「中之島」駅直結
●JR「大阪」駅より
・「シャトルバス」で約10分
・大阪市営バス53系統船津橋行き約10分「堂島大橋」下車すぐ
・タクシーで約10分　￥1,000
●地下鉄、京阪「淀屋橋」駅より
・中之島ループバス「ふらら」（有料）で約10分
「リーガロイヤルホテル前」下車
・タクシーで約10分　￥700
●各線「なんば」駅よりタクシーで約15分　￥1,500
●JR「新大阪」駅より
・大阪・神戸方面のJR在来線「大阪」駅まで約5分
JR「大阪」駅よりシャトルバスまたはタクシーで約10分
・タクシーで約20分　￥2,500
●JR大阪環状線「福島」駅より徒歩約15分
●JR東西線「新福島」駅2番出口より徒歩約8分
●阪神電車「福島」駅西3番出口より徒歩約8分

■お車にてお越しの場合

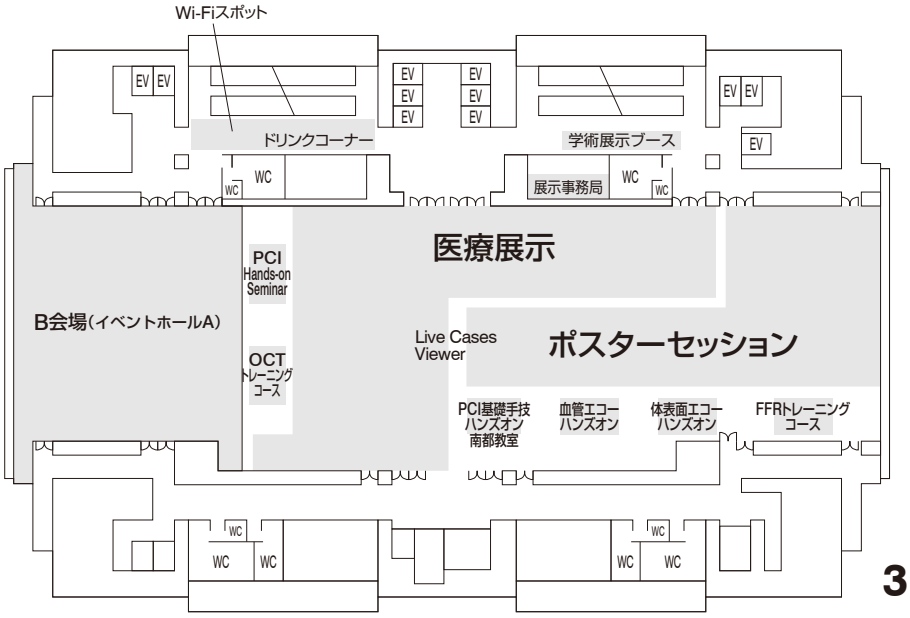
阪神高速道路
・難波、堺、奈良方面から1号環状線土佐堀出口より約10分
・神戸方面から3号神戸線中之島西出口より約5分
・大阪空港、京都方面から11号池田線福島出口より約10分
・関西国際空港、和歌山方面から16号大阪港線波除出口より約15分

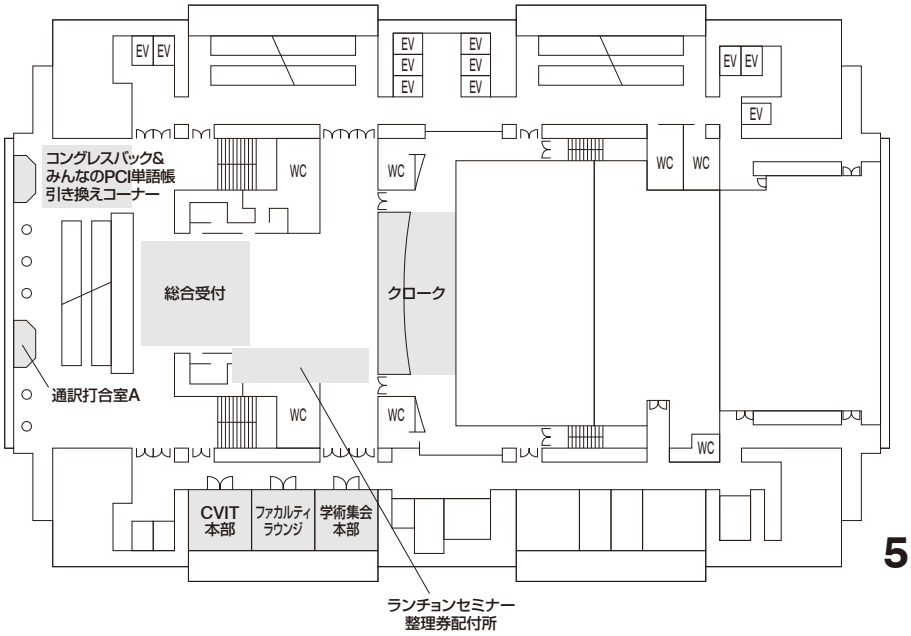
■空港よりお越しの場合

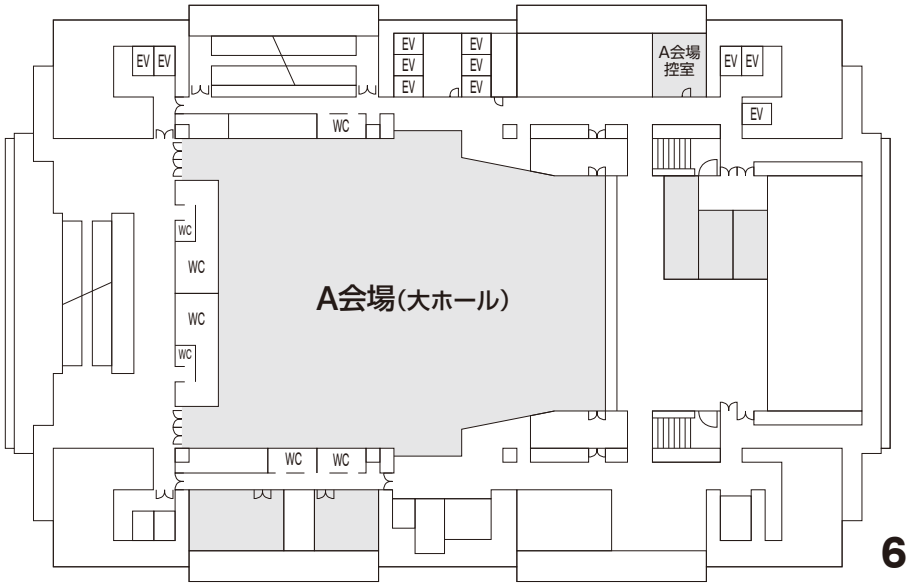
●大阪（伊丹）空港より
・空港バスで「大阪」駅まで約30分
・タクシーで約30分　￥5,500（高速料金含む）
●関西国際空港より
・JR関空快速で「大阪」駅まで約65分
・関西空港1階バスターミナル5番乗場より「大阪」駅行きバスで約1時間「ハービス大阪」下車
JR「大阪」駅より「シャトルバス」または「タクシー」にて約10分
・タクシーで約60分　￥18,000（高速料金含む）

※料金・時間は目安です。道路事情により異なる場合がございます。

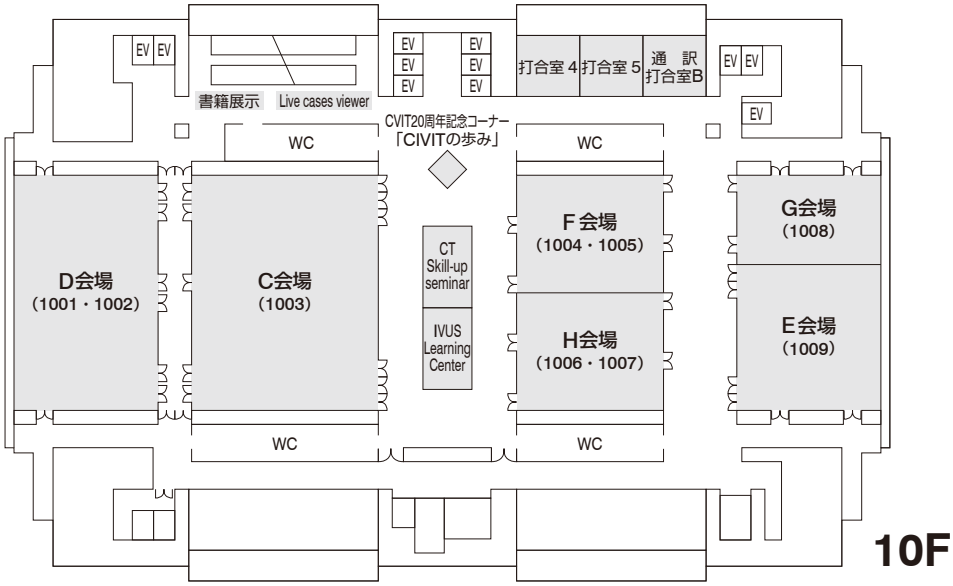
会場案内図（大阪国際会議場）

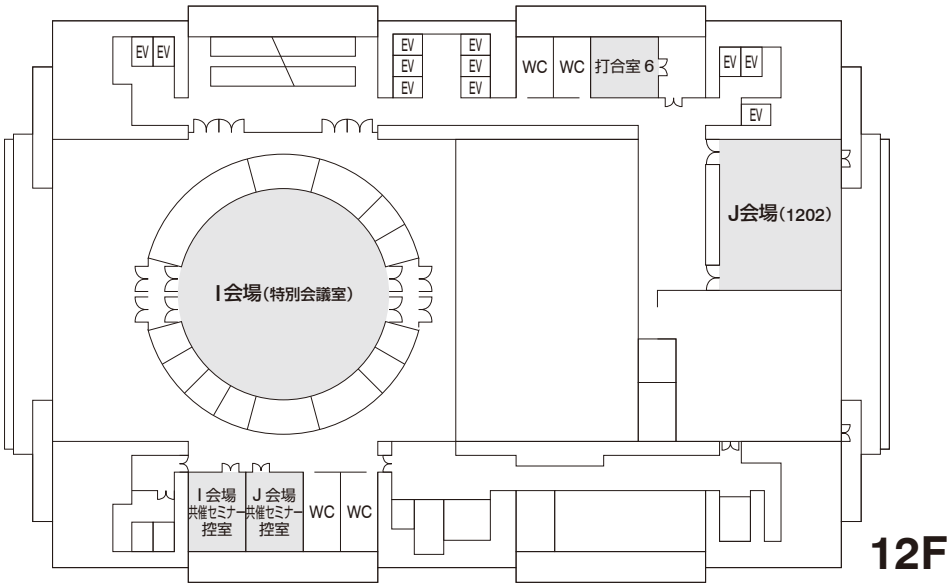




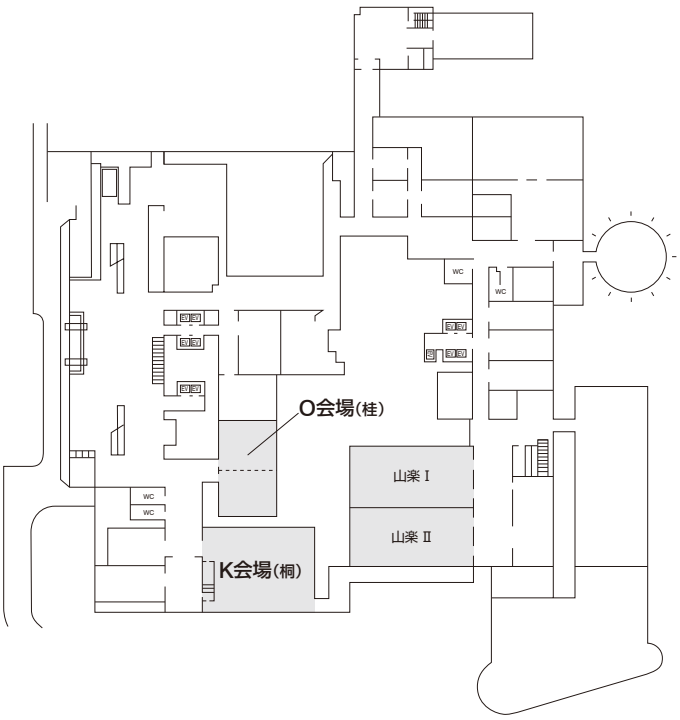


会場案内図（大阪国際会議場）

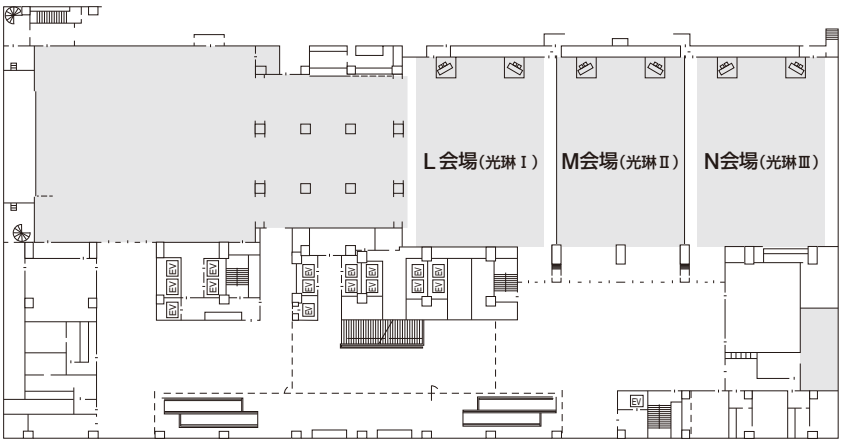




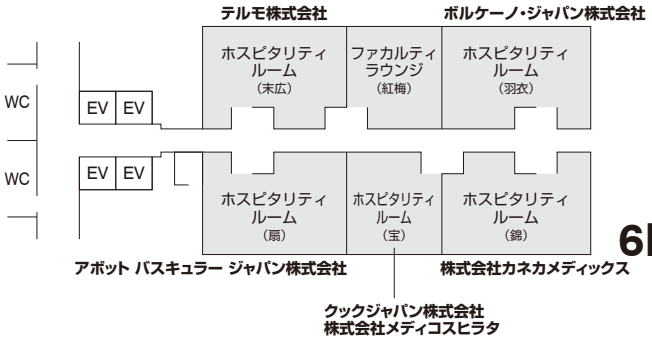
会場案内図（リーガロイヤルホテル大阪）



2F（ウエストウイング）



3F（タワーウイング）



6F（タワーウイング）

参加者へのご案内

1. 参加者受付

●受付場所　大阪国際会議場　5F メインホワイエ

●受付時間　7月21日（木） 7:00～18:00
7月22日（金） 7:00～18:00
7月23日（土） 7:00～17:00

●当日参加費　会　員　23,000円
非会員・企業　28,000円
コメディカル　5,000円
初期研修医（卒後 2 年以内）・学生無料
※初期研修医証明書または学生証明書をご提示ください。

2. 参会カード

●当日参加登録の方

総合受付（大阪国際会議場　5F メインホワイエ）にて参加費と引き換えに、参加証明印の押印された参会カード（名札）をお渡しします。

●事前参加登録された方

学会開催1週間前までに参会カード（名札）を送付いたします。期間中に参加を証明するための印を押印しますので、上記受付時間内に参加証明デスク（大阪国際会議場　5F メインホワイエ）までお越しください。

参会カード（名札）に、所属・氏名をご記入のうえ、会場内では必ずご着用ください。ご着用のない方は入場できません。

参会カード（名札）は、専門医、認定医の更新の為などの出席証明書を兼ねていますので、会期中および終了後も大切に保管してください。原則として参会カード（名札）は再発行できません。

●コングレスバッグ引き換えコーナー

参加登録をされた方全員に、当日コングレスバッグをお渡しいたします。参会カード（名札）に付いている“コングレスバッグ引換券”をご持参の上、下記時間内にコングレスバック引き換えコーナー（大阪国際会議場　5Fメインホワイエ）にてお受け取りください。

7月21日（木） 7:00～プログラム終了まで
7月22日（金） 7:00～プログラム終了まで
7月23日（土） 7:00～プログラム終了まで

●「みんなのPCI単語帳」引き換えコーナー

事前参加登録または当日参加登録をされたコメディカルの方の先着合計1,000名様（登録順）に「みんなのPCI単語帳」を贈呈いたします。上記時間内に「みんなのPCI単語帳」引き換えコーナー（大阪国際会議場　5F メインホワイエ）に“みんなのPCI単語帳引換券”をご持参の上、お受け取りください。

3. 公用語

日本語と英語です。P.32～40の日程表にてレシーバーマーク のついたセッションには同時通訳がはいります。また、日本語セッションにはJapanese、英語セッションにはEnglishのマークがついています。

4. 学会抄録集

本抄録集を、各自ご持参ください。会場で購入される場合は総合案内（大阪国際会議場　5F メインホワイエ）にて実費3,000円をいただきます。ただし、数に限りがございますので、予めご了承ください。

5. 呼び出し

総合案内（大阪国際会議場　5F メインホワイエ）に伝言板を設けますのでご利用ください。緊急の場合は、総合案内までお申し出ください。

6. クローク

●日　時　7月21日（木）7:00～プログラム終了後30分まで
　　7月22日（金）7:00～プログラム終了後30分まで
　　7月23日（土）7:00～プログラム終了後30分まで
●場　所　大阪国際会議場　5F メインホワイエ

7. 食　事

会場内及び周辺のレストランをご利用ください。モーニングセミナー、ランチョンセミナー、コーヒーブレークセミナー、ファイアーサイドセミナーの会場では、軽食をご用意しております。数量に限りがありますので、予めご了承ください。

8. 駐車場

環境にご配慮いただき、なるべく公共の交通機関でお越しください。なお、お車でお越しの際は、大阪国際会議場の駐車場をご利用ください（500円／1時間）。または周辺の駐車場をご利用ください。但し、学会専用の駐車場ではございませんので、台数に限りがございます。

9. 医療展示・書籍展示・ドリンクコーナー・インターネットコーナー

●日　時　7月21日（木）8:00～18:00
　　7月22日（金）8:00～18:00
　　7月23日（土）8:00～18:00
●場　所　大阪国際会議場　3F、10F

10. ランチョンセミナー整理券配布について

●日　時　7月21日（木）7:30～
　　7月22日（金）7:30～
　　7月23日（土）7:30～
●場　所　大阪国際会議場　5F メインホワイエ
※各日、当日セミナーのみの配布です。整理券がなくなり次第、配布を終了いたします。
※ランチョンセミナー以外のセッション（モーニングセミナー、コーヒーブレークセミナー、ファイアーサイドセミナーほか）では整理券の配布はございません。直接会場へお越しください。

11. CVIT学会事務局より

新規入会・住所変更の受付・年会費の納入等は、学術集会会場内では行いません。これらの受付はCVITホームページ（http：//www.cvit.jp/）で案内していますのでご確認ください。

12. その他

●講演会場内は禁煙です。喫煙は喫煙所でお願いします。
●会場内で呼び出し音のある携帯電話及びポケットベルのご利用はご遠慮願います。
●会場内での録音、写真撮影及びビデオ収録は固くお断りします。
●講演会場での飲食はご遠慮ください（モーニングセミナー、ランチョンセミナー、コーヒーブレークセミナー、ファイアーサイドセミナーは除く）。
●節電対策の為、会場内の温度を高めに設定しています。必ずしもジャケットおよびネクタイの着用には及びませんので、ご自由な服装でお越しください。

専門医・認定医の更新点数

学会認定専門医と学会認定認定医の更新点数：

学術集会への参加：	8 点	
ライブデモンストレーションへの参加：	1 点	※半日（3 時間以上）～ 1 日
座長および発表：	2 点	
教育セッション：	1 点	※複数セッション受講の場合も 1 点となります

本学術集会、ライブデモンストレーション、教育セッション、放射線防護講習会等への参加には、全て更新のための点数化がされています。更新には定められた点数を取得する必要があり、本会への参会カード（名札）と教育セッション受講票の提出が義務付けられています。更新時まで、各自で大切に保管してください。
ライブデモンストレーションに参加した場合には、会場入り口にて出席を証明する印が押されます。この印がないものは、参加証明のないものとみなされますので、ご注意ください。
放射線防護講習会受講は更新の必要項目です。講習会終了後に受講票へ出席を証明する印を押します。

尚、CVIT 本部事務局では学術集会参加者名や講習会受講者名を管理していないため、参会カードや受講票の再発行はいたしません。

※本学術集会は、日本循環器学会研修会（循環器専門医資格更新 3 単位）に認定されています。更新に必要な場合は参会カードのコピーを使用してください。

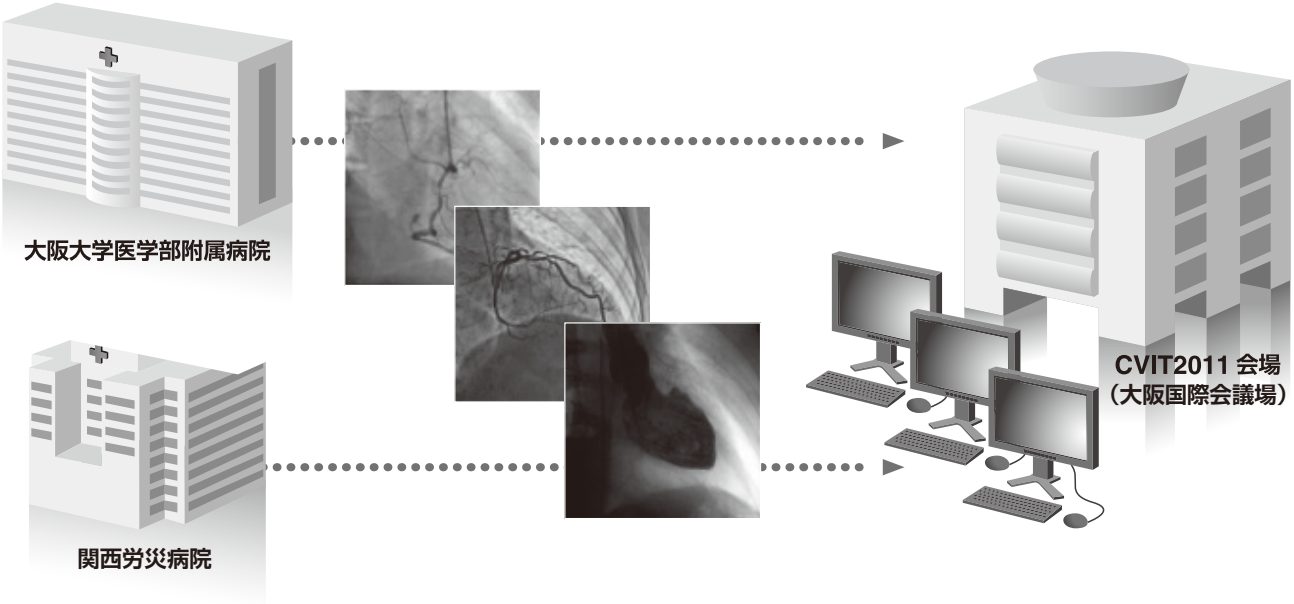
各種委員会・関連行事

コメディカル委員会	7月20日（水）	10:00～11:00	大阪国際会議場　8F 会議室803
広報委員会	7月20日（水）	10:00～11:00	大阪国際会議場　7F 会議室702
総務・財務委員会	7月20日（水）	11:00～13:00	大阪国際会議場　8F 会議室803
保険委員会	7月20日（水）	11:00～12:00	大阪国際会議場　8F 会議室801＋会議室802
倫理委員会	7月20日（水）	11:00～12:00	大阪国際会議場　7F 会議室702
専門医認定医制度審議会	7月20日（水）	12:00～14:00	大阪国際会議場　11F 会議室1102
学術委員会	7月20日（水）	12:00～14:00	大阪国際会議場　8F 会議室801
ライブ教育委員会	7月20日（水）	12:00～14:00	大阪国際会議場　7F 会議室702
災害支援プロジェクトチーム	7月20日（水）	13:00～14:00	大阪国際会議場　8F 会議室803
理事会	7月20日（水）	14:00～16:30	大阪国際会議場　11F 会議室1102
代議員総会	7月20日（水）	16:30～18:00	大阪国際会議場　10F 会議室1009
編集委員会	7月20日（水）	11:00～12:00	大阪国際会議場　11F 会議室1102
専門医認定医制度審議会	7月21日（木）	9:00～18:00	リーガロイヤルホテル大阪　2F 橘の間
総　会	7月22日（金）	13:00～13:30	大阪国際会議場　5F A会場
専門医認定医制度審議会	7月22日（金）	17:00～19:00	大阪国際会議場　11F 会議室1102
コメディカル運営委員会	7月22日（金）	18:00～19:00	大阪国際会議場　7F 会議室701

Live Cases Viewer

ライブ中継された画像をCVIT2011会場に配信。
ライブ終了後、DICOM Viewerで画像を見ることができます。

開催日程：2011年7月21日（木）～23日（土）
会　　場：大阪国際会議場　3F、10F
共　　催：株式会社グッドマン/フォトロン メディカル イメージング株式会社



ご利用方法

CVIT2011参加登録番号を入力後、職種を選択、
スタートボタンをクリックしてログインしてください。
＊参加登録番号は、参会カード（名札）に明記しています。

ライブデモンストレーション

PCIライブデモンストレーション
中継施設：大阪大学医学部附属病院

日本語

日時：7月21日（木）9:00～18:00
会場：大阪国際会議場　A会場

会場ディレクター：大阪大学医学部　山崎　慶太
カテ室ディレクター：大阪大学大学院　橘　公一
IVUS・OCTコメンテーター：神戸大学医学部附属病院　大竹　寛雅
神戸大学医学部附属病院　新家　俊郎
豊橋ハートセンター　寺島　充康

■ライブオペレーター
粟田　政樹（関西労災病院）
岩淵　成志（小倉記念病院）

第1部　9:00～10:30

■座長
上野　高史（久留米大学）
木村　剛（京都大学医学部附属病院）

■ライブコメンテーター
上野　博志（射水市民病院）
小谷　順一（国立循環器病研究センター）
志手　淳也（神戸大学）
芹川　威（済生会福岡総合病院）
本江　純子（府中恵仁会病院/岐阜ハートセンター）

■ライブオペレーター
田中　信大（東京医科大学）
土金　悦夫（豊橋ハートセンター）

第2部　10:30～12:00

■座長
赤阪　隆史（和歌山県立医科大学）
上田　欽造（洛和会丸太町病院）

■ライブコメンテーター
五十嵐慶一（北海道社会保険病院）
門田　一繁（倉敷中央病院）
柴田　剛徳（宮崎市郡医師会病院）
藤田　博（京都第二赤十字病院）
本江　純子（府中恵仁会病院/岐阜ハートセンター）
松尾　仁司（岐阜ハートセンター）

■ライブオペレーター
角辻　暁（大阪大学/野崎･名古屋徳洲会病院）

第3部　13:00～15:00

■座長
大辻　悟（東宝塚さとう病院）
佐藤　匡也（秋田県成人病医療センター）

■ライブコメンテーター
氏家　勇一（星総合病院）
及川　裕二（心臓血管研究所付属病院）
岡村　篤徳（桜橋渡辺病院）
鴨井　大典（名古屋共立病院）
木村　祐之（豊橋ハートセンター）

■ライブオペレーター
吉町　文暢（青森県立中央病院）

第4部　16:00～18:00

■座長
伊苅　裕二（東海大学）
道下　一朗（横浜栄共済病院）

■ライブコメンテーター
武田　輝規（湖東記念病院）
竹林　秀雄（福山循環器病院）
塚原　玲子（済生会横浜市東部病院）
野崎　洋一（北光記念病院）
舛谷　元丸（兵庫県立医科大学）

PCIライブ症例検討会
日時：7月20日(水) 20:00～　会場：リーガロイヤルホテル大阪　2F　ウエストウィング　山楽Ⅰ

EVTライブデモンストレーション
中継施設：関西労災病院

日時：7月21日（木）9:00～18:00
会場：大阪国際会議場　C会場

カテ室ディレクター：兵庫医科大学　赤堀　宏州
東大阪市立総合病院　池岡　邦泰

■ライブオペレーター
川崎　大三（兵庫医科大学）
曽我　芳光（小倉記念病院）

第1部　9:00～10:30
Basic EVT
■座長
中村　正人（東邦大学医療センター大橋病院）
横井　良明（岸和田徳洲会病院）
■ライブコメンテーター
浦澤　一史（時計台記念病院）
小山　豊（総合新川橋病院）
平野　敬典（済生会横浜市東部病院）
山内　靖隆（菊名記念病院）
山岡　輝年（松山赤十字病院）
Andrej Schmidt
（Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany）
■会場ディレクター
土谷　武嗣（心臓血管センター金沢循環器病院）

ショートレクチャー
「Recent Trend in Germany in EVT」
Andrej Schmidt
（Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany）

■ライブオペレーター
飯田　修（関西労災病院）
宮下　裕介（信州大学医学部附属病院）

第2部　10:30～12:00
Basic EVT
■座長
中村　正人（東邦大学医療センター大橋病院）
横井　良明（岸和田徳洲会病院）
■ライブコメンテーター
緒方　信彦（東海大学医学部）
荻野　秀光（湘南鎌倉総合病院）
鈴木　健之（仙台厚生病院）
土谷　武嗣（心臓血管センター金沢循環器病院）
東浦　渉（奈良県立医科大学附属病院）
Gary M. Ansel（Riverside Methodist Hospital, USA）
■会場ディレクター
鈴木　健之（仙台厚生病院）

ショートレクチャー
「EVT最近のトレンド」
鈴木　健之（仙台厚生病院）

■ライブオペレーター
飯田　修（関西労災病院）
平野　敬典（済生会横浜市東部病院）

第3部　13:00～15:00
Advanced EVT
■座長
宮本　明（菊名記念病院）
土谷　武嗣（心臓血管センター金沢循環器病院）
■ライブコメンテーター
大場　泰洋（春日井市民病院）
川崎　友裕（新古賀病院）
河原田修身（岸和田徳洲会病院）
高橋　大（山形大学医学部）
野崎　洋一（北光記念病院）
Donghoon Choi（Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea）
■会場ディレクター
川崎　大三（兵庫医科大学）

ショートレクチャー
「Recent trend in Korea」
Donghoon Choi（Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea）

■ライブオペレーター
飯田　修（関西労災病院）
浦澤　一史（時計台記念病院）
南都　伸介（大阪大学）

第4部　16:00～18:00
Advanced EVT
■座長
宮本　明（菊名記念病院）
横井　宏佳（小倉記念病院）
■ライブコメンテーター
川崎　大三（兵庫医科大学）
曽我　芳光（小倉記念病院）
田崎　淳一（京都大学大学院医学研究科）
東谷　迪昭（東京女子医科大学病院）
朴澤　耕治（新東京病院）
John R. Laird（UC Davis Medical Center, USA）
■会場ディレクター
宮下　裕介（信州大学医学部附属病院）

ショートレクチャー
「アメリカでのトレンド」
John R. Laird（UC Davis Medical Center, USA）

EVTライブ症例検討会
日時：7月20日(水) 20:00～　会場：リーガロイヤルホテル大阪　2F　ウエストウィング　山楽Ⅱ

特別セッション

■成人期川崎病既往者における急性冠症候群の実態：若年性急性冠症候群の新たな話題

●日　　時：7月21日（木）9:00～12:00
●場　　所：大阪国際会議場 H会場
●共同企画：日本川崎病学会
●プログラム：

座長：京都府立医科大学　濱岡　建城
小倉記念病院　横井　宏佳

症例検討：成人期川崎病既往者の急性冠症候群

熊本赤十字病院　循環器科　角田　隆輔
愛媛大学大学院　小児医学　檜垣　高史
国立循環器病研究センター　小児循環器科　津田　悦子
日本医科大学　循環器内科　細川　雄亮
小倉記念病院　循環器内科　渡部　宏俊

1．成人期川崎病冠動脈病変の画像診断上の特徴　小倉記念病院　循環器科　横井　宏佳
2．成人期川崎病既往者における急性冠症候群の全国調査：初期結果
三重大学大学院医学系研究科　小児科学　三谷　義英

■循環器内科医に必要な論文構築の基礎知識

●日　時：7月21日（木）13:00～15:00
●場　所：大阪国際会議場 L会場

座　長：東海大学　伊苅　裕二
天理よろづ相談所病院　中川　義久

1．臨床研究におけるデザイン設計と統計解析の原則　京都大学大学院医学研究科　森本　剛
2．日常臨床から英語論文を作成するための「虎の巻」　関西労災病院　上松　正朗
3．Structure: The key to writing a paper　東京医科歯科大学　Jeremy Williams

■KSIC-CVIT合同セッション

●日　時：7月21日（木）16:00～18:00
●場　所：大阪国際会議場 H会場
●テーマ：CTO治療の今後の方向性：

座長：豊橋ハートセンター　鈴木　孝彦
The Catholic University of Korea, Seoul/St. Mary's Hospital, Korea　Ki Bae Seung
コメンテーター：湘南鎌倉総合病院　竹下　聡
熊本大学　田山　信至
東海大学医学部附属病院　森野　禎浩
心臓血管センター北海道大野病院　山下　武廣

1．Now and future of Chronic Total Occlusion -Korean Perspectives from Korean CTO Club-
Korea University Guro Hospital, Korea　Seung-Woon Rha
2．CTO治療の今後の方向性　豊橋ハートセンター　加藤　修
3．Clinical outcomes of LMT Lesion in AMI Patients; KAMIR
Konyang University Hospital, Korea　Jang Ho Bae
4．Complex lesion & LMT bifurcation　新東京病院　中村　淳
5．Evaluation of neointimal tissue characteristics after drug-eluting stent implantation with OCT
Severance Hospital, Korea　Myeong-Ki Hong
6．FFRおよびOCTを用いた虚血イベント予防へのアプローチ　神戸大学　志手　淳也

■鈴木孝彦先生、加藤修先生、故玉井秀男先生
The TCT 2010 Geoffrey O. Hartzler Master Clinical Operator Award受賞記念講演会

●日　時：7月22日（金）9:00～11:00
●場　所：大阪国際会議場 A会場
座長：豊橋ハートセンター　朝倉　靖
北海道社会保険病院　五十嵐慶一
演者：豊橋ハートセンター　加藤　修
豊橋ハートセンター　鈴木　孝彦

■第6回日本血管内OCT研究会

●日　時：7月22日（金）9:00～12:00
●場　所：大阪国際会議場 L会場
●テーマ：OCT：EXTREME RESOLUTION for Confident Lesion Assessment
●主　催：日本血管内OCT研究会
●後　援：日本心血管インターベンション治療学会
●共　催：株式会社グッドマン
セント・ジュード・メディカル株式会社
●プログラム：

座長：和歌山県立医科大学　赤阪　隆史
倉敷中央病院　門田　一繁
名古屋大学　室原　豊明
コメンテーター：済生会横浜市東部病院　石盛　博
福山循環器病院　竹林　秀雄
横浜市立大学附属市民総合医療センター　日比　潔

特別講演
病理像から見るＤＥＳ留置後の治癒過程および血栓形成について
兵庫医科大学　羽尾　裕之

ＯＣＴ症例提示
大阪警察病院　松尾　浩志
大阪大学大学院医学系研究科　野嶋　祐兵
兵庫医科大学　藤井　健一
小倉記念病院　兵頭　真
浦添総合病院　上原　裕規
石心会狭山病院　長谷川耕太郎

■20周年特別企画：座談会【CVITの歩むべき道】

●日　時：7月22日（金）13:30～15:00
●場　所：大阪国際会議場 A会場
座　　長：大阪大学　南都　伸介
基調講演：京都大学医学部附属病院　木村　剛
座 談 会：小倉記念病院　延吉　正清
京都大学医学部附属病院　木村　剛
帝京大学医学部附属病院　一色　高明

■GW-ICC/CVIT合同セッション

●日　時：2011年7月22日（金）16:00～18:00

●場　所：大阪国際会議場 G会場

座長：Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China　Hongbing Yan
兵庫県立姫路循環器病センター　林　孝俊

1．Polymer-free Paclitaxel Stents Effect on Coronary Artery De novo Lesions：a Long-term Clinical and Angiographic Follow-up Results
First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China　Xuchen Zhou

2．CREST-MI Trial six-month Follow-up Results
Chaoyang Hospital, Capital Medical University, China　Xinchun Yang

3．Application of Aspiration Catheters in ACS：The Four Major Reasons
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China　HongBing Yan

4．良好な血管治癒を得るために次世代DESに対して何が求められているか？：血管内視鏡研究からの考察
関西労災病院　粟田　政樹

5．OCTによる、冠動脈インターベンションとDES慢性期の評価
神戸大学医学部附属病院　新家　俊郎

■大災害時に循環器医が何をすべきか、何ができるか

●日　時：7月22日（金）18:00～20:00

●場　所：大阪国際会議場　A会場

座長：新潟市民病院　小田　弘隆
近畿大学医学部　宮崎　俊一

演者：榊原記念病院　高山　守正
岩手県立大船渡病院　遠藤　浩司
岩手県立中央病院　田巻　健治
大崎市民病院　大庭　正敏
いわき市立総合磐城共立病院　山本　義人
新潟市民病院　小田　弘隆

■インターベンションのレジストリを成功させるために

●日　時：7月23日（土）9:00～11:00

●場　所：大阪国際会議場 B会場

座長：帝京大学医学部附属病院　一色　高明
桜橋渡辺病院　藤井　謙司

1．日本心臓血管外科手術データーベース　東京大学　本村　昇
2．JCD database　慶應義塾大学　河村　朗夫
3．J-PCI　桜橋渡辺病院　藤井　謙司
4．J-Cypherはこうして成功した　京都大学医学部附属病院　木村　剛
5．大阪急性冠症候群研究会データベースの管理法　大阪大学　坂田　泰彦

■第5回成人ASD-PFOカテーテル治療研究会

第20回日本心血管インターベンション治療学会学術集会CVIT2011は南都伸介会長のもとに、大阪にて開催され、CVIT学術委員会に協力して活動する成人ASD・PFOカテーテル治療研究会は今回で第5回目を迎えます。小児循環器分野の日本Pediatric Interventional Cardiology学会が設立したAmplatzer Septal Occluder（ASO）実施教育プログラムに、成人分野のInterventional Cardiologist参加の規約のもとに、平成22年よりCVIT教育研修認定３施設が加わり、さらに平成23年にはさらに５施設が加わろうとしています。

ASO治療はJPIC学会の下に実施が7年目を迎え、実施患者数も2100例を超えるにもかかわらず、1例も治療関連死亡を出していません。これは非常に大きな意義深い成果です。新たに加わる施設の担当医師、コメディカルの皆さんは、この精神を引き継いで治療を進めていかなければなりません。

第５回研究会では、成人ASD患者の治療に対し新たに治療を開始したCVITの施設の現状と経験を提示して頂き討論を行うとともに、この領域に興味を持つ多くのCVIT会員にASO治療のキーポイントを学んでいただきたく考えます。

本セッションは、CVITの学術委員会の一部として、わが国のカテーテル治療の分野にて、本治療法が安全・健全に普及し診療体制の確立が行われるように活動しています。

会員の皆様のご参集とご協力をお願い申し上げます。

代表　高山　守正（成人ASD･PFOカテーテル治療研究会）

●日　時：7月23日（土）9:00～11:00
●場　所：大阪国際会議場 H会場
●主　催：成人ASD/PFOカテーテル治療研究会
●後　援：日本心血管インターベンション治療学会
　　日本Pediatric Interventional Cardiology学会
●共　催：セント・ジュード・メディカル株式会社
　　日本ライフライン株式会社
●プログラム：

9:00	開会	榊原記念病院	高山　守正
9:05～9:55	CVIT施設で始まった成人ASDカテーテル治療：実施体制の現状と課題		
	座長：昭和大学横浜市北部病院		富田　英
	東邦大学医療センター大橋病院		原　英彦
	１．Amplatzer Septal Occluderの国内の使用現況	昭和大学横浜市北部病院	富田　英
	２．CVIT施設･会員のASDカテ治療申請と実施資格取得	榊原記念病院	高山　守正
	３．新規に展開する成人ASDカテ治療	小倉記念病院	白井　伸一
	４．Amplatzer Septal Occluder治療の開始と発展	慶應義塾大学	河村　朗夫
9:55～10:55	Adult Cardiologistに知って欲しい症例を通しての成人ASD治療のポイント		
	座長：榊原記念病院		高山　守正
	岡山大学		赤木　禎治
	１．症例を通して学んだ私の経験	東邦大学医療センター大橋病院	原　英彦
	２．老人のUncompensated Hemodynamicsは改善するか？	岡山大学	赤木　禎治
	３．心房細動合併例の治療	岡山大学	谷口　学
	４．致死的合併症Cardiac Erosionを避ける眼を持つ	埼玉医科大学	小林　俊樹
10:55～11:00	閉会	昭和大学横浜市北部病院	富田　英

■心血管治療におけるインターベンションと心臓リハビリテーションの融合
～今、まさに道を究めようとしている人たちへのメッセージ～

●日　時：7月23日（土）11：00～12：00
●場　所：大阪国際会議場 H会場
●共　催：日本心臓リハビリテーション学会教育研修・広報委員会
●プログラム：

座長：北野病院　野原　隆司
小倉記念病院　横井　宏佳

1．PCIの効果と限界（総論）　小倉記念病院　横井　宏佳
2．心臓リハビリテーション（総論）　榊原記念病院　長山　雅俊
3．PCI施設における心臓リハビリテーション導入の実際　宮崎市郡医師会病院　柴田　剛徳
群馬県立心臓血管センター　安達　仁
4．心臓リハビリテーションの実際
看護師の役割　榊原記念病院　石井　典子
理学療法士の役割　小倉記念病院　嶋田　誠治

■Late Breaking Clinical Study Part 1

●日　時：7月23日（土）13:00～14:30
●場　所：大阪国際会議場 A会場

座長：京都大学医学部附属病院　木村　剛
近畿大学医学部　宮崎　俊一

1．糖尿病の薬剤溶出性ステントに及ぼす影響：血管内超音波解析からの洞察
金沢大学医学部　坂田　憲治
2．DES時代におけるステント留置後の手術の発生と予後　京都大学医学部附属病院　徳重　明央
3．待機的PCIを施行した日本人の冠動脈疾患患者におけるCYP2C19遺伝子多型に影響しないプラスグレルの確実かつ強力な抗血小板作用　帝京大学医学部附属病院　一色　高明
4．スタチンとエゼチミブ併用による積極的LDL低下はプラーク退縮を促進するか
順天堂大学　宮内　克己
5．経皮的冠動脈形成術を適用される安定狭心症／陳旧性心筋梗塞患者におけるクロピドグレルの有効性及び安全性 CLEAN試験　帝京大学医学部附属病院　一色　高明

■Late Breaking Clinical Study Part 2

●日　時：7月23日（土）14:30～16:00
●場　所：大阪国際会議場 A会場

座長：りんくう総合医療センター　永井　義幸
京都桂病院　中村　茂

1．RESOLUTE JAPAN 1年臨床成績　湘南鎌倉総合病院／札幌東徳洲会病院　齋藤　滋
2．透析患者に対する薬剤溶出ステント留置後の臨床成績に関する検討; 多施設後ろ向き試験，KCJL-HDレジストリー　近江八幡市立総合医療センター　全　完
3．膝下単独病変に対しバルーン拡張術を施行した重症下肢虚血を有する維持透析患者の予後J-BEAT registryからの検討　済生会横浜市東部病院　中野　雅嗣
4．ST上昇型心筋梗塞における血栓吸引療法、並びにフィルター型異物除去カテーテルの有用性：The VAMPIRE 2 Study　りんくう総合医療センター　武田　吉弘
5．浅大腿動脈病変に対するナイチノールステント留置後の新スコア分類（FeDCLIP）の有用性
小倉記念病院　曽我　芳光

■女性Interventional Cardiologistを取り巻く諸問題

●日　時：7月23日（土）16:00～17:30
●場　所：大阪国際会議場 D会場
●共　催：J-WINC

座長：府中恵仁会病院/岐阜ハートセンター　本江　純子
済生会横浜市東部病院　塚原　玲子

1．若手女性医師の立場から　国立循環器病センター　藤野　明子
2．PCIと家庭との両立　平塚共済病院　大西　祐子
3．同僚の立場から　済生会横浜市東部病院　村松　俊哉
4．管理職の立場から　甲府共立病院　大畑　和義
5．新たな道を探って　豊橋ハートセンター　江原真理子

■循環器材料の販売にたずさわる方々への教育セミナーPart2

●日　時：7月23日（土）16:30～18:00
●場　所：大阪国際会議場 C会場
講　師：天理よろづ相談所病院　中川　義久
東海大学　森野　禎浩
●主　催：日本医療機器販売業協会専門研究会循環器
●後　援：日本心血管インターベンション治療学会

■ATISセミナー in CVIT2011

●日　時：7月24日（日） 9:30～11:30
●場　所：大阪国際会議場　10階
●共　催：サノフィ・アベンティス株式会社
●後　援：大阪府医師会

座長：大阪大学　南都　伸介
大阪警察病院　上田　恭敬

1．糖代謝異常と心筋梗塞－OACIS研究から－　大阪大学　坂田　泰彦
2．アテローム血栓症（ATIS）の臨床的意義と対策　東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

■CVIT2011市民公開講座：守ろうあなたの心臓

事前申込制

●日　時：7月24日（日）12:30～17:00（開場12:30）
●場　所：大阪国際会議場　10階
●内　容：

【13:00～14:55】

◆心臓カテーテル治療術者体験

カテーテル治療の術者を体験しませんか？コンピュータ・実モデルでの治療術者体験。
家族での参加を大歓迎。「ぼくもあなたも未来の術者…？」

◆心臓救急セミナー

大事な方を救うのは第一発見者の“あなた”です！心停止対応を、AEDの使い方も含めて、丁寧にお教えします。
終了後は、心肺蘇生練習キット（DVD付）を参加者にプレゼント！

【15:00～17:00】

◆講演会（テーマ：心筋梗塞）

心筋梗塞にならないためにどうするか、なってしまったらどうすればいいのか。
＊ポスター展示（12:30～17:00）

●参加方法：事前参加申込が必要となります。詳細はホームページ（http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/）をご覧ください。
●共　催：朝日新聞社
●後　援：大阪府医師会

ハンズオンセミナー

◆CT Skill-up Seminar ～Imaging Supported Complex PCI～

事前申込制

●日　　時：7月21日（木）10:00-11:30、15:30-17:00
22日（金）10:00-11:30、13:30-15:00、15:30-17:00
23日（土）10:00-11:30、13:30-15:00
●場　　所：大阪国際会議場　10階　ホワイエ
●申込方法：事前申込制。ホームページ（http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/）より参加登録いただけます。
●協力企業：アミン株式会社
ザイオソフト株式会社
GEヘルスケアジャパン株式会社
シーメンス・ジャパン株式会社

◆FFR トレーニング コース

事前申込制

●日　　時：7月21日（木）～23日（土）
●場　　所：大阪国際会議場　3階　展示会場
●申込方法：事前申込制。ホームページ（http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/）より参加登録いただけます。
●共催企業：セント・ジュード・メディカル株式会社
ボルケーノ・ジャパン株式会社

◆IVUS Learning Center

事前申込制

●日　　時：7月21日（木）10:00-11:00、14:00-15:00
22日（金）10:00-11:00、14:00-15:00
23日（土）10:00-11:00
●場　　所：大阪国際会議場　10階　ホワイエ
●申込方法：事前申込制。ホームページ（http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/）より参加登録いただけます。
●共催企業：関東甲信越IVUS研究会
テルモ株式会社
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
ボルケーノ・ジャパン株式会社

◆OCT トレーニング センター

事前申込制

●日　時：7月21日（木）～23日（土）
●場　所：大阪国際会議場　3階　展示会場
●申込方法：事前申込制。ホームページ（http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/）より参加登録いただけます。
●共催企業：セント・ジュード・メディカル株式会社
株式会社グッドマン

◆PCI Hands-on Seminar

●日　　時：7月21日（木）～23日（土）10:00-12:30、14:00-16:30
●場　　所：大阪国際会議場　3階　展示会場
●申込方法：当日受付のみ。Hands-on会場にて9:30より受付を開始します。
●協力企業：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

◆PCI基礎手技ハンズオン：南都教室

事前申込制

●日　　時：7月21日（木）9:30-10:30
　　22日（金）9:00-10:00
　　23日（土）9:00-10:00、10:30-11:30
●場　　所：大阪国際会議場　3階　展示会場
●申込方法：事前申込制。ホームページ（http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/）より参加登録いただけます。
●共催企業：株式会社メディアルファ

◆体表面エコー ハンズオン

事前申込制

●日　　時：7月21日（木）～22日（金）
●場　　所：大阪国際会議場　3階　展示会場
●申込方法：事前申込制。ホームページ（http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/）より参加登録いただけます。
●協力企業：東芝メディカルシステムズ株式会社

◆血管エコー ハンズオン

事前申込制

【Session1：血管エコー検査を活かす】
●日　　時：7月23日（土）13:00-13:50 講義、14:00-16:00 Hands-on
●場　　所：大阪国際会議場　3階　展示会場
●申込方法：事前申込制（一部を除く）。
　　ホームページ（http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/）より参加登録いただけます。
●共催企業：GEヘルスケアジャパン株式会社
　　東芝メディカルシステムズ株式会社
　　日立アロカメディカル株式会社
　　株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン
　　持田シーメンスメディカルシステム株式会社

【Session2：血管エコーQ&A】
●日　　時：7月21日（木）13:00-14:00
　　22日（金）13:00-14:00
　　23日（土）14:00-16:00
●場　　所：大阪国際会議場　3階　展示会場
※事前申込は不要です。開催当日、直接会場までお越し下さい。

発表・討論要項

口演

1．発表者の方へ

●発表時間（進行は座長の指示に従い、時間厳守でお願いいたします。）

メディカル／一般演題、Case Report：

口演10分（9分：予告ランプ、10分：終了赤ランプ）

討論2分

コメディカル／一般演題：

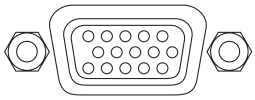
口演7分（6分：予告ランプ、7分：終了赤ランプ）

討論3分

上記以外の演題：別途お知らせしたとおりです

●使用機材　コンピューター（Windows、Mac可、持ち込みに限る）

1. ご自身のノートパソコンの持ち込みとなります。
2. 30分前までにパソコンを、ご自身で発表会場内の映写席までお持ちください。
3. 発表は、演台のモニターで確認しながら、備え付けのマウスで進めてください。
   プロジェクターへの接続は会場内の映写席にて技術者が行います。音声は入りません。
4. 接続はMini D-sub 15ピン3列コネクター（通常のモニター端子）となります。
   持ち込みをされるパソコンの外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は接続用の端子をご持参ください。



5. 液晶プロジェクターの解像度はVGA（640×480）、SVGA（800×600）、XGA（1024×768）に対応しています。
6. ACアダプタは各自ご持参ください。
7. 講演終了後は速やかに会場内映写席からパソコンをお受け取りください。
8. 接続トラブルなどの場合に備え、バックアップとして CD-R、または USB メモリにてデータをご持参ください。

●発表方法

演台上のマウスを操作してプレゼンテーションを行ってください。登壇された際、オペレータが発表の最初の画面を立ち上げた状態にいたしますのでご自身でデータ送りなどを操作してください。
Macintoshの場合はマウスでは戻しができません。

●次演者席

前の演者の登壇後、ただちに次演者席にお着きください。

2. 座長・コメンテーターの方へ

●次座長・コメンテーター席

担当セッション開始10分前までに次座長・コメンテーター席にご着席ください。
座長・コメンテーター受付はありません。

＊当日、座長ができなくなった場合は、担当のセッションの開始1時間前までに、学術集会本部へ必ず連絡のうえ、責任を持って代わりの座長をご推薦ください。
学術集会本部（大阪国際会議場　5F　会議室502）　TEL：06-4803-6350（内線7000）

●進行

進行は座長に一任いたします。時間厳守でお願いします。

●学会誌投稿推薦演題の採点

座長の方には優秀演題（メディカル一般演題　口演、Case Report、コメディカル一般演題）の推薦をお願いしています。当日、各会場内の進行係が所定の用紙をお渡ししますので、採点し、進行係へご提出ください。

3. 質疑応答

討論者はあらかじめ会場内の討論用マイクの近くで待ち、座長の指示に従って所属と氏名を述べたのち、簡潔にご発言ください。

■ ポスター発表

1．発表者の方へ

●貼付・討論・撤去時間

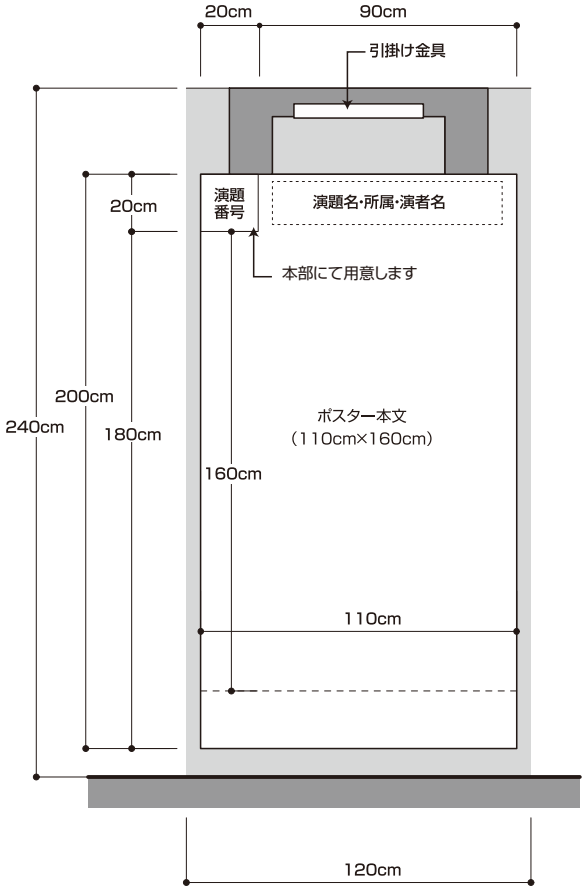
月　日	貼　付	討　論	撤　去
7月21日（木）	14:00〜18:00	−	−
7月22日（金）	7:00〜9:00	10:00〜11:30 13:30〜15:00	17:10〜18:00
7月23日（土）	7:00〜9:00	10:00〜11:30 13:15〜14:45	17:10〜18:00

●発表者受付

ポスター貼付けの際に、会場内の『発表者受付』にお越しください。
ポスター貼付けや発表に関するご案内をさせていただきます。

●展示要領

①演題番号（20cm×20cm）、踏台、設営用具（プッシュピン）は本部で用意いたします。
②糊やセロハンテープは使用できません。
③ポスターの展示様式は自由ですが、文字は2〜3mの距離から読める大きさで、図やグラフも20cm角以上の大きさにし、表現はわかりやすく簡潔にお願いします。
④撤去時間を過ぎても未撤去のポスターは、本部にて処分いたしますのでご了承ください。



●討論

①口演5分／討論2分
②本会では、各自のポスターボードの前で発表するのではなく、移動式のポスターパネルを用いて発表スペースにて行っていただきます。発表スペースへのポスターパネルの移動は、各自で行ってください。
③発表開始の10分前には各発表ブースにて待機いただき、ポスターパネルの移動および発表の準備をしてください。
④進行は座長の指示に従い、時間厳守でお願いします。

2. 座長の方へ

●座長受付

担当セッション開始10分前までに会場前の『座長受付』にお越しください。

●進行

進行は座長に一任しますが、時間厳守をお願いいたします。

＊当日、座長ができなくなった場合は、担当のセッションの開始1時間前までに、学術集会本部へ必ず連絡のうえ、責任を持って代わりの座長をご推薦ください。

学術集会本部（大阪国際会議場　5F　会議室502）　TEL：06-4803-6350（内線7000）

3. 質疑応答

座長の指示に従って、所属と氏名を明確に述べたのち、簡潔にご発言ください。

日程表

演題番号省略記号

S	シンポジウム
PD	パネルディスカッション
CV	コントラバーシ
SP	特別企画
SL	特別講演
TH	タウンホールミーティング
CSL	コメディカル特別講演
CPD	コメディカルパネルディスカッション
CS	コメディカルシンポジウム
JP	共催シンポジウム
RP	放射線防護講習会
ES	教育セッション
SS	サテライトシンポジウム
MS	モーニングセミナー
LS	ランチョンセミナー
CB	コーヒーブレークセミナー
FS	ファイアサイドセミナー
MO	メディカル一般演題（口演）
CR	メディカル一般演題（Case Report）
MP	メディカル一般演題（ポスター）
CO	コメディカル一般演題（口演）

7月20日（水）

				9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
リーガロイヤルホテル大阪	2F		山楽Ⅰ												PCI ライブ 症例検討会 p.18	
	2F		山楽Ⅱ												EVT ライブ 症例検討会 p.19	
	3F	L会場	光琳Ⅰ										サテライトシンポジウム 2 座長：中村正人／北野育郎 大塚製薬㈱／㈱カネカメディックス p.83			
	3F	M会場	光琳Ⅱ										サテライトシンポジウム 1 座長：木村　剛／ Elvin Kedhi アボット バスキュラージャパン㈱ p.83			
	3F	N会場	光琳Ⅲ										サテライトシンポジウム 3 座長：南都伸介／横井宏佳 テルモ㈱ p.83			

7月21日（木）第1日目

				7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
大阪国際会議場	5F	A会場	大ホール			会長挨拶 PCI ライブデモンストレーション 1部　座長：上野高史 / 木村　剛 2部　座長：赤阪隆史 / 上田欽造 p.18 J				
	3F	B会場	イベントホールA			一般演題（口演） DES1 座長：上田欽造 佐藤勝彦 p.111 E	一般演題（口演） DES2 座長：井上直人 Jei Keon Chae p.111 E	一般演題（口演） DES3 座長：上野高史 岡田尚之 p.112 E		
	10F	C会場	1003			EVT ライブデモンストレーション Basic EVT 1・2部　座長：横井良明 中村正人 p.19			ランチョンセミナー 1 座長：横井宏佳 クックジャパン㈱／㈱メディコスヒラタ p.84	
	10F	D会場	1001 ＋ 1002			一般演題（口演） IVUS/OCT1 座長：尾崎行男 松岡　宏 p.113 E	共催シンポジウム 2 DES を究める：DES status of new program 座長：上田恭敬 Renu Virmani p.69		ランチョンセミナー 2 座長：上松正朗 日本メドトロニック㈱ p.84	
	10F	E会場	1009			一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention1 座長：伊苅裕二 Donghoon Choi p.115 E	シンポジウム 1 急性心筋梗塞患者を対象とした臨床試験の現状 座長：小川久雄 小室一成 p.57 J		ランチョンセミナー 3 座長：伊苅裕二 一色高明 ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱ p.84	
	10F	F会場	1004 ＋ 1005		教育セッション 1 イメージング入門 座長：石綿清雄 p.75 J	一般演題（Case Report） CAS/Endovascular intervention1 座長：川口克廣 Barry S.Weinstock p.150 E	コントラバーシ 遠位部主幹部病変 の治療は PCI か CABG か 座長：尾崎行男 落　雅美 p.65 J		ランチョンセミナー 4 座長：五十嵐慶一 ボストン・サイエンティフィック ジャパン㈱ p.85 J	
	10F	G会場	1008		教育セッション 2 PCI 基本手技：ガイディングカテーテル編 座長：藤井謙司 p.75 J	共催シンポジウム 5 胸・腹部ステントグラフト術での挑戦 座長：吉川公彦 倉谷　徹 p.70		一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention4 座長：井上一郎 Mark A. Grise p.117 E	ランチョンセミナー 5 座長：村松俊哉 ㈱フィリップス エレクトロニクス ジャパン p.85 J	
	10F	H会場	1006 ＋ 1007		教育セッション 3 EVT の基本手技　～その時オペレーターは何を考えているのか？～：Aortoiliac 座長：土谷武嗣 p.75 J	パネルディスカッション 3 成人期川崎病既往者における急性冠症候群の実態：若年性急性冠症候群の新たな話題 座長：濱岡建城／横井宏佳 共同企画（日本川崎病学会） p.52 J			ランチョンセミナー 6 座長：井上直人 日本バイオセンサーズ㈱ p.85 J	
	12F	I会場	特別会議室			コメディカル一般演題（口演） 補助循環 座長：赤松俊二 p.181	コメディカル一般演題（口演） IVUS・OCT（ME） 座長：平田和也 p.181	コメディカル一般演題（口演） 苦痛・緩和 座長：富田紀雄 p.182	ランチョンセミナー 7 座長：木村　剛 サノフィ・アベンティス㈱ p.85 J	
	12F	J会場	1202			コメディカル一般演題（口演） 画像系（放射線技師） 座長：福西康修 p.183	コメディカル一般演題（口演） 工夫・研究・評価 （看護師・放射線技師） 座長：古家賢治 p.184	コメディカル一般演題（口演） デバイス評価（ME） 座長：木下昌樹 p.184	ランチョンセミナー 8 座長：小田弘隆 第一三共㈱／田辺三菱製薬㈱ p.86 J	
リーガロイヤルホテル大阪	2F	K会場	桐			一般演題（口演） AMI 1 座長：味岡正純 Detlef G. Mathey p.119 E	一般演題（口演） AMI 2 座長：上村史朗 風谷幸男 p.119 E	一般演題（口演） AMI 3 座長：岡本光師 木村一雄 p.120 E	ランチョンセミナー 9 座長：栗林幸夫 小野薬品工業㈱ p.86 J	
	3F	L会場	光琳Ⅰ			一般演題（口演） Other modalities 座長：片平美明 我妻賢司 p.122 E	一般演題（口演） Structural Heart Disease Intervention 座長：白井伸一 高山守正 p.122 E		ランチョンセミナー 10 座長：中村正人 大塚製薬㈱ p.86 J	
	3F	M会場	光琳Ⅱ			一般演題（口演） BMS 座長：浜中一郎 Jang Ho Bae p.123 E	一般演題（口演） Restenosis1 座長：中川義久 吉岡二郎 p.124 E	一般演題（口演） Restenosis2 座長：鈴木秀治 Elvin Kedhi p.124 E	ランチョンセミナー 11 座長：鈴木孝彦 日本ベーリンガーインゲルハイム㈱ p.86 J	
	3F	N会場	光琳Ⅲ			一般演題（口演） Debulking1 座長：高木　厚 治田精一 p.127 E	一般演題（口演） Debulking2 座長：於久幸治 久保隆史 p.127 E	一般演題（口演） Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)1 座長：滝澤明憲 中村　淳 p.128 E	ランチョンセミナー 12 座長：赤阪隆史 MSD ㈱ p.87 J	
	2F	O会場	桂							
大阪国際会議場	3F	展示会場								

同時通訳が入ります。　J 日本語のみで発表です。　E 英語のみで発表です。

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	PCI ライブデモンストレーション 3部　座長：大辻　悟／佐藤匡也 p.18 J		PCI ライブデモンストレーション 1部　座長：伊苅裕二 / 道下一朗 p.18 J				
	共催シンポジウム 1 Diagnosis of vulnerable plaque and clinical implication: How to use it for what? 座長：上田恭敬 Renu Virmani p.68	コーヒーブレークセミナー 1 座長：村松俊哉 アボット バスキュラー ジャパン㈱ p.93 J	一般演題（口演） DES4 座長：大辻　悟 Mohd Ali Rosli p.112 E	一般演題（口演） DES5 座長：岩崎孝一朗 神畠　宏 p.113 E			
	EVT ライブデモンストレーション Basic EVT 3部　座長：土谷武嗣 宮本　明 p.19		EVT ライブデモンストレーション Basic EVT 4部　座長：横井宏佳 宮本　明 p.19				
	一般演題（口演） IVUS/OCT2 座長：道下一朗 Jang Ho Bae p.114 E	一般演題（口演） IVUS/OCT3 座長：小宮山伸之 本江純子 p.114 E	コーヒーブレークセミナー 2 座長：許永勝 GE ヘルスケア・ジャパン㈱ p.93 J	一般演題（口演） IVUS/OCT4 座長：山口浩士 Akiko Maehara p.115 E	一般演題（Case Report） IVUS/OCT1 座長：勝田洋輔 久保典史 p.150 E		
	共催シンポジウム 3 DEB summit 座長：横井宏佳 p.69		パネルディスカッション 1 分岐部病変に対するステント留置術を究める 座長：門田一繁 挽地　裕 p.51 J		ファイアサイド 1 座長：浦澤一史 Andrej Schmidt ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱ p.101		
	一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention2 座長：粟野孝次郎 Mitchell W. Krucoff p.116 E	一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention3 座長：安斉　均 Barry S.Weinstock p.116 E	コーヒーブレークセミナー 4 座長：横井宏佳 日本メドトロニック㈱ p.94	共催シンポジウム 4 Interventional Cardiologist が E P を究める 座長：西野雅巳 吉長正博 p.70 J			
	一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention5 座長：木下順久 Choong-Won Goh p.117 E	一般演題（Case Report） CAS/Endovascular intervention2 座長：小松宣夫 Gary M. Ansel p.151 E	コーヒーブレークセミナー 5 座長：小室一成 大塚製薬㈱ p.94 J	パネルディスカッション 2 Cross fire: Can imaging modality predict future ACS? 座長：赤阪隆史 尾崎行男 p.51 J			
	一般演題（口演） Anti-platelet therapy1 座長：西垣和彦 Wan Azman Wan Ahmad p.118 E	一般演題（口演） Other new devices 座長：一色高明 Xuchen Zhou p.118 E		特別企画 1 KSIC/CVIT 合同セッション 座長：鈴木孝彦 Ki Bae Seung p.46			
	コメディカルパネルディスカッション 1 【放射線】 PCI now ！ PCI 初学者が知っておくべき基礎知識 座長：添田信之 園村恭子 p.79 J			コメディカル一般演題（口演） スタッフ教育 座長：平田弥生 p.182	コメディカル一般演題（口演） 心臓リハビリテーション（PT） 座長：佐藤真治 p.183		
	一般演題（Case Report） Restenosis 座長：新田　裕 舩田淳一 p.151 E	一般演題（Case Report） Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...) 座長：住居晃太郎 中村　茂 p.152 E	コーヒーブレークセミナー 28 ㈱ハート・オーガナイゼーション p.94 J	コメディカル一般演題（口演） PAD 座長：橋内秀雄 清水速人 p.185		ファイアサイド 2 座長：添田信之 濱嵜裕司 日本ライフライン㈱ p.101 J	
	一般演題（口演） AMI 4 座長：武川博昭 HongBing Yan p.120 E	一般演題（口演） Cardiac - CT/MRI1 座長：五十嵐慶一 吉野秀朗 p.121 E	コーヒーブレークセミナー 6 座長：鈴木孝彦 MSD ㈱ p.94 J	一般演題（Case Report） AMI1 座長：内山隆史 長谷　守 p.152 E	一般演題（口演） Cardiac - CT/MRI2 座長：松下豊顕 宮崎俊一 p.121 E		
	特別企画 2 循環器内科医に必要な論文構築の基礎知識 座長：伊苅裕二／中川義久 p.46		コーヒーブレークセミナー 7 座長：吉野秀朗 特定非営利活動法人インターベンションのエビデンスを創る会 p.94 J	一般演題（口演） Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire1 座長：石原正治 Michael Lim p.123 E	一般演題（Case Report） Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire 座長：近藤泰三 Fumiaki Ikeno p.153 E		
	一般演題（口演） PCI and DM/CKD/HD1 座長：天野哲也 濱崎秀一 p.125 E	一般演題（口演） PCI and DM/CKD/HD2 座長：鶴見由起夫 安武正弘 p.125 E	コーヒーブレークセミナー 25 座長：藤井謙司 p.95 J	一般演題（口演） New approach to devices/Other coronary diagnostic method1 座長：片平美明 Mitchell W. Krucoff p.126 E	一般演題（口演） New approach to devices/Other coronary diagnostic method2 座長：福澤　茂 Xuchen Zhou p.126 E		
	一般演題（口演） Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)2 座長：朝倉　靖 柴田剛徳 p.128 E	一般演題（口演） Stent thrombosis1 座長：井阪直樹 Scott Lim p.129 E		一般演題（口演） Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)3 座長：細川丈志 Elvin Kedhi p.129 E	一般演題（口演） Stent thrombosis2 座長：小林欣夫 Renu Virmani p.130 E		

7月22日（金）第2日目

				7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00
大阪国際会議場	5F	A会場	大ホール			特別企画 3 鈴木孝彦先生、加藤修先生、故玉井秀男先生 The TCT 2010 Geoffrey O. Hartzler Master Clinical Operator Award 受賞記念講演会 座長：朝倉　靖 五十嵐慶一 p.47 J				
	3F	B会場	イベントホールA			一般演題（口演） DES6 座長：佐藤匡也 羽田哲也 p.131 E	一般演題（口演） DES7 座長：西川英郎 Myeong-Ki Hong p.131 E	一般演題（口演） DES8 座長：田邉健吾 福井和樹 p.132 E	ランチョンセミナー 13 座長：南都伸介 Renu Virmani ／ Charles A. Simonton アボット バスキュラー ジャパン㈱ p.87	
	10F	C会場	1003			シンポジウム 2 Structure Heart Disease Current status and future prospective 座長：倉谷　徹 高山守正 p.57		一般演題（口演） CTO1 座長：大辻　悟 野崎英二 p.133 E	ランチョンセミナー 14 座長：上妻　謙 門田一繁 テルモ㈱ p.87	
	10F	D会場	1001 ＋ 1002			パネルディスカッション 5 薬剤溶出性ステントの 長期成績 座長：木村　剛 Renu Virmani p.53		一般演題（口演） IVUS/OCT5 座長：上村史朗 Akiko Maehara p.134 E	ランチョンセミナー 15 座長：代田浩之 アステラス製薬㈱／ファイザー㈱ p.87	
	10F	E会場	1009			シンポジウム 4 末梢動脈疾患に対するインターベンションのエビデンス 座長：吉川公彦 横井宏佳 p.58 J		一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention6 座長：三角和雄 Gary M. Ansel p.134 E	ランチョンセミナー 16 座長：中村　茂／角辻　暁 朝日インテック㈱／朝日インテック J セールス㈱ セント・ジュード・メディカル㈱ p.88 J	
	10F	F会場	1004 ＋ 1005		教育セッション4 イメージング入門 座長：北山道彦 p.76 J	シンポジウム 7 末梢動脈疾患の完全閉塞病変を究める 座長：飯田　修 土谷武嗣 p.60 J		一般演題（Case Report） CAS/Endovascular intervention3 座長：西野雅巳 Donghoon Choi p.154 E	ランチョンセミナー 17 座長：平山治雄 田辺三菱製薬㈱ p.88 J	
	10F	G会場	1008		教育セッション5 PCI基本手技： ガイドワイヤー編 座長：吉町文暢 p.76 J	一般演題（Case Report） CAS/Endovascular intervention4 座長：横井良明 John R. Laird p.155 E	一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention8 座長：秋満忠郁 Andrej Schmidt p.135 E	一般演題（Case Report） Follow up results 座長：雨宮　浩 度会正人 p.155 E	ランチョンセミナー 18 座長：齋藤　滋 ボストン・サイエンティフィック ジャパン㈱ p.88 J	
	10F	H会場	1006 ＋ 1007		教育セッション6 EVTの基本手技　～その時オペレーターは何を考えているのか？～：Femoropoplitea l 座長：飯田　修 p.76 J	一般演題（口演） Anti-platelet therapy2 座長：大島　茂 Mark A. Grise p.136 E	パネルディスカッション 7 慢性腎臓疾患におけるインターベンション 座長：中村　淳 中村正人 p.54 J		ランチョンセミナー 19 座長：一色高明 ニプロ㈱／日本ライフライン㈱ p.88 J	
	12F	I会場	特別会議室			コメディカルパネルディスカッション 2 【臨床工学】 カテ室における新人教育について 座長：清水速人 松岡さおり p.79 J		コメディカル一般演題（口演） 物品管理・コスト管理 座長：野崎暢仁 p.186	ランチョンセミナー 20 座長：川井和哉 興和創薬㈱ p.89 J	
	12F	J会場	1202			コメディカル一般演題（口演） 被曝防護（放射線技師） 座長：佐藤久弥 p.187	コメディカル一般演題（口演） 患者オリエンテーション・連携システム 1 座長：栗本幸子 p.187	コメディカル一般演題（口演） OCT 座長：添田信之 p.188	ランチョンセミナー 21 座長：曽根孝仁 サノフィ・アベンティス㈱ p.89 J	
リーガロイヤルホテル大阪	2F	K会場	桐			共催シンポジウム 6 石灰化病変の診断と治療を究める 座長：上野勝己 中村　茂 p.71 J		一般演題（口演） AMI 5 座長：伊藤　彰 Wan Azman Wan Ahmad p.137 E	ランチョンセミナー 22 座長：川崎友裕 ボルケーノ・ジャパン㈱ p.89 J	
	3F	L会場	光琳Ⅰ			共催シンポジウム 7 第 6 回 日本血管内 OCT 研究会 座長：赤阪隆史／室原豊明／門田一繁 p.71 J			ランチョンセミナー 23 座長：上田恭敬 アストラゼネカ㈱／塩野義製薬㈱ p.89 J	
	3F	M会場	光琳Ⅱ			一般演題（口演） Complications 座長：金谷法忍 Detlef G. Mathey p.140 E	共催シンポジウム 8 DES 留置後抗血小板療法における消化管出血 座長：菅野健太郎 南都伸介 p.72 J		ランチョンセミナー 24 座長：木村　剛 フクダ電子㈱ p.90	
	3F	N会場	光琳Ⅲ		モーニングセミナー 座長：伊藤賀敏 武田薬品工業㈱ p.84 J	一般演題（口演） Prognosis after intervention therapy1 座長：石綿清雄 竹中　孝 p.141 E	パネルディスカッション 8 Interventional Cardiologist を育成するための卒後教育 座長：中川義久 濱嵜裕司 p.54 J		ランチョンセミナー 25 座長：中川義久 東芝メディカルシステムズ㈱ p.90 J	
	2F	O会場	桂			一般演題（口演） PCI and DM/CKD/HD3 座長：粟田政樹 馬殿正人 p.143 E	一般演題（口演） Electrophysiology 座長：臼田和生 大手信之 p.143 E	一般演題（口演） PCI and DM/CKD/HD4 座長：舛谷元丸 Seung-Woon Rha p.144 E	ランチョンセミナー 26 座長：下川宏明 第一三共㈱ p.90 J	
大阪国際会議場	3F	展示会場					ポスターセッション			

一般演題（ポスター）

p.161	AMI	MP001 ～ MP007
p.161	CAS/Endovascular intervention1	MP008 ～ MP015
p.162	DES1	MP016 ～ MP022
p.162	IVUS/OCT1	MP023 ～ MP030
p.163	LMT	MP031 ～ MP038
p.163	Prognosis after intervention therapy1	MP039 ～ MP043
p.164	Stent thrombosis	MP044 ～ MP047
p.176	PCI and DM/CKD/HD	MP186 ～ MP195

同時通訳が入ります。　J 日本語のみで発表です。　E 英語のみで発表です。

13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00　20:00

総会	特別企画４ 20周年特別企画:座談会【CVIT の歩むべき道】 座長：南都伸介 p.47 J		特別講演１ Renu Virmani 座長：小谷順一 p.45		特別企画５ 大災害時に循環器医が何をすべきか、何ができるか 座長：小田弘隆 宮崎俊一 p.47 J		
		一般演題（口演） DES9 座長：中川義久 Renu Virmani p.132 E	コーヒーブレークセミナー８ 座長：Charles A. Simonton／ 中川義久／Mitchell W. Krucoff アボット バスキュラー ジャパン㈱ p.95	パネルディスカッション４ 慢性完全閉塞病変に対するＰＣＩを究める 座長：加藤　修 土金悦夫 p.52 J			
		一般演題（口演） CTO2 座長：濱嵜裕司 武藤　誠 p.133 E	コーヒーブレークセミナー９ 座長：中村正人 日本メドトロニック㈱ p.95	シンポジウム３ 抗血栓薬の展望 －冠動脈疾患患者の抗血栓療法を考える－ 座長：岩淵成志 西川政勝 p.58 J			
		一般演題（Case Report） IVUS/OCT2 座長：浦澤一史 田中信大 p.154 E	コーヒーブレークセミナー 10 座長：鈴木孝彦 齋藤　滋 ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱ p.95 J	パネルディスカッション６ 薬剤溶出性ステントの再狭窄：病態と治療 座長：赤阪隆史 Scott Lim p.53			
	コーヒーブレークセミナー 11 座長：横井宏佳 日本ゴア㈱ p.96	シンポジウム５ 頸動脈ステント治療は 結局誰がすべきなのか？ 座長：伊苅裕二 滝　和郎 p.59 J		シンポジウム６ もう一度考えてみる、循環器内科と末梢血管内治療 座長：小田弘隆 横井宏佳 p.59			
		一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention7 座長：飯田　修 Choong-Won Goh p.135 E	コーヒーブレークセミナー 12 座長：宮崎俊一 中外製薬㈱ p.96 J	シンポジウム８ 腸骨動脈病変を究める 座長：大場泰洋 宮本　明 p.60			
		一般演題（口演） Follow up results 座長：大畑和義 日比野　剛 p.136 E	コーヒーブレークセミナー 13 座長：平山篤志 エーザイ㈱ p.96 J	特別企画6 GW-ICC/CVIT合同セッション 座長：林　孝俊 Hongbing Yan p.48			
		一般演題（口演） Anti-platelet therapy3 座長：大村延博 Germano Di Sciascio p.137 E	コーヒーブレークセミナー 14 座長：中村　茂 ㈱グッドマン p.96 J	シンポジウム９ 心エコー診断を究める： 心エコー法を用いた虚血性心疾患の評価 座長：上松正朗 中谷　敏 p.61			
		コメディカル一般演題(口演) ACS 関連（看護師） 座長：島袋朋子 p.186	コーヒーブレークセミナー 15 座長：萩原充人 フォトロン メディカル イメージング㈱ p.97 J	コメディカルパネルディスカッション３ 【臨床工学】 カテ室での機器・データ管理・運用方法 座長：稲田　毅 太田悦夫 p.80 J			
		コメディカル一般演題(口演) 工夫・研究・評価（ME） 座長：中谷晋也 p.188	コーヒーブレークセミナー 16 座長：水野杏一 ノバルティスファーマ㈱ p.97 J	コメディカル一般演題(口演) コメディカルスタッフの役割１ 座長：伊美礼子 p.189	コメディカル一般演題(口演) コメディカルスタッフの役割２ 座長：佐久間浩樹 p.189		
		一般演題（口演） AMI 6 座長：臼田和生 友渕佳明 p.138 E		一般演題（口演） AMI 7 座長：土師一夫 Germano Di Sciascio p.138 E	一般演題（Case Report） AMI2 座長：佐野宏明 吉野秀朗 p.155 E		
		一般演題（口演） Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire2 座長：高野仁司 Seung-Woon Rha p.139 E	コーヒーブレークセミナー 17 座長：柴田剛徳 ㈱カネカメディックス p.97 J	一般演題（口演） CABG/CABG vs. PCI/ Structual1 座長：細川丈志 James Muller p.139 E	一般演題（口演） CABG/CABG vs. PCI/ Structual2 座長：渡辺重行 Charles A. Simonton p.140 E		
		一般演題（Case Report） Complications1 座長：藤田　勉 E. Murat Tuzcu p.156 E	コーヒーブレークセミナー 18 座長：山口　徹 シーメンス・ジャパン㈱ p.97 J	一般演題（Case Report） Complications2 座長：下村英紀 Wan Azman Wan Ahmad p.156 E	一般演題（口演） Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire3 座長：藤田　博 Nico H.J. Pijls p.141 E		
		一般演題（口演） Prognosis after intervention therapy2 座長：林　孝俊 冷牟田浩司 p.142 E	コーヒーブレークセミナー 19 座長：那須賢哉 及川裕二 ボストン・サイエンティフィック ジャパン㈱ p.97 J		一般演題（口演） Distal protection devices 座長：浜中一郎 James Muller p.142 E		
		一般演題（口演） LMT1 座長：五十嵐康己 Ki Bae Seung p.144 E		一般演題（口演） LMT2 座長：瓦林孝彦 野崎洋一 p.145 E	一般演題（口演） LMT3 座長：髙橋玲比古 Seung-Woon Rha p.145 E		
	ポスターセッション						

一般演題（ポスター）

p.164	BMS/Debulking	MP048 ～ MP052
p.165	CAS/Endovascular intervention2	MP053 ～ MP060
p.166	Complications	MP061 ～ MP071
p.167	CTO	MP072 ～ MP075
p.167	DES2	MP076 ～ MP082
p.168	IVUS/OCT2	MP083 ～ MP090
p.168	Other modalities/new devices	MP091 ～ MP097
p.169	Prognosis after intervention therapy2	MP098 ～ MP101

7月23日（土）第3日目

				7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
大阪国際会議場	5F	A会場	大ホール				パネルディスカッション 9 症例検討会：この症例の術前冠血行再建は必要か。 PCI or CABG? 座長：伊苅裕二 井上直人 p.55 J		
	3F	B会場	イベントホールA			特別企画 9 インターベンションのレジストリを成功させるために 座長：一色高明 藤井謙司 p.49 J			ランチョンセミナー 27 座長：一色高明／高山守正 Charles A. Simonton アボット バスキュラー ジャパン㈱ p.91
	10F	C会場	1003			タウンホールミーティング 医療技術の進歩に本邦が取り残されないために！我々は、今何をしなければならないのか？ 第1部 進化し続けるDrug Elutig Stent !! 進化したDESをいち早く本邦で、使用できるようにするために、我々は何をしなければならないのか？ 座長：齋藤　滋／ Mitchell W. Kruckoff p.66	タウンホールミーティング 第２部　経皮的弁膜症治療は、欧州では、すでに日常臨床として使用されている！果たして本邦にいつやってくるのか？ 座長：中村正人／ Fumiaki Ikeno ／内田毅彦 p.67		ランチョンセミナー 28 座長：齋藤　滋 テルモ㈱ p.91 J
	10F	D会場	1001 + 1002		共催シンポジウム 9 FFR を究める：FFR を臨床にいかに活用するか？ 座長：赤阪隆史 横井宏佳 p.73			一般演題（口演） IVUS/OCT7 座長：金谷法忍 藤井謙司 p.148 E	ランチョンセミナー 29 座長：南都伸介 ㈱メディコン p.91
	10F	E会場	1009			シンポジウム 10 重症虚血肢に対する治療戦略 - 血管内治療か外科的バイパス術か？ 座長：中村正人 宮田哲郎 p.61 J		一般演題（口演） CAS/Endovascular intervention9 座長：大嶋秀一 John R. Laird p.149 E	ランチョンセミナー 30 座長：宮下裕介 ディーブイエックス㈱ p.92
	10F	F会場	1004 + 1005		教育セッション 7 イメージング入門 座長：小林欣夫 p.76 J	パネルディスカッション 10 腎動脈ステントは是か非か？ 座長：宇津　貴 横井良明 p.55 J		一般演題（Case Report） CAS/Endovascular intervention5 座長：宮本　明 Antonis Pratsos p.158 E	ランチョンセミナー 31 座長：横井良明 中村正人 ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱ p.92 J
	10F	G会場	1008		教育セッション 8 PCI 基本手技：バルーン＆ステント編 座長：日比　潔 p.76 J	シンポジウム 14 心原性ショックの治療を究める：循環器医が取り組む集中治療 座長：長尾　建 Mark A. Grise p.63		一般演題（Case Report） CTO 座長：上田欽造 土金悦夫 p.158 E	ランチョンセミナー 32 座長：山科　章 富士フイルム RI ファーマ㈱ p.92 J
	10F	H会場	1006 + 1007		教育セッション 9 EVT の基本手技　~その時オペレーターは何を考えているのか？~；Below-the-knee 座長：曽我芳光 p.77 J	共催シンポジウム 10 第５回 ASD/PFO カテーテル治療研究会 座長：赤木禎治／高山守正／富田　英／原　英彦 p.74 J		シンポジウム 15 心血管治療におけるインターベンションと心臓リハビリテーションの融合~今、まさに道を究めようとしている人たちへのメッセージ~ 座長：野原隆司／横井宏佳 日本心臓リハビリテーション学会 p.64 J	ランチョンセミナー 33 座長：澤　芳樹 武田薬品工業㈱ p.92 J
	12F	I会場	特別会議室			コメディカルパネルディスカッション 4 【看護師】 チーム医療での看護の役割 座長：大石景子 島袋朋子 p.80 J		コメディカル特別講演 CSL 一色高明 p.78 / ランチョンセミナー 34 座長：上田恭敬 ㈱ハート・オーガナイゼーション p.92 J	
	12F	J会場	1202			コメディカル一般演題(口演) 合併症（ME） 座長：稲田　毅 p.190	コメディカル一般演題(口演) CT（放射線技師）1 座長：鯰井秀之 p.191	コメディカル一般演題(口演) CT（放射線技師）2 座長：寺川彰一 p.191	ランチョンセミナー 35 座長：住吉徹哉 ファイザー㈱ p.93 J
リーガロイヤルホテル大阪	2F	K会場	桐						
	3F	L会場	光琳Ⅰ						
	3F	M会場	光琳Ⅱ						
	3F	N会場	光琳Ⅲ						
	2F	O会場	桂						
大阪国際会議場	3F	展示会場					ポスターセッション		

一般演題（ポスター）

p.169	Anti-platelet therapy	MP102 ~ MP109
p.170	CAS/Endovascular intervention3	MP110 ~ MP116
p.170	Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire	MP117 ~ MP122
p.171	DES3	MP123 ~ MP129
p.171	Follow up results	MP130 ~ MP137
p.172	New approach to devices/Other coronary diagnostic method1	MP138 ~ MP145
p.176	Restenosis	MP196 ~ MP201

同時通訳が入ります。　J 日本語のみで発表です。　E 英語のみで発表です。

13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00　20:00

特別企画 7
Late Breaking Clinical Study Part 1
座長：木村　剛
宮崎俊一
p.48 J

特別企画 8
Late Breaking Clinical Study Part 2
座長：永井義幸
中村　茂
p.49 J

特別講演 2
会長講演：南都伸介
座長：横井宏佳
p.45 J

一般演題（口演）
DES10
座長：上妻　謙
治田精一
p.146 E

一般演題（口演）
DES11
座長：村松俊哉
Scott Lim
p.146 E

一般演題（口演）
DES12
座長：小谷順一
土井　修
p.147 E

一般演題（Case Report）
Stent thrombosis
座長：野口祐一
Jei Keon Chae
p.157 E

一般演題（口演）
IVUS/OCT6
座長：及川裕二
那須賢哉
p.147 E

特別講演 3
Mark A. Grise
SL3
座長：長尾　建
p.45

コーヒーブレークセミナー 20
座長：瀧原圭子
ファイザー㈱
p.98 J

特別企画 10
循環器材料の販売にたずさわる方々への
教育セミナー Part2
p.50 J

一般演題（Case Report）
IVUS/OCT3
座長：小林智子
Akiko Maehara
p.157 E

一般演題（口演）
IVUS/OCT8
座長：城谷　学
Myeong-Ki Hong
p.148 E

コーヒーブレークセミナー 21
座長：南都伸介
塩野義製薬㈱
p.98 J

特別企画 11
女性 Interventional Cardiologist を取
り巻く諸問題
座長：塚原玲子
本江純子
p.50 J

シンポジウム 11
浅大腿動脈に対する血管内治療の展望
座長：古森公浩
横井良明
p.62

コーヒーブレークセミナー 22
座長：井上直人
特定非営利活動法人インターベンションのエビデンスを創る会
p.98 J

シンポジウム 12
末梢動脈に対する血管内治療時の合併症及びその bailout
座長：井上直人
大場泰洋
p.62

シンポジウム 13
こんな循環器医の末梢血管内治療は絶対やめてほしい
座長：宮田哲郎
横井宏佳
p.63 J

コーヒーブレークセミナー 23
座長：横井良明
中村正人
ボストン・サイエンティフィック ジャパン㈱／特定非営利活動法人インターベンションのエビデンスを創る会
p.99

特別企画
放射線防護講習会
座長：藤井謙司
p.50 J

パネルディスカッション 11
インターベンション治療と腎保護
座長：井上直人
道下一朗
p.56 J

コーヒーブレークセミナー 24
座長：村松俊哉
武川博昭
セント・ジュード・メディカル㈱
p.99 J

パネルディスカッション 12
英語のレベルアップ、どうすればいい ???
座長：角辻　暁
p.56 J

一般演題（Case Report）
Complications3
座長：東野順彦
HongBing Yan
p.159 E

一般演題（Case Report）
Complications4
座長：小田弘隆
川井和哉
p.159 E

一般演題（Case Report）
CABG/CABG vs. PCI/
Structual
座長：丹羽明博
藤本和輝
p.160 E

コメディカルシンポジウム
【放射線】
心臓 CT の現状と課題、次世代 CT に求めるもの
座長：井上　健
横山博典
p.78 J

コーヒーブレークセミナー 26
座長：三引義明
テルモ㈱
p.100 J

コメディカル一般演題（口演）
症例報告 2
座長：岡田忠久
p.190

コメディカル一般演題（口演）
合併症（看護師）
座長：中村康雄
p.192

コメディカル一般演題（口演）
症例報告 1
座長：菊池康昭
p.192

コーヒーブレークセミナー 27
座長：中村義久
アボット バスキュラー ジャパン㈱
p.100 J

コメディカル一般演題（口演）
患者オリエンテーション・連携システム 2
座長：辻　孝子
p.193

ポスターセッション

一般演題（ポスター）

p.172	CABG/CABG vs. PCI/Structual	MP146 ～ MP152
p.173	Cardiac - CT/MRI	MP153 ～ MP157
p.173	CAS/Endovascular intervention4	MP158 ～ MP164
p.174	DES4	MP165 ～ MP171
p.174	DES5	MP172 ～ MP178
p.175	DES6	MP179 ～ MP185
p.177	Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)	MP202 ～ MP206

7月24日（日）

			9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
大阪国際会議場	10F	1001 + 1002 + 1003		ATIS セミナー 座長：南都伸介 上田恭敬 サノフィ・アベンティス㈱					市民公開講座 講演会 （テーマ：心筋梗塞）						
		1005 + 1006 + 1007					市民公開講座 心臓救急セミナー								
		1008					市民公開講座 心臓カテーテル治療 術者体験								

第21回日本心血管インターベンション治療学会：CVIT2012開催のご案内

第21回日本心血管インターベンション治療学会：CVIT2012会長
小 田 弘 隆（新潟市民病院　循環器内科）

第二十一回日本心血管インターベンション治療学会学術集会（CVIT2012）を開催するにあたりご挨拶申し上げます。

先ず東日本大震災で被害にあわれました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。未曾有の震災にて復興までの道はまだまだ険しいと思われますが、皆様の前を向いて進む姿勢に心を打たれます。南都先生が主宰するCVIT2011は開催の運びとなりましたが、これも特に被害が大きかった東北地方の会員の方々の学術集会を開催するべきとのご意見があってこそ、CVITが開催の方向に大きく舵を切ることができました。また、3月28日からCVIT会員によるボランテイア医療支援を開始しております。この閉塞感にあって学会が一つになって前進できることに感謝と誇りを感じます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

CVIT2012は下記の要項にて新潟で行います。学術集会に期待するものに、カテーテルを用いる心血管疾病への有効な治療技術や治療戦略についての検討があり、これはCVITが担うべき課題です。しかし、この専門性の高い医療においてただ専門性を追求するのではなく、全体をみて医療することの重要性には変わりはありません。CVIT2012のテーマを“原点回帰：医学、そして医療するこころ”” Reflect on the original intent-The Principles of Medicine and our mission as Healthcare Professionals-“としました。治療技術や治療戦略の進歩と多様化にあって目指す医療は何かを考える場にしたいと思います。我々の専門性で担当する医療は心血管事故への対応ですが、我々は同時に二次予防戦略を決定する立場にもあり、積極的予防介入を考える場にしたいと思います。医療を取り巻く社会的環境が厳しいなか、医療倫理についても取り上げたいと思います。そして、学会の目的である有効かつ安全なカテーテル治療を習得するためにライブデモンストレーションを行います。皆様からのご要望も企画検討いたしますのでお申し出ください。

7月中旬の新潟は梅雨明けの頃となります。新潟市は日本海に面し豊かな風土を備えた都市で、会場から佐渡ヶ島や日本海の夕日を見ることができます。皆様のCVIT2012へのご参加をお待ち申し上げます。

【会　　期】平成24年7月12日（木）～7月14日（土）
【会　　場】朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター
〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号
TEL：025-246-8400　FAX：025-246-8411
ホテル日航新潟　他
〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5番1号
TEL：025-240-1888　FAX：025-240-1880
【主　　催】新潟市民病院　循環器内科
〒950-1197 新潟市中央区鐘木463番地7
TEL：025-281-5151㈹　FAX：025-281-5187
【事 務 取 扱】㈱JTBコミュニケーションズコンベンション事業局　東京営業部内
〒141-8657 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル3階
TEL：03-5434-8759　FAX：03-5434-8694　E-mail：cvit2012@jtbcom.co.jp

特別プログラム

特別講演

特別企画

パネルディスカッション

シンポジウム

コントラバーシ

タウンホールミーティング

共催シンポジウム

教育セッション

コメディカル特別講演

コメディカルシンポジウム

コメディカルパネルディスカッション

特別講演

7月22日（金）　A会場

Stents vs. Scaffold: Are we sure totally bioerodable scaffolds will be better than Metalic DES?　16:00～17:00

座長：国立循環器病研究センター　小谷　順一

SL1

CV Path Institute, Inc., USA　Renu Virmani

7月23日（土）　A会場

会長講演：道を究める　17:00～18:00

座長：小倉記念病院　横井　宏佳

SL2

大阪大学　南都　伸介

C会場

Percutaneous Left Ventricular Support Devices in the Cardiac Catheterization Laboratory　14:00～15:00

座長：駿河台日本大学病院　長尾　建

SL3

Ochsner Heart and Vascular Institute, USA　Mark A. Grise

特別企画

7月21日（木）　H会場

KSIC/CVIT合同セッション　16:00～18:00

座長：豊橋ハートセンター　鈴木　孝彦
The Catholic University of Korea, Seoul/St. Mary's Hospital, Korea　Ki Bae Seung

コメンテーター：湘南鎌倉総合病院　竹下　聡
熊本大学　田山　信至
東海大学医学部附属病院　森野　禎浩
心臓血管センター北海道大野病院　山下　武廣

SP1-1　Now and future of Chronic Total Occlusion -Korean Perspectives from Korean CTO Club-
Korea University Guro Hospital, Korea　Seung-Woon Rha

SP1-2　CTO治療の今後の方向性
豊橋ハートセンター　加藤　修

SP1-3　Clinical outcomes of LMT Lesion in AMI Patients; KAMIR
Konyang University Hospital, Korea　Jang Ho Bae

SP1-4　Complex lesion & LMT bifurcation
新東京病院　中村　淳

SP1-5　Evaluation of neointimal tissue characteristics after drug-eluting stent implantation with OCT
Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea　Myeong-Ki Hong

SP1-6　FFRおよびOCTを用いた虚血イベント予防へのアプローチ
神戸大学　志手　淳也

L会場

循環器内科医に必要な論文構築の基礎知識　13:00～15:00

座長：東海大学　伊苅　裕二
天理よろづ相談所病院　中川　義久

SP2-1　臨床研究におけるデザイン設計と統計解析の原則
京都大学大学院医学研究科　森本　剛

SP2-2　日常臨床から英語論文を作成するための「虎の巻」
関西労災病院　上松　正朗

SP2-3　Structure: The key to writing a paper
東京医科歯科大学　Jeremy Williams

7月22日（金）　日本語　A会場

鈴木孝彦先生、加藤修先生、故玉井秀男先生　9:00～11:00
The TCT 2010 Geoffrey O. Hartzler Master Clinical Operator Award受賞記念講演会

座長：豊橋ハートセンター　朝倉　靖
北海道社会保険病院　五十嵐慶一

SP3-1　CTO interevention の歩みを振り返って
豊橋ハートセンター　加藤　修

SP3-2　CTO interevention を目指す若者への苦言
豊橋ハートセンター　鈴木　孝彦

日本語　A会場

20周年特別企画：座談会【CVITの歩むべき道】　13:30～15:00

座長：大阪大学　南都　伸介

SP4　基調講演
京都大学医学部附属病院　木村　剛

ディスカッサー：帝京大学医学部附属病院　一色　高明
京都大学医学部附属病院　木村　剛
小倉記念病院　延吉　正清

日本語　A会場

大災害時に循環器医が何をすべきか、何ができるか　18:00～20:00

座長：新潟市民病院　小田　弘隆
近畿大学医学部　宮崎　俊一

SP5-1
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　高山　守正

SP5-2
岩手県立大船渡病院　遠藤　浩司

SP5-3
岩手県立中央病院　田巻　健治

SP5-4
大崎市民病院　大庭　正敏

SP5-5
いわき市立総合磐城共立病院　山本　義人

SP5-6
新潟市民病院　小田　弘隆

7月22日（金）　G会場

GW-ICC/CVIT合同セッション　16:00～18:00

座長：兵庫県立姫路循環器病センター　林　孝俊
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China　Hongbing Yan

SP6-1　Polymer-free Paclitaxel Stents Effect on Coronary Artery De novo Lesions: a Long-term Clinical and Angiographic Follow-up Results
First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China　Xuchen　Zhou

SP6-2　CREST-MI Trial six-month Follow-up Results
Chaoyang Hospital, Capital Medical University, China　Xinchun Yang

SP6-3　Application of Aspiration Catheters in ACS: The Four Major Reasons
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China　HongBing Yan

SP6-4　良好な血管治癒を得るために次世代DESに対して何が求められているか？：血管内視鏡研究からの考察
関西労災病院　粟田　政樹

SP6-5　OCTによる、冠動脈インターベンションとDES慢性期の評価
神戸大学医学部附属病院　新家　俊郎

7月23日（土）　日本語　A会場

Late Breaking Clinical Study Part 1　13:00～14:30

座長：京都大学医学部附属病院　木村　剛
近畿大学医学部　宮崎　俊一

SP7-1　糖尿病の薬剤溶出性ステントに及ぼす影響：血管内超音波解析からの洞察
金沢大学医学部　坂田　憲治

SP7-2　DES時代におけるステント留置後の手術の発生と予後
京都大学医学部附属病院　徳重　明央

SP7-3　待機的PCIを施行した日本人の冠動脈疾患患者におけるCYP2C19遺伝子多型に影響しないプラスグレルの確実かつ強力な抗血小板作用
帝京大学医学部附属病院　一色　高明

SP7-4　スタチンとエゼチミブ併用による積極的LDL低下はプラーク退縮を促進するか
順天堂大学医学部　宮内　克己

SP7-5　経皮的冠動脈形成術を適用される安定狭心症／陳旧性心筋梗塞患者におけるクロピドグレルの有効性及び安全性 CLEAN試験
帝京大学医学部附属病院　一色　高明

7月23日（土）　日本語　A会場

Late Breaking Clinical Study Part 2

14:30〜16:00

座長：りんくう総合医療センター　永井　義幸
京都桂病院　中村　茂

SP8-1　RESOLUTE JAPAN 1年臨床成績
湘南鎌倉総合病院/札幌東徳洲会病院　齋藤　滋

SP8-2　透析患者に対する薬剤溶出ステント留置後の臨床成績に関する検討；多施設後ろ向き試験，KCJL-HDレジストリー
近江八幡市立総合医療センター　全　完

SP8-3　膝下単独病変に対しバルーン拡張術を施行した重症下肢虚血を有する維持透析患者の予後J-BEAT registryからの検討
済生会横浜市東部病院　中野　雅嗣

SP8-4　ST上昇型心筋梗塞における血栓吸引療法、並びにフィルター型異物除去カテーテルの有用性：The VAMPIRE 2 Study
りんくう総合医療センター　武田　吉弘

SP8-5　浅大腿動脈病変に対するナイチノールステント留置後の新スコア分類（FeDCLIP）の有用性
小倉記念病院　曽我　芳光

日本語　B会場

インターベンションのレジストリを成功させるために

9:00〜11:00

座長：帝京大学医学部附属病院　一色　高明
桜橋渡辺病院　藤井　謙司

SP9-1　日本心臓血管外科手術データーベースの構築
東京大学医学部附属病院　本村　昇

SP9-2　JCD database
慶応義塾大学医学部　河村　朗夫

SP9-3　J-PCIの現状と展開
桜橋渡辺病院　藤井　謙司

SP9-4　J-Cypherはこうして成功した
京都大学医学部附属病院　木村　剛

SP9-5　大阪急性冠症候群研究会データベースの管理法
大阪大学大学院医学研究科　坂田　泰彦

7月23日（土）　日本語　C会場

循環器材料の販売にたずさわる方々への教育セミナーPart2　16:30～18:00

講師：天理よろづ相談所病院　中川　義久
東海大学医学部附属病院　森野　禎浩

主催：日本医療機器販売業協会専門研究会循環器
後援：日本心血管インターベンション治療学会

日本語　D会場

女性Interventional Cardiologistを取り巻く諸問題　16:00～17:30

座長：済生会横浜市東部病院　塚原　玲子
府中恵仁会病院/岐阜ハートセンター　本江　純子

SP11-1　若手女性医師の立場から
国立循環器病研究センター　藤野　明子

SP11-2　PCIと家庭との両立
平塚共済病院　大西　祐子

SP11-3　同僚の立場から
済生会横浜市東部病院　村松　俊哉

SP11-4　管理職の立場から
甲府共立病院　大畑　和義

SP11-5　新たな道を探って
豊橋ハートセンター　江原真理子

共催：J-WINC

日本語　F会場

放射線防護講習会　17:00～18:00

座長：桜橋渡辺病院　藤井　謙司

RP
彩都友紘会病院　中村　仁信

パネルディスカッション

7月21日（木）　日本語　E会場

分岐部病変に対するステント留置術を究める　16:00～18:00

座長：倉敷中央病院　門田　一繁
佐賀大学医学部　挽地　裕

PD1-1　分岐部病変に対するCrush stentingの長期成績
野崎徳洲会病院　奥津　匡暁

PD1-2　MSCTと冠動脈造影を用いた左主幹部と回旋枝、左主幹部と左前下行枝、左前下行枝と対角枝の解剖学的解析
済生会福岡総合病院　芹川　威

PD1-3　分岐部病変に留置されたSirolimus-Eluting Stent (SES)とPaclitaxel-Eluting Stent (PES)の新生内膜形成の相違：OCTによる検討
大阪労災病院　吉村　貴裕

PD1-4　シロリムスとパクリタキセル溶出ステントでキッシングバルーンテクニックを行った非左主幹部分岐部病変の側枝再狭窄の予測因子
済生会横浜市東部病院　山脇　理弘

日本語　G会場

Cross fire: Can imaging modality predict future ACS?　16:00～18:00

座長：和歌山県立医科大学　赤阪　隆史
藤田保健衛生大学　尾崎　行男

PD2-1　OCTによるACS発症予測の可能性
和歌山県立医科大学　赤阪　隆史

PD2-2　IVUSにより急性冠症候群の発症は予測できるか？
日本大学　廣　高史

PD2-3　イメージングモダリティは将来の急性冠症候群を予測できるか？
藤田保健衛生大学　尾崎　行男

PD2-4　血管内視鏡によるVulnerable Plaqueの診断とACS発症にかかわる未解明の因子
大阪警察病院　上田　恭敬

7月21日（木）　日本語　H会場

成人期川崎病既往者における急性冠症候群の実態：若年性急性冠症候群の新たな話題

9:00～12:00

座長：京都府立医科大学　濱岡　建城
小倉記念病院　横井　宏佳

症例検討：成人期川崎病既往者の急性冠症候群

熊本赤十字病院　循環器科　角田　隆輔
愛媛大学大学院　小児医学　檜垣　高史
国立循環器病研究センター　小児循環器科　津田　悦子
日本医科大学　循環器内科　細川　雄亮
小倉記念病院　循環器内科　渡部　宏俊

PD3-1　成人期川崎病冠動脈病変の画像診断上の特徴
小倉記念病院　循環器科　横井　宏佳

PD3-2　成人期川崎病既往者における急性冠症候群の全国調査：初期結果
三重大学大学院医学系研究科　小児科学　三谷　義英

共同企画：日本川崎病学会

7月22日（金）　日本語　B会場

慢性完全閉塞病変に対するＰＣＩを究める

16:00～18:00

座長：豊橋ハートセンター　加藤　修
豊橋ハートセンター　土金　悦夫

PD4-1　冠動脈CT情報を活かした慢性完全閉塞病変に対するPCI治療
北海道社会保険病院　五十嵐慶一

PD4-2　CTO PCI成功率を上げるには
石心会狭山病院　山根　正久

PD4-3　Corsair時代における慢性完全閉塞病変に対するインターベンション
草津ハートセンター　辻　貴史

PD4-4　病理組織情報を活かした慢性完全閉塞病変に対するPCI治療
大阪大学大学院医学系研究科　角辻　暁

薬剤溶出性ステントの 長期成績

9:00〜11:00

座長：京都大学医学部附属病院　木村　剛
CV Path Institute, Inc., USA　Renu Virmani

PD5-1　ベアメタルステント血栓症と、ステント内新生動脈硬化の関係
小倉記念病院　山地　杏平

PD5-2　本邦における最初のDES留置後5年臨床成績
ー2050症例のCypherステント市販後調査（Cypher J-PMS）結果よりー
国立循環器病研究センター　小谷　順一

PD5-3　短期間の抗血小板剤休薬がDES留置後の予後に与える影響
済生会横浜市東部病院　阪本　泰成

PD5-4　初回前壁ST上昇型心筋梗塞に対するシロリムス溶出性ステントの有効性：
BMSとのステント径別後ろ向き比較
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　石川　哲也

D会場

薬剤溶出性ステントの再狭窄：病態と治療

16:00〜18:00

座長：和歌山県立医科大学　赤阪　隆史
University of Virginia, USA　Scott Lim

PD6-1　薬剤溶出ステント留置後の早期および晩期における再狭窄の組織像ーOCTからの検討
天陽会中央病院　山口　浩士

PD6-2　薬剤溶出性ステントの再狭窄所見、光干渉断層映像法による検討
神戸大学　志手　淳也

PD6-3　薬剤溶出性ステント後のステント再狭窄に対するCYP2C19遺伝子型の影響
熊本大学医学部附属病院　掃本　誠治

PD6-4　薬剤溶出性ステント再狭窄に対する薬剤溶出性ステント植え込み術後ステント再々狭窄をきたす予測因子について
済生会横浜市東部病院　中野　雅嗣

7月22日（金）　日本語　H会場

慢性腎臓疾患におけるインターベンション　10:00～12:00

座長：新東京病院　中村　淳
東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

PD7-1　透析患者に対する薬剤溶出性ステントを用いた経皮的冠動脈インターベンション臨床成績
済生会横浜市東部病院　滝村　英幸

PD7-2　当院における慢性腎臓病患者に対するシロリムス溶出型ステント留置後の成績について
宮崎市郡医師会病院　相良秀一郎

PD7-3　Optimal Management of Acute Non-ST-Segment Elevation Myocardial Infarction Patients with Chronic Kidney Disease: Results from Korea Acute Myocardial Infarction Registry
札幌東徳洲会病院　八戸　大輔

PD7-4　慢性腎臓病は左冠動脈主幹部病変における重要な因子である
岡山大学　旦　一宏

PD7-5　CKD患者に対する薬物溶出性ステント：長期成績を改善できるか？
東邦大学医療センター大橋病院　飯島　雷輔

日本語　N会場

Interventional Cardiologist を育成するための卒後教育　10:00～12:00

座長：天理よろづ相談所病院　中川　義久
昭和大学医学部　濱嵜　裕司

PD8-1　PETEC
仙台厚生病院　井上　直人

PD8-2　PCI基礎講習会
大阪大学/野崎･名古屋徳洲会病院　角辻　暁

PD8-3　PUIGs, シュミレーター
協仁会小松病院　森田　寛

PD8-4　フェローコース
東海大学　伊苅　裕二

7月23日（土）　日本語　A会場

症例検討会：この症例の術前冠血行再建は必要か。PCI or CABG?　10:00〜12:00

座長：東海大学　伊苅　裕二
仙台厚生病院　井上　直人

ディスカッサー：ベルランド総合病院　片岡　亨
大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学　坂田　泰史
日本医科大学　鈴木　規仁
京都府立医科大学　夜久　均

PD9-1　術前冠血行再建を施行しなかった87歳無症候性心筋虚血の一例
武蔵野赤十字病院　宮本　貴庸

PD9-2　右冠動脈及び左冠動脈主幹部に狭窄を有する患者の膵癌手術の一例
東海大学医学部　伊地知　健

PD9-3　手術直後に急性心筋梗塞を発症した無症候性心筋虚血の一例
東京警察病院　西前伊紀子

PD9-4　2枝病変、進行大腸癌を有する高齢者の一例
大阪労災病院　菊池　篤志

PD9-5　胆嚢穿孔の手術直前に急性冠症候群を来した一例
天理よろづ相談所病院　本岡　眞琴

日本語　F会場

腎動脈ステントは是か非か？　9:00〜11:00

座長：滋賀医科大学　宇津　貴
岸和田徳州会病院　横井　良明

PD10-1　RAS Overview
岸和田徳州会病院　横井　良明

PD10-2　ステント治療その前に・・
東北大学病院　阿部　高明

PD10-3　腎動脈ステント　抹消血栓保護の必要性
信州大学医学部附属病院　宮下　裕介

PD10-4　腎動脈ステント治療の地域格差を考える
北九州市立八幡病院　原田　敬

PD10-5　その症例に腎動脈ステント留置術は有効か？
東京女子医科大学病院　東谷　迪昭

7月23日（土）　日本語　G会場

インターベンション治療と腎保護　13:00〜15:00

座長：仙台厚生病院　井上　直人
横浜栄共済病院　道下　一朗

PD11-1　造影剤による急性腎障害について（最近の話題から）
仙台厚生病院　井上　直人

PD11-2　血清クレアチニン2回測定法は造影剤腎症予防に非常に有用である
聖路加国際病院　水野　篤

PD11-3　腎動脈ステント治療の腎機能に及ぼす影響について
大阪労災病院　加藤　弘康

PD11-4　minimum contrast PCIの方法：how to do it and tips & tricks
大阪大学/野崎･名古屋徳洲会病院　角辻　暁

日本語　G会場

英語のレベルアップ、どうすればいい？？？　16:30〜18:00

座長：大阪大学/野崎･名古屋徳洲会病院　角辻　暁

PD12-1
大阪大学/野崎･名古屋徳洲会病院　角辻　暁

PD12-2
防衛医科大学校病院　横井　研介

PD12-3
名古屋徳洲会総合病院　渡辺　大基

シンポジウム

7月21日（木）　日本語　E会場

急性心筋梗塞患者を対象とした臨床試験の現状　10:00～12:00

座長：熊本大学医学部　小川　久雄
大阪大学　小室　一成

S1-1　心筋梗塞後のスタチン薬投与による心血管イベント抑制に関する研究
熊本大学医学部　小川　久雄

S1-2　急性心筋梗塞患者におけるβ遮断薬の有効性を検証する多施設共同無作為化比較試験
京都大学医学部附属病院　小笹　寧子

S1-3　急性心筋梗塞に対するG-CSFの治療効果を検討する臨床試験
千葉大学医学部附属病院　高野　博之

S1-4　心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究-II
大阪大学大学院医学系研究科　南野　哲男

7月22日（金）　C会場

Structure Heart Disease Current status and future prospective　9:00～11:00

座長：大阪大学　倉谷　徹
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　高山　守正

S2-1　大動脈弁狭窄症の病態と診断
大阪大学　中谷　敏

S2-2　PTAV
池上総合病院　坂田　芳人

S2-3　Lessons From the Partner Trials
Cleveland Clinic, USA　E. Murat Tuzcu

S2-4　TAVI Advancements Expand Treatment Potential for Aortic stenosis
Medotronic, Inc., USA　Thomas L. Armitage

S2-5　Percutaneous Mitral Valve Repair
University of Virginia, USA　Scott Lim

7月22日（金）　日本語　C会場

抗血栓薬の展望　ー冠動脈疾患患者の抗血栓療法を考えるー　16:00～18:00

座長：小倉記念病院　岩淵　成志
三重大学医学部附属病院　西川　政勝

S3-1　Key Note ー抗血栓薬の展望について
三重大学医学部附属病院　西川　政勝

S3-2　クロピドグレル増量・3剤併用療法
帝京大学医学部附属病院　一色　高明

S3-3　静脈血栓塞栓症の治療における新しい抗凝固薬
三重大学大学院医学系研究科　中村　真潮

S3-4　ADP受容体阻害薬（Prasugrel, Ticagrelor, Elinogrel）
仙台厚生病院　井上　直人

S3-5　心房細動における脳卒中予防のための新規抗凝固薬と冠インターベンション
大阪大学大学院　奥山　裕司

日本語　E会場

末梢動脈疾患に対するインターベンションのエビデンス　9:00～11:00

座長：奈良県立医科大学附属病院　吉川　公彦
小倉記念病院　横井　宏佳

S4-1　頸動脈ならびに鎖骨下動脈狭窄症に対するカテーテル治療のエビデンス
東海大学医学部　緒方　信彦

S4-2　循環器内科医が知らねばならない末梢血管病のエビデンス
信州大学医学部附属病院　宮下　裕介

S4-3　腹部大動脈瘤のパラダイムシフト
湘南鎌倉総合病院　荻野　秀光

S4-4　末梢動脈疾患に対するインターベンションのエビデンス：Iliac
仙台厚生病院　鈴木　健之

S4-5　大腿動脈のエビデンスを考える
小倉記念病院　曽我　芳光

S4-6　膝下動脈病変に対する血管内治療
菊名記念病院　宮本　明

7月22日（金）　日本語　E会場

頸動脈ステント治療は結局誰がすべきなのか？

14:30～16:00

座長：東海大学　伊苅　裕二
三重大学医学部　滝　和郎

S5-1　頸動脈ステントの現状
三重大学医学部　滝　和郎

S5-2　循環器内科医はCASに適した術者である
東海大学　伊苅　裕二

S5-3　頸動脈狭窄症の内科治療
九州医療センター　岡田　靖

S5-4　頸動脈ステント治療は結局だれがすべきなのか？
虎の門病院　松丸　祐司

S5-5　頸動脈ステント治療は結局だれがすべきなのか？放射線科医の立場から
医真会八尾総合病院　高山　勝年

E会場

もう一度考えてみる、循環器内科と末梢血管内治療

16:00～18:00

座長：新潟市民病院　小田　弘隆
小倉記念病院　横井　宏佳

S6-1
UC Davis Medical Center, USA　John R. Laird

S6-2　頸動脈病変と下肢動脈病変の血管内治療は循環器医師がするべきだ
岸和田徳州会病院　横井　良明

S6-3　下肢EVTを行うための必須条件：血管外科医の立場
東京医科大学八王子医療センター　駒井　宏好

S6-4　これからでも遅くないEVTの立ち上げ
宮崎市郡医師会病院　柴田　剛徳

S6-5　Global EVTの今後；循環器科医は何処までテリトリーを広げられるか？
小倉記念病院　横井　宏佳

S6-6　循環器科医がglobal EVTに取り組むにあたって必要な教育プログラム
東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

7月22日（金）　日本語　F会場

末梢動脈疾患の完全閉塞病変を究める　9:00～11:00

座長：関西労災病院　飯田　修
心臓血管センター金沢循環器病院　土谷　武嗣

S7-1　完全閉塞への挑戦
関西労災病院　飯田　修

S7-2　IVUS Guided EVT for Ilio-femoral CTO
兵庫医科大学　川崎　大三

S7-3　浅大腿動脈領域慢性完全閉塞病変治療における3つの問題点
済生会横浜市東部病院　平野　敬典

S7-4　SFA慢性完全閉塞病変におけるワイヤー操作法
時計台記念病院　浦澤　一史

S7-5　Bi-directional approachを究めよう
心臓血管センター金沢循環器病院　土谷　武嗣

F会場

腸骨動脈病変を究める　16:00～18:00

座長：春日井市民病院　大場　泰洋
菊名記念病院　宮本　明

S8-1　安全に腸骨動脈病変を行うためには（画像診断から）
奈良県立医科大学附属病院　東浦　渉

S8-2　腸骨動脈病変を究めるための腸骨動脈病変に対する外科的血行再建術の考え方
－Ao-F, F-F, Ax-BiF Bypass still alive－
信州大学附属病院　福井　大祐

S8-3　ルーリッシュ症候群に対する血管内治療成績
関西労災病院　飯田　修

S8-4　Crossing Iliac Lesions, Tips and Tricks
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany　Andrej Schmidt

S8-5　Efficacy of Stent-supported Subintimal Angioplasty in the Treatment of Long Iliac Artery Occlusions
Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea　Donghoon Choi

S8-6　IVUS guided EVT for Ilac-CTO
兵庫医科大学　川崎　大三

7月22日（金）　H会場

心エコー診断を究める：心エコー法を用いた虚血性心疾患の評価　16:00～18:00

座長：関西労災病院　上松　正朗
大阪大学　中谷　敏

S9-1　Key note Lecture
Advances in Quantitative Echocardiography in Ischemmic Heart Disease
University of Pittsburgh, USA　John Gorcsan III

S9-2　経胸壁心エコーによる冠血流速予備能（CFVR）と心筋血流予備量比（FFR）を比較する
和歌山県立医科大学　平田久美子

S9-3　心エコー法を用いた虚血性心疾患の評価
産業医科大学病院　竹内　正明

S9-4　組織ドプラ法を用いた虚血性心疾患の評価
～Detection of Diastolic Abnormality by Dyssynchrony Imaging: DADI
University of Pittsburgh, USA　Toshinari Onishi

S9-5　虚血メモリーイメージング
大阪大学　浅沼　俊彦

S9-6　3D負荷心エコーによる心筋虚血診断：いずれのStrain Rate指標が虚血診断に最も有用か
福島県立医科大学　高野　真澄

7月23日（土）　日本語　E会場

重症虚血肢に対する治療戦略・血管内治療か外科的バイパス術か？　9:00～11:00

座長：東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人
東京大学医学部　宮田　哲郎

S10-1　膝下動脈単独による重症虚血肢に対する血管内治療の治療期成績
関西労災病院　飯田　修

S10-2　EVTファーストで問題無いと考えますが…
時計台記念病院　浦澤　一史

S10-3　下腿病変を有する重症虚血肢に対する血行再建戦略ー血管内治療かバイパス術か？
旭川医科大学　東　信良

S10-4　重症下肢虚血に対する治療法の評価
東京大学医学部　宮田　哲郎

S10-5　末梢血行再建術後の歩行機能の変化と治療期間の検討ーバイパス術のEVTの比較ー
新須磨病院　辻　依子

S10-6　EVTかbypassか、形成外科の選択の基準
杏林大学医学部　大浦　紀彦

7月23日（土）　E会場

浅大腿動脈に対する血管内治療の展望　13:00〜15:00

座長：名古屋大学医学部　古森　公浩
岸和田徳州会病院　横井　良明

S11-1　ステント肯定派
小倉記念病院　曽我　芳光

S11-2
UC Davis Medical Center, USA　John R. Laird

S11-3　Current Drug Eluting Balloon Treatment for SFA
時計台記念病院　浦澤　一史

S11-4　Peripheral Drug-Eluting Stent Update: Zilver PTX Randomized Trial 24-Month Update
Riverside Methodist Hospital, USA　Gary M. Ansel

S11-5　Gore Viabahn Endoprosthesis for Treatment of Complex Superficial Femoral Artery (SFA) Occlusive Disease
Mid-Florida Cardiology, USA　Barry S. Weinstock

E会場

末梢動脈に対する血管内治療時の合併症及びそのbailout　16:00〜18:00

座長：仙台厚生病院　井上　直人
春日井市民病院　大場　泰洋

S12-1　鎖骨下動脈閉塞に対するEVTで上腕動脈まで達する螺旋状動脈解離を来たした一例
済生会横浜市東部病院　平野　敬典

S12-2　末梢動脈に対する血管内治療時の合併症及びそのBailout
仙台厚生病院　鈴木　健之

S12-3　血管内治療の血栓性合併症に対する持続局所血栓溶解療法と強制灌流の有用性
菊名記念病院　山内　靖隆

S12-4
春日井市民病院　大場　泰洋

S12-5　Iliac Artery Rupture during Rercutaneous Transluminal Angioplasty: Prediction, Detection and Optimal Treatment
Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea　Donghoon Choi

S12-6　末梢血管疾患症例に対する血管内治療における合併症：予防と発生時の対策
時計台記念病院　浦澤　一史

S12-7　血管内治療の合併症
小倉記念病院　曽我　芳光

7月23日（土）　日本語　F会場

こんな循環器医の末梢血管内治療は絶対やめてほしい　13:00〜15:00

座長：東京大学医学部　宮田　哲郎
小倉記念病院　横井　宏佳

S13-1　鼠径靱帯以下動脈血管内治療：血管外科医の立場から
東京大学医学部　宮田　哲郎

S13-2　好ましくない血管内治療とは？
旭川医科大学　東　信良

S13-3　下腿動脈閉塞型の重症虚血肢に対するバイパス手術の有用性について
新須磨病院　北野　育郎

S13-4　末梢血管治療を行う循環器科医が有すべき、理念と使命
信州大学医学部附属病院　宮下　裕介

S13-5　循環器医による血管内治療に対する批判は妥当か？
菊名記念病院　宮本　明

S13-6　自己満足のEVTはやめよう
東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

G会場

心原性ショックの治療を究める：循環器医が取り組む集中治療　9:00〜11:00

座長：駿河台日本大学病院　長尾　建
Ochsner Heart and Vascular Institute, USA　Mark A. Grise

S14-1　ショック症例におけるアシストデバイスの役割ーImpella, LVAD, 人工心臓の現況
大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学　坂田　泰史

S14-2　院外心停止における脳蘇生予測
大阪府済生会千里病院　伊藤　賀敏

S14-3　院外心停止に対する脳低温療法と早期再灌流療法
小倉記念病院　白井　伸一

S14-4　院外心停止患者に対する冷生食急速静注による低体温導入の治療効果
札幌医科大学　長谷　守

S14-5　院外心室細動心停止患者に対するE-CPR（体外循環装置・低体温・PCIを用いた侵襲的蘇生法）
駿河台日本大学病院　長尾　建

心血管治療におけるインターベンションと心臓リハビリテーションの融合 ～今、まさに道を究めようとしている人たちへのメッセージ～

11:00～12:00

座長：北野病院　野原　隆司
小倉記念病院　横井　宏佳

S15-1　PCIの効果と限界（総論）
小倉記念病院　横井　宏佳

S15-2　心臓リハビリテーション（総論）
榊原記念病院　長山　雅俊

S15-3　PCI施設における心臓リハビリテーション導入の実際
宮崎市郡医師会病院　柴田　剛徳

S15-4　PCI施設における心臓リハビリテーション導入の実際
群馬県立心臓血管センター　安達　仁

S15-5　心臓リハビリテーションの実際
看護師の役割
榊原記念病院　石井　典子

S15-6　心臓リハビリテーションの実際
理学療法士の役割
小倉記念病院　嶋田　誠治

共催：日本心臓リハビリテーション学会教育研修･広報委員会

コントラバーシ

7月21日（木）　日本語　F会場

遠位部主幹部病変 の治療はPCIかCABGか　10:00～12:00

座長：藤田保健衛生大学　尾崎　行男
日本医科大学付属病院　落　雅美

CV-1
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　高梨秀一郎

CV-2
滋賀医科大学　浅井　徹

CV-3
豊橋ハートセンター　鈴木　孝彦

CV-4
近畿大学医学部　宮崎　俊一

タウンホールミーティング

7月23日（土）　C会場

医療技術の進歩に本邦が取り残されないために！
我々は、今何をしなければならないのか？　9:00〜12:00

第一部　進化し続けるDrug Elutig Stent!!　9:00〜10:30
進化したDESをいち早く本邦で、使用できるようにするために、我々は何をしなければならないのか？
座長：湘南鎌倉総合病院/札幌東徳洲会病院　齋藤　滋
Duke University Medical Center and Duke Clinical Research Institute, USA　Mitchell W. Krucoff

TH1-1　Introduction　DES evolution/biodegradable DES and HBD/DES development in Japan
湘南鎌倉総合病院/札幌東徳洲会病院　齋藤　滋

TH1-2　Current Issues and Future of DES - Clinical & Scientific Values and Challenges
Physicians' View
京都大学医学部附属病院　木村　剛

TH1-3　Current available bioabsorbable polymer DES in Japan
テルモ株式会社　石原　和人

TH1-4　Future pipeline of DES
Boston Scientific Future Product Pipeline
Boston Scieitific Corporation　内田　毅彦

TH1-5　Abbott Vascular Future Product Pipeline / BVS
Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton

TH1-6　我が国における国際的な医療機器開発にHBDがもたらしたもの
医薬品医療機器総合機構　池田　浩治

パネルディスカッション
パネリスト：帝京大学医学部　上妻　謙
Stanford University, USA　Fumiaki Ikeno
医薬品医療機器総合機構　池田　浩治
医薬品医療機器総合機構　鈴木　由香
Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton
テルモ株式会社　石原　和人
Boston Scieitific Corporation　内田　毅彦

第二部　経皮的弁膜症治療は、欧州では、すでに日常臨床として使用されている！　10:30〜12:00
果たして本邦にいつやってくるのか？

座長：東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人
Stanford University, USA　Fumiaki Ikeno
Boston Scieitific Corporation　内田　毅彦

TH2-1　現在の経皮的弁膜症治療のデバイスラグの現状
Stanford University, USA　Fumiaki Ikeno

TH2-2　現在の状況について：Physicians' View（大動脈弁）
大阪大学　澤　芳樹

TH2-3　MitraClip Therapy – System Engineering and Learning
University of Virginia, USA　Scott Lim

TH2-4　Global & Japan updates
Edwards Lifesciences LLC.　Huimin Wang

TH2-5　Transecatheter Valve Program
Medtronic Inc., USA　Thomas L. Armitage

TH2-6　Status update – Industry View－ Mitral Clip
Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton

TH2-7　革新的医療機器のdevice lagを生まないために出来ること
医薬品医療機器総合機構　鈴木　由香

パネルディスカッション

パネリスト：湘南鎌倉総合病院/札幌東徳洲会病院　齋藤　滋
大阪大学　澤　芳樹
大阪大学　中谷　敏
医薬品医療機器総合機構　池田　浩治
医薬品医療機器総合機構　鈴木　由香
Duke University Medical Center and Duke Clinical Research Institute, USA　Mitchell W. Krucoff
University of Virginia, USA　Scott Lim
Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton
Edwards Lifesciences LLC.　Huimin Wang
Medtronic Inc., USA　Thomas L. Armitage

共催シンポジウム

7月21日（木）　B会場

Diagnosis of vulnerable plaque and clinical implication: How to use it for what?

13:00～15:00

座長：大阪警察病院　上田　恭敬
CV Path Institute, Inc., USA　Renu Virmani

JP1-1　Diagnosis of vulnerable plaque and clinical implication: How to use it for what?
-Sponsored by InfraReDx- Pathological overview
CV Path Institute, Inc., USA　Renu Virmani

JP1-2　不安定プラークの最新話題　ーVH-IVUSを用いてー
Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA　Akiko Maehara

JP1-3　OCTによる不安定プラークの同定、急性冠症候群発症のリスク評価は可能か？
神戸大学　志手　淳也

JP1-4　光干渉断層法を用いて急性冠症候群のプラーク形態の相違や病変のインターベンションに対する反応を知ることの重要性
和歌山県立医科大学　赤阪　隆史

JP1-5　血管内視鏡は遅発性ステント血栓症のハイリスクである“vulnerable stent”を予測できるか？
関西労災病院　粟田　政樹

JP1-6　血管内視鏡を用いたVulnerable PlaqueおよびDisrupted Plaqueの診断による治療法の改善
大阪警察病院　上田　恭敬

JP1-7　Combined near-infrared spectrosopy and IVUS for coronary plaque characterization: implications for vulnerable plaque detection
InfraReDx, Inc., USA　James Muller

JP1-8　Diagnosis of Vulnerable Plaque: Clinical Implications of InfraReDx IVUS Fingdings
St. Louis University Health Sciences Center, USA　Michael Lim

共催：InfraReDx, Inc.

7月21日（木）　D会場

DESを究める：DES status of new program

10:00〜12:00

座長：大阪警察病院　上田　恭敬
CV Path Institute, Inc., USA　Renu Virmani

JP2-1　来るDES戦国時代でのXIENCE Vの立ち位置を考える
三井記念病院　田邉　健吾

JP2-2　Future DES Programs from Abbott Vascular
Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton

JP2-3　ELEMENT ～新たなDESプラットフォームへの期待～
神戸大学　志手　淳也

JP2-4　最新のDES・Noboriについて
土谷総合病院　塩出　宣雄

JP2-5　自施設の使用経験から見るZESの至適適応について
東京慈恵会医科大学附属病院　小川　崇之

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社
テルモ株式会社
日本メドトロニック株式会社
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

E会場

DEB summit

13:00〜15:00

座長：小倉記念病院　横井　宏佳

JP3-1　DEB:the German consensus group recommendations and possible new indications
Medizinisches Versorgungszentrum, Germany　Detlef G. Mathey

JP3-2　Drug-eluting Balloon: What is its current status and what possible areas of use?
National Heart Center, Malaysia　Mohd Ali Rosli

JP3-3　Drug-eluting balloons for lower limb arterial disease
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany　Andrej Schmidt

共催：ニプロ株式会社
日本メドトロニック株式会社

7月21日（木）　日本語　F会場

Interventional CardiologistがＥＰを究める　16:00～18:00

座長：大阪労災病院　西野　雅巳
済生会泉尾病院　吉長　正博

JP4-1　心疾患のトータルマネージメントを目指して
関西労災病院　渡部　徹也

JP4-2　冠動脈インターベンショナリストによる心房細動アブレーション
大阪労災病院　江神　康之

JP4-3　虚血性心筋症
横浜総合病院　竹中　創

JP4-4　Interventional Cardiologistによるカテーテルアブレーション
－患者にとっての利点と不利益について－
旭中央病院　佐藤　寿俊

JP4-5　カテーテル侍への道
心臓血管センター金沢循環器病院　土谷　武嗣

共催：セント・ジュード・メディカル株式会社
日本ライフライン株式会社

G会場

胸・腹部ステントグラフト術での挑戦　9:00～11:00

座長：奈良県立医科大学附属病院　吉川　公彦
大阪大学　倉谷　徹

JP5-1　Update on EVAR and TVAR
Riverside Methodist Hospital, USA　Gary M. Ansel

JP5-2　CTよりより適した動脈瘤を読みぬくコツ
奈良県立医科大学附属病院　東浦　渉

JP5-3　IFU症例を確実に施行するコツ
京都大学大学院医学研究科　田崎　淳一

JP5-4　IFU外症例に対するステントグラフト術のコツ
森之宮病院　加藤　雅明

JP5-5　胸部大動脈におけるTEVAR
神戸大学大学院医学系研究科　大北　裕

共催：クックジャパン株式会社
コスモテック株式会社
日本ゴア株式会社
日本メドトロニック株式会社
株式会社メディコスヒラタ

7月22日（金）　日本語　K会場

石灰化病変の診断と治療を究める

9:00～11:00

座長：岐阜ハートセンター　上野　勝己
京都桂病院　中村　茂

JP6-1　石灰化病変における心臓CTの有用性
新古賀病院　川崎　友裕

JP6-2　石灰化病変に対するPCIでのfrequency domain type OCTの有用性
神戸大学　志手　淳也

JP6-3　石灰化病変における、エベロリムス溶出ステントのポリマーダメージに対するロータブレーターの有用性
宮崎市郡医師会病院　栗山　根廣

JP6-4　ローターブレーター治療におけるMDCTの有用性
大阪大学大学院医学系研究科　野嶋　祐兵

JP6-5　石灰化病変におけるCutting Ballonの有用性
豊橋ハートセンター　木下　順久

JP6-6　石灰化病変及び石灰化した分岐部病変にたいするローテーショナルアスレクトミーの役割
北光記念病院　野崎　洋一

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

日本語　L会場

第6回 日本血管内OCT研究会

9:00～12:00

座長：和歌山県立医科大学　赤阪　隆史
倉敷中央病院　門田　一繁
名古屋大学　室原　豊明

コメンテーター：済生会横浜市東部病院　石盛　博
福山循環器病院　竹林　秀雄
横浜市立大学附属市民総合医療センター　日比　潔

特別講演
JP7-1　病理像から見るＤＥＳ留置後の治癒過程および血栓形成について
兵庫医科大学　羽尾　裕之

ＯＣＴ症例提示
大阪警察病院　松尾　浩志
大阪大学大学院医学系研究科　野嶋　祐兵
兵庫医科大学　藤井　健一
小倉記念病院　兵頭　真
浦添総合病院　上原　裕規
石心会狭山病院　長谷川耕太郎

共催：株式会社グッドマン
セント・ジュード・メディカル株式会社

DES留置後抗血小板療法における消化管出血

10:00～12:00

座長：大阪大学　南都　伸介
自治医科大学附属病院　菅野健太郎

JP8-1　抗血小板療法の問題点と対策
帝京大学医学部附属病院　一色　高明

JP8-2　消化器内科医から見た消化管出血の実態と対策
自治医科大学附属病院　菅野健太郎

JP8-3　プロトンポンプ阻害薬のアスピリン起因性胃粘膜傷害への効果、およびクロピドグレルとの薬物間相互作用について
浜松医科大学医学部附属病院　古田　隆久

共催：武田薬品工業株式会社

FFRを究める：FFRを臨床にいかに活用するか？

8:30〜11:00

座長：和歌山県立医科大学　赤阪　隆史
小倉記念病院　横井　宏佳

Lecture: FFRの基礎

JP9-1　冠動脈圧をどう解釈するか
社会保険紀南病院　久保　隆史

JP9-2　最大充血の意義と方法
岐阜ハートセンター　松尾　仁司

JP9-3　グレーゾーンとCut-off値の理解
東京医科大学　田中　信大

基調講演

JP9-4　FFRの重要性とFAMEの考察
University of Technology and Catharina Hospital, The Netherlands　Nico H. J. Pijls

Discussion: FFRの臨床応用

コメンテーター：University of Technology and Catharina Hospital, The Netherlands　Nico H. J. Pijls
社会保険紀南病院　久保　隆史
岐阜ハートセンター　松尾　仁司
東京医科大学　田中　信大

JP9-5　Tandem Lesion
東海大学医学部附属病院　森野　禎浩

JP9-6　Side Branch
群馬県立心臓血管センター　河口　廉

JP9-7　LMT
秋田県成人病医療センター　佐藤　匡也

JP9-8　STEMI
大阪府済生会千里病院　伊藤　賀敏

JP9-9　FFRとOptimal Medical Therapy
小倉記念病院　横井　宏佳

JP9-10　Take-home Message
実臨床における機能評価の役割
和歌山県立医科大学　赤阪　隆史

共催：セント・ジュード・メディカル株式会社

第5回ASD/PFOカテーテル治療研究会　9:00～11:00

座長：岡山大学　赤木　禎治
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　高山　守正
昭和大学横浜北部病院　富田　英
東邦大学医療センター大橋病院　原　英彦

CVIT施設で始まった成人ASDカテーテル治療：実施体制の現状と課題

JP10-1　Amplatzer Septal Occluderの国内の使用現況
昭和大学横浜北部病院　富田　英

JP10-2　CVIT施設・会員のASDカテ治療申請と実施資格取得
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　高山　守正

JP10-3　新規に展開する成人ASDカテ治療
小倉記念病院　白井　伸一

JP10-4　Amplatzer Septal Occluder治療の開始と発展
慶應義塾大学医学部　河村　朗夫

Adult Cardiologistに知って欲しい症例を通しての成人ASD治療のポイント

JP10-5　症例を通して学んだ私の経験
東邦大学医療センター大橋病院　原　英彦

JP10-6　老人のUncomensated Hemodynamicsは改善するか？
岡山大学　赤木　禎二

JP10-7　心房細動合併症の治療
岡山大学　谷口　学

JP10-8　致死的合併症Cardiac Erosionを避ける眼を持つ
埼玉医科大学　小林　俊樹

共催：セント・ジュード・メディカル株式会社
日本ライフライン株式会社

教育セッション

7月21日（木）　日本語　F会場

イメージング入門　8:00〜9:00

座長：虎の門病院　石綿　清雄

ES1-1　How to read CAG & CAG based PCI
心臓血管センター金沢循環器病院　堀田　祐紀

ES1-2　How to read IVUS & IVUS based PCI
済生会横浜市東部病院　伊藤　良明

日本語　G会場

PCI基本手技：ガイディングカテーテル編　8:00〜9:00

座長：桜橋渡辺病院　藤井　謙司

ES2-1　ガイディングカテーテルの基本構造、種類と特徴
京都桂病院　中村　茂

ES2-2　ガイディングカテーテルの選択、操作方法とその工夫
兵庫県立姫路循環器病センター　林　孝俊

日本語　H会場

EVTの基本手技　〜その時オペレーターは何を考えているのか？〜；Aortoiliac　8:00〜9:00

座長：心臓血管センター金沢循環器病院　土谷　武嗣

ES3-1　症例から学ぶ基本手技：Aortoiliac
仙台厚生病院　鈴木　健之

ES3-2　合併症と術後フォロー
済生会横浜市東部病院　平野　敬典

7月22日（金）　日本語　F会場

イメージング入門　8:00〜9:00

座長：金沢医科大学病院　北山　道彦

ES4-1　Grey-scale/ color-coded IVUS guided PCI
府中恵仁会病院／岐阜ハートセンター　本江　純子

ES4-2　FFR guided PCI
京都第二赤十字病院　藤田　博

7月22日（金）　日本語　G会場

PCI基本手技：ガイドワイヤー編　8:00〜9:00

座長：青森県立中央病院　吉町　文暢

ES5-1　ガイドワイヤーの基本構造
兵庫医科大学　舛谷　元丸

ES5-2　ガイドワイヤーの選択
東海大学　松陰　崇

ES5-3　ガイドワイヤーの曲げ方と操作方法
青森県立中央病院　吉町　文暢

日本語　H会場

EVTの基本手技　〜その時オペレーターは何を考えているのか？〜；Femoropopliteal　8:00〜9:00

座長：関西労災病院　飯田　修

ES6-1　症例から学ぶ基本手技：Femoropopliteal
兵庫医科大学　川崎　大三

ES6-2　合併症と術後フォロー
小倉記念病院　曽我　芳光

7月23日（土）　日本語　F会場

イメージング入門　8:00〜9:00

座長：千葉大学大学院医学研究院　小林　欣夫

ES7-1　MDCT/ MRI oriented PCI
新古賀病院　川崎　友裕

ES7-2　OCT/ IVUS oriented PCI
藤田保健衛生大学　尾崎　行男

日本語　G会場

PCI基本手技：バルーン＆ステント編　8:00〜9:00

座長：横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター　日比　潔

ES8-1　バルーンの基本構造と種類・バルーンの選択と使用方法
済生会横浜市東部病院　村松　俊哉

ES8-2　ステントの種類・ステントの選択と留置
帝京大学医学部　上妻　謙

EVTの基本手技　～その時オペレーターは何を考えているのか？～；Below-the-knee　8:00～9:00

座長：小倉記念病院　曽我　芳光

ES9-1　症例から学ぶ基本手技：Below-the-knee

時計台記念病院　浦澤　一史

ES9-2　合併症と術後フォロー

関西労災病院　飯田　修

コメディカル特別講演・コメディカルシンポジウム

7月23日（土）　日本語　I会場

コメディカル特別講演　11:00〜11:15

座長：岐阜ハートセンター　稲田　毅

CSL

帝京大学医学部附属病院　一色　高明

日本語　I会場

【放射線】

心臓CTの現状と課題、次世代CTに求めるもの　13:15〜15:15

座長：高井病院　井上　健
国立循環器病研究センター　横山　博典

CS-1　期外収縮症例の冠動脈320列ADCTの検討－64列MDCTとの比較－

高瀬クリニック　佐野　始也

CS-2　冠動脈石灰化についての報告～心臓検診の勧め～

草津ハートセンター　村上　和男

CS-3　PCI治療を目的とした冠動脈CTAによるCTO病変のRetrograde channelの描出と治療支援画像

北海道社会保険病院　山口　隆義

CS-4　2管球CTを使用した心臓CT検査の現状と今後の可能性

今里クリニック　上田　祐二

CS-5　256スライスCTとiDose4（被ばく低減・画質向上）技術で変わる心臓CD戦略

桜橋渡辺病院　堀江　誠

コメディカルパネルディスカッション

7月21日（木）　日本語　I会場

【放射線】
PCI now！PCI初学者が知っておくべき基礎知識　13:00～15:00

座長：星総合病院　添田　信之
東京西徳洲会病院　園村　恭子

CPD1-1　PCIの概要-冠動脈の治療を理解しよう
名古屋ハートセンター　山口　敏和

CPD1-2　CAGの読み方-冠動脈の解剖を理解しよう
北海道社会保険病院　平田　和也

CPD1-3　心電図の読み方-ＳＴ変化を理解しよう
三重ハートセンター　辻井　正人

CPD1-4　心内圧の読み方-血行動態を把握しよう
滋賀県立成人病センター　赤松　俊二

CPD1-5　心臓カテーテル治療における看護
岐阜ハートセンター　大築　理和

CPD1-6　放射線被ばく-放射線の知識を学ぼう
昭和大学病院　佐藤　久弥

7月22日（金）　日本語　I会場

【臨床工学】
カテ室における新人教育について　9:00～11:00

座長：倉敷中央病院　清水　速人
小倉記念病院　松岡さおり

CPD2-1　当院カテ室における新人教育について
済生会横浜市東部病院　笹岡　俊介

CPD2-2　PADの診断および治療に対する生理検査技師の新人教育
済生会横浜市東部病院　永井美枝子

CPD2-3　スタッフ教育の検討
土谷総合病院　橋岡　美和

CPD2-4　当院カテ室における新人教育の現状
岸和田徳洲会病院　木下　博子

CPD2-5　当院における新人（勤務交代者）教育の現状と今後の課題
倉敷中央病院　合田須美子

7月22日（金）　日本語　I会場

【臨床工学】
カテ室での機器・データ管理・運用方法　16:00〜18:00

座長：岐阜ハートセンター　稲田　毅
CVIT事務局　太田　悦雄

CPD3-1　当院カテ室におけるデータ・機器管理の現状
済生会横浜市東部病院　田澤美生子

CPD3-2　当院カテ室で医療機器の管理運用方法
東邦大学医療センター大森病院　山下　稔晴

CPD3-3　心臓カテーテル検査及び経皮的冠動脈形成術データベースの作成と運用
ハートライフ病院　弓濱　義之

CPD3-4　患者様のQOLを高めるための機器・データ管理運用方法の取り組み
奈良県立奈良病院　筒井　大輔

CPD3-5　東海メディカル社製7FrTAUシリーズ応答試験
千葉中央メディカルセンター　配野　治

CPD3-6　当院における循環器系検査のデータ管理方法
東京警察病院　椎原　大介

CPD3-7　Door To Balloon Time (DTBT)短縮へのコメディカルの取り組み
みやぎ東部循環器科　杵渕　泰洋

7月23日（土）　日本語　I会場

【看護師】
チーム医療での看護の役割　9:00〜11:00

座長：国立病院機構長崎医療センター　大石　景子
湘南鎌倉総合病院　島袋　朋子

CPD4-1　CAG・PCIを受ける患者の視覚的効果による不安軽減
仙台厚生病院　佐藤　未樹

CPD4-2　看護師の弾性ストッキング着用手技の統一化に向けて
仙台厚生病院　渡辺　智晴

CPD4-3　カテユニット過ごす患者の待ち時間に対する感じ方・受け止め方
倉敷中央病院　高杉美代子

CPD4-4　心臓カテーテル検査後の皮膚損傷（かぶれ）予防
オレンジソルベント®を使用した止血粘着テープのはがし方の考察
総合太田病院　外山　郁子

CPD4-5　チーム医療における心カテ室看護師の取り組み
ー心臓カテーテル手技の術前訪問記録シートの作成ー
名古屋市立東部医療センター東市民病院　酒井　稔子

共催セミナー（プログラム）

サテライトシンポジウム

モーニングセミナー

ランチョンセミナー

コーヒーブレークセミナー

ファイアサイドセミナー

サテライトシンポジウム

7月20日（水）　M会場

The Future of PCI: Bioresorbable Scaffold Technology Case Presentation -Live Transmission from Europe　18:00〜20:00

座長：京都大学医学部附属病院　木村　剛
Maasstad Hospital, The Netherlands　Elvin Kedhi

オペレーター：Thoraxcenter, Erasmus Medical Center, The Netherlands　Carl J. Schultz
Thoraxcenter, Erasmus Medical Center, The Netherlands　Nicolas Van Mieghem
パネリスト：倉敷中央病院　門田　一繁
三井記念病院　田邉　健吾
小倉記念病院　山地　杏平

SS1-1　BVS Design and Rationale
Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton

SS1-2　BVS Clinical Data Update
Thoraxcenter, Erasmus Medical Center, The Netherlands　Yoshinobu Onuma

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

日本語　L会場

重症下肢虚血に対する治療戦略　18:00〜20:00

座長：東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人
新須磨病院　北野　育郎

コメンテーター：菊名記念病院　宮本　明
神戸大学医学部附属病院　寺師　浩人
旭川医科大学　東　信良

SS2-1
時計台記念病院　浦澤　一史

SS2-2
関西労災病院　飯田　修

SS2-3
小倉記念病院　曽我　芳光

共催：大塚製薬株式会社
株式会社カネカメディックス

日本語　N会場

新世代DES：Nobori　ー抗血小板療法とNIPPON trialについてー　18:00〜20:00

座長：大阪大学　南都　伸介
小倉記念病院　横井　宏佳

SS3-1
神戸大学　新家　俊郎

SS3-2
自治医科大学附属さいたま医療センター　阿古　潤哉

SS3-3
東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

共催：テルモ株式会社

モーニングセミナー

7月22日（金）　日本語　N会場

抗血小板療法と消化管出血　8:00〜9:00

座長：大阪府済生会千里病院　伊藤　賀敏

MS

小倉記念病院　横井　宏佳

共催：武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー

7月21日（木）　C会場

末梢血管インターベンション　PAD治療の将来　12:00〜13:00

座長：小倉記念病院　横井　宏佳

LS1

Riverside Methodist Hospital, USA　Gary M. Ansel

共催：クックジャパン株式会社
株式会社メディコスヒラタ

D会場

心不全治療における再同期療法：冠動脈疾患におけるアップデート　12:00〜13:00

座長：関西労災病院　上松　正朗

LS2-1　Introduction to Advanced Imaging Methods for CRT

University of Pittsburgh, USA　Toshinari Onishi

LS2-2　The role of Advanced Imaging in CRT

University of Pittsburgh, USA　John Gorcsan III

共催：日本メドトロニック株式会社

E会場

Invitation to Global Vascular Management　12:00〜13:00

座長：東海大学　伊苅　裕二
帝京大学医学部附属病院　一色　高明

LS3-1　Prevalence between CVD and CAD in Japan

武蔵野赤十字病院　梅本　朋幸

LS3-2　Prevalence between PAD and CAD in Japan

山形大学医学部　高橋　大

LS3-3　Global Vascular Management in Korea

Sanggye-Paik Hospital, Inje University, Korea　Choong-Won Goh

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

日本語　F会場

冠動脈複雑病変に対するPCI治療戦略
～Tips & Tricks, Device Selection and Trouble-Shooting～　12:00～13:00

座長：北海道社会保険病院　五十嵐慶一

LS4-1
帝京大学医学部　上妻　謙

LS4-2
宮崎市郡医師会病院　柴田　剛徳

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

日本語　G会場

テーラーメイドの心臓検査と治療　12:00～13:00

座長：済生会横浜市東部病院　村松　俊哉

LS5-1　256 slice CTとiDose^{4}を用いたCardiac Morphology and Physiology
桜橋渡辺病院　小山　靖史

LS5-2　心血管撮影装置におけるカスタマイズの重要性
青森県立中央病院　吉町　文暢

共催：株式会社フィリップス エレクトロニクス ジャパン

日本語　H会場

Biosensors社ステントテクノロジー ―臨床成績による評価―　12:00～13:00

座長：仙台厚生病院　井上　直人

LS6-1　心臓病センター榊原病院におけるS-STENTの治療成績
心臓病センター榊原病院　廣畑　敦

LS6-2　近江八幡市立総合医療センターにおけるS-STENTの治療成績
近江八幡市立総合医療センター　全　完

LS6-3　LEADERS Trial / BioFreedom FIM Update
仙台厚生病院　多田　憲生

共催：日本バイオセンサーズ株式会社

日本語　I会場

心筋梗塞に伴う不整脈薬物治療　12:00～13:00

座長：京都大学医学部附属病院　木村　剛

LS7-1　心筋梗塞急性期の薬物治療
京都大学　静田　聡

LS7-2　心筋梗塞慢性期の薬物治療
弘前大学医学部　奥村　謙

共催：サノフィ・アベンティス株式会社

7月21日（木）

日本語　J会場

PCIに関連した血栓症とヘパリン起因性血小板減少症　12:00～13:00

座長：新潟市民病院　小田　弘隆

LS8-1　血小板活性化状態における経皮的冠動脈インターベンション
三友堂病院　阿部　秀樹

LS8-2　ヘパリン起因性血小板減少症の診断と治療：知っておきたい最新情報
国立循環器病研究センター　宮田　茂樹

共催：第一三共株式会社
田辺三菱製薬株式会社

日本語　K会場

心血管インターベンション治療における心臓ＣＴの役割　12:00～13:00

座長：慶應義塾大学　栗林　幸夫

LS9-1　高速CTにβ遮断薬は必要か？－ランジオロール塩酸塩の新たな展開－
東京医科大学　平野　雅春

LS9-2　心血管インターベンション治療における心臓CTの意義
慶應義塾大学　陣崎　雅弘

共催：小野薬品工業株式会社

日本語　L会場

血管内治療の最前線（抗血小板薬の役割）　12:00～13:00

座長：東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

LS10　脳卒中治療最前線、CASのupdate
神戸市立医療センター中央市民病院　坂井　信幸

共催：大塚製薬株式会社

日本語　M会場

PCI（DES）後のベスト管理
－DES留置後のOptimal outcomeの追及－　12:00～13:00

座長：豊橋ハートセンター　鈴木　孝彦

LS11-1　心血管病の最高の予防とは
大阪大学　小室　一成

LS11-2　RAS抑制剤における内皮機能保護作用
豊橋ハートセンター　寺島　充康

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

7月21日（木）　日本語　N会場

Interventional Cardiologistの糖尿病治療はどう変わるのか？　12:00～13:00

座長：和歌山県立医科大学　赤阪　隆史

LS12

京都桂病院　中村　茂

共催：MSD株式会社

7月22日（金）　B会場

Safety of XIENCE V: New Perspective from the Expert's Research
～ポリマーコーティングDESについての「誤解」と「可能性」～　12:00～13:00

座長：大阪大学　南都　伸介
CV Path Institute, Inc., USA　Renu Virmani
Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton

LS13-1　The Clinical Impact of DES Evolution

Maasstad Hospital, The Netherlands　Elvin Kedhi

LS13-2　Is Biodegradable polymer DES always better than 2nd Gen DES?

東海大学　中澤　学

LS13-3　Angioscopic Evaluation of Arterial Repair Following XIENCE V Implantation

関西労災病院　粟田　政樹

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

C会場

新世代DES：Nobori
ーNoboriの最新情報と臨床試験「NEXT」ー　12:00～13:00

座長：和歌山県立医科大学　赤阪　隆史

LS14-1

帝京大学医学部　上妻　謙

LS14-2

倉敷中央病院　門田　一繁

共催：テルモ株式会社

D会場

PCI施行例における脂質管理の意義　12:00～13:00

座長：順天堂大学　代田　浩之

LS15

University of Rome, Italy　Germano Di Sciascio

共催：アステラス製薬株式会社
ファイザー株式会社

7月22日（金）　日本語　E会場

ガイディングカテーテルを究める～PCI歴5年目からのガイディングカテーテル選び　12:00～13:00

座長：京都桂病院　中村　茂
大阪大学/野崎･名古屋徳洲会病院　角辻　暁

LS16-1　今こそ聞きたい！ガイディングカテーテルABC～エキスパートへの道～Dr.角辻編
大阪大学/野崎･名古屋徳洲会病院　角辻　暁

LS16-1　今こそ聞きたい！ガイディングカテーテルABC～エキスパートへの道～Dr.中村編
京都桂病院　中村　茂

共催：朝日インテック株式会社
朝日インテックJセールス株式会社
セント・ジュード・メディカル株式会社

日本語　F会場

ACE阻害薬を再考する　12:00～13:00

座長：名古屋第二赤十字病院　平山　治雄

LS17　DES時代の冠動脈疾患治療：その質を高める
久留米大学　上野　高史

共催：田辺三菱製薬株式会社

日本語　G会場

Platinum as Next Evolutionary Stage　12:00～13:00

座長：湘南鎌倉総合病院　齋藤　滋

LS18-1　A Prospective, Randomized Investigation of a Novel Platinum Chromium Everolimus-Eluting Coronary Stent: The PLATINUM Trial
東京女子医科大学病院　森　文章

LS18-2　ELEMENT: New Material, New Design and New Technology
小倉記念病院　横井　宏佳

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

日本語　H会場

No-reflow/slow flowに対する予防戦略　12:00～13:00

座長：帝京大学医学部附属病院　一色　高明

LS19-1　Emergent及びElective PCIにおけるFiltrapの有用性
～血管内視鏡を用いたSlow flow/No-reflow高リスク症例の検討～
大阪警察病院　松尾　浩志

LS19-2　VAMPIRE 2 Study
関西労災病院　石原　隆行

共催：ニプロ株式会社
日本ライフライン株式会社

日本語　I会場

冠動脈疾患に対する薬物治療　－日本人エビデンスの重要性－　12:00～13:00

座長：近森病院　川井　和哉

LS20　冠動脈疾患に対する薬物治療－IVUS試験からみた日本人エビデンスの重要性－

済生会熊本病院　中尾　浩一

共催：興和創薬株式会社

日本語　J会場

Global Vascular Intervention based on ATIS　12:00～13:00

座長：大垣市民病院　曽根　孝仁

LS21　Panvascular DiseaseにおけるATISの概念の重要性

岸和田徳洲会病院　横井　良明

共催：サノフィ・アベンティス株式会社

日本語　K会場

Practical Clinical Use of VH IVUS　12:00～13:00

座長：新古賀病院　川崎　友裕

LS22-1　VH IVUS解析による動脈硬化プラークの退縮機序について

横浜栄共済病院　道下　一朗

LS22-2　PROSPECスタディ後のVH IVUSが臨床領域にもたらす可能性と将来像

Cardiovascular Research Foundation, USA　前原　晶子

共催：ボルケーノ・ジャパン株式会社

日本語　L会場

冠動脈疾患患者の脂質低下療法の最新のエビデンス～心血管事故と動脈硬化～　12:00～13:00

座長：大阪警察病院　上田　恭敬

LS23

順天堂大学医学部　宮内　克己

共催：アストラゼネカ株式会社
塩野義製薬株式会社

M会場

新しいコンセプトの国産BMSの開発とデータ

12:00～13:00

座長：京都大学医学部附属病院　木村　剛

LS24-1　新しい国産ＢＭＳのコンセプトと設計及び前臨床データ

関西電力病院　片岡　一明

LS24-2　新しいコンセプトのＢＭＳの臨床データ－欧州での治験結果から－

University of Bristol, UK　Andreas Baumbach

共催：フクダ電子株式会社

日本語　N会場

最新画像がもたらす診断・治療イノベーション

12:00～13:00

座長：天理よろづ相談所病院　中川　義久

LS25-1　心エコー3D Speckle Trackingがとらえる新しい心筋虚血診断

関西電力病院　石井　克尚

LS25-2　320列面検出器CTのうりと今後の方向性

三井記念病院　田邉　健吾

共催：東芝メディカルシステムズ株式会社

日本語　O会場

虚血に伴う心不全治療最前線

12:00～13:00

座長：東北大学大学院医学系研究科　下川　宏明

LS26-1　虚血に伴う心不全－インターベンションのアウトカムを上げるβ遮断薬療法－

社会保険　小倉記念病院　有田　武史

LS26-2　虚血に伴う心不全の薬物治療

東京医科歯科大学大学院　磯部　光章

共催：第一三共株式会社

B会場

Innovation from Abbott Vascular: A Glimpse into the Future
～PCI治療における次世代のテクノロジー：次世代EES、Vasucular Restoration Therapy、およびTranscatheter Mitral Valve Repair～

12:00～13:00

座長：帝京大学医学部附属病院　一色　高明
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　高山　守正
Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton

LS27-1　The Next Generation EES
帝京大学医学部　上妻　謙

LS27-2　Bioresorbable Scaffolds: From Benchwork to Clinical Application
CV Path Institute, Inc., USA　Renu Virmani

LS27-3　Mitra Clip Therapy -System Engineering and Learning
University of Virginia, USA　Scott Lim

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

日本語　C会場

このAMI症例　あなたならどうする？
ーNAUSICA-AMI trialの提言ー

12:00～13:00

座長：湘南鎌倉総合病院/札幌東徳洲会病院　齋藤　滋

LS28-1　AMI case presentation
大牟田天領病院　山下　卓郎

LS28-2　私はこう考える①
兵庫医科大学　舛谷　元丸

LS28-3　私はこう考える②
自治医科大学病院　勝木　孝明

LS28-4　総括　ーNAUSICA-AMI Trialの提言-
湘南鎌倉総合病院/札幌東徳洲会病院　齋藤　滋

共催：テルモ株式会社

D会場

PAD Intervention: The Evidence to Date and Our Expectations for the Future

12:00～13:00

座長：大阪大学　南都　伸介

LS29-1　Endovascular Therapy for the Patient with Peripheral Artery Disease
関西労災病院　飯田　修

LS29-2　Overview of New Therapies for Lower Extremity Revascularization
UC Davis Medical Center, USA　John R. Laird

共催：株式会社メディコン

E会場

エキシマレーザシステム

12:00〜13:00

座長：信州大学医学部附属病院　宮下　裕介

LS30　The Excimer Laser Angioplasty for Coronary and Peripheral

Bryn Mawr Hospital, USA　Antonis Pratsos

共催：ディーブイエックス株式会社

日本語　F会場

腎動脈ステント留置術：今、何が求められているのか？

12:00〜13:00

座長：岸和田徳洲会病院　横井　良明
東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

LS31-1　薬物療法の進化はPTRAの効果を超えているのか

東北大学病院　阿部　高明

LS31-2　PTRAは予後を改善するのか？ー実施すべき症例、実施すべきでない症例とは？ー

心臓血管センター北海道大野病院　山下　武廣

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

日本語　G会場

薬剤溶出性ステントの普及による臨床現場の変化

12:00〜13:00

座長：東京医科大学　山科　章

LS32　血管内視鏡による新世代DES留置後の血管治癒性状の評価

関西労災病院　粟田　政樹

共催：富士フイルムRIファーマ株式会社

日本語　H会場

急性心筋梗塞レジストリーからの新知見

12:00〜13:00

座長：大阪大学　澤　芳樹

LS33

大阪大学　小室　一成

共催：武田薬品工業株式会社

日本語　I会場

思わぬ合併症―その時、あなたはどうする？―

11:15〜13:15

座長：大阪警察病院　上田　恭敬

LS34

大阪警察病院　松尾　浩志

共催：株式会社ハート・オーガナイゼーション

7月23日（土）　日本語　J会場

ここまでできるクリニカルパス　12:00～13:00

座長：日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　住吉　徹哉

LS35-1　CAGクリニカルパスへの禁煙指導の導入－禁煙困難者への挑戦－

日本医科大学　浅井　邦也

LS35-2　循環器患者に対する禁煙治療

日本医科大学　宮武　佳子

共催：ファイザー株式会社

コーヒーブレークセミナー

7月21日（木）　日本語　B会場

アンテグレードCTOを究める！―病理からIVUS Guide CTO、さらに最新デバイスまで―　15:00～16:00

座長：済生会横浜市東部病院　村松　俊哉

CB1-1　Nature of CTO Lesions

東海大学　中澤　学

CB1-2　知って得する、アンテグレードテクニック

石心会狭山病院　山根　正久

CB1-2　IVUS Guide Wiringの基礎を学ぼう

豊橋ハートセンター　那須　賢哉

CB1-4　使用経験に見るNEWハイブリッドワイヤーの可能性

新古賀病院　川崎　友裕

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

日本語　D会場

注目が集まるCT低被ばく化イノベーション　15:00～16:00

座長：草津ハートセンター　許　永勝

CB2-1　GE CTの被ばく低減の歴史と最新技術

GEヘルスケア・ジャパン株式会社　渡辺　誠記

CB2-2　超低被ばく心臓CT - 従来の1/10レベルを実現

社会福祉法人仁生社江戸川病院　慶田　毅彦

共催：GEヘルスケア・ジャパン株式会社

7月21日（木）　F会場

Strategy of EVT for Limb Salvage
-Front-line Treatment Strategy from Europe and Challenge of Japanese Treatment-　15:00～16:00

座長：小倉記念病院　横井　宏佳

CB4-1　Front-Line Treatment Strategy of EVT for Limb Salvage
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany　Andrej Schmidt

CB4-2　Challenge of Japanese EVT for Limb Salvage
関西労災病院　飯田　修

共催：日本メドトロニック株式会社

日本語　G会場

水利尿薬の可能性　15:00～16:00

座長：大阪大学　小室　一成

CB5　心不全治療における利尿剤の位置づけと使い方
日本大学　平山　篤志

共催：大塚製薬株式会社

日本語　J会場

「循環器カテーテル検査治療看護師　研修」説明会　15:00～16:00

CB28

共催：株式会社ハート・オーガナイゼーション

日本語　K会場

PCI施行患者における長期予後管理の将来展望
ー冠危険因子の総合的管理の重要性ー　15:00～16:00

座長：豊橋ハートセンター　鈴木　孝彦

CB6
順天堂大学医学部　宮内　克己

共催：MSD株式会社

日本語　L会場

医療事故と法的責任～PCI施行時に冠穿孔を生じた事例をもとに～　15:00～16:00

座長：杏林大学医学部附属病院　吉野　秀朗

CB7
関谷法律事務所　弁護士　宗像　雄

共催：特定非営利活動法人インターベンションのエビデンスを創る会

7月21日（木）　日本語　M会場

J-PCIの現況と今後の展開　15:00～16:00

座長：桜橋渡辺病院　藤井　謙司

CB25

慶應義塾大学　香坂　俊

7月22日（金）　B会場

New Clinical Results of XIENCE V in Japanese and Asian Patients　15:00～16:00
～実臨床におけるXIENCE Vのパフォーマンス－国内およびアジア諸国からの報告より～

座長：Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton
天理よろづ相談所病院　中川　義久
Duke University Medical Center, USA　Mitchell W. Krucoff

CB8-1　SIRIRAJ Registry -Xience V Performance Evaluation in Thailand
Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand　Suwatchai Pornratanarangsi

CB8-2　DES for the treatment of ACS: Experience from Saitama
自治医科大学附属さいたま医療センター　阿古　潤哉

CB8-3　XIENCE V 1年成績：倉敷中央病院から
倉敷中央病院　門田　一繁

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

C会場

Endeavorアップデート　15:00～16:00

座長：東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

CB9-1　Endeavor OCT Study アップデート
Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea　Myeong-Ki Hong

CB9-2　日常臨床におけるEndeavorステントの有用性
帝京大学医学部　上妻　謙

共催：日本メドトロニック株式会社

日本語　D会場

Global Vascular Management の最前線　15:00～16:00

座長：豊橋ハートセンター　鈴木　孝彦
湘南鎌倉総合病院/札幌東徳洲会病院　齋藤　滋

CB10-1　当院でのGlobal Vascular Managementの取り組み
済生会横浜市東部病院　村松　俊哉

CB10-2　日本のGlobal Vascular Managementの展望
小倉記念病院　横井　宏佳

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

E会場

大腿膝窩動脈の血管内バイパス：浅大腿動脈複雑病変の最適治療法

13:30～14:30

座長：小倉記念病院　横井　宏佳

CB11　Endovascular Femoro-popliteal Bypass: Optimal Treatment for Complex SFA Disease

Mid-Florida Cardiology, USA　Barry S. Weinstock

共催：日本ゴア株式会社

日本語　F会場

冠循環生理とインターベンション治療戦略

15:00～16:00

座長：近畿大学医学部　宮崎　俊一

CB12-1　冠循環・体循環における微小血管機能の重要性

東京医科大学　田中　信大

CB12-2　IMR（冠微小血管抵抗指数）を用いたSTEMI-PCI治療戦略

大阪府済生会千里病院　伊藤　賀敏

共催：中外製薬株式会社

日本語　G会場

虚血性心疾患に伴う急性心不全への対応

15:00～16:00

座長：日本大学医学部　平山　篤志

CB13

日本大学医学部　加藤真帆人

共催：エーザイ株式会社

日本語　H会場

NSE -evaluation and expectation-

15:00～16:00

座長：京都桂病院　中村　茂

CB14-1　NSEのすべらない話

東京北部病院　山本　匡

CB14-2　小血管病変におけるNSEの使用経験

川崎市立多摩病院　水野　幸一

CB14-3　分岐部病変におけるNSEの有用性

済生会熊本病院　坂本　知浩

CB14-4　石灰化病変におけるNSEの拡張効果

市立宇和島病院　池田俊太郎

共催：株式会社グッドマン

日本語　I会場

動画サーバーを用いた被ばく線量管理について　15:00～16:00

座長：横浜労災病院　萩原　充人

CB15

鹿児島大学病院　川原　浩

共催：フォトロン メディカル イメージング株式会社

日本語　J会場

日本人に最適なスタチン治療を考える　15:00～16:00

座長：日本医科大学　水野　杏一

CB16　冠攣縮性狭心症の病態と治療：スタチンの位置づけを含めて

東京慈恵会医科大学　吉村　道博

共催：ノバルティスファーマ株式会社

日本語　L会場

血管穿孔のトラブルシューティング～パーフュージョンバルーンの有用性～　15:00～16:00

座長：宮崎市郡医師会病院　柴田　剛徳

CB17-1

りんくう総合医療センター　武田　吉弘

CB17-2

福岡和白病院　大塚　頼隆

CB17-3

日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　浅野　竜太

共催：株式会社カネカメディックス

日本語　M会場

経カテーテル大動脈弁植込み術　TAVIより考えるHybrid ORの意義　15:00～16:00

座長：虎の門病院　山口　徹

CB18

日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　高山　守正

共催：シーメンス・ジャパン株式会社

7月22日（金）　日本語　N会場

The Spirit of A Rising Generation
～若手インターベンショナルカーディオジストの挑戦～

15:00～17:00

座長：豊橋ハートセンター　那須　賢哉
心臓血管研究所付属病院　及川　裕二

Session アドバイザー：洛和会丸太町病院　上田　欽造
コメンテーター：星総合病院　氏家　勇一
済生会福岡総合病院　芹川　威
秀和綜合病院　後藤　亮
第二岡本総合病院　田辺　正喜

CB19-1　右冠動脈慢性完全閉塞に対するインターベンション時に末梢プラークが破綻し、治療に難渋した一症例
国立病院機構岩国医療センター　片山　祐介

CB19-2　Ikazuchi Xが有用であった右冠動脈CTOの1例
国立病院機構災害医療センター　加藤　隆一

CB19-3　Rotabladorにてワイヤー断裂及び冠動脈穿孔を起こした一例
春日部中央総合病院　唐原　悟

CB19-4　左冠動脈主幹部から急角度で分岐する左前下行枝の、高度石灰化を伴う連続病変に脱落したザイエンスVステント
宮城県立循環器呼吸器病センター　三引　義明

CB19-5　高度石灰化を認めるRCA CTO、LMT bifurcation病変に対するPCI難渋症例
王子総合病院　加藤　伸郎

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

7月23日（土）　日本語　C会場

慢性血栓塞栓性肺高血圧症へのインターベンション治療

15:00～16:00

座長：大阪大学大学院医学系研究科　瀧原　圭子

CB20
岡山医療センター　松原　広己

共催：ファイザー株式会社

日本語　D会場

メタボ時代の高血圧治療戦略

15:00～16:00

座長：大阪大学　南都　伸介

CB21
大阪大学大学院医学系研究科　森下　竜一

共催：塩野義製薬株式会社

日本語　E会場

NPOインターベンションを創る会が支援する医師主導型研究　15:00～16:00

座長：仙台厚生病院　井上　直人

CB22-1　J-LESSON
新世代エベロリムス溶出ステントを用いた保護されていない左冠動脈主幹部病変に対する経皮的冠動脈インターベンションによる多施設共同プロスペクティブレジストリー
仙台厚生病院　井上　直人

CB22-2　OPERA STUDY
リアルワールドの日本人患者におけるEndeavor ZESを用いる治療後のDAPTの至適実施期間の検討：前向き多施設共同研究
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　浅野　竜太

CB22-3　NIPPON
実臨床におけるノボリバイオリムスA9エリューティングステントの至適二剤抗血小板療法（DAPT）期間の検討
神戸大学医学部附属病院　新家　俊郎

共催：特定非営利活動法人インターベンションのエビデンスを創る会

F会場

Learn from the experts, Current EVT for CLI Patients　15:00～17:00

座長：岸和田徳洲会病院　横井　良明
東邦大学医療センター大橋病院　中村　正人

CB23-1
小倉記念病院　横井　宏佳

CB23-2
関西労災病院　飯田　修

CB23-3
春日井市民病院　大場　泰洋

CB23-4
杏林大学医学部　大浦　紀彦

CB23-5
兵庫医科大学　川崎　大三

CB23-6
菊名記念病院　宮本　明

CB23-7
UC Davis Medical Center, USA　John R. Laird

共催：特定非営利活動法人インターベンションのエビデンスを創る会
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

7月23日（土）　日本語　I会場

コメディカル向けPCI・DES講座　15:15〜16:15

座長：宮城県立循環器・呼吸器病センター　三引　義明

CB26-1　PCIの歴史ーステントや各種モダリティーが担ってきた役割ー
岐阜ハートセンター　松尾　仁司

CB26-2　DES（Drug-Eluting Stent）の最新事情
榊原記念病院　桃原　哲也

共催：テルモ株式会社

日本語　J会場

AMI治療を究める！〜Co-Medicalの立場で　15:00〜16:00

座長：天理よろづ相談所病院　中川　義久

CB27-1　AMI発生ーそのときMEは（埼玉編）
自治医科大学附属さいたま医療センター　小久保　領

CB27-2　AMIの治療におけるPCIー循環器医の立場から
自治医科大学附属さいたま医療センター　阿古　潤哉

CB27-3　AMI治療の看護師ができること
天理よろづ相談所病院　見並　邦江

共催：アボット バスキュラー ジャパン株式会社

ファイアサイドセミナー

7月21日（木）　E会場

Overcoming challenges in lower extremity　18:00〜19:30

座長：時計台記念病院　浦澤　一史
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany　Andrej Schmidt

FS1-1　Techinical tips to increase your success rates in femoro-popliteal intervention
時計台記念病院　浦澤　一史

FS1-2　How CTO devices changed my treatment strategy for illio-femoral CTOs
Severance Cardiovascular Hospital / Yonsei University College of Medicine, Korea　Donghoon Choi

FS1-3　Long-Term Results of the S.M.A.R.T Control Stent
仙台厚生病院　鈴木　健之

FS1-4　Current status and challenges for below-the-knee interventions
関西労災病院　飯田　修

FS1-5　Advancing treatment below-the-knee: Latest insights from Europe
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany　Andrej Schmidt

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

7月21日（木）　日本語　J会場

心カテの達人になるために8　18:00〜20:00

座長：星総合病院　添田　信之
昭和大学医学部　濱嵜　裕司

FS2-1　当院における心臓カテーテル室の特徴と各コメディカル業務の現状
高清会高井病院　古賀　和也

FS2-2　当院カテ室におけるスタッフ間の工夫
高岡市民病院　二山　高志

FS2-3　前略　カテーテル看護は苦手ですか？。。。
国立循環器病研究センター　坂元　正和

FS2-4　コメディカルに求めること
昭和大学医学部　濱嵜　裕司

共催：日本ライフライン株式会社

J-PCI/EVT レジストリー登録施設一覧

医療法人あかね会土谷総合病院
医療法人社団十全会心臓病センター榊原病院
医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院
財団法人宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター
財団法人大原総合病院附属大原医療センター
財団法人筑波メディカルセンター筑波メディカルセンター病院
財団法人田附興風会医学研究所北野病院心臓センター
財団法人東京都保健医療公社多摩南部地域病院
財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院
社団法人山梨勤労者医療協会甲府共立病院
JA 広島総合病院
JA 長野厚生連佐久総合病院
JA 北海道厚生連旭川厚生病院
JR 大阪鉄道病院
KKR 高松病院
KKR 札幌医療センター
NTT 東日本関東病院
NTT 東日本札幌病院
イムス葛飾ハートセンター
いわき市立総合磐城共立病院
おおたかの森病院
関西ろうさい病院
さいたま市民医療センター
さいたま市立病院
自治医科大学附属病院
せんぽ東京高輪病院
ツカザキ病院
トヨタ記念病院
ハートセンター磐田
はちのへハートセンタークリニック
ベルランド総合病院
マツダ株式会社マツダ病院
みどりヶ丘病院
みやぎ県南中核病院
みやぎ東部循環器科
やわたメディカルセンター
よつば循環器科クリニック
りんくう総合医療センター市立泉佐野病院
愛心会大隈鹿屋病院
愛宣会秦病院
愛知医科大学
愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院
愛知県厚生連豊田厚生病院
愛知県立循環器呼吸器病センター
愛媛大学医学部付属病院脳卒中・循環器病センター
旭川医科大学
旭川赤十字病院
伊勢原協同病院
伊丹市立伊丹病院
伊南行政組合昭和伊南総合病院
医療法人杉村会杉村病院
医仁会平井病院
医療法人エス・エス・ジェイ札幌整形循環器病院
医療法人メディカル・セブンながさきハートクリニック
医療法人愛仁会千船病院
医療法人医仁会武田総合病院
医療法人光晴会病院
医療法人厚生会虹が丘病院
医療法人康仁会西の京病院
医療法人弘道会守口生野記念病院
医療法人財団コンフォート病院
医療法人財団済美会昭和病院
医療法人社団新日鐵室蘭総合病院
医療法人社団アブラハムクラブベテスダクリニック
医療法人社団さくら会高橋病院
医療法人社団愛心会湘南厚木病院
医療法人社団医聖会学研都市病院
医療法人社団宏和会岡村記念病院
医療法人社団新杏会新杏病院
医療法人社団成和会西新井病院
医療法人社団誠馨会新東京病院
医療法人社団誠心会萩原中央病院
医療法人社団洛和会洛和会音羽病院
医療法人仁愛会浦添総合病院
医療法人清幸会土肥病院
医療法人誠佑記念病院
医療法人川崎病院
医療法人浅ノ川心臓血管センター金沢循環器病院
医療法人天神会新古賀病院
医療法人天陽会中央病院
医療法人藤井会石切生喜病院
医療法人徳洲会茅ヶ崎徳洲会総合病院
医療法人徳洲会岸和田徳洲会病院
医療法人明和病院
医療法人偕行会名古屋共立病院
育和会記念病院
一宮西病院
茨城西南医療センター病院
苑田第三病院
横須賀共済病院循環器センター
横浜旭中央総合病院
横浜市立みなと赤十字病院
横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター
横浜市立大学医学部附属病院
横浜総合病院
岡崎市民病院
岡山ハートクリニック
岡山赤十字病院
岡山大学病院
岡山労災病院
沖縄県立中部病院
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
沖縄県立北部病院
荻窪病院心臓血管センター

加賀市民病院
河内総合病院
河北総合病院
回生会宝塚病院
葛西循環器脳神経外科病院
株式会社日立製作所日立総合病院
鎌ヶ谷総合病院
茅ヶ崎市立病院
冠心会大崎病院東京ハートセンター
関東中央病院
岩手医科大学
岩手県立中央病院
岩槻南病院
喜多医師会病院
岐阜県久美愛厚生病院
岐阜県総合医療センター
岐阜県立多治見病院
岐阜市民病院
亀田総合病院
菊名記念病院
久留米大学医療センター
久留米大学病院
宮崎県立延岡病院
宮城県立循環器・呼吸器病センター
京都医療センター
京都桂病院心臓血管センター
京都大学（京都大学医学部附属病院）
京都第一赤十字病院
京都第二赤十字病院
京都府立医科大学
協仁会小松病院
勤医協中央病院
近畿大学医学部奈良病院
近畿大学医学部附属病院
近森病院
金沢医科大学病院
金沢赤十字病院
九州医療センター
九州厚生年金病院
九州大学病院
熊本医療センター
熊本赤十字病院
熊本中央病院
熊本労災病院
君津中央病院
群馬県済生会前橋病院
群馬県立心臓血管センター
慶應義塾大学病院
健康保険人吉総合病院
健康保険鳴門病院
健仁会益子病院
県西部浜松医療センター
県立広島病院
県立奈良病院
県立木曽病院
湖東記念病院
公立刈田綜合病院
公立山城病院
公立昭和病院
公立藤岡総合病院
公立陶生病院
公立那賀病院
公立南丹病院
公立八鹿病院
厚生連海南病院
厚生連高岡病院
厚生連鶴見病院
厚生連鈴鹿中央総合病院
広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院
広島市立安佐市民病院
広島大学
広島鉄道病院
康心会湖南東部総合病院
弘前大学医学部付属病院
江戸川病院
江東病院
甲府城南病院
香川県立中央病院
高岡市民病院
高崎総合医療センター
高瀬クリニック
高清会香芝旭ヶ丘病院
高清会高井病院
高知大学医学部付属病院
国家公務員共済組合連合会虎の門病院
国家公務員共済組合連合会千早病院
国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院
国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院
国際医療福祉大学熱海病院
国際親善総合病院
国保小見川総合病院
国保松戸市立病院
国民健康保険富士吉田市立病院
国立循環器病研究センター
国立病院機構愛媛病院
国立病院機構岡山医療センター
国立病院機構岩国医療センター
国立病院機構水戸医療センター
国立病院機構帯広病院
国立病院機構大阪南医療センター
国立病院機構東京医療センター
国立病院機構福岡東医療センター
国立病院機構福山医療センター
国立病院機構和歌山病院
佐賀県立病院好生館
佐世保共済病院
佐世保市立総合病院
砂川市立病院
済生会宇都宮病院
済生会横浜市東部病院

済生会横浜市南部病院
済生会下関総合病院
済生会熊本病院
済生会福岡総合病院
済生会福島総合病院
財団医療法人中村病院
財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院
財団法人倉敷中央病院
財団法人東京都保健医療公社豊島病院
埼玉医科大学総合医療センター
埼玉県立循環器・呼吸器病センター
埼玉東部循環器病院
桜橋渡辺病院
札幌心臓血管クリニック
三井記念病院
三郷中央総合病院
三思会東名厚木病院
三重ハートセンター
三重大学医学部附属病院
三田市民病院
三菱京都病院
三木市立三木市民病院
山形愛心会庄内余目病院
山口大学医学部附属病院
山口労災病院
山田赤十字病院
山梨厚生病院
山梨大学
産業医科大学
市立伊勢総合病院
市立宇和島病院
市立加西病院
市立岸和田市民病院
市立札幌病院
市立四日市病院
市立秋田総合病院
市立千歳市民病院
市立長浜病院
市立函館病院
市立枚方市民病院
滋賀医科大学附属病院
滋賀県立成人病センター
耳原総合病院
自衛隊中央病院
自治医科大学附属さいたま医療センター
鹿屋ハートセンター
鹿児島医療センター
鹿児島大学病院
射水市民病院
社団法人宮崎市郡医師会病院
社会医療法人財団慈泉会相澤病院
社会医療法人社団カレスサッポロ北光病院
社会医療法人北斗北斗病院
社会医療法人明和会中通総合病院
社会保険神戸中央病院
社会保険横浜中央病院
社会保険紀南病院
社会保険京都病院
社会保険滋賀病院
社会保険小倉記念病院
社会保険大牟田天領病院
社会保険中央総合病院心臓病センター
社会保険中京病院
社団法人天草郡市医師会立天草地域医療センター
社団法人八日会藤元早鈴病院
社団法人明石市医師会立明石医療センター
社団法人有隣厚生会富士病院
取手協同病院
手稲渓仁会病院心臓血管センター
寿泉堂綜合病院
宗像水光会総合病院
秀和総合病院
秋田成人病センター
秋田組合総合病院
秋田大学
春日井市民病院
春日部中央総合病院
順天堂大学
所沢ハートセンター
小山記念病院
小松市民病院
小樽市立脳・循環器・こころの医療センター
小張総合病院
小牧市民病院
庄原赤十字病院
昭和大学横浜市北部病院心臓血管カテーテル室
昭和大学藤が丘病院
昭和大学病院
松江市立病院
松江赤十字病院
松阪市民病院
松阪中央総合病院
松本協立病院
湘南鎌倉総合病院
上越総合病院
城山病院心臓血管センター
信楽園病院
心臓血管センター北海道大野病院
心臓血管研究所付属病院
新潟県厚生農業協同組合連合会新潟医療センター
新潟県立がんセンター新潟病院
新潟市民病院
新行橋病院ハートセンター
新座志木中央総合病院
新日鐵八幡記念病院
新別府病院
深谷赤十字病院
神戸アドベンチスト病院
神戸大学医学部付属病院
神戸労災病院

神奈川県厚生農業協同組合連合会相模原協同病院
神奈川県立循環器呼吸器病センター
秦野赤十字病院
諏訪中央病院
水戸共済会総合病院
星総合病院
聖マリアンナ医科大学病院
聖隷三方原病院
聖隷浜松病院
聖路加国際病院ハートセンター
西宮渡辺心臓血管センター
西東京中央総合病院
西尾市民病院
西北中央病院
青森県立中央病院
青梅市立総合病院
静岡医療センター
静岡県立病院機構静岡県立総合病院
静岡市立静岡病院
石心会狭山病院
石川県立中央病院
雪の聖母会聖マリア病院
仙台厚生病院
仙台徳洲会病院
千葉県済生会習志野病院
千葉県循環器病センター
千葉市立海浜病院
千葉市立青葉病院
千葉社会保険病院
千葉西総合病院
千葉大学医学部付属病院
千葉徳洲会病院
川崎協同病院
川崎幸病院
川崎市立川崎病院
川崎市立多摩病院指定管理者聖マリアンナ医科大学
川島病院
船橋市立医療センター
前橋赤十字病院
総合大雄会病院
総合病院松江生協病院
草津ハートセンター
足利赤十字病院
多根総合病院
多摩北部医療センター
袋井市袋井市民病院
大垣市民病院
大垣徳洲会病院
大阪医科大学附属病院
大阪警察病院
大阪厚生年金病院
大阪済生会野江病院
大阪赤十字病院
大阪大学大学院医学系研究科
大阪府済生会千里病院
大阪府済生会中津病院
大阪府立急性期総合医療センター
大阪労災病院
大崎市民病院
大樹会回生病院
大津市民病院
大津赤十字病院
大浜第一病院
大分岡病院心血管センター
大分県済生会日田病院
大分県立三重病院
大分循環器病院
大分中村病院
第二岡本総合病院
池上総合病院
筑波大学
中津市民病院
中部労災病院
町田市民病院
長岡中央綜合病院
長野県厚生連長野松代総合病院
長野市民病院
長野赤十字病院
鳥取県立厚生病院
鳥取県立中央病院
鳥取大学
帝京大学ちば総合医療センター
帝京大学医学部附属病院
天使病院
天理よろづ相談所病院
田主丸中央病院
土浦協同病院
唐津赤十字病院
島原病院
島根県立中央病院
島根大学
東海大学医学部附属八王子病院
東海大学医学部附属病院
東京医科歯科大学附属病院
東京医科大学病院
東京医科大学八王子医療センター
東京警察病院
東京歯科大学市川総合病院
東京慈恵会医科大学
東京慈恵会医科大学附属柏病院
東京女子医科大学病院
東京西徳洲会病院
東京都健康長寿医療センター
東京都済生会中央病院
東京都立広尾病院
東京都立多摩総合医療センター
東京都立墨東病院
東京北社会保険病院
東芝林間病院
東大宮総合病院

東大阪市立総合病院
東宝塚さとう病院
東邦大学医療センター佐倉病院
東邦大学医療センター大橋病院
東邦大学医療センター大森病院
東北厚生年金病院
藤枝市立総合病院
藤沢市民病院
藤田保健衛生大学医学部附属病院
藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院
同愛記念病院
徳山中央病院
徳島県立中央病院
徳島赤十字病院
徳島大学病院
特定医療法人敬愛会中頭病院
特定医療法人財団総合新川橋病院
独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター
独立行政法人国立病院機構災害医療センター
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
独立行政法人国立病院機構姫路医療センター
独立行政法人国立病院機構北海道医療センター
独立行政法人日本海総合病院
栃木県厚生連下都賀総合病院
奈良県立医科大学
奈良県立三室病院心臓血管センター
那覇市立病院
南東京ハートクリニック
南部徳洲会病院
日生病院
日本医科大学
日本医科大学千葉北総病院
日本医科大学多摩氷山病院
日本赤十字社医療センター
日本大学医学部附属板橋病院
日野市立病院
白河厚生総合病院
函館五稜郭病院
函館中央病院
板橋中央総合病院
飯塚病院
飯田市立病院
富永病院
富山県立中央病院
富山市民病院
富山赤十字病院
富士宮市立病院
富士市立中央病院
府中恵仁会病院
府中病院
武蔵野赤十字病院
福井県済生会病院
福井県立病院
福井循環器病院
福井総合病院
福井大学医学部附属病院
福岡県済生会二日市病院
福岡市医師会成人病センター
福岡市民病院
福岡青洲会病院循環器センター
福岡赤十字病院
福岡徳洲会病院
福岡和白病院
福山市民病院
福山循環器病院
福島県立医科大学
福島赤十字病院
兵庫県立尼崎病院
兵庫県立姫路循環器病センター
平心会須賀川病院
平塚共済病院
平塚市民病院
米沢市立病院
豊橋ハートセンター
豊橋市民病院
豊川市民病院
防衛医科大学病院
北海道社会事業協会小樽病院
北海道社会保険病院心臓血管センター
北海道循環器病院
北海道大学病院
北海道中央労災病院
北九州市立八幡病院
北見赤十字病院
北福島医療センター
北里大学病院
北里大学北里研究所メディカルセンター病院 ME センター
本島総合病院
名古屋市立東部医療センター東市民病院
名古屋第二赤十字病院循環器センター
名古屋徳洲会総合病院
明石市立市民病院
木戸病院
野崎徳洲会病院
洛和会丸太町病院
立正佼成会附属佼成病院
立川メディカルセンター立川綜合病院
立川相互病院
労働者健康福祉機構長崎労災病院
朗源会大隈病院
和歌山県立医科大学附属病院
獨協医科大学
獨協医科大学越谷病院

（2011 年 6 月 1 日現在）

メディカル一般演題（プログラム）

口演

Case Report

ポスター

メディカル一般演題（口演）

7月21日（木）　B会場

DES1　9:00～10:00

座長：洛和会丸太町病院　上田　欽造
時計台記念病院　佐藤　勝彦

MO001　膝下の末梢動脈疾患に対して使用した冠動脈用薬剤溶出性、非薬剤溶出性ステントの長期成績
千葉西総合病院　倉持　雄彦

MO002　新規病変に対するパクリタキセル溶出性ステント(TAXUS Liberte)とエベロリムス溶出性ステントの有効性の比較
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　石川　哲也

MO003　シロリムス溶出性ステントと比較したエベロリムス溶出性ステントの中期成績
石心会狭山病院　荒巻　和彦

MO004　インスリン治療の有無による糖尿病患者に対するSES留置後の慢性期成績の比較
東邦大学医療センター大森病院　新居　秀郎

MO005　薬剤溶出性ステント時代における高齢者への冠動脈インターベンション
土谷総合病院　大塚　雅也

B会場

DES2　10:00～11:00

座長：仙台厚生病院　井上　直人
Chonbuk National University Medical School/Hospital, Korea　Jei Keon Chae

MO006　石灰化病変に対するシロリムス溶出性ステントとパクリタキセル溶出性ステントの血行再建率の比較
群馬県立心臓血管センター　宮石　裕介

MO007　TAXUS ExpressからTAXUS Liberteへの改良に伴う再狭窄率の軽減: 待機的PCI連続974病変における比較
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　石川　哲也

MO008　高齢者における冠動脈疾患の薬剤溶出性ステントの長期予後、特に抗血小板薬2剤併用の影響
順天堂大学医学部　鈴木　淳

MO009　小血管に対する2.5mm径Single-SESの長期成績; RD＜2.2と2.2＜RD＜3.0との比較
心臓血管センター金沢循環器病院　堀田　祐紀

MO010　シロリムス溶出性ステントとパクリタキセル溶出性ステントでのlate catch up再狭窄の比較検討
心臓血管センター金沢循環器病院　玉　直人

DES3

11:00～12:00

座長：久留米大学　上野　高史
聖隷浜松病院　岡田　尚之

MO011　透析患者での薬物溶出ステントの長期予後について
熊本中央病院　大嶋　秀一

MO012　高齢者におけるDESとBMSの比較
横浜労災病院　舟田　周平

MO013　エバロリムス溶出ステント留置後の新生内膜被覆と内皮機能に関する検討、シロリムス溶出ステントとの比較試験
久留米大学医学部　光武　良亮

MO014　OCTによるDES植え込み後の内膜被覆の比較;第一世代DESと第２世代DESの比較検討
名古屋ハートセンター　鈴木　頼快

MO015　ゾタロリムス溶出性ステントの中期成績の検討
東宝塚さとう病院　生島　雅士

DES4

16:00～17:00

座長：東宝塚さとう病院　大辻　悟
National Heart Center, Malaysia　Mohd Ali Rosli

MO016　長いステント植込み患者における多枝疾患患者において左主幹部を含む場合と含まない場合での臨床成績
小倉記念病院　白井　伸一

MO017　シロリムス溶出性ステント留置５年後に発生した遅発性冠動脈イベントで、 peri-stent contrast stainingの関与が疑われた2症例
近森病院　山本　哲史

MO018　シロリムス溶出性ステント留置後の長期成績に関する検討
京都桂病院　舩津　篤史

MO019　薬剤溶出性ステントにおける遠隔期ステントアポジションの予測因子：OCTを用いた検討
奈良県立医科大学　成　智熙

MO020　薬剤溶出ステント植え込み後慢性期における局所凝固異常に対するスタチンの有用性
徳島大学病院　仁木　敏之

DES5

17:00～18:00

座長：岡山旭東病院　岩崎孝一朗
関西医科大学附属病院枚方病院　神畠　宏

MO021　当院でエベロリムス溶出性ステントを留置した患者の短期成績
横浜栄共済病院　山本　慶

MO022　CKD患者におけるEverolimus-Eluting Stentの中期臨床成績
小倉記念病院　稗田　道成

MO023　薬剤溶出型ステント留置後に血管内皮障害を呈する患者の中期予後
名古屋市立東部医療センター東市民病院　伊藤　重範

MO024　薬剤溶出性ステントによる冠動脈過収縮反応の病態：Ｒｈｏキナーゼ経路の役割
東北大学大学院医学系研究科　相澤健太郎

MO025　小血管治療におけるBMSとDES、DESの種類別比較検討
東京都立多摩総合医療センター　加藤　賢

D会場

IVUS/OCT1

9:00～10:00

座長：藤田保健衛生大学　尾崎　行男
愛媛県立今治病院　松岡　宏

MO026　VH-IVUSによる冠動脈プラーク構成の評価は急性冠症候群発生の予測に有用である
福島赤十字病院　大和田尊之

MO027　古典的な冠動脈のリスクファクターである糖尿病と高血圧がスタチン治療中の冠動脈硬化にあたえる影響
横浜栄共済病院　野末　剛

MO028　不安定狭心症で発症したBMS very late restenosisの形態学的特徴：OCTによる解析
豊橋ハートセンター　羽原　真人

MO029　光干渉断層法にて認めるステント再狭窄の新生内膜性状の違いに関する臨床的意義についての検討
東京医科歯科大学医学部付属病院　木村　茂樹

MO030　光干渉断層法（OCT）により認められるステント留置部位の組織逸脱と長期予後との関係
横須賀共済病院　杉山　知代

IVUS/OCT2

13:00～14:00

座長：横浜栄共済病院　道下　一朗
Konyang University Hospital, Korea　Jang Ho Bae

MO031　単球はVH-IVUSで評価した冠動脈プラークの脆弱性に大切な役割をはたす
福島赤十字病院　大和田尊之

MO032　OCTを用いたBMSとDESの再狭窄病変の比較・検討
日本医科大学千葉北総病院　栗原　理

MO033　ベントール手術後に心筋梗塞をきたしPCIで治療しえた1例
昭和大学藤が丘病院　森　敬善

MO034　冠動脈プラーク破綻における繊維性皮膜の形態の光干渉断層法による評価
土浦協同病院　米津　太志

MO035　OCTでの冠動脈プラーク所見が待機的PCIにおける周術期トロポニン上昇へ及ぼす影響について
土浦協同病院　李　哲民

IVUS/OCT3

14:00～15:00

座長：埼玉医科大学国際医療センター　小宮山伸之
府中恵仁会病院／岐阜ハートセンター　本江　純子

MO036　急性冠症候群の非責任病変と安定狭心症の責任病変における光干渉断層法での所見の比較
土浦協同病院　古浦　賢二

MO037　OCTにて観察した再狭窄病変形態の比較検討
獨協医科大学病院　米田　秀一

MO038　陽性リモデリングはvulnerable patientsの指標である：急性冠症候群例の長期フォローアップ
川崎医科大学　大倉　宏之

MO039　iMap-IVUSによるプラーク性状分析は待機的PCI後の高感度トロポニンＴ値の上昇を予測する
長崎大学病院　古賀　聖士

MO040　冠動脈狭窄におけるOCTによる解剖学的評価とFractional flow reserveによる機能的評価の関連性
和歌山県立医科大学　塩野　泰紹

IVUS/OCT4　16:00～17:00

座長：天陽会中央病院　山口　浩士
Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA　Akiko Maehara

MO041　壁在血栓と冠動脈狭窄との関連
済生会横浜市東部病院　石盛　博

MO042　急性冠症候群における超音波減衰性プラークのOCTによる組織学的特徴
横浜市立大学付属市民総合医療センター　前島　信彦

MO043　Optical coherence tomography (OCT) を用いた冠動脈プラーク所見と狭心症安定度との対比
京都第二赤十字病院　椿本　恵則

MO044　SESとPESの新生内膜のOCTによる連続的評価
大阪労災病院　中村　大輔

MO045　高血圧を伴う冠疾患患者の冠動脈プラークはカルシウム拮抗薬の降圧度に依存して減少するか
順天堂大学医学部　宮崎　忠史

CAS/Endovascular intervention1　9:00～10:00

座長：東海大学　伊苅　裕二
Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea　Donghoon Choi

MO046　循環器科医施行による多数症例の頸動脈ステント留置術の解析および、末梢保護としてのAngioguard X-PとFilterwireの比較
千葉西総合病院　橋本　亨

MO047　IVUS下のスポット・ステンティングと最少限の後拡大による安全な頸動脈ステント留置術
千葉西総合病院　川崎　智広

MO048　浅大腿動脈におけるニチノールステントの長期成績
岸和田徳洲会病院　東森　亮博

MO049　薬物溶出性ススステント留置後8カ月後の血管内視鏡所見：エベロリムス溶出性ステントとシロリムス溶出性ステントの比較検討
広島市立広島市民病院　臺　和興

MO050　高血圧および腎機能低下を有する腎動脈狭窄症への腎動脈形成術の効果の検討
野崎徳洲会病院　小谷　光

CAS/Endovascular intervention2　13:00～14:00

座長：三木市立三木市民病院　粟野孝次郎
Duke University Medical Center and Duke Clinical Research Institute, USA　Mitchell W. Krucoff

MO051　経皮的腎動脈形成術の適応による予後の差違
小倉記念病院　相原　英明

MO052　当院における膝下完全閉塞病変に対するガイドワイヤー通過後の血管内治療戦略
菊名記念病院　山内　靖隆

MO053　透析症例の中心静脈インターベンション治療の成績
心臓血管センター金沢循環器病院　堀田　祐紀

MO054　浅大腿動脈ステントの再狭窄形態による再々狭窄頻度の検討
小倉記念病院　登坂　淳

MO055　急性下肢虚血に対する第一治療手技としての血管内治療の役割
聖路加国際病院　安斉　均

CAS/Endovascular intervention3　14:00～15:00

座長：聖路加国際病院　安斉　均
Mid-Florida Cardiology, USA　Barry S.Weinstock

MO056　重症下肢虚血の血管内治療における脛骨動脈のドップラー血流量測定の有用性
菊名記念病院　山内　靖隆

MO057　下肢PADに対する血管内治療は血圧を低下させる
国立病院機構災害医療センター　野里　寿史

MO058　跛行症状を呈する閉塞性動脈硬化症の血管内治療の効果と末梢血酸化ストレスの関係
信州大学医学部附属病院　宮下　裕介

MO059　粥状動脈硬化性腎動脈狭窄に対する経皮的腎血管形成術の臨床効果について
石切生喜病院　稲波　整

MO060　CKD４期以上の腎機能障害を有する腎動脈狭窄患者の血管内治療の成績多施設後ろ向き解析（REAL RAS）
信州大学医学部附属病院　宮下　裕介

CAS/Endovascular intervention4　11:00～12:00

座長：広島市立広島市民病院　井上　一郎
Ochsner Heart and Vascular Institute, USA　Mark A. Grise

MO061　大腿膝窩動脈領域のTASC2分類D病変に対する血管内治療の長期成績(REAL-FP Registryのサブ解析）
仙台厚生病院　槇田　俊生

MO062　簡便なスコアを用いた腎動脈狭窄のスクリーニング法
川崎医科大学　根石　陽二

MO063　SFAに留置された自己拡張型ナイチノールステントの性差による臨床成績の検討
済生会横浜市東部病院　阪本　泰成

MO064　急性動脈閉塞に対する血管内治療の有用性
カレスサッポロ時計台記念病院　本間　之子

MO065　炭酸ガス造影を使用した血管内治療の安全性と治療効果の検討
兵庫医科大学　川崎　大三

G会場

CAS/Endovascular intervention5　13:00～14:00

座長：豊橋ハートセンター　木下　順久
Sanggye-Paik Hospital, Inje University, Korea　Choong-Won Goh

MO066　浅大腿動脈の慢性完全閉塞病変に対する血管内治療の手技的成功及び長期予後について
横須賀共済病院　川口　直彦

MO067　BTK runoff scoreのSFA病変ステント留置術後patencyへの影響
済生会横浜市東部病院　小松　一貴

MO068　進行した慢性腎臓病患者での動脈硬化性腎動脈狭窄に対するステント治療成績
岸和田徳洲会病院　森岡　信行

MO069　“最”重症下肢虚血肢におけるEVT後の予後
済生会横浜市東部病院　阪本　泰成

MO070　EVTにおける新しい超音波検査”血管エラストグラフィー”の有用性
済生会横浜市東部病院　滝村　英幸

Anti-platelet therapy1

13:00～14:00

座長：岐阜大学大学院　西垣　和彦
University Malaya Medical Centre, Malaysia　Wan Azman Wan Ahmad

MO071　薬剤溶出ステント留置から６ヶ月以内の２剤の抗血小板療法併用中止に対する妥当性の検討
心臓血管研究所付属病院　船田　竜一

MO072　薬剤溶出性ステント留置後1年以内の2剤抗血小板療法中止に関する検討
榊原記念病院　村上　力

MO073　SES留置後5年間抗血小板剤を2剤投与することの利益とリスク
社会福祉法人三井記念病院　原　弘典

MO074　ステント留置後のプロトンポンプ阻害薬の併用は心血管イベントのリスクになるか？
熊本大学医学部　千年　忠祐

MO075　抗血小板療法中のステント患者におけるCYP2C19遺伝子多型あるいはプロトンポンプ阻害薬併用による心血管リスクの検討
熊本大学医学部附属病院　掃本　誠治

Other new devices

14:00～15:00

座長：帝京大学医学部附属病院　一色　高明
First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China　Xuchen Zhou

MO076　Igaki-Tamaiステント留置後のIVUS解析について
滋賀県立成人病センター　西尾　壮示

MO077　奇異性塞栓症再発予防目的の卵円孔開存に対するカテーテル閉鎖術についての経験
岡山大学病院　木島　康文

MO078　繰り返すステント再狭窄に薬剤溶出性バルーンが有用であった1例
菊名記念病院　袴田　尚弘

MO079　多孔型ASDに対して3つのAmplatzer Septal Occluderデバイスを留置した高齢女性の一例
岡山大学医学部附属病院　中川　晃志

MO080　新しいPCI模擬血管モデルを用いたトレーニングの有用性について
小倉記念病院　兵頭　真

AMI 1

9:00～10:00

座長：公立陶生病院　味岡　正純
Medizinisches Versorgungszentrum, Germany　Detlef G Mathey

MO081　冠動脈インターベンション治療中ST Segment再上昇と冠微小血管障害・院内死亡率の関係
神戸市立医療センター中央市民病院　山室　淳

MO082　当院急性心筋梗塞症例に対する薬剤溶出性ステントと金属ステント使用の慢性期臨床成績の比較検討
東京北社会保険病院　中川　裕也

MO083　急性冠症候群に対する薬剤溶出性ステントの治療成績（選択された症例に対する治療効果の検討）
福井県立病院　藤野　晋

MO084　急性冠症候群に対するZESとBMSの比較検討
仁生社江戸川病院　藤田　雅樹

MO085　急性心筋梗塞の大きさが腎機能障害の進展を予測する
岐阜県立多治見病院　矢島　和裕

K会場

AMI 2

10:00～11:00

座長：奈良県立医科大学附属病院　上村　史朗
愛媛県立中央病院　風谷　幸男

MO086　急性動脈閉塞症患者における臨床的特徴
済生会熊本病院　琴野　巧裕

MO087　急性冠症候群に対するＰＣＩを受けた患者における微小循環障害に対するニトロプルシッドの効果ーIMRを用いた評価ー
名古屋市立東部医療センター東市民病院　森本高太郎

MO088　急性心筋梗塞患者の予後に対する急性期カテーテル治療の性差に関する影響
国立循環器病研究センター　山根　崇史

MO089　慢性腎臓病は急性心筋梗塞後患者の予後を悪化させる。
広島市立広島市民病院　池永　寛樹

MO090　急性心筋梗塞への冠動脈形成術を実施した腎機能障害患者における30日予後の解析
小倉記念病院　酒井　孝裕

AMI 3

11:00～12:00

座長：広島県立広島病院　岡本　光師
横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター　木村　一雄

MO091　ショックに対する経皮的心肺補助の開始は早いほどよいか？
広島市立安佐市民病院　香川　英介

MO092　ST上昇型心筋梗塞患者におけるベータブロッカの効果
京都大学医学部附属病院　鮑　炳元

MO093　心筋梗塞後の左室リモデリングの予測に関する入院時白血球数とQRSスコア併用の有用性
広島市民病院　中村　真幸

MO094　急性冠症候群に対するS-STENTの臨床成績
東京都立墨東病院　弓場　隆生

MO095　睡眠呼吸障害が急性心筋梗塞患者の長期予後に与える影響
小倉記念病院　馬崎　徹

K会場

AMI 4

13:00～14:00

座長：大垣市民病院　武川　博昭
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China　HongBing Yan

MO096　急性心筋梗塞を来した大動脈起始部の局在性脈解離の一例
近森病院　古川　大祐

MO097　急性心筋梗塞におけるno reflow現象と左室拡張能の検討
桜橋渡辺病院　大宮　茂幹

MO098　STEMIにおけるIMRと遅延造影による微小循環障害の比較検討
東京医科大学病院　大井　邦臣

MO099　血管径の大きな拡張した右冠動脈を責任血管とする急性心筋梗塞患者に対する再灌流法の検討
大阪市立総合医療センター　田中　千春

Cardiac - CT/MRI1

14:00～15:00

座長：北海道社会保険病院　五十嵐慶一
杏林大学医学部附属病院　吉野　秀朗

MO101　心臓CTにおける左室内血栓検出の有用性
名古屋徳洲会総合病院　亀谷　良介

MO102　薬物負荷心臓CT検査による冠動脈の生理学的評価
土谷総合病院　沖本　智和

MO103　左冠動脈前下行枝起始部病変の進展は左冠動脈主幹部-前下行枝の分岐角の程度に強く影響を受ける
兵庫県立姫路循環器病センター　鳥羽　敬義

MO104　Cypher、Taxus Express2およびTaxus Liberte留置後のMSCTによるステント内評価の比較
野崎徳洲会病院　奥津　匡暁

K会場

Cardiac - CT/MRI2

17:00～18:00

座長：総合大雄会病院　松下　豊顯
近畿大学医学部　宮崎　俊一

MO105　心臓CTによる冠動脈疾患スクリーニングへのEPA/AA比の有用性
新古賀病院　新谷　嘉章

MO106　急性心筋梗塞再灌流直後のマルチスライスCTによる心筋遅延造影像の予後予測の有用性
筑波大学　佐藤　明

MO107　64列CTによる大動脈弁狭窄症の弁口面積の評価
仙台厚生病院　密岡　幹夫

MO108　高分解能冠動脈CTを用いた非侵襲的ステント内再狭窄の評価
市立四日市病院　三原　裕嗣

MO109　64列CTによるステント内再狭窄の診断における低濃度造影剤の有用性
葛西循環器脳神経外科病院　廣瀬　俊輔

Other modalities

9:00～10:00

座長：東北厚生年金病院　片平　美明
東邦大学医療センター大森病院　我妻　賢司

MO110　頸動脈エコー所見によるSYNTAXスコア重症例の予測に関する検討
東邦大学医療センター大橋病院　池田　長生

MO111　ABIとSYNTAX scoreの関連性についての検討
東邦大学医療センター大橋病院　高亀　則博

MO112　透視保存機能を活用した被ばく低減PCI治療
大阪大学大学院医学系研究科　角辻　暁

MO113　体表血管超音波を用いた止血デバイス合併症に対する末梢動脈インターベンション
東北大学医学部　松本　泰治

MO114　腎動脈線維筋性異形成：血管内超音波由来組織性状評価および血管内圧測定値に基づいた経皮的腎血管形成術の1例
熊本大学医学部附属病院　辻田　賢一

L会場

Structural Heart Disease Intervention

10:00～11:00

座長：小倉記念病院　白井　伸一
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　高山　守正

MO115　シャント性心臓疾患に対するAmplatzerデバイスのオフラベル使用
仙台厚生病院　多田　憲生

MO116　経皮的大動脈弁置換術における血管合併症をどう防ぐか
パリ南心臓血管研究所　林田　健太郎

MO117　クロージャーデバイスを用いた超低侵襲経皮的大動脈弁置換術
パリ南心臓血管研究所　林田　健太郎

MO118　ハイリスク大動脈弁置換術の術前におけるバルーン大動脈弁拡張術の安全性と有効性の検証
川崎市立　川崎病院　古田　晃

MO119　ヨーロッパにおけるTAVIの現状と今後の展望
パリ南心臓血管研究所　林田　健太郎

MO120　経皮的大動脈弁置換術における合併症の予防と対応
パリ南心臓血管研究所　林田　健太郎

L会場

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire1

16:00～17:00

座長：広島市立広島市民病院　石原　正治
St. Louis University Health Sciences Center, USA　Michael Lim

MO121　冠動脈疾患における薬剤負荷前の安静時Pd/PaとFFRの関係について
愛知医科大学　高島　浩明

MO122　左回旋枝入口部狭窄は血管造影所見のみでPCIの適応を判断するのは困難であり、PCIの適応判定には虚血診断が必須である
関西労災病院　粟田　政樹

MO123　至適ステント留置のための冠内圧測定の臨床的意義
京都第二赤十字病院　松尾あきこ

MO124　ST上昇型心筋梗塞患者に対するIMRによる急性期心筋虚血再灌流の予測に関する検討
関西労災病院　石原　隆行

MO125　安定狭心症のPCIにおける心筋逸脱酵素と微小血管抵抗指数との関連について
信州大学医学部附属病院　三枝　達也

M会場

BMS

9:00～10:00

座長：洛和会京都血管内治療センター・洛和会丸太町病院　浜中　一郎
Konyang University Hospital, Korea　Jang Ho Bae

MO126　ベアメタルステント留置後の超遅発性イベント
横浜労災病院　西山　大樹

MO127　薬剤溶出性ステント時代におけるベアメタルステントの役割
手稲渓仁会病院　棗田　誠

MO128　薬物溶出性ステントが使用できない症例の小血管におけるMULTI-LINK PIXELとMINI VISIONの成績
君津中央病院　山本　雅史

MO129　ベアメタルステントを留置した数年後にステント内再狭窄をきたす症例に対する光干渉断層法を用いた検討
岩手医科大学医学部　小室堅太郎

MO130　当院におけるDES世代でのベア・メタル・ステント（BMS）の有用性
太田福島総合病院　福島　弘樹

Restenosis1

10:00～11:00

座長：天理よろづ相談所病院　中川　義久
長野赤十字病院　吉岡　二郎

MO131　再狭窄予測因子としてのシェアストレス。薬剤溶出性ステントとベアメタルステントとの比較。
横須賀共済病院　疋田　浩之

MO132　当院における薬剤溶出性ステントおよびベアメタルステントの再狭窄に対する薬剤溶出性ステント留置の長期成績比較
京都第二赤十字病院　木下　英吾

MO133　XIENCE V 薬剤溶出ステント留置後の再狭窄予測因子についての検討
青梅市立総合病院　鈴木　麻美

MO134　ステント内再狭窄に対するカッティングバルーン拡張術施行時の光干渉断層法は末梢保護デバイスの有用性を予測する
大阪労災病院　谷池　正行

MO135　シロリムス溶出性ステントの晩期再狭窄像　光干渉断層法による観察
桜橋渡辺病院　小澤　牧人

M会場

Restenosis2

11:00～12:00

座長：大阪医科大学附属病院　鈴木　秀治
Maasstad Hospital, The Netherlands　Elvin Kedhi

MO136　ステント再狭窄患者に対するDESの1年、および2年予後の検討
熊本中央病院　野田　勝生

MO137　ステント内再狭窄病変に対する標的病変再血行再建におけるスコアリングバルーンの有効性
ー通常バルーンとの比較検討ー
横浜栄共済病院　加藤　大雅

MO138　OCTによるステント再狭窄病変の組織性状の違いと治療後慢性期予後の検討
榊原記念病院　渡邊　雄介

MO139　Fractureを伴う再狭窄病変は通常再狭窄を起こさないような背景因子を持つ
東邦大学医療センター大森病院　天野　英夫

MO140　ステント内再狭窄治療後における再 - 再狭窄の予測因子
福岡大学病院　永田　　済

PCI and DM/CKD/HD1

13:00～14:00

座長：中部労災病院　天野　哲也
鹿児島大学大学院　濱崎　秀一

MO141　左冠動脈主幹部遠位端三分岐部の石灰化狭窄に対する二方向性切削技術を用いた最良のRotablator使用法
千葉西総合病院　清水　しほ

MO142　冠動脈疾患に対する薬剤溶出性ステントCypherの6年以上の長期成績
千葉西総合病院　三角　和雄

MO143　糖尿病患者におけるエベロリムス溶出性ステントの優れた成績の可能性
-シロリムス溶出性ステントとの比較-
石心会狭山病院　荒巻　和彦

MO144　血清カルシウム×リン値からみた透析患者に対する冠動脈ステント留置術の臨床成績
東邦大学医療センター大森病院　新居　秀郎

MO145　慢性腎疾患ステージ4、5における、造影剤使用に伴う腎機能増悪の予測規定因子
自治医科大学附属さいたま医療センター　谷口　陽介

M会場

PCI and DM/CKD/HD2

14:00～15:00

座長：横浜総合病院　鶴見由起夫
日本医科大学付属病院　安武　正弘

MO146　栄養状態からみた透析患者に対する冠動脈ステント留置術の臨床成績
東邦大学医療センター大森病院　新居　秀郎

MO147　糖尿病患者におけるパクリタキセル溶出性ステント留置後の長期予後
横須賀共済病院　杉山　知代

MO148　術中右房脱血透析濾過法の造影剤起因性急性腎障害に対する予防効果の検討
横浜栄共済病院　加藤　大雅

MO149　新しい薬剤溶出性ステントXience・Promusの多数症例による使用経験と臨床成績
千葉西総合病院　三角　和雄

MO150　慢性腎障害の患者に対する薬剤溶出性ステントを用いたPCIの臨床成績
済生会横浜市東部病院　滝村　英幸

New approach to devices/Other coronary diagnostic method1　16:00～17:00

座長：東北厚生年金病院　片平　美明
Duke University Medical Center and Duke Clinical Research Institute, USA　Mitchell W. Krucoff

MO151　MDCT偽陽性例に対する冠攣縮の関与
所沢ハートセンター　江崎　裕敬

MO152　NSTEMI/UAP患者のPCI後の心内心電図におけるST上昇は、心筋障害と入院中の悪い経過と有意に関係性があります。
土浦協同病院　菱刈　景一

MO153　心臓CTワークステーションを用いて分岐部の至適Viewを同定する
湖東記念病院　只野　雄飛

MO154　1,5-AGは冠動脈プラークを予測する上で役立つか。
名古屋ハートセンター　村瀬　傑

MO155　ステントDeliveryにおける4Frインナーカテーテルの有用性
国立病院機構災害医療センター　吉田　善紀

New approach to devices/Other coronary diagnostic method2　17:00～18:00

座長：船橋市立医療センター　福澤　茂
First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China　Xuchen Zhou

MO156　3Fr ガイディングシースによるPCIの安全性と止血時間の検討
富山労災病院　山田　邦博

MO157　拡張不全のステントに対してELCAが効果的であった1例
大分岡病院　金子　匡行

MO158　経橈骨動脈心臓カテーテルにおける橈骨動脈スパスムの頻度および予測因子
慶應義塾大学医学部循環器内科　沼澤　洋平

MO159　薬剤内服下におけるＡｃｈ誘発試験の有用性
東京都立広尾病院　岩澤　仁

MO160　末梢ステントデリバリーにおける4Fインナーと5Fインナーの比較
国立病院機構災害医療センター　吉田　善紀

Debulking1

9:00～10:00

座長：東京女子医科大学　高木　厚
福山循環器病院　治田　精一

MO161　Rotablatorを用いた石灰化病変に対するTAXUS (Express)の中期的有効性；Cypherの後ろ向き比較
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　堤　穣志

MO162　トラップされたロタブレーターバーへの新しい対処法
自治医科大学附属さいたま医療センター　坂倉　建一

MO163　ロータブレイション後の薬剤溶出ステントと通常金属ステントの中期成績：血管造影と臨床成績
仙台厚生病院　滝澤　要

MO164　Scoreflex^{TM}の拡張機序　IVUSによる検討
岡山赤十字病院　福家聡一郎

MO165　経橈骨動脈アプローチによるローターブレータの院内および中期予後について
国立病院機構災害医療センター　櫻井　馨

N会場

Debulking2

10:00～11:00

座長：国立病院機構長崎医療センター　於久　幸治
社会保険紀南病院　久保　隆史

MO166　Scoring Balloonの有用な使用による治療成績の検討
三豊総合病院　大塚　寛昭

MO167　NSEを用いたステントレスPCIの有用性
獨協医科大学病院　景山　倫也

MO168　FD-OCTによるロータブレーション前後の冠動脈評価
神戸大学医学部　平沼　永敏

MO169　低出力体外衝撃波治療：心血管疾患に対する新しい非侵襲的血管新生療法
東北大学大学院　伊藤　健太

MO170　高度石灰化病変へのローターブレーター後のangiosculptの有用性について
金沢医科大学病院　本山　敦士

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)1　11:00～12:00

座長：静岡市立静岡病院　滝澤　明憲
新東京病院　中村　淳

MO171　分岐部病変におけるKBTの有用性の検討　-心筋シンチによる機能的評価-
藤元早鈴病院　剣田　昌伸

MO172　左前下降枝、対角枝の分岐部病変におけるステント留置前、同時バルーン拡張の影響。
草津ハートセンター　大屋　秀文

MO173　分岐部病変におけるエベロリムスステントとパクリタクセスステントの短期臨床結果
小倉記念病院　雨宮　妃

MO174　分岐部病変におけるLMT病変とnon LMT病変における two stent techniqueの比較
昭和大学医学部　辻田　裕昭

MO175　病変タイプと病変毎のSYNTAX scoreとの関連
社会保険神戸中央病院　田中　哲也

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)2　13:00～14:00

座長：豊橋ハートセンター　朝倉　靖
宮崎市郡医師会病院　柴田　剛徳

MO176　冠動脈石灰化病変に対してDual Wire Balloonを用いた治療についての検討
国立病院機構災害医療センター　加藤　隆一

MO177　鋭角に分岐した側枝へのワイヤリングについて -2症例の報告をふまえての検討-
済生会福岡総合病院　長友　大輔

MO178　分岐部病変に対する治療戦略-Lesion-Specific Stent Strategy-
洛和会丸太町病院　富士栄博昭

MO179　分岐部病変におけるプラーク分布がステント留置後の側枝狭窄に及ぼす影響
済生会横浜市東部病院　山脇　理弘

MO180　分岐部病変における側枝閉塞を予防する方法について
鎌ケ谷総合病院　加納　寛

Stent thrombosis1　14:00～15:00

座長：博仁会村瀬病院　井阪　直樹
University of Virginia, USA　Scott Lim

MO181　新生内膜の動脈硬化性変化が遅発性ステント血栓症を惹起する可能性：光干渉断層法での検討
福山循環器病院　菊田　雄悦

MO182　急性貫壁性心筋梗塞における急性もしくは亜急性のステント血栓症の特徴について
広島市立安佐市民病院　板倉　希帆

MO183　ステント血栓症を繰り返した一例
長野県立木曽病院　若林　靖史

MO184　多枝にシロリムス溶出性ステントを留置した後に、超晩期ステント血栓症を同時にきたした症例
船橋市立医療センター　池田　篤史

MO185　SES留置後のステント血栓症症例における血管反応についての検討:RESTARTーIVUSサブ解析
スタンフォード大学　久米　輝善

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)3　16:00～17:00

座長：大崎病院東京ハートセンター　細川　丈志
Maasstad Hospital, The Netherlands　Elvin Kedhi

MO186　分岐部病変に対するDESのsingle stentアプローチ：KBTは常に必要か？
済生会栗橋病院　春木伸太郎

MO187　Kissing baloon inflationの有用性と安全性
済生会福岡総合病院　高原　勇介

MO188　高度石灰化病変におけるステントデザインの重要性
大阪労災病院　李　泰治

MO189　ステント留置前の非直線的なバルーン拡張はステント拡張不良の予測因子となる
兵庫県立姫路循環器病センター　柴田　浩遵

MO190　シロリムス溶出性ステントとパキルタキセル溶出性ステントによる冠動脈治療後における、側枝の造影上の長期結果
松江赤十字病院　三村　麻郎

Stent thrombosis2

17:00～18:00

座長：千葉大学大学院医学研究院　小林　欣夫
CV Path, Institute, Inc.,USA　Renu Virmani

MO191　シロリムス溶出性ステント留置後における超遅発性ステント血栓症の違いについて
横浜労災病院　福澤　朋幸

MO192　急性冠症候群による院外心肺停止患者での低体温療法とステント血栓症の検討
聖路加国際病院ハートセンター　迫田　邦裕

MO193　ステント血栓症における、吸引血栓の病理組織学的解析
小倉記念病院　山地　杏平

MO194　シロリムス溶出ステント留置後における超遅発性ステント血栓症の臨床的特徴と予測因子
山田赤十字病院　世古　哲哉

MO195　経皮的冠動脈形成術後における慢性期ステント内血栓症の予測因子
福岡大学病院　中村　歩

DES6

9:00～10:00

座長：秋田県成人病医療センター　佐藤　匡也
京都九条病院　羽田　哲也

MO196　シロリムス溶出性ステント留置後の4年間の長期成績
宮崎市郡医師会病院心臓病センター　仲間　達也

MO197　DESを留置した透析患者の2年間の長期予後の検討
熊本中央病院　野田　勝生

MO198　シロリムス溶出性ステントとパクリタキセル溶出性ステント留置後の遅発性の退縮について
-再狭窄形態の影響-
倉敷中央病院　久保　俊介

MO199　薬剤溶出性ステント植え込みによる冠動脈内皮機能への影響 -ATPを用いたFMDによる評価-
藤元早鈴病院　安崎　和博

MO200　透析患者に対するタクサスリバティーステント植え込み後の臨床成績の検討
岩槻南病院　佐野　剛一

B会場

DES7

10:00～11:00

座長：三重ハートセンター　西川　英郎
Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea　Myeong-Ki Hong

MO201　透析患者のDESの長期予後に関する検討
東宝塚さとう病院　寺杣　晋彦

MO202　薬剤溶出性ステント留置後のStent FractureとPeri-Stent Contrast Stainingの関連
倉敷中央病院　多田　毅

MO203　シロリムス溶出性ステントとパクリタキセル溶出性ステントの留置後2年間のlate lossの比較
仙台厚生病院　堀江　和紀

MO204　シロリムス、パクリタキセル、ゾタロリムス溶出ステント植込み1年後における血管内視鏡と光干渉断層法による新生内膜性状の評価
愛媛県立今治病院　川上　秀生

MO205　急性冠症候群に対するゾタロリムス溶出ステント植え込み後の中期成績について
福岡徳洲会病院　山口　宗孝

DES8

11:00～12:00

座長：三井記念病院　田邉　健吾
神奈川県立循環器呼吸器病センター　福井　和樹

MO206　小血管に対する第2世代薬剤溶性ステントの臨床成績
済生会横浜市東部病院　小松　一貴

MO207　ゾタロリムス溶出性ステントとエベロリムス溶出性ステントの比較検討
東京医科歯科大学医学部　秦野　雄

MO208　当院におけるEESの慢性期フォローアップ成績 -再血行再建例の検討-
東京大学医学部　岩佐　健史

MO209　石灰化病変に対するRotational Atherectomy後のゾタロリムス溶出ステント留置の中期成績について
福岡徳洲会病院　山口　宗孝

MO210　シロリスム溶出ステント留置後の非心臓手術における周術期心血管リスク
慶応義塾大学医学部　大野　洋平

DES9

14:00～15:00

座長：天理よろづ相談所病院　中川　義久
CV Path, Institute, Inc., USA　Renu Virmani

MO211　薬剤溶出ステント留置後の遅発性ステント再狭窄の予測因子
東邦大学医療センター大橋病院　飯島　雷輔

MO212　BMSおよびDESにおける増殖した新生内膜の組織解析（血管内視鏡とOCTによる評価）
日本大学医学部　川野　太郎

MO213　CypherとTaxus Express2のステント内再狭窄の形態的特徴
野崎徳洲会病院心臓センター　北尾　隆

MO214　エベロリムス溶出性ステントとパクリタキセル溶出性ステントの比較
小倉記念病院　林　昌臣

MO215　右冠動脈入口部病変に対するエベロリムス溶出性ステントとシロリムス溶出性ステントの比較
小倉記念病院　岩室あゆみ

CTO1

11:00～12:00

座長：東宝塚さとう病院　大辻　悟
岩手県立中央病院　野崎　英二

MO216　CART法を用いてCTOに留置したDESの10か月後の再造影成績: 連続234CTO病変における非CART法との後ろ向き比較
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　武藤　誠

MO217　冠動脈慢性完全閉塞病変に対する逆行性アプローチの有効性
京都桂病院　小林　智子

MO218　慢性閉塞性病変内マイクロチャンネルのマルチスライスCTを用いた検討
豊橋ハートセンター　児玉　淳子

MO219　慢性完全閉塞病変に対するPCIにおける心外膜側副血行路の安全性と有用性に関する検討
草津ハートセンター　渡邉　哲史

MO220　慢性完全閉塞に対する3種類の薬剤溶出性ステントの予後
新東京病院　長沼　亨

C会場

CTO2

14:00～15:00

座長：昭和大学医学部　濱嵜　裕司
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　武藤　誠

MO221　冠動脈慢性完全閉塞に対するDES留置におけるsubintimal stentingとtrue lumen stentingの比較
星総合病院　氏家　勇一

MO222　CORSAIR®を用いた慢性完全閉塞病変に対するretrograde approachの安全性に関する検討
済生会横浜市東部病院　滝村　英幸

MO223　冠動脈CTによるretrograde approachのための側副血行路の描出
北海道社会保険病院　管家　鉄平

MO224　CTO病変への逆行性アプローチにおけるRendezvous法の有用性について
倉敷中央病院　田中　裕之

MO225　慢性完全閉塞に対する逆行性治療におけるsub-intimalステント留置の安全性と有効性
-CARTレジストリーのサブ解析-
豊橋ハートセンター　木村　祐之

IVUS/OCT5　11:00～12:00

座長：奈良県立医科大学附属病院　上村　史朗
Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA　Akiko Maehara

MO226　iMAPによる冠動脈責任病変プラーク性状の解析
神戸大学大学院医学研究科　上月　周

MO227　ステント留置後における周波数ドメイン光干渉断層法（FD-OCT）とIVUSとの臨床的パラメーターの比較検討について
神戸大学医学部　大末　剛史

MO228　急性冠症候群患者における積極的な血栓吸引療法後に生じるno reflow現象の特徴
広島市立安佐市民病院　東　昭史

MO229　脂溶性スタチンは水溶性スタチンに比しシロリムス溶出性ステント留置後の新生内膜形成を促進させうる
大阪労災病院　習田　龍

MO230　パクリタキセル溶出バルーン拡張後再狭窄病変におけるOCT所見
倉敷中央病院　細木　信吾

CAS/Endovascular intervention6　11:00～12:00

座長：千葉西総合病院　三角　和雄
Riverside Methodist Hospital, USA　Gary M. Ansel

MO231　大動脈腸骨動脈領域への血管内治療の中期成績
仙台厚生病院　鈴木　健之

MO232　ステントグラフト内挿術による大動脈stiffnessの変化　～胸部大動脈と腹部大動脈の違い～
東京都立広尾病院　渡邉　智彦

MO233　鼠径靭帯以下の病変に対するパクリタキセル溶出性バルーンの中期成績
仙台厚生病院　槇田　俊生

MO234　末梢動脈疾患において下肢動脈の病変領域が心血管イベントに与える影響
済生会横浜市東部病院　阪本　泰成

MO235　SYNTAX Scoreを用いた重症下肢虚血患者における冠動脈病変の検討
横浜市立大学附属病院　重永豊一郎

F会場

CAS/Endovascular intervention7

14:00～15:00

座長：関西労災病院　飯田　修
Sanggye-Paik Hospital, Inje University, Korea　Choong-Won Goh

MO236　人工透析症例における浅大腿動脈に対するステント留置の慢性期成績。
済生会横浜市東部病院　平野　敬典

MO237　内腸骨動脈瘤に対するカバードステントを用いたインターベンション治療の検討
新潟市民病院　佐藤　迪夫

MO238　浅大腿動脈完全閉塞病変に留置した自己拡張型ナイチノールステント再閉塞例の特徴
菊名記念病院　福田　正浩

MO239　膝下動脈完全閉塞病変のガイドワイヤー通過における当院の治療戦略
菊名記念病院　山内　靖隆

MO240　浅大腿動脈に留置された自己拡張型ナイチノールステントの中期成績
済生会横浜市東部病院　阪本　泰成

G会場

CAS/Endovascular intervention8

10:00～11:00

座長：大分循環器病院　秋満　忠郁
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany　Andrej Schmidt

MO241　腸骨動脈閉塞病変に対するSMARTステントを用いた血管内治療の長期成績
遠軽厚生病院　鈴木　孝英

MO242　腎動脈ステント留置術における末梢塞栓予防の有効性
東京女子医科大学病院　東谷　迪昭

MO243　心不全患者における腎動脈狭窄症の有病率
仙台厚生病院　矢西　賢次

MO244　重症虚血肢に対する足関節以下の動脈形成術の有効性
新東京病院　朴澤　耕治

MO245　頸動脈ステント留置術におけるproximal protectionの有用性
総合病院取手協同病院　梅本　朋幸

Follow up results　14:00～15:00

座長：甲府共立病院　大畑　和義
岐阜県立多治見病院　日比野　剛

MO246　大きいサイズの心房中隔欠損に対するカテーテル閉鎖術時のディバイスサイズ選択についての検討
岡山大学病院　木島　康文

MO247　当院における実臨床のSES・PES・ZESの3年間の6ヶ月毎の臨床成績比較
済生会横浜市東部病院　高間　拓郎

MO248　急性心筋梗塞患者に対するアトルバスタチンとロスバスタチンの使用で冠動脈プラーク低減に及ぼす影響に違いはあるか？
岩手医科大学医学部　石川　有

MO249　ST上昇性急性心筋梗塞に対する緊急経皮的冠動脈形成術におけるシロリムス溶出ステントの５年後成績
春日井市民病院　近藤　圭太

MO250　シロリムス溶出性ステントフラクチャー症例おける5年間の臨床成績
トヨタ記念病院　林　和孝

Anti-platelet therapy2　9:00～10:00

座長：群馬県立心臓血管センター　大島　茂
Ochsner Heart and Vascular Institute, USA　Mark A. Grise

MO251　穿刺部位と抗血小板薬への高反応性がPCI手技関連出血に与える影響
横浜市立大学附属市民総合医療センター　塚原　健吾

MO252　非心臓手術術前の安定狭心症患者に血行再建は必要か。
済生会福岡総合病院　長友　大輔

MO253　ベリファイナウを用いた急性冠症候群における血小板凝集能の評価
小倉記念病院　野口　将彦

MO254　DES留置後症例におけるPPIの血小板機能と長期予後に与える影響の検討
慶應義塾大学医学部　荒井　隆秀

MO255　経皮的冠動脈形成術を施行された冠動脈疾患患者におけるクロピドグレルの抗血小板効果について，CYP2C19遺伝子多型が与える影響
小倉記念病院　當間裕一郎

Anti-platelet therapy3

14:00～15:00

座長：仲田内科/益子病院　大村　延博
University of Rome, Italy　Germano Di Sciascio

MO256　抗血小板薬併用療法患者におけるプロトンポンプ阻害薬とカルシウム拮抗薬の同時投与の血小板機能に与える影響
横浜市立大学附属市民総合医療センター　塚原　健吾

MO257　経皮的冠動脈インターベンション施行日本人患者におけるVerifyNowを用いたクロピドグレル内服後の血小板反応性の検討
小倉記念病院　廣正　聖

MO258　高齢者のDES留置後における抗血小板薬2剤併用療法の指摘時期
横浜栄共済病院　木村　祐也

MO259　冠動脈形成術後の抗血小板療法をうけた患者の出血リスクの検討
埼玉医科大学国際医療センター　白崎　泰隆

MO260　待機的PCIを施行した日本人の冠動脈疾患患者におけるプラスグレルの迅速かつ強力な薬力学効果
小倉記念病院　横井　宏佳

K会場

AMI 5

11:00～12:00

座長：大阪市立総合医療センター　伊藤　彰
University Malaya Medical Centre, Malaysia　Wan Azman Wan Ahmad

MO261　心筋梗塞に対してPCI施行直後のMDCTにおけるMVOの存在が予後に影響を与えるか。
大垣市民病院　小笠原真雄

MO262　ST上昇型急性心筋梗塞症例におけるPCI手技前TIMIグレードと左室機能の関連性について
帝京大学医学部附属病院　鈴木　伸明

MO263　ACS患者に対するDESの治療成績の比較;OCTを用いた検討
名古屋ハートセンター　鈴木　頼快

MO264　有効な側副血行路を有する非ST上昇型急性心筋梗塞に対する当院におけるPCI戦略の検討
総合太田病院　小松　宏貴

AMI 6

14:00～15:00

座長：富山県立中央病院　臼田　和生
誠佑記念病院　友渕　佳明

MO265　急性心筋梗塞に対するsirolimus-eluting stent留置症例の長期予後
市立四日市病院　早野　真司

MO266　ACSに対する緊急PCIにおけるステント追加拡張の有用性
東邦大学医療センター大森病院　戸田　幹人

MO267　地方の救急救命センターに搬送された急性心筋梗塞患者の主要心血管イベント発症の規定因子の検討
兵庫県立姫路循環器病センター　高谷　具史

MO268　ST上昇型心筋梗塞における早期再灌流術後の冠微小血管抵抗指数とChronic Kidney Diseaseの関連性
大阪府済生会千里病院　黒住　祐磨

MO269　ST上昇型心筋梗塞においてステント閉塞型の再狭窄のみが機能的・臨床的予後と相関する
兵庫県立姫路循環器病センター　柴田　浩遵

K会場

AMI 7

16:00～17:00

座長：市立柏原病院　土師　一夫
University of Rome, Italy　Germano Di Sciascio

MO270　急性冠症候群に対するエンデバーステント留置の有用性：多施設研究 (TOKK study group)
康生会武田病院　木下　法之

MO271　日本人の急性心筋梗塞患者における睡眠時無呼吸症候群の合併率と問診票の有効性
名古屋第二赤十字病院循環器センター　安藤萌名美

MO272　ACSにおける長期予後-性差と年齢の観点から-
東邦大学医療センター大森病院　戸田　幹人

MO273　生存退院した急性心筋梗塞症例における再梗塞の影響について
大阪大学大学院　中谷　大作

MO274　いわき地区における循環器系地域医療パスの導入とその後の経過
いわき市立総合磐城共立病院　多田　智洋

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire2　14:00～15:00

座長：日本医科大学　高野　仁司
Korea University Guro Hospital, Korea　Seung-Woon Rha

MO275　IVUS、血管内視鏡によるXience/Promusステント内膜の性状についての検討
-Cypher,Taxusとの比較-
日本大学医学部　高山　忠輝

MO276　冠動脈の不安定性とn-3/n-6不飽和脂肪酸比の関連：血管内視鏡を用いた検討
大阪警察病院　樫山　智一

MO277　ゾタロリムス溶出性ステント留置4カ月後の血管内視鏡による血管治癒の検討
関西労災病院　石原　隆行

MO278　FFRとSPECT結果が異なる症例の臨床的特徴についての検討
大阪大学大学院　橘　公一

MO279　ステント再狭窄病変における新生内膜の性状について冠動脈内視鏡を用いた検討
東京医科歯科大学医学部附属病院　木村　茂樹

CABG/CABG vs. PCI/Structual1　16:00～17:00

座長：大崎病院　東京ハートセンター　細川　丈志
InfraReDx, Inc., USA　James Muller

MO280　複雑3枝病変を有する患者に対する治療の長期予後（PCI vs.CABG）
豊橋ハートセンター　田中　延宜

MO281　INOUE Balloonによる重症大動脈弁狭窄症(AS)に対する経中隔的大動脈弁形成術(PTAV)の成績
池上総合病院　葉山　泰史

MO282　閉塞性肥大型心筋症連続45例に対する経皮的アルコール中隔心筋焼灼術（PTSMA）の急性期および1年フォローアップの成績
榊原記念病院　高見澤　格

MO283　バイパスグラフトが開通しているにも関わらず，狭心症を繰り返した1症例
近畿大学医学部附属病院　池田　智之

MO284　ハイリスク大動脈弁狭窄症例におけるバルーン大動脈弁拡張術の新しい役割：二期的な治療の長期予後分析
川崎市立川崎病院　古田　晃

L会場

CABG/CABG vs. PCI/Structual2

17:00～18:00

座長：筑波大学　渡辺　重行
Chief Medical Officer, Abbott Vascular, USA　Charles A. Simonton

MO285　現代の経皮的僧坊弁交連裂開術におけるCTスキャンによる術前評価の役割
慶應義塾大学医学部　河村　朗夫

MO286　外科的大動脈弁置換術の前にバルーン大動脈弁形成術を施行した場合のBridgeとしての有効性と手術成功率の解析
川崎市立川崎病院　古田　晃

MO287　三枝疾患に対する完全血行再建における経皮的冠動脈インターベンションと冠動脈バイパス術の比較
東京大学医学部　東邦　康智

MO288　当院における保護されない左主幹部病変に対するPCIおよびCABGの治療成績
昭和大学横浜市北部病院　荒木　浩

MO289　高齢日本人における重症大動脈弁狭窄症の予後解析
小倉記念病院　三浦　史郎

M会場

Complications

9:00～10:00

座長：石川県立中央病院　金谷　法忍
Medizinisches Versorgungszentrum, Germany　Detlef G. Mathey

MO290　CAGとPCIは造影剤腎症の低リスク患者に対しても腎臓に不可逆的なダメージを与える。
千葉県循環器病センター　田永　幸正

MO291　7Fr-TFIに対し6Fr Angio-Seal Evolution使用による止血効果の検討
洛和会丸太町病院　富士栄博昭

MO292　RCA CTOに対してRetrograde approachのPCIでseptal channelが穿孔し、コイル留置にて止血できた一症例
桜橋渡辺病院心臓・血管センター　森澤　大祐

MO293　PCI中の合併症発生とsyntax scoreの関連について
済生会熊本病院心臓血管センター　田口　英詞

MO294　医原性鎖骨下動脈仮性動脈瘤に対するトロンビン注入療法
総合病院庄原赤十字病院　杉野　浩

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire3　17:00～18:00

座長：京都第二赤十字病院　藤田　博
University of Technology and Catharina Hospital, The Netherlands　Nico H.J. Pijls

MO295　FFRとIB-IVUSで観察される病変性状の関連
新東京病院　丹野　巡

MO296　PES留置後に認めた造影上の中等度再狭窄症例におけるFFR計測の有用性
東京医科大学病院　山下　淳

MO297　シロリムス溶出性ステント留置患者におけるLate acquired stent malappositonの血管内視鏡による連続観察
久留米大学医学部　仲吉　孝晴

MO298　冠血流予備量比と他のモダリティーとの相関についての検討
済生会福岡総合病院　武居　講

MO299　急性前壁心筋梗塞に対するprimary PCI後のIMRは梗塞サイズを予測できる。
大阪府済生会千里病院　外村　大輔

N会場

Prognosis after intervention therapy1　9:00～10:00

座長：虎の門病院　石綿　清雄
国立病院機構北海道医療センター　竹中　孝

MO300　冠動脈疾患患者における多発性血管病と心血管イベントとの関係
三井記念病院　谷脇　正哲

MO301　下肢閉塞性動脈硬化症患者における冠動脈重症度の全死亡・主要心事故・脳梗塞・下肢切断に与える影響の検討
関西労災病院　石原　隆行

MO302　冠動脈肺動脈瘻の心臓CTによる分類と分類別の治療法の選択
長野中央病院　山本　博昭

MO303　完全血行再建術をめざしたPCIの予後　ーHigh SYNTAX scoreは本当に予後不良かー
洛和会丸太町病院　浜中　一郎

Prognosis after intervention therapy2

14:00～15:00

座長：兵庫県立姫路循環器病センター　林　孝俊
国立病院機構九州医療センター　冷牟田浩司

MO304　PCI6ヵ月後のhs-CRPは予後予測に有用である
東京大学　岩田　洋

MO305　DESによるPCIを施行した重症冠動脈疾患患者の予後予測におけるClinical SYNTAXスコアの有用性
済生会熊本病院　中尾　優

MO306　臨床的パラメータを加味することでSyntax ScoreはPCI後の予後指標としてより優れたものになる
日本医科大学付属病院　中村　俊一

MO307　ステント内再狭窄病変に対して再血行再建術を要した症例における5年予後の検討
京都府立医科大学　谷口　琢也

MO308　Percutaneous Coronary Intervention for Cardiac Transplant Vasculopathy in Chinese Patients
Chen-Hsin General Hospital, Taiwan　Chin-kun Tseng

N会場

Distal protection devices

17:00～18:00

座長：洛和会京都血管内治療センター・洛和会丸太町病院　浜中　一郎
InfraReDx, Inc., USA　James Muller

MO309　右冠動脈近位部病変による急性心筋梗塞におけるフィルター保護の効果
福井県立病院　馬渕　智仁

MO310　前拡張を施行せず留置したParachuteによる末梢保護の有用性の検討
戸田中央総合病院　小堀　裕一

MO311　PCIにおいてパラシュートおよびフィルトラップ使用後の急性期成績における比較検討
済生会富山病院　茶谷　健一

MO312　急性心筋梗塞症例の冠動脈インターベンションの際に吸引カテーテルとフィルトラップで得られた部室の組織学的比較
東住吉森本病院　石井　英

MO313　ST上昇型急性心筋梗塞に対するプライマリーPCIにおけるフィルターワイヤーによる末梢保護の効果
相模原協同病院　河村　洋太

PCI and DM/CKD/HD3

9:00～10:00

座長：関西労災病院　粟田　政樹
回生会宝塚病院　馬殿　正人

MO314　2枝病変に対して同時に造影剤を使用せずにPCIを完遂した一例
済生会福岡総合病院　大坂　薫平

MO315　薬剤溶出性ステントを用いて冠動脈形成術を行った他枝病変を有する透析患者の予後
湘南鎌倉総合病院　宍戸　晃基

MO316　透析患者における第一世代DESとEESの比較検討
名古屋共立病院　鴨井　大典

MO317　透析患者に対するエベロリムス溶出性ステント（EES）とパクリタキセル溶出性ステント（PES）の６ヶ月成績の比較
小倉記念病院　渡部　宏俊

MO318　慢性腎臓病患者に対する薬剤溶出生ステント(DES)を用いたPCIにおける臨床成績の検討: DESの種類による比較
済生会横浜市東部病院　滝村　英幸

O会場

Electrophysiology

10:00～11:00

座長：富山県立中央病院　臼田　和生
名古屋市立大学医学部附属病院　大手　信之

MO319　救命処置後にPCIを受けた院外心肺停止患者に対する低体温療法の効果
国立病院機構災害医療センター　佐藤　康弘

MO320　初回CRT-D埋め込み後の冠静脈にVH-IVUSで線維性狭窄を認め、リード再留置時にステント挿入を必要とした1例
筑波大学大学院　成瀬　代士久

MO321　急性冠症候群による院外心停止患者の救命治療におけるドクターヘリコプターの効果：福島県の経験
福島県立医科大学医学部　中村　裕一

MO322　心肺停止患者における冠動脈攣縮の重要性
京都第一赤十字病院　松井　朗裕

MO323　持続性単形性心室頻拍が原因と判明した、冠動脈バイパス術後の外傷を伴う意識消失発作を繰り返した１症例
東京都保健医療公社大久保病院　岡崎　英隆

PCI and DM/CKD/HD4

11:00～12:00

座長：兵庫県立医科大学　舛谷　元丸
Korea University Guro Hospital, Korea　Seung-Woon Rha

MO324　透析患者における第一世代薬剤溶出性ステントの効果
仙台厚生病院心臓血管センター　増田新一郎

MO325　糖尿病及び非糖尿病患者におけるシロリムス溶出ステント留置５年後の臨床成績
岡山赤十字病院　佐藤　哲也

MO326　維持透析患者における薬剤溶出ステントの再血行再建予測因子について
春日井市民病院　寺沢　彰浩

MO327　非透析CKD患者における三枝病変のCABGとDESを用いたPCIの長期予後の比較
豊橋ハートセンター　伊藤　立也

MO328　高感度ＣＲＰは薬剤溶出性ステント留置後の慢性腎臓病合併糖尿病患者における再血行再建術の予測因子となりうるか。
順天堂大学　荻田　学

LMT1

14:00～15:00

座長：北海道社会保険病院　五十嵐康己
The Catholic University of Korea, Seoul/St. Mary's Hospital, Korea　Ki Bae Seung

MO329　左冠動脈主幹部病変に対する待機的薬剤溶出性ステント留置後の長期成績
湘南鎌倉総合病院　松実　純也

MO330　左冠動脈主幹部病変に対する1-stent優先戦略の予後
新行橋病院　村里　嘉信

MO331　非保護主幹部分岐部への待期的cypherステント留置後の臨床成績
京都桂病院　小林　智子

MO332　非保護左主幹部病変における薬剤溶出ステント留置術と冠動脈バイパス術の中期成績の比較
心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　須藤　晃正

MO333　左冠動脈主幹部病変におけるゾタロリムスステントのベアメタルステントに対する優位性
高瀬クリニック　杉山　淳一

LMT2

16:00～17:00

座長：東住吉森本病院　瓦林　孝彦
北光記念病院　野崎　洋一

MO334　非保護左主幹部病変に対する橈骨動脈アプローチによる経皮的冠動脈形成術の中期成績
鎌ヶ谷総合病院　稲葉　芳絵

MO335　左主幹部病変に対して施行したSingle Stent治療の再狭窄に対する治療
水戸済生会総合病院　大平　晃司

MO336　非保護左主幹部分岐部病変に対するFlower Petal Stentingは、3年後も、良好な成績を維持する
りんくう総合医療センター　武田　吉弘

MO337　左主幹部病変に対するステント留置術後の急性期、中期、及び慢性期成績
第二岡本総合病院　田辺　正喜

MO338　ステント種別左主幹部遠位部分岐部への2-stent後の左回旋枝入口部の再造影結果比較
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　中田耕太郎

LMT3

17:00～18:00

座長：医療法人社団　さくら会　高橋病院　髙橋玲比古
Korea University Guro Hospital, Korea　Seung-Woon Rha

MO339　左主幹部への適切なステント留置とその安全性
名古屋ハートセンター　松田　理

MO340　左冠動脈主幹部分岐部病変のSES留置におけるone-stent strategyの優位性
兵庫県立姫路循環器病センター　鳥羽　敬義

MO341　左冠動脈主幹部病変に対するエベロリムス溶出ステントとパクリタキセル溶出ステントの比較
小倉記念病院　野村　章洋

MO342　シロリムス溶出性ステントを用いてT-ステントを行った非保護左主幹部新規分岐部病変の一年間の臨床経過及び慢性期造影所見
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　久保田健之

MO343　非保護左主幹部病変に対するシロリムス溶出性ステント留置後5年の臨床成績
倉敷中央病院　福　康志

DES10

13:00～14:00

座長：帝京大学医学部　上妻　謙
福山循環器病院　治田　精一

MO344　糖尿病におけるエベロリムス溶出性ステント留置後の臨床成績
小倉記念病院　榎本操一郎

MO345　小血管病変におけるエベロリムス溶出性ステントとパクリタキセル溶出性ステントの比較
小倉記念病院　福永　真人

MO346　エベロリムス溶出性ステント留置後８ヶ月時点の血管内視鏡所見
関西労災病院　粟田　政樹

MO347　薬剤溶出ステントの長期予後比較 若年者と高齢者の予後比較
順天堂大学医学部　坪井　秀太

MO348　スタチン治療は薬剤溶出性ステント留置後の再狭窄をへらす
京都大学医学部附属病院　加藤　義紘

DES11

14:00～15:00

座長：済生会横浜市東部病院　村松　俊哉
University of Virginia, USA　Scott Lim

MO349　透析患者に対するSES留置後4年の臨床成績
倉敷中央病院　福　康志

MO350　各種DESにおけるStent　Fractureの特徴
豊橋ハートセンター　木下　順久

MO351　急性冠症候群患者における薬剤溶出性ステント留置後の１年成績
東京大学医学部　清末　有宏

MO352　急性冠症候群におけるPROMUSの成績
小牧市民病院　舟曳　純哉

MO353　静岡市民病院におけるゾタロリムス漏出性ステント使用開始後の再狭窄率の評価
静岡市立静岡病院　高橋　宏輔

DES12

16:00～17:00

座長：国立循環器病研究センター　小谷　順一
静岡県立総合病院　土井　修

MO354　ステント／内腔の面積比が薬剤溶出性ステント留置後のエッジ狭窄予測因子である可能性の検討
小牧市民病院　加納　直明

MO355　シロリムス溶出性ステントを用いた急性冠症候群に対する冠動脈ステント留置術の長期成績
倉敷中央病院　多田　毅

MO356　バイパス術後の労作性狭心症患者のPCIにKIWAMIカテーテルが有用であった1症例
諫早総合病院　深江　貴芸

MO357　ステント再狭窄に対する再血行再建術の頻度と時期　～シロリムス溶出性ステントとパクリタクセル溶出性ステントの比較～
群馬県立心臓血管センター　河口　廉

MO358　急性心筋梗塞治療におけるエンデバーステントの有効性
NTT東日本関東病院　山崎　正雄

C会場

IVUS/OCT6

13:00～14:00

座長：心臓血管研究所付属病院　及川　裕二
豊橋ハートセンター　那須　賢哉

MO359　OCTにより観察した薬剤溶出ステント留置後のedge dissectionの自然経過とステント間(CypherとEndeavor)の治癒過程の差異
大阪医科大学　武田　義弘

MO360　薬剤溶出性ステント留置後ステント周囲プラークの変化
-zotarolimus-eluting stentとpaclitaxel-eluting stentの比較-
産業医科大学　村岡　秀崇

MO361　右冠動脈入口部へ留置されたDESのIVUS解析
済生会横浜市東部病院　阪本　泰成

MO362　drug-eluting stent　再狭窄病変における早期と晩期のパターンの相違
小倉記念病院　道明　武範

MO363　ベアメタルステントの超遅発性血栓症における血管内超音波所見
―IB-IVUSおよび病理組織学的な評価―
横浜総合病院　大塚　雅人

IVUS/OCT7

11:00～12:00

座長：石川県立中央病院　金谷　法忍
桜橋渡辺病院　藤井　謙司

MO364　シロリムス溶出性ステント留置後の遅発性再狭窄と早期再狭窄の新生内膜の違い：OCTによる検討
和歌山県立医科大学　猪野　靖

MO365　ゾタロリムス溶出性ステント留置後のステント周囲プラークの変化
-ベアメタルステントとの比較-
産業医科大学　村岡　秀崇

MO366　オーバーラップし留置したステントの再狭窄部位のIVUS解析
済生会横浜市東部病院　阪本　泰成

MO367　OCTによるBMSとDESの間での遠隔期ステント内狭窄の検討
名古屋第二赤十字病院　奥山龍之介

MO368　ステント再狭窄例におけるＯＣＴ所見のＤＥＳとＢＭＳでの比較
ーストラット周囲の低輝度領域と新生血管を中心にー
名古屋市立東部医療センター東市民病院　猪又　雅彦

IVUS/OCT8

14:00～15:00

座長：近畿大学医学部奈良病院　城谷　学
Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea　Myeong-Ki Hong

MO369　IVUSで評価した左主幹部動脈硬化病変の長期予後に対する影響の検討
河北総合病院　樋口　誉則

MO370　CTOのmicro channelをOCTにて明瞭に観察できた2症例
さいたま赤十字病院　浅野　充寿

MO371　iMap^{TM}解析によるSlow flow症例のプラーク性状検討
神戸大学大学院医学研究科　中川　雅之

MO372　ステント留置後、slow flow およびCPK上昇をきたした症例のIVUSおよびOCT所見
星総合病院　後藤　洋平

MO373　冠動脈分岐部のNecrotic Coreの分布：　A VH-IVUS Study
東邦大学医療センター大森病院　天野　英夫

CAS/Endovascular intervention9

11:00～12:00

座長：熊本中央病院　大嶋　秀一
UC Davis Medical Center, USA　John R. Laird

MO374　TASCIID大腿動脈病変に対する血管内治療の中期成績
新東京病院　朴澤　耕治

MO375　膝下動脈領域における金属ステントの有用性
関西労災病院　南都　清範

MO376　第２世代の自己拡張ステント（スマートコントロール）の浅大腿動脈完全閉塞病変における長期的な効果
洛和会丸太町病院　井田　円

MO377　高齢（85歳以上）の重症虚血肢に対する血管内治療
関西労災病院　岡本　慎

MO378　当院における透析シャント閉塞に対するPPIのコツ
いわき市立総合磐城共立病院　山本　義人

メディカル一般演題（Case Report）

7月21日（木）　D会場

IVUS/OCT1　17:00～18:00

座長：福岡市医師会成人病センター　勝田　洋輔
埼玉社会保険病院　久保　典史

CR001　責任病変とは異なる部位に認めた急性冠症候群のruptured plaque：追加ステントは必要だったか？
福島県立医科大学　坂本　信雄

CR002　同時期に留置されたゾタロリムス、パクリタクセル溶出性ステントが慢性期ステント内再狭窄をきたし、各々をOCTで観察できた一例
石心会狭山病院　荒巻　和彦

CR003　ゾタロリムス溶出性ステント留置後に拡大するステント不完全圧着を光干渉断層法及び血管内超音波にて認めた一例
北里大学医学部　西成　真琴

CR004　短期間で急速に進行したACSの責任病変をOCTで観察し得た一例
心臓血管研究所付属病院　松野　俊介

CR005　OCTのocclusion balloonにより冠動脈狭窄の進行を来したと考えられた2症例
長崎大学病院　佐藤　大輔

F会場

CAS/Endovascular intervention1　9:00～10:00

座長：小牧市民病院　川口　克廣
Mid-Florida Cardiology, USA　Barry S.Weinstock

CR006　複雑病変を含む重症上肢虚血に対して血行再建を施行した一例
東邦大学医療センター大橋病院　板谷　英毅

CR007　透析症例の左腕頭静脈病変に対するPTAでのステント選択：selfとballoon-expandable stentの使い分け
心臓血管センター金沢循環器病院　堀田　祐紀

CR008　SFA慢性完全閉塞に対して遠位部浅大腿動脈穿刺からの逆行性アプローチにより血管内治療を施行し得た一例
札幌東徳洲会病院　山崎　和正

CR009　バルーン拡張型カバードステントで複雑な腎動脈瘤の治療に成功した一例
仙台厚生病院　武蔵　美保

CR010　肝不全を合併したB型急性大動脈解離に対してIVUSガイド下で腹腔動脈ステント留置術を施行した一例
日本医科大学千葉北総病院　小林　宣明

G会場

CAS/Endovascular intervention2

14:00～15:00

座長：太田総合病院附属太田西ノ内病院　小松　宣夫
Riverside Methodist Hospital, USA　Gary M. Ansel

CR011　PTRAを併用することで腎動脈保護と正確なステントグラフト留置が可能であったEVARの一例
水戸済生会総合病院　千葉　義郎

CR012　ヨガでの長時間の胡坐が原因と考えられた膝窩動脈血栓症の一例
康生会武田病院　山田　健志

CR013　9年前に留置したPALMAZステントでjailされた右腸骨動脈慢性完全閉塞病変に対しPPIを施行した一例
網走厚生病院　明上　卓也

CR014　腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後に急性下肢虚血を来たした症例
福岡赤十字病院　末松　延裕

CR015　EVTにより救肢しえた壊死性筋膜炎を呈した重症虚血肢患者の一例
大阪厚生年金病院　山平　浩世

J会場

Restenosis

13:00～14:00

座長：富山赤十字病院　新田　裕
国立病院機構愛媛病院　舩田　淳一

CR016　Sirolimus eluting stentのlate catch up症例で画像的、組織学的に検討を行えた症例
桜橋渡辺病院心臓・血管センター　永井　宏幸

CR017　Stent FractureによるSESの再狭窄に対してBMSを用いて治療し再狭窄なく経過した1例
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院　石橋　祐記

CR018　ステント内再狭窄に対し留置したゾタロリムス溶出性ステントの新生内膜被覆についてＯＣＴとＣＡＳにて観察した一例
東京医科歯科大学　中村　玲奈

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)

14:00～15:00

座長：マツダ（株）マツダ病院　住居晃太郎
京都桂病院　中村　茂

CR019　LMTでのステント脱落にlow-profile balloon catheterでbail outに成功した一症例
札幌東徳洲会病院　山崎　誠治

CR020　LMT閉塞急性心筋梗塞に対する6Frカテーテルを使用した橈骨動脈アプローチからのmini-crush stenting (balloon crush)
札幌東徳洲会病院　士反　英昌

CR021　ステント留置術後の慢性期冠動脈瘤に対してステントグラフトによる治療を行った一例
横浜市立大学医学部　高村　武

CR022　2つの2ワイヤーテクニックを用いた高度屈曲回旋枝病変治療
熊本大学　田山　信至

CR023　腹部大動脈瘤および弓部人工血管内を通りＰＣＩを施行した一例
大阪医科大学　山内　洋平

AMI1

16:00～17:00

座長：戸田中央総合病院　内山　隆史
札幌医科大学　長谷　守

CR024　完全房室ブロックを合併した広範囲前壁心筋梗塞に責任病変以外のPCIを行い救命し得た1例
大阪府済生会泉尾病院　塚田　敏

CR025　特発性らせん状右冠動脈解離に対してIVUSガイド下PCIを行った１例
済生会熊本病院　鈴山　寛人

CR026　幼少時より冠動脈造影を長期間追跡し得た川崎病冠動脈瘤患者に生じた急性心筋梗塞の一例
天理よろづ相談所病院　西賀　雅隆

CR027　小血管の急性心筋梗塞に対する治療戦略はどうあるべきか?
鳥取大学医学部附属病院　古瀬　祥之

CR028　CABG後、GEA graftの狭窄による狭心症に対しDES stentを留置した1例
亀田総合病院　岩塚　良太

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire　17:00～18:00

座長：小牧市民病院　近藤　泰三
Stanford University, USA　Fumiaki Ikeno

CR029　血管内視鏡を用いて観察し得たパクリタキセル溶出性ステントのedgeに認められた不完全新生内膜及び大量の黄色プラーク・赤色血栓
筑波大学大学院人間総合科学研究科　掛札　雄基

CR030　各種モダリティを用いた再狭窄9症例の検討
愛媛県立今治病院　大下　晃

CR031　冠動脈内視鏡およびOCTによるカバードステントに生じた内膜被覆遅延の一症例
日本医科大学千葉北総病院　稲見　徹

CR032　軽度冠動脈狭窄病変においてFFR測定により生理学的虚血が明らかとなった1例
愛知医科大学　栗田　章由

IVUS/OCT2

14:00～15:00

座長：時計台記念病院　浦澤　一史
東京医科大学　田中　信大

CR033　原因不明の両側冠動脈起始部狭窄により不安定狭心症を呈した15歳少女
久留米大学医学部　光武　良亮

CR034　超遅発性ステント血栓症を発症したPeri-stent conrast stainingをOCTにより観察した一例
愛媛県立中央病院　清家　史靖

CR035　Paclitaxel溶出ステントの低輝度新生内膜組織はバルーン拡張により著減する：OCTで観察した2症例
長崎大学病院　中田　智夫

CR036　光干渉断層法で右冠動脈に蓮根様の構造物を認めた陳旧性心筋梗塞の1例
奈良県立医科大学　土手　揚子

F会場

CAS/Endovascular intervention3

11:00～12:00

座長：大阪労災病院　西野　雅巳
Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea　Donghoon Choi

CR037　ルーリッシュ症候群の患者のCLIに対して、末梢インターベンションにて治療した症例
医仁会武田総合病院　武田　真一

CR038　腹部・腸骨動脈瘤グラフト術直後での下肢末梢塞栓症に対しカテーテル治療を行い下肢救済に成功した1例
荻窪病院　吉田健太郎

CR039　単腎性腎動脈狭窄に対する腎動脈ステント留置術にて難治性うっ血性心不全の治療に成功した一例
永井病院　熊谷　直人

CR040　腹部外傷により腎動脈解離を起こした症例への血管内治療の経験
岸和田徳洲会病院　藤原　昌彦

CR041　冠動脈2枝・左鎖骨下動脈・両総腸骨動脈領域に高度狭窄を伴うアプローチ困難な患者に対して血管内治療を施行した1例
新東京病院　川本　浩禎

G会場

CAS/Endovascular intervention4

9:00～10:00

座長：岸和田徳洲会病院　横井　良明
UC Davis Medical Center, USA　John R. Laird

CR042　治療不能と思われた大動脈解離の1例
心臓病センター榊原病院　山本　桂三

CR043　小径の大動脈を有する嚢状瘤に対してステントグラフト内挿術を施行した一例
関西労災病院　土肥　智晴

CR044　腸骨静脈圧迫症候群による深部静脈血栓症にステント留置、および血栓吸引療法が有効であった一例
熊本中央病院　花谷　信介

CR045　SFAステント後で慢性期の血栓豊富な再閉塞病変に対してカテーテルでの血栓破砕および吸引療法が有効であった1
熊本中央病院　上村　智明

G会場

Follow up results

11:00～12:00

座長：葉山ハートセンター　雨宮　浩
安城更生病院　度会　正人

CR046　膝下病変の血流障害は、浅大腿動脈PTA術後の再狭窄率に影響するか？
心臓血管センター金沢循環器病院　高木　俊光

CR047　9ヶ月間の脂質降下療法前後にOCTによるTCFAの観察をしえた一例
神戸大学大学院医学研究科　西尾　亮

CR048　奇異性塞栓症に対するAMPLATZER閉鎖栓を用いた経皮的心房中隔欠損閉鎖術の一例
東邦大学医療センター大橋病院　原　英彦

K会場

AMI2

17:00～18:00

座長：名古屋掖済会病院　佐野　宏明
杏林大学医学部附属病院　吉野　秀朗

CR049　自然発症型冠動脈解離による急性心筋梗塞を発症した閉経前女性および冠攣縮との関連
熊本大学医学部附属病院　辻田　賢一

CR050　急性冠症候群による院外心肺停止蘇生後の責任血管の同定に苦慮した一例
聖路加国際病院　渡邉　琢也

CR051　冠攣縮と冠動脈解離の関係について--２症例についての検討--
大阪赤十字病院　徳永　元子

CR052　若年発症ＡＭＩ患者のＰＣＩでの治療戦略（血栓吸引、POBAのみの症例）
取手協同病院　岩井　利之

Complications1

14:00～15:00

座長：札幌心臓血管クリニック　藤田　勉
Cleveland Clinic, USA　E. Murat Tuzcu

CR053　左バルサルバ洞起始の右冠動脈へのPCIに際しバルサルバ洞解離をきたした1例
北見赤十字病院　斉藤　高彦

CR054　Rotablator後の合併症として解離およびhematomaを認めた一例
長崎光晴会病院　片山　敏郎

CR056　右冠動脈起始部に留置されるも慢性期造影の際に離断、浮遊したステントの回収に成功した1例
荻窪病院　石井　康宏

CR057　PCI施行中にステントが脱落し、最終的には回収できなかった一例
仙台厚生病院　伊澤　毅

Complications2

16:00～17:00

座長：福岡徳洲会病院　下村　英紀
University Malaya Medical Centre, Malaysia　Wan Azman Wan Ahmad

CR058　ステント留置時の重篤なcoronary ruptureに対して5Frの子カテを使いカバードステントを留置できた一例
君津中央病院　藤本　善英

CR059　タキサスステントが原因と疑われた薬剤性脱毛症の１例
市立福知山市民病院　西尾　学

CR060　冠動脈に遺残したガイドワイヤーにより遅発性に冠動脈穿孔を生じた1例
奈良県立医科大学　添田　恒有

CR061　ＰＣＩ中のヘパリン起因性血栓症に対するモンテプラーゼによるパルス注入血栓溶解療法の有用性
高岡市民病院　原城　達夫

CR062　左主幹部病変を伴う急性冠症候群に対する緊急PCI中に急性冠閉塞と冠動脈穿孔を合併しPCPS補助を必要とした一例.
明石医療センター　松浦　岳司

B会場

Stent thrombosis

17:00～18:00

座長：筑波メディカルセンター病院　野口　祐一
Chonbuk National University Medical School/Hospital, Korea　Jei Keon Chae

CR063　XI因子欠損症患者に対する、冠動脈ステント留置術
富山赤十字病院　賀来　文治

CR064　アレルギーおよび炎症反応の関与が考えられた、パクリタキセル溶出性ステントの超遅発性ステント血栓症の一例
岩手医科大学医学部　房崎　哲也

CR065　LCX近位部に留置したPESの非内膜被覆ストラットからLMT内に突出した巨大血栓を、OCTで確認し得たの1例
新東京病院　三友　悟

CR066　OCTでの冠動脈瘤形成の確認：SES両端に形成した超遅発性stent血栓症
大隅鹿屋病院　古賀　敬史

CR067　シロリムス溶出性ステント留置後超遅発性ステント血栓症患者における遅発性ステント圧着不良と血管炎症との関連
産業医科大学医学部　樫山　国宣

D会場

IVUS/OCT3

13:00～14:00

座長：京都桂病院　小林　智子
Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA　Akiko Maehara

CR068　冠動脈内膜下血腫による急性心筋梗塞の一例
新潟市民病院　池上龍太郎

CR069　線維筋性異形成との鑑別に苦慮した動脈硬化性腎動脈狭窄の1例
愛媛大学医学部附属病院　東　晴彦

CR070　特発性冠動脈解離エントリー部同定にfrequency domain OCTが有用であった一例
神戸大学大学院医学研究科　中川　雅之

CR071　ステント留置後、移動したしたカリーナをOCTで観察しえた分岐部病変の1例
星総合病院　後藤　洋平

F会場

CAS/Endovascular intervention5

11:00～12:00

座長：菊名記念病院　宮本　明
Bryn Mawr Hospital, USA　Antonis Pratsos

CR072　人工血管FPバイパスへのステンティング
聖路加国際病院　浅野　拓

CR073　上腸管膜動脈へのEVTを施行した急性腸管虚血及び慢性腸管虚血の2症例
東京女子医科大学病院　東谷　迪昭

CR074　IVUS、OCT、血管内視鏡、DCAを施行し得たエベロリムス溶出ステント再狭窄の二例
心臓血管研究所付属病院　小山　雄広

CR075　CTおよびIVUSガイドにて血行再建に成功したSMA完全閉塞の一例
京都大学大学院医学研究科　田崎　淳一

G会場

CTO

11:00～12:00

座長：洛和会丸太町病院　上田　欽造
豊橋ハートセンター　土金　悦夫

CR076　ＧＥＡ－ＲＣＡグラフト経由のレトログレードアプローチで治療したＬＡＤ慢性完全閉塞の一例
宮城県立循環器呼吸器病センター　三引　義明

CR077　Separate right ventricular branch からの選択的対側造影が有用であった右冠動脈の慢性完全閉塞病変への PCI の一例
国立循環器病研究センター病院　陣内　俊和

CR078　順行性のナックルワイヤーにて成功したCTO PCI症例
北摂総合病院　永松　航

CR079　右冠動脈の慢性完全閉塞病変の治療に成功した一例
～Stent reverse CART テクニックを用いて～
東邦大学医療センター大橋病院　中西　真規

CR080　Conus Arteryからの対側造影を用いてRCAのCTOを治療した1例
慶應義塾大学医学部　荒井　隆秀

Complications3

13:00～14:00

座長：東宝塚さとう病院　東野　順彦
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China　HongBing Yan

CR081　Stent外に位置したguide wireをCorsairを用いて抜去した際に、guide wireとCorsairが断裂した一例
福島県立医科大学附属病院　星野　寧人

CR082　冠動脈末梢に断裂、残存したガイドワイヤー断片をSoutenir CVを用いて回収に成功した一例
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院　上嶋　亮

CR083　ロータブレータ施行中断裂したロータワイヤー回収に難渋した一例
小牧市民病院　向井健太郎

CR084　穿刺部位に難渋した急性冠症候群の一例
秀和綜合病院　後藤　亮

CR085　ドクターヘリでのインターベンション専門医のデリバリーにより救命し得た地方の二次病院で発生した左冠動脈主幹部解離の一例
久留米大学　外山　康之

H会場

Complications4

14:00～15:00

座長：新潟市民病院　小田　弘隆
近森病院　川井　和哉

CR086　左冠動脈にステントを留置した際に冠動脈右室瘻を形成した一例
熊本労災病院　日下　裕章

CR087　腸骨動脈CTO病変のPPIで血管破裂に胆管ステントが有効であった１例
いわき市立総合磐城共立病院　山本　義人

CR088　左主幹部高度石灰化狭窄に対するRotablator ablation中にROTA burrが左主幹部で抜去困難となった1例
いわき市立総合磐城共立病院　多田　智洋

CR089　Filtrapワイヤーがステントに絡んで回収に難渋した右腸骨動脈慢性完全閉塞の一例
いわき市立総合磐城共立病院　浅海　泰栄

CABG/CABG vs. PCI/Structual

16:00～17:00

座長：平塚共済病院　丹羽　明博
国立病院機構　藤本　和輝

CR090　肺塞栓を発症した心筋炎患者の右房内浮遊帯状血栓に対しカテーテル治療を行った一例
長野松代総合病院　森田　岳宏

CR091　高度のMRを伴う左室肥大+sigmoid septumによる左室流出路狭窄に対してPTSMAが著効した1例
耳原総合病院　石原　昭三

CR092　急性心筋梗塞を発症した重症大動脈弁狭窄症の透析患者に対して緊急PCIと大動脈弁バルーン拡張術が有効であった１例
池上総合病院　笠井　智司

CR093　左前下行枝の狭窄病変に対する経皮的冠動脈形成術により左室流出路狭窄が消失した一例
新潟市民病院　尾崎　和幸

CR094　高度ASと慢性腎不全を併存する腹部大動脈瘤に対し、BAVとEVARを二期的に施行した超高齢者の一治験例
川崎市立川崎病院　古田　晃

CR095　イノウエバルーンが狭窄した僧帽弁を通過しない・・・あなたならどうする？
慶應義塾大学医学部　高橋　賢至

メディカル一般演題（ポスター）

7月22日（金）　3F 展示会場

AMI

10:00～11:30

座長：東大阪市立総合病院　木島　祥行

MP001　初回急性心筋梗塞患者におけるヘモグロビン濃度と血中B-type Natriuretic Peptide (BNP)値の相関に関する検討
仙台市医療センター　仙台オープン病院　杉江　正

MP002　ST上昇型心筋梗塞における6.5Frシースレスガイディングの安全性と有効性
社会医療法人明和会　播間　崇記

MP003　心筋梗塞患者の退院時心拍数は独立した予後因子となり得る
昭和大学横浜市北部病院　星本　剛一

MP004　ＩＶＵＳガイド下でPCIに成功したRight coronary Spontaneous DissectionによるAMI の１症例
福山循環器病院　谷口　将人

MP005　ST上昇型心筋梗塞においてOCTの臨床的有用性
新東京病院　渡邉　祐三

MP006　右冠動脈ST上昇型急性心筋梗塞でのDioを用いた血栓吸引の有用性
湖東記念病院　武田　輝規

MP007　急性冠症候群におけるEPA/AA比の検討
東京大学医学部付属病院　高橋　政夫

3F 展示会場

CAS/Endovascular intervention1

10:00～11:30

座長：高井病院　西田　育功

MP008　CTAによって頸動脈ステント留置術CASハイリスク症例を同定できるか？
中通総合病院　佐藤　誠

MP009　炭酸ガス造影を使用し浅大腿動脈の慢性完全閉塞のEVTを行なったCKD患者の一例
横浜栄共済病院　岩城　卓

MP010　腸骨動脈慢性完全閉塞病変に対する自己拡張型ナイチノールステント留置術後の臨床成績
済生会横浜市東部病院　高間　拓郎

MP011　大動脈瘤血管内治療施行患者における冠動脈疾患治療戦略
心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　中田　淳

MP012　高齢者に対するCASの検討
小倉記念病院　三浦　崇

MP013　腋窩動脈及び上腕動脈の慢性完全閉塞に対して血管内治療が有効であった３症例
福山市民病院　中濱　一

MP014　腎動脈瘤コイル塞栓術を施行した一例
九州大学病院　深田　光敬

MP015　浅大腿動脈病変に対するSMART STENTの中期成績
福山市民病院　戸田　洋伸

DES1

10:00～11:30

座長：仙台厚生病院　滝澤　要

MP016　糖尿病患者におけるパクリタキセル溶出性ステントとシロリムス溶出性ステントの臨床成績（連続600病変の後ろ向き比較研究）
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　仲野　陽介

MP017　シロリムス溶出性ステント留置後のperi-stent contrast stainingの検討
松江赤十字病院　角田　郁代

MP018　シロリムス溶出ステント留置５年後の結果
石川県立中央病院　井上　勝

MP019　60mmを超えるlog stentingに対するSESとPESの臨床成績の比較
昭和大学　塚本　茂人

MP020　糖尿病患者に対する薬剤溶出性ステント留置の効果と安全性
群馬県立心臓血管センター　簡　伯憲

MP021　各種薬剤溶出ステント留置後における慢性期局所凝固反応についての比較
徳島大学病院　山口　浩司

MP022　回転性アテレクトミー後の薬剤溶出性ステント留置術の治療成績　SESとPESとの比較
自治医科大学付属さいたま医療センター　内藤　亮

3F 展示会場

IVUS/OCT1

10:00～11:30

座長：土浦協同病院　角田　恒和

MP023　プラーク正常解析ソフトVH-IVUSとi-MAPとの比較
心臓病センター榊原病院　廣畑　敦

MP024　ポジディブリモデリングはプラーク脆弱性と関連がある－40MHziMAP血管内超音波を用いて
東邦大学医療センター大橋病院　荒木　正

MP025　薬剤溶出性ステント留置後の形態的特長と慢性期のステント内新生内膜増殖との関係
～光干渉断層映像を用いた研究～
奈良県立医科大学　石神　賢一

MP026　青年から壮年期における急性冠症候群の血管内超音波所見の検討
松江市立病院　佐藤　寛大

MP027　IB-IVUSを用いたプラーク解析はPCI時のno-reflow現象を予測する
山形大学医学部　大道寺飛雄馬

MP028　非ST上昇型急性冠症候群の症例群と無症候性の症例群でのプラーク破裂の形態のOCTでの相違
和歌山県立医科大学　嶋村　邦宏

MP029　NSD は cardiac event の予後予測因子となりうるか？:OCT による 52 症例のフォローアップ
浦添総合病院　宮城　直人

MP030　複数のSirolimus-eluting stentを留置後、その一部のみにPeri-stent contrast stainingの所見を呈した一例
相模原協同病院　伊藤　大起

LMT

10:00〜11:30

座長：佐賀大学医学部　挽地　裕

MP031　左冠動脈主幹部分岐部病変へ薬剤溶出性ステント留置後のトリプルキッシングバルーンテクニックの中期成績について
倉敷中央病院　久保　俊介

MP032　非保護左主幹部分岐部病変による急性冠症候群に対する薬剤溶出性ステントでのミニクラッシュ治療の予後
さくら会高橋病院　坂本　伸吾

MP033　当院における非保護左主幹部病変に対する待機的冠動脈インターベンションの臨床成績
豊見城中央病院　嘉数　敦

MP034　左冠動脈主幹部における再狭窄と血小板凝集能との関連
大垣市民病院　永井　博昭

MP035　非保護下LMT病変についてのSyntax scoreによる検討
東邦大学医療センター大橋病院　堀　真規

MP036　非保護左主幹部に対するCross-overステント法からの治療戦略変更の要因
熊本大学　田山　信至

MP037　Bentall手術3年後にLMT高度狭窄を来した一例
神戸市立医療センター中央市民病院　西野　共達

MP038　左前下降枝慢性完全閉塞病変のPCI中、LAD起始部の拡張直後にLMT分岐部石灰化プラークがLCXへ落下した１例
いわき市立総合磐城共立病院　山本　義人

3F 展示会場

Prognosis after intervention therapy1

10:00〜11:30

座長：公立阿伎留医療センター　樫田　光夫

MP039　急性冠症候群症例の長期フォローアップと二次予防の重要性
平塚共済病院　大西　隆行

MP040　腎障害合併ST上昇型急性心筋梗塞症例におけるprimary PCI後の急性腎障害が退院後予後に与える影響
国立病院機構大阪南医療センター　久米　清士

MP041　脳血管障害患者における術前脳血管および冠動脈同時造影の検討
公立昭和病院　山田　朋幸

MP042　眼科術前心電図スクリーニングによる冠動脈および末梢動脈疾患の検出
総合新川橋病院　小山　豊

MP043　PCIは安定労作性狭心症の予後を改善するか?
熊本中央病院　西嶋　方展

Stent thrombosis

10:00～11:30

座長：心臓血管センター北海道大野病院　山下　武廣

MP044　DES留置後の遅発性ステント血栓症の2例-OCT所見を含めて-
平塚共済病院　大西　祐子

MP045　左前下行枝から主幹部のベアメタルステント拡張不良による急性ステント血栓症の一例
福山循環器病院　児玉　直

MP046　二枝同時に発症した遅発性ステント内血栓症の一例
国立病院機構大阪南医療センター　松寺　亮

MP047　ステント留置後の急性ステント血栓症における光干渉断層像による検討
日本医科大学千葉北総病院　北村　光信

3F 展示会場

BMS/Debulking

13:30～15:00

座長：大阪労災病院　習田　龍

MP048　急性冠症候群患者におけるIVUSガイド下での冠動脈ステント留置の臨床的効果の検討
日本大学医学部附属板橋病院　林田　泰一

MP049　急性冠症候群に対するプライマリーPCI症例への短期心臓リハビリテーションが及ぼす臨床的および血管造影上の効果
相模原協同病院　河村　洋太

MP050　小血管に対するステント
山形県立中央病院　安藤　薫

MP051　高速回転式アテレクトミー処置後のシロリムス溶出性ステントと従来型ステント留置術における中期及び長期成績の比較検討
昭和大学横浜市北部病院　磯村　直栄

MP052　ステント内狭窄の再狭窄予防に対する Scoring Balloon(ScoreFlex)とCutting Balloon (Flextome)の有用性の検討
長野赤十字病院循環器病センター　宮澤　泉

CAS/Endovascular intervention2

13:30～15:00

座長：北海道循環器病院　八巻　多

MP053　造影剤を使用しない腎動脈ステント留置術
三重ハートセンター　宮田　和明

MP054　慢性腎臓病患者における腎動脈狭窄症は予後不良因子となる
東邦大学医療センター大橋病院　堀　真規

MP055　経皮的血行再建により再疎通しえた急性下肢虚血の3例
横須賀共済病院　藤波　竜也

MP056　自家静脈カバードステントによる腎動脈瘤治療
横浜労災病院　佐々木法常

MP057　血管内治療を行ったLeriche症候群の一例
春日部中央総合病院　尾崎　俊介

MP058　高度石灰化を伴う大動脈縮窄症に対して血管内治療を施行した1例
名古屋ハートセンター　村田　朗

MP059　血管内治療におけてCO2造影は造影剤の投与量を減らすことに貢献する
国立病院機構岩国医療センター　川本　健治

MP060　低侵襲経皮的腎動脈ステント留置術
聖マリアンナ医科大学　金剛寺　謙

Complications

13:30～15:00

座長：三友堂病院　阿部　秀樹

MP061　PPI中に生じた筋肉内出血の止血に難渋した一例
済生会京都府病院　竹田　光男

MP062　橈骨動脈アプローチにおける穿刺部合併症の危険因子の検討
国立病院機構熊本医療センター　本多　剛

MP063　急峻な角度を有する冠動脈への通過中に断裂したガイドワイヤー先端が慢性期の冠動脈造影時に消失した一例
徳島赤十字病院　宮崎晋一郎

MP064　PCIにおけるステントデザインの側枝閉塞に関する検討　open-cellとclose-cellに優劣は存在するか？
横浜市立みなと赤十字病院　植島　大輔

MP065　PCIにおいて発生する造影剤腎症が遷延する場合の危険因子の検討
取手協同病院　久保山　修

MP066　小径バルーンカテーテルにて脱落したステントを回収し得た1例
長野赤十字病院　戸塚　信之

MP067　ステロイドを前投与したにもかかわらず心臓カテーテル検査中に冠攣縮を伴うアナフィラキシーショックを呈した1例
富山赤十字病院　吉田　太治

MP068　血管内に脱落したANGIO-SEALのアンカーおよびコラーゲンスポンジを、Fogartyカテーテルを使用し外科的に摘出した一例
福島赤十字病院　渡部　研一

MP069　緊急PCIを施行したAMI患者における造影剤腎症発症の危険因子の検討
取手協同病院　久保山　修

MP070　経上腕動脈腸骨動脈形成術後に同側上肢の麻痺を伴い穿刺部感染および腋窩動脈仮性動脈瘤を発症した一症例
日立総合病院　湯川　明和

MP071　循環補助下経皮的冠動脈形成術における大動脈バルーンパンピングカテーテルサイズのカテーテル関連合併症に及ぼす影響について
さくら会高橋病院　山田　健志

CTO

13:30～15:00

座長：手稲渓仁会病院　廣上　貢

MP072　冠動脈CTでみた慢性完全閉塞病変におけるPCIの手技成功予測因子の検討
済生会横浜市東部病院　小松　一貴

MP073　CTOに対するPCIの有効性－急性期および8か月後におけるTL/I-BMIPP dual SPECTを用いた血流代謝乖離、左室機能評価の検討－
済生会横浜市東部病院　佐々木伸也

MP074　慢性完全閉塞に対する2期的ステント留置
名古屋第二赤十字病院　吉田　路加

MP075　右冠動脈の慢性完全閉塞病変に長区域に留置したシロリムス溶出ステントの遅発性再閉塞に対するPCIの１例
明石医療センター　松浦　啓

3F 展示会場

DES2

13:30～15:00

座長：大阪府済生会中津病院　瀬尾　俊彦

MP076　シロリムス溶出性ステントとパクリタクセル溶出性ステント留置後のstent fracture部位における中期成績
倉敷中央病院　早川　由紀

MP077　Paclitaxel-eluting stent留置後のステント内組織性状：OCTによる再狭窄と非再狭窄例の比較
川崎医科大学　山田亮太郎

MP078　びまん性小血管病変に対する複数の細径DES留置後3年の臨床成績
小倉記念病院　加藤　雅史

MP079　腎障害患者に対する薬剤溶出性ステント別の成績
昭和大学横浜市北部病院　山下賢之介

MP080　当院におけるZotarolimus-Eluting Stentの中期成績
NTT東日本関東病院　松下匡史郎

MP081　薬剤溶出性ステントの早期および晩期における再狭窄の造影所見
天陽会中央病院　有川　亮

MP082　エベロリムス溶出性ステントの初期成績
倉敷中央病院　三宅　剛司

IVUS/OCT2

13:30～15:00

座長：徳島大学病院　若槻　哲三

MP083　安定狭心症における冠動脈リモデリングとthin cap fibroatheromaとの関係：IB-IVUSによる検討
川崎医科大学　宮本　欣倫

MP084　OCTを用いたステント圧着不良・組織逸脱・血栓の自然経過に関する検討
神戸大学医学部附属病院　川森　裕之

MP085　ＯＣＴ、integrated backscatterＩＶＵＳにて観察し得たno-reflw現象を来した急性冠症候群の一例
聖マリアンナ医科大学　小山　幸平

MP086　LDLコレステロールと中性脂肪の冠動脈内マクロファージ濃度の違い： OCTを用いた 52 例における検討
浦添総合病院　宮城　直人

MP087　狭心症における血中MDA-LDL値とプラーク不安定性との関連（OCTによる解析）
石川県立中央病院　三輪　健二

MP088　IVUSによる冠動脈プラークの組織性状とCTによる内臓脂肪の関連
信州大学　木村　光

MP089　虚血発作を再発したシロリムス溶出ステント植え込み患者のステント内不安定プラーク破裂
福岡市医師会成人病センター　島松淳一郎

MP090　特殊な新生内膜増殖形態と思われる再狭窄例のIVUSとOCT
秋田県成人病医療センター　佐藤　匡也

3F 展示会場

Other modalities/new devices

13:30～15:00

座長：所沢ハートセンター　桜田　真己

MP091　ST上昇型心筋梗塞におけるprimary PCI後のニコランジル冠注療法が慢性期左室機能に及ぼす効果の検討
大阪府済生会千里病院　山田　憲明

MP092　左肺動脈内に迷入したカテーテルに対してsuture techniqueを用いたスネアが有用であった一例
広島鉄道病院　寺川　宏樹

MP093　子宮筋腫および子宮腺筋症患者における子宮動脈塞栓症とD-dimerの関係
府中恵仁会病院　石川　浩

MP094　６Ｆガイドカテを用いたTRIにおいてステントデリバリーが困難な高度屈曲石灰化病変をCokatteを用いて通過しえた一例
関西医大滝井病院　朴　幸男

MP095　クイッククロットの有用性について
一宮西病院　石原　弘貴

MP096　薬剤添加剤アレルギーを有する患者にDEBでのTLRが有効であった一例
舞鶴共済病院　臼井　公人

MP097　フィルトラップ捕捉物の病理学的解析
帝京大学医学部附属病院　大槻　修司

7月22日（金）　3F 展示会場

Prognosis after intervention therapy2　13:30〜15:00

座長：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院　嶽山　陽一

MP098　岸和田徳洲会病院における心血管インターベンションの現状
岸和田徳洲会病院　藤原　昌彦

MP099　橈骨動脈アプローチと大腿動脈アプローチによる冠動脈インターベンション後のアウトカム比較
京都大学　夏秋　政浩

MP100　胸痛再発のため中等期間を空けてから冠動脈造影再検を受けた患者が血行再建を要する予測因子の検討
鳥取県立中央病院　遠藤　昭博

MP101　TCFAは適切な薬物療法下においても、早期にプラークを進行させる可能性を秘めている。
日本医科大学千葉北総病院　志村　徹郎

7月23日（土）　3F 展示会場

Anti-platelet therapy　10:00〜11:30

座長：市立岸和田市民病院　松田　光雄

MP102　急性心筋梗塞にてPrimary Stenting施行患者においてプロトンポンプ阻害剤併用時のクロピドグレルとチクロピジンの臨床効果の比較
半田病院　田中　哲人

MP103　薬剤溶出性ステント留置後におけるクロピドグレル中断例での有害事象検討
横須賀共済病院　黒田　俊介

MP104　薬剤溶出性ステント留置後1年以内に起こる非心臓イベントについての検討
佐賀県立病院好生館　吉田　敬規

MP105　Tokai Protocolの成績
東海大学医学部付属病院　戸田　恵理

MP106　シロリムス溶出性ステント植え込み後ステントの破損を認めた患者における長期抗血小板剤２剤併用療法の効果
倉敷中央病院　加藤　晴美

MP107　待機的冠動脈インターベンション施行症例における機能的CYP2C19遺伝子変異に基づいた至適抗血小板療法
熊本大学大学院生命科学研究部　海北　幸一

MP108　腎不全が冠動脈ステント植え込み患者における血小板機能とクロピドグレル効果に与える長期的な影響
帝京大学医学部附属病院　付　強

MP109　PSSを認めたSES留置後の患者に抗血小板薬2剤併用はいつまで必要か
倉敷中央病院　齋藤　直樹

CAS/Endovascular intervention3　10:00～11:30

座長：埼玉医科大学国際医療センター　小宮山伸之

MP110　腎動脈インターベンション後に劇的な腎機能改善をみた両側腎動脈狭窄の一例
市立秋田総合病院　藤原　敏弥

MP111　浅大腿動脈に対するEVT後のステント再狭窄に対する治療方法の検討
済生会横浜市東部病院　滝村　英幸

MP112　血栓吸引療法を行った急性腎梗塞の一例
国立病院機構岡山医療センター　更科　俊洋

MP113　段階的血管内治療によって著しい改善をみたMay-Thurner syndrome の一例
聖マリアンナ医科大学　下郷　卓史

MP114　4.5Frシースレスガイドカテーテルによる腎動脈狭窄症に対する治療
湘南鎌倉総合病院　水野　真吾

MP115　末梢動脈疾患を有する透析患者においてCRPは大腿膝窩動脈領域EVT後の予後予測因子となるか
名古屋共立病院　河村　吉宏

MP116　当院におけるシャント不全に対する、経皮的血管形成術の初期成績
岸和田徳洲会病院　塩谷　慎治

3F 展示会場

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire　10:00～11:30

座長：大阪大学大学院　橘　公一

MP117　血管内視鏡による内膜被覆程度の検討-各薬剤溶出性ステント間の違い-
岡山赤十字病院　川合　晴朗

MP118　ゾタロリムス溶出性ステントの新生内膜被覆はシロリムス溶出性ステントに比し不均一である
大阪労災病院　牧野　信彦

MP119　インスリン抵抗性は安定狭心症に対する冠動脈インターベンション後の冠微小循環障害を増加させる
心臓病センター榊原病院　大河　啓介

MP120　冠動脈疾患における経皮的冠動脈形成術後の心筋障害を予測する心筋血流予備量比の有用性
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院　石橋　祐記

MP121　大動脈内バルーンパンピングのFractional flow reserveに及ぼす影響
広島鉄道病院　大成　裕亮

MP122　パクリタキセル溶出性ステント留置後慢性期の血管内視鏡検査による検討。
浮間中央病院　猿谷　忠弘

DES3

10:00～11:30

座長：日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　浅野　竜太

MP123　エベロリムス溶出性ステントの中期成績
倉敷中央病院　三宅　剛司

MP124　分岐部病変におけるtwo-stentを使用したPCIの長期成績
倉敷中央病院　羽原　誠二

MP125　血管径の大きい冠動脈病変に対する長期予後に与える薬剤溶出性ステントの有用性
富山赤十字病院　吉田　太治

MP126　DES留置患者のQCAを用いたlate　lossと血糖及びHbA1cの検討
金沢医科大学病院　渡辺　真

MP127　糖尿病患者に対してのPES留置の臨床的有用性について
加古川東市民病院　寺尾　侑也

MP128　ゾタロリムス溶出性ステントの1年後の臨床成績
仙台厚生病院　上村　直

MP129　AMIに対するDES留置の短期および中期成績
東宝塚さとう病院　浅野　克明

3F 展示会場

Follow up results

10:00～11:30

座長：葉山ハートセンター　雨宮　浩

MP130　冠動脈形成術を施行した糖尿病患者における患者背景及び予後：ベアメタルステントと薬剤溶出性ステント時代を比較して
順天堂大学　坪井　秀太

MP131　薬剤溶出性ステントとベアメタルステントにおける留置1年以降の標的病変再血行再建の比較
亀田総合病院　大野　正和

MP132　重症下肢虚血患者に対して、単一施設での血行再建・創傷治癒・栄養管理の集学的治療の効果.
昭和大学藤が丘病院　前田　敦雄

MP133　透析患者におけるPCI後のCRPによる長期予後予測
名古屋共立病院　川島　一博

MP134　SES留置後における超慢性期成績；術後6年間における臨床経過
東邦大学医療センター大森病院　内田　靖人

MP135　DES時代における安定狭心症に対するPCI後の長期成績
心臓血管研究所付属病院　岸　幹夫

MP136　日本人患者におけるゾタロリムス溶出性ステント(エンデバー)留置後の中期成績
日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院　笠原　武

MP137　小血管に対するPES（Taxus ExpressとTaxus Liberte）の長期成績について
災害医療センター　関川　雅裕

New approach to devices/Other coronary diagnostic method1　10:00～11:30

座長：三菱京都病院　三木　真司

MP138　虚血性心疾患患者におけるEPA/AAの動脈硬化の進展への寄与
東邦大学医療センター大橋病院　中西　真規

MP139　Device Delivery Catheter Cokatteのdeep engageにCorsairが有効であった蛇行血管のPCI症例
福島赤十字病院　阪本　貴之

MP140　4Fr親子カテシステムのバックアップサポート力に親ガイドカテーテルサイズが与える影響
湘南鎌倉総合病院　竹下　聡

MP141　左内胸動脈グラフトの先の冠動脈へのPCIに４FrガイディングカテーテルKIWAMIが有効であった2例。
君津中央病院　山本　雅史

MP142　Complex TRIにおける7.5 Fr Sheathless Guide Catheter Systemの有効性および安全性
仙台厚生病院　松本　崇

MP143　冠動脈疾患診断における脂質マーカーの有用性の検討
昭和大学横浜市北部病院　山本　明和

MP144　冠動脈造影上有意狭窄を認めない造影遅延現象についての検討
康生会武田病院　宮井　伸幸

MP145　4Fガイディングカテーテルにて OCTガイド下にステント内再狭窄を治療した1例
康生会武田病院　中村　玲雄

3F 展示会場

CABG/CABG vs. PCI/Structual　13:15～14:45

座長：大阪大学　溝手　勇

MP146　回収可能型下大静脈フィルターの長期臨床成績とCT画像を用いたフィルター合併症の検討
聖路加国際病院　猪原　拓

MP147　経皮的大動脈弁形成術におけるPercloseとAngio-Sealの変法を用いた止血法の検討
仙台厚生病院　加畑　充

MP148　順行性PTAVによって大動脈弁逆流が減弱したASRの一例
小倉記念病院　有田　武史

MP149　重症冠動脈疾患を合併した重症大動脈弁狭窄症に対し経皮的バルーン大動脈弁形成術と冠動脈形成術を一期的に施行し成功した一例
慶応義塾大学医学部　前川裕一郎

MP150　三枝病変・左主幹部病変におけるPCIとCABGの臨床アウトカムの比較
神戸市立医療センター中央市民病院　井手　裕也

MP151　経皮的大動脈弁形成術の限界：３症例での検討
国立病院機構岩国医療センター　川本　健治

MP152　血栓溶解療法禁忌下に生じた肺血栓栓塞症におけるガイドカテーテルを使用した用手的血栓吸引療法の有用性
沖縄県立中部病院　仲里　淳

Cardiac - CT/MRI

13:15～14:45

座長：大阪大学大学院医学系研究科　野嶋　祐兵

MP153　Cypherステント留置から約二年後にMSCTにて発見されたvery late-acquired stent malappositionの一例
名古屋徳洲会総合病院　渡辺　大基

MP154　冠動脈疾患を検知するための320列AD-CTの有用性
済生会熊本病院　宮本　信三

MP155　320列冠動脈CTと冠動脈造影検査との比較
千葉県循環器病センター　久保田暁彦

MP156　CTOを有する患者とCTCAにて測定した心臓周囲脂肪との相関
済生会横浜市東部病院　小松　一貴

MP157　高分解能CTによるステント再狭窄の正確性の検討
江戸川病院　菊池　達郎

3F 展示会場

CAS/Endovascular intervention4

13:15～14:45

座長：総合新川橋病院　小山　豊

MP158　一時的下大静脈フィルターに付着した血栓に対して、カテーテルによる吸引を施行した2症例
横須賀共済病院　永井　直

MP159　亜急性血栓性下肢動脈閉塞に対してステント留置術が有効だった一例
総合病院回生病院　木村　朋生

MP160　腸骨動脈領域の慢性閉塞病変に留置した自己拡張型ステント（SMART stent）の遠隔期拡張に関する検討
大阪労災病院　吉村　貴裕

MP161　当院における閉塞性動脈硬化症に対するハイブリッド治療症例の検討
国立病院機構和歌山病院　栗山　雄幸

MP162　慢性透析患者における末梢動脈疾患の病変部位と予後との関連
京都第二赤十字病院　坂谷　知彦

MP163　腸骨および大腿膝窩動脈領域の末梢動脈疾患に対する血管内治療施行例の中長期予後の検討
国立病院機構岡山医療センター　宗政　充

MP164　胸部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術前に腹腔動脈コイル塞栓を行った症例
心臓病センター榊原病院　外山　裕子

DES4

13:15～14:45

座長：心臓血管センター金沢循環器病院　堀田　祐紀

MP165　対象血管径の違いによるSESおよびPES留置術後の慢性期成績
東邦大学医療センター大森病院　内田　靖人

MP166　糖尿病患者に対するシロリムス、パクリタクセル、ゾタロリムス、エベロリムス溶出性ステントの比較
船橋市立医療センター　杉岡　充爾

MP167　糖尿病患者に対するPCIにおいてEESとSESとの比較検討
小牧市民病院　上村　佳大

MP168　透析患者における3種の薬剤溶出性ステントのフォローアップ成績の比較
大阪労災病院　牧野　信彦

MP169　急性心筋梗塞におけるパクリタクセル溶出ステント留置後2年の追跡
静岡市立静岡病院　村田　耕一郎

MP170　エベロリムス溶出性ステントの短期・中期の成績
岡崎市民病院　根岸　陽輔

MP171　糖尿病患者における everolimus-eluting stentとpaclitaxel-eluting stentの比較検討
安城更生病院　上山　力

3F 展示会場

DES5

13:15～14:45

座長：草津ハートセンター　辻　貴史

MP172　小血管に対するSESまたはPES留置後の臨床成績。
福岡大学医学部　杉原　充

MP173　シロリムス溶出性ステントを留置された、ロータブレーターを必要とする高度石灰化病変における糖尿病の影響
帝京大学医学部附属病院　興野　寛幸

MP174　シロリムス溶出ステント移植後の再血行再建とステント血栓症の発生：5年のフォローにて
船橋市立医療センター　沖野　晋一

MP175　左主幹部病変に対するXience V　ステントの初期成績
庄内余目病院　菊池　正

MP176　A Case of Endothelial Dysfunction After Drug-Eluting Stent Implantation
National Heart Centre Singapore, Republic of Singapore　Choon Pin Lim

MP177　LADに対する総ステント長50mm以上のTAXUS (Express)とCypherの後ろ向き有効性比較
埼玉県立循環器呼吸器病センター　鈴木　輝彦

MP178　当院におけるPaclitaxel-Eluting Stentの成績と今後の日常臨床における有用性の検討
東京都立広尾病院　田辺　康宏

DES6

13:15～14:45

座長：徳島赤十字病院　岸　宏一

MP179　糖尿病患者におけるTAXUS LIberte stentの臨床成績
安城更生病院　上山　力

MP180　血管内超音波ガイド下ステント留置におけるシロリムス溶出性ステントとエベロリムス溶出性ステントの比較
新行橋病院　山本　智彦

MP181　びまん性冠動脈病変に留置したエベロリムス溶出ステントとパクリタキセル溶出ステントの臨床予後比較
小倉記念病院　馬崎　徹

MP182　SES留置後長期においても内皮機能障害は遷延する
日本医科大学千葉北総病院　村上　大介

MP183　SES留置5年後にVery Late Stent Thrombosisを発症し、OCT・CASでステント下のplaque rupture を観察した一例
広島市立広島市民病院　三木　崇史

vMP184　ネイティブ冠動脈の新規狭窄病変における薬剤溶出性ステント留置後の炎症マーカーとステント内遠隔期損失径の相関関係の考察
長崎医療センター　松尾　崇史

MP185　OCTを用いたEverolimus eluting stent（EES）の再内皮化についての経時的検討
麻植協同病院　井内　敦彦

7月22日（金）　3F 展示会場

PCI and DM/CKD/HD

10:00～11:30

座長：戸田中央総合病院　内山　隆史

MP186　糖尿病患者に対する第2世代薬剤溶出生ステントの臨床成績検討
済生会横浜市東部病院　小松　一貴

MP187　維持透析患者におけるパクリタキセル溶出性ステントの有用性について～パクリタキセルの抗炎症効果との関連をふまえて～
獨協医科大学病院　矢野　秀樹

MP188　心筋梗塞患者の予後における慢性腎臓病の関連
徳島県立中央病院　岡田　歩

MP189　薬剤溶出性ステント時代の慢性腎臓病患者における高血圧の長期予後に与える影響
三重大学大学院　澤井　俊樹

MP190　LDLコレステロール/HDLコレステロール比管理が冠動脈壁組織性状に与える影響について～IB-IVUSを用いた検討
KKR高松病院　松元　一郎

MP191　冠疾患患者の背景の変化―当院での4年間の推移―
慶應義塾大学医学部　茂木　聡

MP192　ベアメタルステントまたはシロリムス溶出性ステントにより治療した患者の2年後臨床成績に及ぼす維持透析の影響についての検討
社会保険中京病院　太田　智之

MP193　スタチン維持投与は抗酸化作用を介さずに造影剤による腎障害を予防する
福井大学　池田　裕之

MP194　冠動脈疾患(CAD)でステント挿入術を受けている血液透析患者の臨床結果における糖尿病の影響
国立病院機構　藤本　和輝

MP195　耐糖能異常を有する冠動脈疾患患者における二次予防に影響する因子
KKR高松病院　河上　良

7月23日（土）　3F 展示会場

Restenosis

10:00～11:30

座長：亀田総合病院　松村　昭彦

MP196　当院におけるBMSとPOBAの超長期成績の比較検討
松江赤十字病院　嘉悦　泰博

MP197　covered stent留置後の臨床成績
倉敷中央病院　早川　由紀

MP198　SES留置後のearly restenosisには臨床、病変背景が影響しlate restenosisにはFractureが影響する
東邦大学医療センター大森病院　天野　英夫

MP199　薬剤溶出性ステント留置後の再狭窄に尿酸が及ぼす影響
鹿児島大学医学部　神田　大輔

MP200　PCI後の患者にLDL-C/HDL-Cは心血管イベントの予後因子になるか？
東京慈恵会医科大学　小川　和男

MP201　急性心筋梗塞症例におけるLDL/HDL比とステント内再狭窄に関する検討
弘前大学医学部　櫛引　基

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)

13:15～14:45

座長：新行橋病院　村里　嘉信

MP202　冠動脈分岐部病変にどちらの薬剤溶出性ステントを選択するか？～エベロリムスステントとシロリムスステントとの比較～
福井循環器病院　阪田　純司

MP203　LAD os病変に対する治療成績の検討
市立四日市病院　光田　貴行

MP204　Jailed Balloon Technique:側枝閉塞予防に有効な新しいテクニック
新行橋病院　中俣　彰裕

MP205　薬物溶出性ステント時代における劣化大伏在静脈バイパスに対するステント治療の成績
安城更生病院　竹本　憲二

MP206　当院における分岐部病変に対するDESの中期成績：DES毎の比較
三菱京都病院　谷口　智彦

コメディカル一般演題（口演プログラム）

コメディカル一般演題（口演）

7月21日（木）　I会場

補助循環　9:00～10:00

座長：滋賀県立成人病センター　赤松　俊二

CO001　IABPにおけるDeflation速度はアンローディング効果に影響を及ぼすか？（実験的検討）
相模原中央病院　上屋敷繁樹

CO002　当院におけるPCPSの早期導入にむけた取り組み
総合病院回生病院　野田　知宏

CO003　PCPS送血管をブラッドアクセスとして用いたPCI施行時の回路灌流量に関する体外実験と臨床応用
大阪府済生会千里病院　小川　雅史

CO004　PCPS回路プライミングの時間短縮への取り組み
千葉西総合病院　林　貞治

CO005　院外心停止患者に対する緊急PCI中のPCPS管理の試み　～脳保護を考慮した対応～
大阪府済生会千里病院　飯尾　博文

I会場

IVUS・OCT（ME）　10:00～11:00

座長：北海道社会保険病院　平田　和也

CO006　Bifurcation lesionにおけるCAAS QCA 3D bifurcationとmain brunch＆side brunch IVUSを用いた定量的解析の比較検討
済生会横浜市東部病院　白武麻衣子

CO007　IB-IVUSによるプラーク組織性状とFFRの関係の検討
ＫＫＲ高松病院　広瀬　卓哉

CO008　FFRと IVUSおよびCAG各指標との比較
倉敷中央病院　伊藤　大佑

CO009　異機種の血管内超音波間における冠動脈内留置ステント長計測に対する比較・検討
相模原協同病院　井上　知

CO010　実践的血管内超音波ガイド下薬剤溶出性ステント留置の検討
榊原記念病院　澤部比都美

CO011　i-MAPのcolor mappingにおけるwire アーチファクトの影響
豊橋ハートセンター　都築　正尚

I会場

苦痛・緩和

11:00～12:00

座長：仙台厚生病院　富田　紀雄

CO012　TRバンド固定における患者の苦痛緩和　～プロトコール見直しによる検討～
埼玉県済生会栗橋病院　小林佐和子

CO013　上肢アプローチにおける心臓血管カテーテル検査・治療時の安楽を目的とした膝枕使用の効果
総合新川橋病院　平松　智子

CO014　経皮的冠動脈形成術（ＰＣＩ）後ＩＡＢＰ装着患者における早期からの15度ギャッジアップの安全性と有効性についての検証
兵庫県立姫路循環器病センター　池内　昌美

CO015　カテ後圧迫固定テープ「エラテックス」VS「マルチポア」
岸和田徳洲会病院　栗山　晴年

I会場

スタッフ教育

16:00～17:00

座長：倉敷中央病院　平田　弥生

CO016　循環器ラダー作成に関する報告
太田福島総合病院　堀口　千寿

CO017　当院における新人臨床工学技士のIVUS教育について
湖東記念病院　三浦　千里

CO018　心臓カテーテル検査業務の教育　ーロールプレイシミュレーションの実施ー
市立旭川病院　山口　和也

CO019　当院における放射線技師育成の取り組み
大阪府済生会千里病院　畑中　憲二

心臓リハビリテーション（PT）

17:00～18:00

座長：大阪産業大学　佐藤　真治

CO020　当院における心筋梗塞回復期心臓リハビリテーション参加率向上に向けた試み
新座志木中央総合病院　柳　英利

CO021　当院における虚血性心疾患に対するPCI後の通院型心臓リハビリテーション参加への取り組み
総合病院回生病院　大杉　輝子

CO022　PADに対するPPI後に運動療法を併用し改善が見られた一症例
総合病院回生病院　福田　和代

CO023　心疾患死亡推移から、秋田県県南部における一次予防を考える
平鹿総合病院　鍛冶　優子

CO024　急性心筋梗塞における6分間歩行試験に変わるフィールドウォーキングテストの検討
新座志木中央総合病院　柳　英利

画像系（放射線技師）

9:00～10:00

座長：彩都友紘会病院　福西　康修

CO025　軌道同期サブトラクション撮影での下肢動脈STENT内腔描出能の基礎的検討
土谷総合病院　丸山　尚也

CO026　血管撮影装置における幾何学的拡大がImage Processingに与える影響
日本大学医学部附属板橋病院　田所　秋宏

CO027　心筋Pufusionにおける最適撮影時間の検討
土谷総合病院　舛田　隆則

CO028　T2*強調画像による急性心筋梗塞再灌流療法後の心筋性状評価
市立八幡浜総合病院　山本　大地

工夫・研究・評価（看護師・放射線技師）

10:00～11:00

座長：野崎徳州会病院　古家　賢治

CO029　当院カテーテル室におけるデジタルインカム導入について
倉敷中央病院　清水　速人

CO030　心臓カテーテル上肢アプローチ時の自作手台の形状についての検討
～現行型からの改善について～
日本大学医学部附属板橋病院　外池　千尋

CO031　鼠径アプローチ後の合併症対策と苦痛緩和の工夫 ～自力体位変換可能なオリジナル固定具「コロりん」を作成して～
秀和綜合病院　児玉　麻子

CO032　ハイブリッド手術室システムの使用経験について
国立循環器病研究センター　濃野　祥史

CO033　心臓カテーテル検査における左橈骨アプローチ時の手台・検査台の工夫
八雲総合病院　木下　知美

デバイス評価（ME）

11:00～12:00

座長：岡崎市民病院　木下　昌樹

CO034　当院における独自のバルーン特性評価方法の検討
～模擬実験から見えたバルーン評価～
三重大学医学部附属病院　佐生　喬

CO035　XienceV/PROMUSステントの拡張性の検討
松江市立病院　岩坂　徹

CO036　Xience Vステントでのより正確なステント留置のpit fallについて
～ステント断端とマーカー位置のズレに関する検討～
大阪大学医学部付属病院　丸山　雄一

CO037　4Frガイディングカテーテルのステント通過性について
桜橋渡辺病院　山崎紗里架

CO038　CorsairとFINECROSSによる比較検討
済生会横浜市東部病院　白武麻衣子

CO039　Self-expandable Stent留置後の時間経過によるステント長の変化の検討
総合新川橋病院　和田　明

PAD

16:00～18:00

座長：菊名記念病院　橘内　秀雄
倉敷中央病院　清水　速人

CO040　下肢末梢血管に対する治療効果の検証
千葉西総合病院　渥美　真紀

CO041　炭酸ガス造影法を用いたPAD治療の経験
福島県立医科大学　荒　宏樹

CO042　PADにおけるPOBAでのBalloonサイズとエコーで計測した血管径との再狭窄の比較検討
倉敷中央病院　山内　陽平

CO043　体表エコーを用いた血流量による膝下血管内治療のエンドポイント
菊名記念病院　橘内　秀雄

CO044　裏パンに対しマイクロカテーテルをシース代わりに使用し、超音波止血を行った症例の急性期および慢性期成績
済生会横浜市東部病院　永井美枝子

CO045　体表エコーを用いた通過困難部位の安全なガイドワイヤー操作
江戸川病院　小松　優子

CO046　PALMAZ Genesisの当院における治療成績
岡崎市民病院　木下　昌樹

CO047　重症虚血肢診断におけるSRPP（Skin Re Perfusion Pressure）の有用性　－SPPとの比較検討－
菊名記念病院　瀧澤　千里

CO048　PPI治療におけるABI測定の解析
いわき市立総合磐城共立病院　遠藤　孝敏

CO049　総腸骨動脈領域 EVTにおけるdistal embolization予防
名古屋ハートセンター　色川　桂輔

物品管理・コスト管理

11:00～12:00

座長：康生会武田病院　野崎　暢仁

CO050　心カテ・PCI目的の短期入院におけるDPC導入の検討　ー事務サイドからの検討ー
太田福島総合病院　伊東沙希子

CO051　心臓カテーテル検査室における在庫管理の現状
～診断カテーテル変更に伴う不良在庫をなくすために～
中通総合病院　大山　幸男

CO052　カテーテル材料管理システム『ＣａｔｈｅＣａｎ』を導入して
所沢ハートセンター　藤原　充志

CO053　当院でのコスト削減への取組―病院建替えを契機に
三菱京都病院　大内　徳子

CO054　心カテ・PCI時にディスポキットを使用することに関しての一考察
太田福島総合病院　後藤沙由利

I会場

ACS関連（看護師）

14:00～15:00

座長：湘南鎌倉総合病院　島袋　朋子

CO055　緊急冠動脈形成術に対するDoor to balloon timeの比較
佐賀県立病院好生館　森　隆之

CO056　電子カルテに導入後のACS入室におけるチェックリスト活用
心臓血管研究所付属病院　峯田　恵子

CO057　当院におけるＤoor-to-Balloon Time（Ｄ２ＢＴ）短縮に関する検討カテーテルスタッフ編
中通総合病院　佐田美穂子

CO058　ST上昇型心筋梗塞（STEMI）への緊急心臓カテーテル治療（Primary PCI）に対する当院での看護態勢とその転帰
相模原協同病院　梅澤　由美

CO059　重症ACSに対する緊急カテにおける当院の取り組み　ー3次救急病院に搬送されるAMIをいかに救命すべきかー
東邦大学医療センター大森病院　山下　稔晴

被曝防護（放射線技師）

9:00～10:00

座長：昭和大学病院　佐藤　久弥

CO060　心臓CTの被曝線量評価　ー臓器線量を中心にー
名古屋第二赤十字病院　瀬口　繁信

CO061　心血管撮影装置における透視・撮影条件の検討
千葉県循環器病センター　今関　雅晴

CO062　心臓カテーテル検査に伴う看護師の被曝量減少への試み
～X線管球の方向による被曝線量の変化～
総合病院回生病院　西野　成美

CO063　当院における心臓専用撮影装置を使用したステントグラフト内挿術についての検討
榊原記念病院　武田　和也

J会場

患者オリエンテーション・連携システム 1

10:00～11:00

座長：小倉記念病院　栗本　幸子

CO064　退院調整を円滑に行う為に　ー家族が抱える不安に焦点を当ててー
星総合病院　渡辺　慶央

CO065　経皮的冠動脈形成術を受けた患者への集団退院指導
久留米大学病院　古賀　聡子

CO066　当院におけるPCI施行患者に対する新たな栄養指導の取り組み
西東京中央総合病院　和田麻知子

CO067　心不全患者に対するASV（Adaptive Servo Ventilation）装着に対する臨床工学士による指導の工夫
総合病院回生病院　俊長　恵理

CO068　パンフレットを用いた退院指導の有効性の検討
八雲総合病院　神馬　千春

OCT

11:00～12:00

座長：星総合病院　添田　信之

CO069　OCT画像診断におけるオクルージョン法とフラッシュ法による血管内径測定値の相違
天陽会中央病院　中原三佐誉

CO070　オクリュージョンバルーンを使用しない冠動脈フラッシュ法によるOCT
名古屋ハートセンター　岡本　隆嗣

CO071　STENT内再狭窄症例に対するOCTでの評価方法
桜橋渡辺病院　心臓・血管センター　水谷　覚

CO072　OCT Guide PCIの可能性
金沢医科大学病院　中川　透

J会場

工夫・研究・評価（ME）

14:00～15:00

座長：日本赤十字社和歌山医療センター　中谷　晋也

CO073　慢性閉塞性病変（CTO）の逆行性アプロ―チにおける治療成績の変化
草津ハートセンター　中西　基修

CO074　CTO病変における病変末梢の血管性状の検討
岡崎市民病院　宇井　雄一

CO075　院内自主研究におけるCRC（臨床研究コーディネーター）関与による試験の質についての検討
倉敷中央病院　牧田　典子

CO076　心臓カテーテル施行患者における中心動脈圧の検討～第2報　降圧剤未服用患者を対象に～
東京大学医学部附属病院　村澤　孝秀

CO077　3枝病変への治療成績及び患者背景に関する検証
千葉西総合病院　林　貞治

コメディカルスタッフの役割 1

16:00～17:00

座長：あかね会土谷総合病院　伊美　礼子

CO078　心臓カテーテル検査を受ける患者の不安内容とカテーテル検査室看護師に求められる援助
聖隷浜松病院　林　久美子

CO079　ポリグラフを活用した経皮的冠動脈形成術中記録
高崎総合医療センター　新堀　千恵

CO080　心臓カテーテル検査室でのHD業務開始
近森病院　豊永　哲郎

CO081　レスピレーター装着時のチェックリストの作成を試みて
みやぎ北部循環器科　佐々木明子

CO082　PCIをうける患者の術前訪問の効果
仙台厚生病院　阿部　理江

J会場

コメディカルスタッフの役割 2

17:00～18:00

座長：星総合病院　佐久間浩樹

CO083　当院の心臓カテーテル室における臨床工学技士の現状と課題
八雲総合病院　南橋　憲

CO084　カテ室で従事するスタッフに対する考察
星総合病院　添田　信之

CO085　カテーテル検査室看護師の急変時の対応
榊原記念病院　本城　朋恵

CO086　血管治療におけるCVTの有用性と臨床工学技士との関わり
ＪＲ仙台病院　千葉　直也

症例報告 2

16:15～17:15

座長：京都桂病院　岡田　忠久

CO087　LAD distal のCTOにCypher stentを留置し8ヶ月後IVUSでstent fractureを認めた1例
西の京病院　野口　幸

CO088　当院の心房細動に対するCARTO-Merge方法
京都大学医学部附属病院　塚本　学

CO089　下肢血行再建中にヘパリン起因性血小板減少症を発症した1症例
星総合病院　菊地　康昭

CO090　経皮的腎動脈形成術を施行した若年者高血圧の1症例
札幌心臓血管クリニック　笹盛　幹文

CO091　冠動脈ＣＴ検査中にプラークラプチャーを起こした一症例
星総合病院　阿部　祐也

J会場

合併症（ME）

9:00～10:00

座長：岐阜ハートセンター　稲田　毅

CO092　ステント留置時にcoronary ruptureを起こし瞬時に心タンポナーデとなり、PCPSにて救命し得た一例
君津中央病院　芳森亜希子

CO093　当院における造影剤腎症の発生頻度に関する検証
千葉西総合病院　濱野　由紀

CO094　造影剤による重症ショックを呈した1症例
星総合病院　菊地　康昭

CO095　塩酸パパベリン冠注によるFFR測定でVT/VFが誘発された症例の検討
京都第二赤十字病院　假屋　成耕

CO096　カテーテル術中から施行する高灌流持続的血液ろ過透析（High-flow CHDF）の造影剤腎症の予防効果に関する検討
洛和会丸太町病院　塩田　裕啓

CT（放射線技師）1

10:00～11:00

座長：大手前病院　鯰井　秀之

CO097　ＣＴ Ａｘｉａｌ画像から導く最適カテーテルサイズ予測因子の検討
松戸市立病院　千葉　健

CO098　スクリーニングとして冠動脈CTの当院での実施状況と成績について
総合病院回生病院　田丸　博雅

CO099　冠動脈CT時の大動脈の形状によるカテーテルの選択についての有効性について
総合病院回生病院　平林　陽一

CO100　冠動脈CTにおけるプラーク容積計測の検討
東京大学医学部附属病院　長谷川浩章

CO101　当院における64DAS-MDCTを用いた高齢者冠動脈CTの画像評価
大阪掖済会病院　奥　進弥

CT（放射線技師）2

11:00～12:00

座長：大阪市立総合医療センター　寺川　彰一

CO102　当院における冠動脈MDCT検査の変動と現状
湖東記念病院　内藤　正寿

CO103　当院におけるペースメーカー挿入患者様の冠動脈CT検査について
星総合病院　佐久間守雄

CO104　心臓ＣＴにおける心筋ブリッジ描出の臨床的有用性の検討
新東京病院　今井　康之

CO105　透析患者における冠動脈ＣＴの評価
土谷総合病院　山下由香利

合併症（看護師）

13:00～14:00

座長：富士病院　中村　康雄

CO106　PCI後のAngioseal使用と血管合併症の関係
福山循環器病院　弓田　祥子

CO107　日帰り冠動脈造影検査における3Fシース使用時の止血時間と合併症についての検討
江戸川病院　倉持美輪子

CO108　上腕動脈止血デバイス使用時の用手圧迫併用の有効性についての検討
江戸川病院　関根眞理子

CO109　ＰＣＩ後の睡眠呼吸管理の重要性
ＫＫＲ高松病院　植田　法子

CO110　不整脈下での心タンポナーデに対するFloTrac/Vigileo system（V01.14）の有用性と使用評価
京都大学医学部付属病院　原口　愛子

症例報告 1

14:00～15:00

座長：星総合病院　菊地　康昭

CO111　LAD proximal stenting 後に発生したスリット状陰影の追加検討
八雲総合病院　宮本　直武

CO112　アセチルコリン負荷試験においてbackup pacingを行わず安全に検査が可能であることの検討
所沢ハートセンター　小松伸太郎

CO113　当院における若年性虚血性心疾患患者についての検証
千葉西総合病院　林　貞治

CO114　当クリニックにおけるEndeavor　STENTの使用経験
岡山ハートクリニック　河藤　壮平

CO115　持続性心室頻拍に対し、緊急右心耳ペーシングが血行動態維持に有効であった1症例
筑波大学附属病院　縮　恭一

患者オリエンテーション・連携システム 2

16:00～17:10

座長：榊原記念病院　辻　孝子

CO116　地域連携　～広大な医療圏での休薬への取り組み～
八雲総合病院部　竹内美奈子

CO117　PCI地域連携パスにおける実態調査　～現状の問題点と今後の課題～
長崎医療センター　山口小百合

CO118　電子カルテおよびPACS導入に伴う循環器動画ネットワークシステムの更新
埼玉県立循環器・呼吸器病センター　田島　修

CO119　地域医療連携による重症下肢虚血の集学的治療の問題点
菊名記念病院　奥山　由美

CO120　入院用患者説明パスの導入による患者本人および家族の理解の向上の検討について
医誠会病院　中嶋　久子

CO121　心臓カテーテル検査・治療を受ける患者への検査前オリエンテーションの効果の検討
ＮＴＴ東日本関東病院　吉中麻美子

CO122　PCIクリティカルパス患者のパンフレット使用による退院指導改善の試み
大阪大学医学部付属病院　平田　美穂

CVIT 2011

The 20th Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics : CVIT 2011

"Toward greater knowledge, skills, and technology"

Program and Abstracts

July 21 (Thur.) - July 24 (Sun.), 2011

Meeting Venues

Osaka International Convention Center (Grand Cube Osaka)

5-3-51, Nakanoshima Kita-ku, Osaka 530-0005, Japan
TEL : +81-6-4803-5555 FAX : +81-6-4803-5620

RIHGA Royal Hotel Osaka

5-3-68 Nakanoshima Kita-ku, Osaka 530-0005, Japan
TEL : +81-6-6448-1121 FAX : +81-6-6448-4414

President

Shinsuke Nanto, MD., Ph.D., FCVIT, BMCVIT

(Department of Advanced Cardiovascular Therapeutics, Osaka University Graduate School of Medicine)

CVIT2011 Administration Office

Heart Organization Ltd.

1-1-5-2E Maedaminami-machi Toyohashi, Aichi 440-0851, Japan
TEL : +81-532-57-1410 FAX : +81-532-52-2883
E-mail : cvit2011@heartorg.gr.jp

http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/

Index

Greeting ····· 197
International Faculty ····· 198
Access to the Meeting Site ····· 199
Floor Guide ····· 200
Guidelines for Attendees ····· 203
Live Demonstration ····· 206
Special Session ····· 208
Guide for Presentations ····· 209
Oral Presentation/Poster Presentation
Program at a Glance ····· 214
Greeting from The Next CVIT ····· 222
Special Program ····· 225
Special Lecture/Special Program/Panel Discussion/Symposium/Town Hall Meeting/Sponsored Program
Sponsored Seminar (PROGRAM) ····· 241
Satellite Symposium/Morning Seminar/Luncheon Seminar/Coffee Break Seminar/Fireside Seminar
Medical (PROGRAM) ····· 265
Free Paper/Case Report/Poster Session
Abstract ····· 343~609

It is my great pleasure to deliver a few words of greeting on the convening of the 20th Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics (CVIT2011).

President: **Shinsuke Nanto, MD., Ph.D., FCVIT, BMCVIT**

The 20th Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics (CVIT2011)

(Department of Advanced Cardiovascular Therapeutics, Osaka University Graduate School of Medicine)

In 2007, the Department of Advanced Cardiovascular Therapeutics was launched at Osaka University Graduate School of Medicine, where I took the office of professor last year. This Department aims at the furtherance of clinical activities, research and education in cardiovascular interventional therapy. As our Department is celebrating the 5th anniversary of its foundation this year, we are deeply honored by the opportunity given to us to contribute to the organization of the 20th Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics, a renowned scientific community with many achievements. This is quite a daunting task, compelling us to reflect on how much progress we have made towards our goals during the past five years. Delighted though we are, the fulfillment of our responsibilities for CVIT2011 is foremost in our minds.

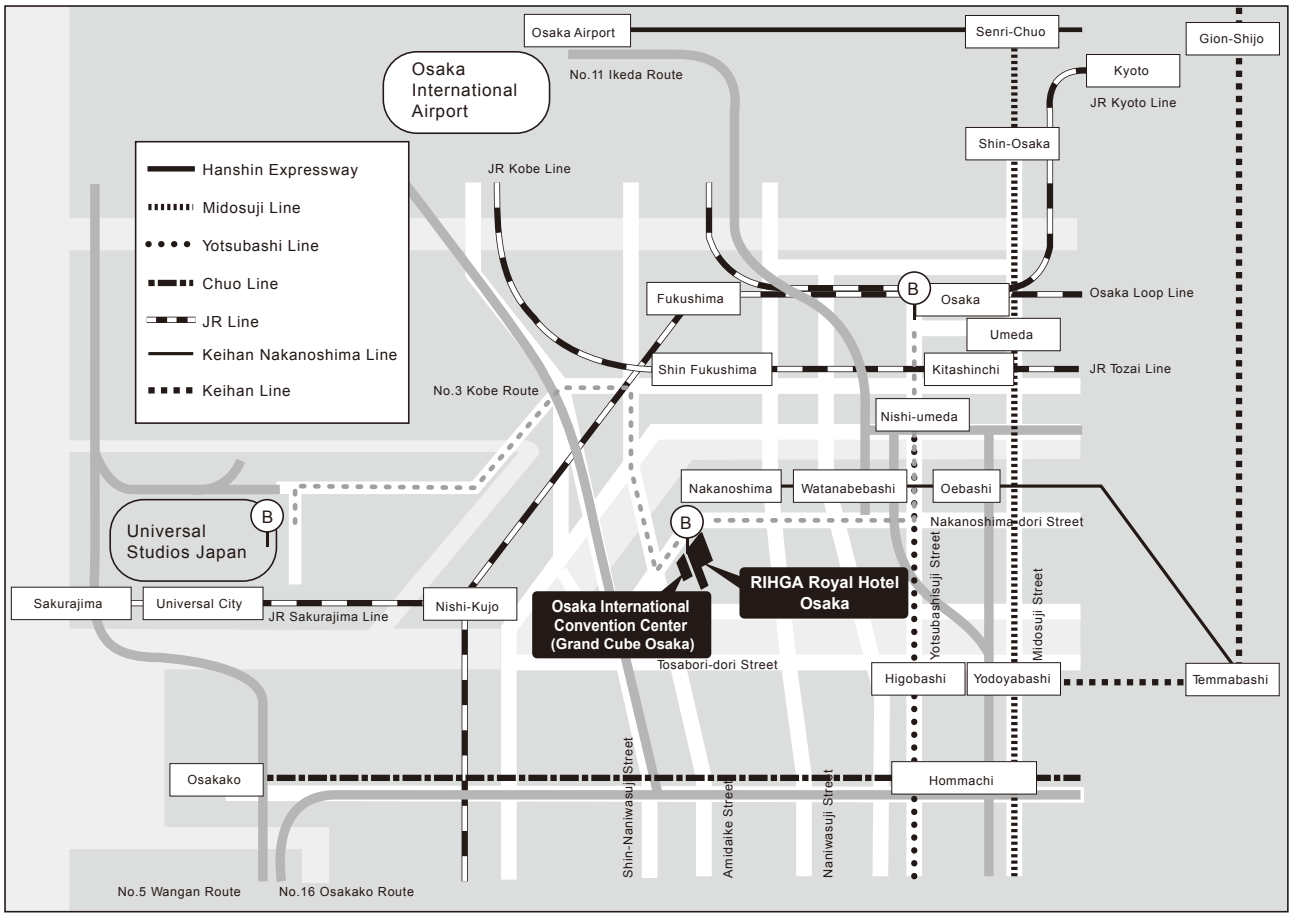
I am pleased to report that, thanks to support from many parties, 956 abstracts for oral presentations were submitted altogether, from which 874 were finally accepted after fair and stringent screening. I would like to express my sincere appreciation to the members of the screening committee. The main theme of CVIT2011 is "Towards greater knowledge, skills and technology". Included in the program are 3 Special Lectures, 12 Special Program Sessions, 10 Educational Lectures, and 44 symposia or panel discussions. In addition, two live demonstration sessions will be broadcast. One will be relayed from Osaka University on PCI, and the other from Kansai Rosai Hospital on EVT. We are confident that CVIT2011 will provide participants with great opportunities to acquire a wide range of knowledge concerning the diverse technology of interventional cardiology, as well as observing the evidence for its efficacy. The program will lead us to better performance of this therapy. Cardiologists will obtain information about innovative medical devices designed and manufactured in order for intervention to be made over the entire spectrum of cardiovascular diseases. The live demonstrations will be superb opportunities for participants to witness and learn the most promising and innovative technology available today.

We deeply mourn the loss of so many lives in the East Japan Earthquake, which struck the north-eastern part of the country in March, followed shortly after by the deadly tsunami. While many people are still suffering from tremendous difficulties, strenuous efforts are being made for reconstruction. Against this background, it has been decided to forego the traditional Presidential Dinner this year. Instead a Special Program entitled "What Can and Should Cardiologists Do in Major Disasters?" is to be held. I hope that we can discuss and reflect on the services cardiologists might contribute to a society facing such tragic experiences. Should a similar situation arise in the future, what can and should we do? I sincerely hope that there will be a constructive discussion on these matters. Donation boxes will be placed in the conference hall. I would deeply appreciate kind support from as many people as possible, so that Japan will be able to progress towards a better future.

International Faculty (Alphabetical order)

Gary M. Ansel	Riverside Methodist Hospital, USA
Thomas L. Armitage	Medtronic, Inc., USA
Jang Ho Bae	Konyang University Hospital, Korea
Andreas Baumbach	Bristol Heart Institute Bristol Royal Infirmary/University of Bristol, UK
Jei Keon Chae	Chonbuk National University Medical School/Hospital, Korea
Donghoon Choi	Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea
Germano Di Sciascio	Campus Bio-Medico University of Rome, Italy
Choong-Won Goh	Sanggye-Paik Hospital, Inje University, Korea
John Gorcsan III	University of Pittsburgh, USA
Mark A. Grise	Ochsner Heart and Vascular Institute, USA
Myeong-Ki Hong	Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea
Fumiaki Ikeno	Stanford University, USA
Elvin Kedhi	Maasstad Hospital, Belgium
Mitchell W. Krucoff	Duke University Medical Center and Duke Clinical Research Institute, USA
John R. Laird	UC Davis Medical Center, USA
Michael Lim	St. Louis University Health Sciences Center, USA
Scott Lim	University of Virginia , USA
Akiko Maehara	Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA
Detlef G. Mathey	Medizinisches Versorgungszentrum, Germany
James Muller	InfraReDx, Inc., USA
Toshinari Onishi	University of Pittsburgh, USA
Nico H.J. Pijls	University of Technology and Catharina Hospital, The Netherlands
Suwatchai Pornratanarangsi	Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand
Antonis Pratsos	Bryn Mawr Hospital, USA
Seung-Woon Rha	Korea University Guro Hospital, Korea
Mohd Ali Rosli	National Heat Center, Malaysia
Andrej Schmidt	Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany
Ki Bae Seung	The Catholic University of Korea, Seoul/St. Mary's Hospital, Korea
Charles A. Simonton	Abbott Vascular, USA
E. Murat Tuzcu	Cleveland Clinic, USA
Renu Virmani	CV Path Institute, Inc., USA
Wan Azman Wan Ahmad	University Malaya Medical Center, Malaysia
Barry S.Weinstock	Mid-Florida Cardiology, USA
Jeremy Williams	Tokyo Dental College, Japan
HongBing Yan	Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China
Xinchun Yang	Chaoyang Hospital, Capital Medical University, China
Xuchen Zhou	First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China

Access to the Meeting Site



Osaka International Convention Center (Grand Cube Osaka)

5-3-51, Nakanoshima Kita-ku, Osaka 530-0005 Japan
TEL : +81-6-4803-5555 FAX : +81-6-4803-5620

■By train

- Keihan Nakanoshima Line: Next to Exit No.2 of Keihan Nakanoshima (Osaka International Convention Center) Station.
- From JR Osaka Station
  10 minutes using the free shuttle bus or a taxi, approximately 1,000 yen.
  - ・Osaka City Bus
    From the JR Osaka eki-mae bus terminal
    Get on the Osaka city yellow bus line 53 for "Funazubashi" at platform 2 and get off at "Dojima-Ohashi."
    Get on the Osaka city yellow bus line 55 for "Tsurumachi-Yonchōme" at platform 1 and get off at "Dojima-Ohashi."
  - ・Shuttle Bus
    Guests may use shuttle bus service between RIHGA Royal Hotel (located on the east side of the Convention Center) and the JR Osaka Station west side (under the overhead structure).
- From JR Namba Station
  15 minutes by taxi, approximately 1,500 yen.
- From the Shinkansen Shin-Osaka Station
  Go to Osaka Station via the JR Tokaido Line.
- From Kyoto
  Use the Keihan Line from Gion-Shijo station to Nakanoshima station, about 60 minutes.

RIHGA Royal Hotel Osaka

5-3-68 Nakanoshima Kita-ku, Osaka 530-0005 Japan
TEL : +81-6-6448-1121 FAX : +81-6-6448-4414

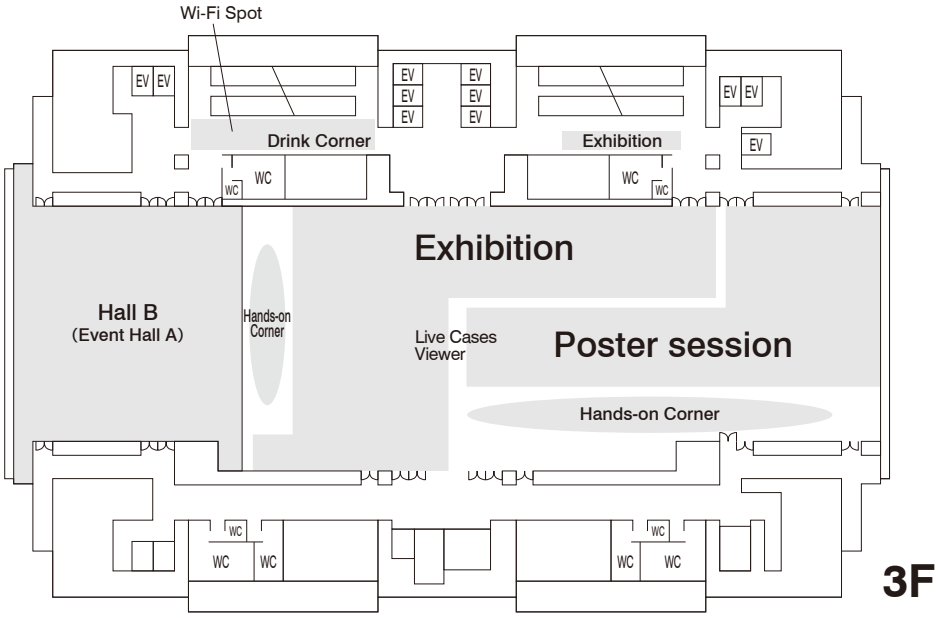
■By Car

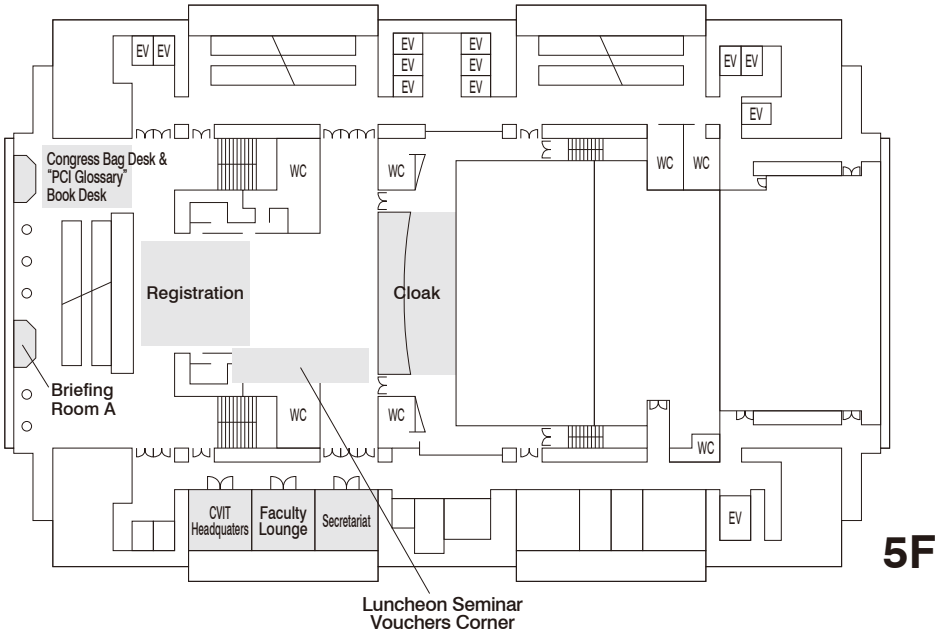
- From Nanba・Sakai・Nara
  About 10 minutes from the Tosabori Exit of Hanshin Expressway No.1, Loop Line
- From Kobe
  About 5 minutes from the Nakanoshima West Exit of Hanshin Expressway No.3, Kobe Line
- From Osaka Airport・Kyoto
  About 10 minutes from the Fukushima Exit of Hanshin Expressway No.11, Ikeda Line
- From the Kansai International Airport・Wakayama
  About 15 minutes from the Namiyoke Exit of Hanshin Expressway No.16, Osaka Port Line

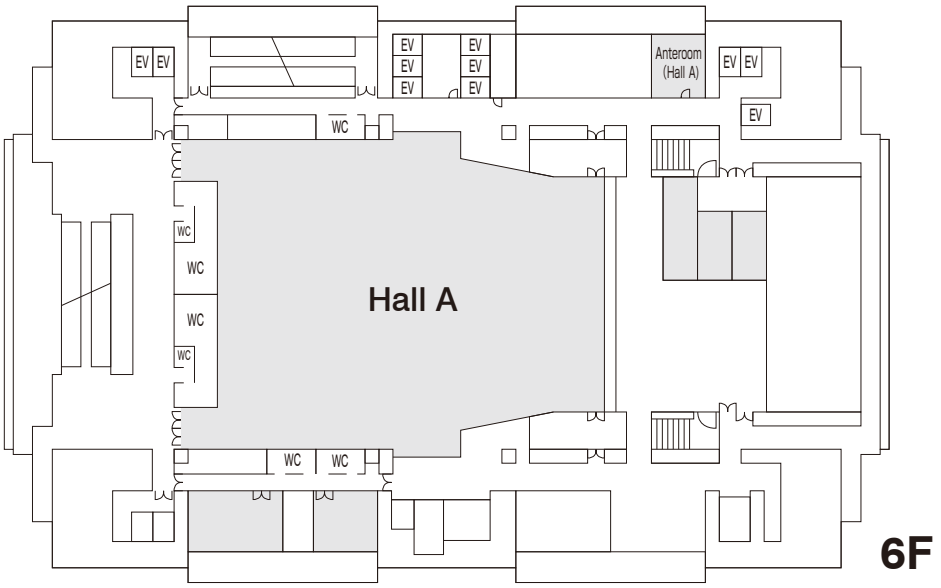
■By airplane

- From Kansai International Airport
  Use the JR airport rapid service to Osaka station, about 65 minutes
  Alternatively, board the Osaka-bound bun from bus terminal number five on the first floor of the airport. Get off at Herbis Osaka, then take a taxi or the free shuttle bus from JR Osaka station as above.
  You can also catch a taxi. The ride is approximately 60 minutes and costs about 18,000 yen.
- From Osaka Airport
  Go to Hotarugaike station by the Osaka Monorail and then change to the Hankyu Railway and get off at Osaka station.
  Go to JR Osaka station via the airport bus.

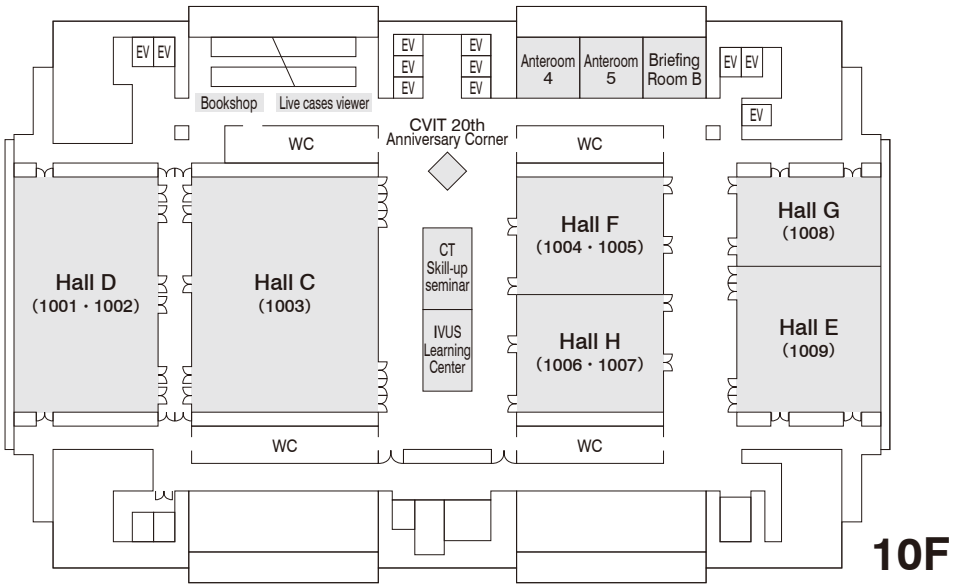
Floor Guide (Osaka International Convention Center)

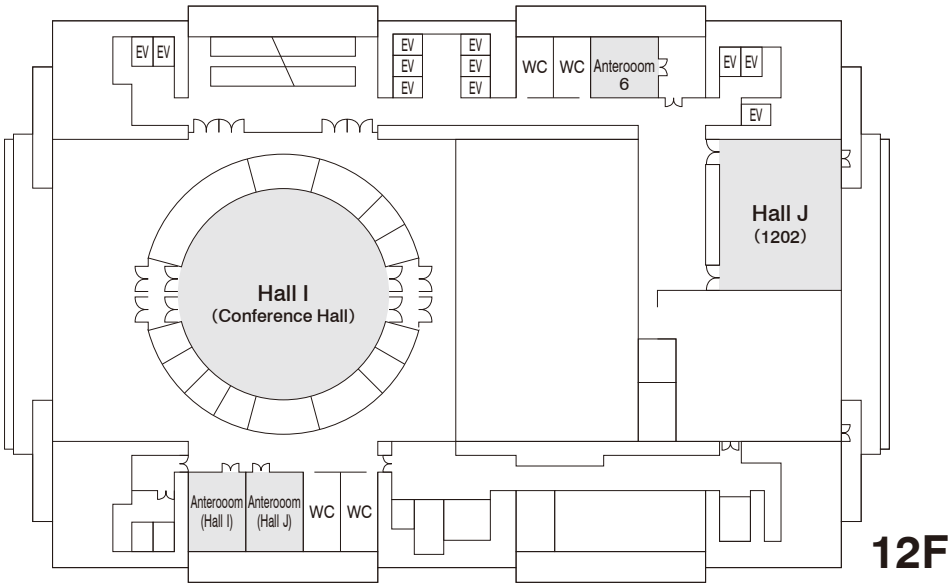




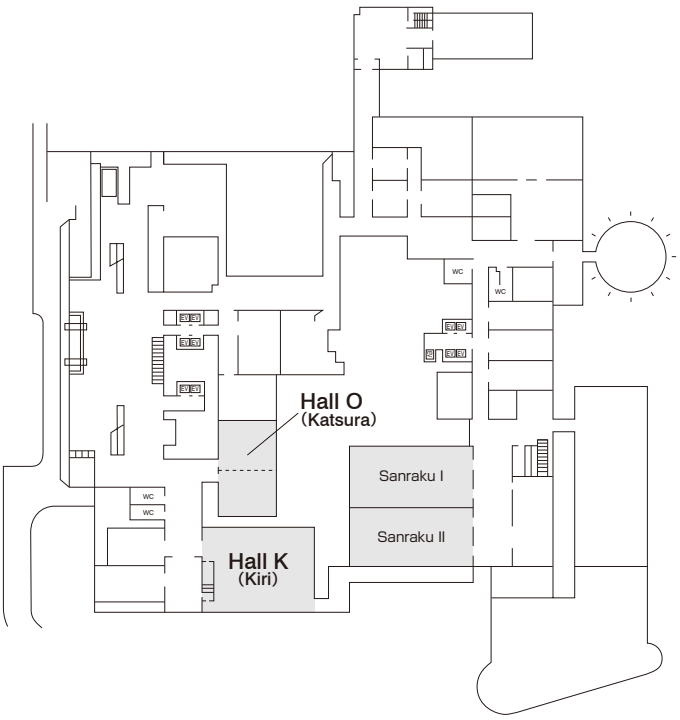


Floor Guide (Osaka International Convention Center)

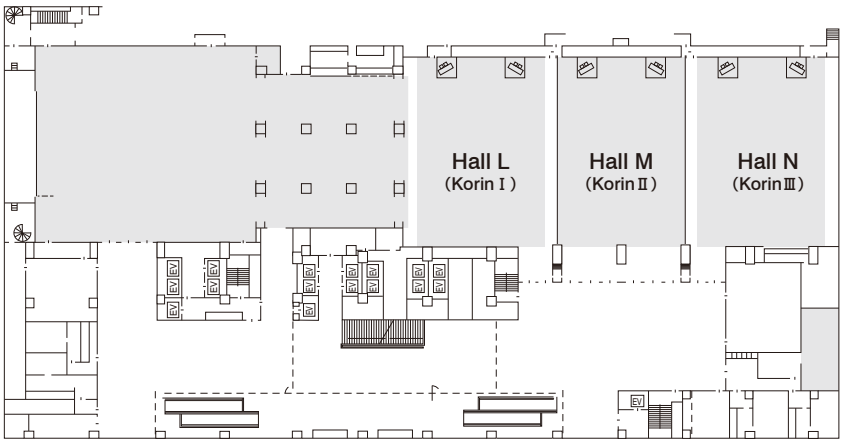




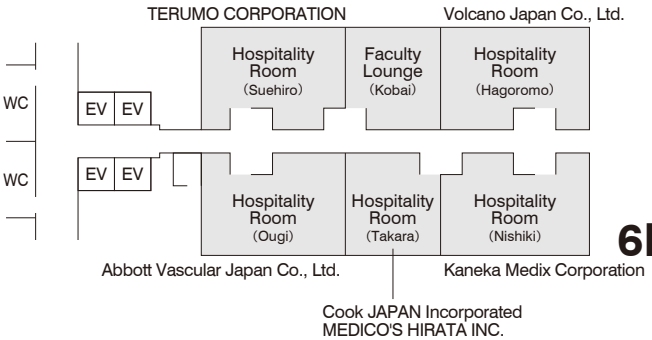
Floor Guide (RIHGA Royal Hotel Osaka)



2F (West Wing)



3F (Tower Wing)



6F (Tower Wing)

Guidelines for Attendees

1. On-site Registration

●Place: 5th floor, Main Foyer of Osaka International Convention Center (OICC)

●Opening Hours: July 21 (Thur.) 7:00-18:00
July 22 (Fri.) 7:00-18:00
July 23 (Sat.) 7:00-17:00

●Registration Fees: Members 23,000 JPY
Non-Members, Corporate Employees and others 28,000 JPY
Co-Medical/ Healthcare Professionals 5,000 JPY
Trainees (within 2 years after the graduation) / Students: Free*
* Trainees and Students must provide a photocopy of a valid and current ID as proof of status.

2. Name Cards

●For on-site registration

Please come to the General Information Desk located on the 5th floor, Main Foyer of OICC to receive your name card.

Upon payment of the registration fee at the desk, you will receive a name card with an official stamp, which will officially certify your participation of the Meeting.

●For in-advance registration

A name card (without an official stamp) will be sent to you more than 7 days prior to the Meeting. At the venue, please visit the Registration Desk (located on the 5th floor, Main Foyer of OICC) during the opening hours (see above) to receive a stamp on your name card.

When you receive the name card, please write your name and affiliation on it. Please keep the card, which is required for entry, on you at all times during the meeting. (Please note that regardless of the circumstances, entry will not be possible without the card.)

In addition, the name card will serve as a certificate of attendance, which proves your participation in the meeting. Furthermore, since the certificate cannot be re-issued, be careful not to lose it and hold onto it after the conclusion of the meeting.

●Congress Bag

Congress bags will be given to all participants of the Meeting (including Trainees and Students). Please find and detach the "Congress Bag Voucher" from the name card and present it at the Congress Bag Desk to receive your bag. The Congress Bag Desk is located on the 5th floor, Main Foyer of OICC during the following hours.

July 21 (Thur.) 7:00 – until the conclusion of the program
July 22 (Fri.) 7:00 –until the conclusion of the program
July 23 (Sat.) 7:00 –until the conclusion of the program

● "PCI Glossary" Book

Due to the limited number of Books, only the first 1,000 Co-Medical/Healthcare Professionals who register for the Meeting either on-line prior to the Meeting or on-site will receive a "PCI Glossary" Book. Please present a name card at the "PCI Glossary" Book Desk, which is located on the 5th floor, Main Foyer of OICC, in order to receive the Book.

3. Official languages

English and Japanese

The sessions marked "Japanese" will be conducted in Japanese, and the ones marked "English" will be conducted in English.

Simultaneous interpretation will be provided in the sessions marked 🎧 listed in the Program at a Glance, pages 214 ～221.

4. Book of Abstracts

Please make sure to bring this Book of Abstracts to the venue.

Additional copies of the Book of Abstracts (¥3,000 per copy) will be sold at the General Information Desk (located on the 5th floor, Main Foyer of OICC).

Please note that the available copies of Book of Abstracts on site are limited.

5. Paging Service

Message board will be available at the General Information Desk (5th floor, Main Foyer of OICC). In case of emergency, please contact the General Information Desk as well.

6. Cloak

●Place: 5th floor, Main Foyer of OICC

●Opening Hours: July 21 (Thur.) 7:00 – 30 minutes after the conclusion of the program
July 22 (Fri.) 7:00 – 30 minutes after the conclusion of the program
July 23 (Sat.) 7:00 – 30 minutes after the conclusion of the program

7. Restaurants and Cafeteria

There are several restaurants and cafeterias in the OICC and the adjacent RIHGA Royal Hotel, Osaka.

Light meals will be served at the following Seminar sites: Morning Seminar, Luncheon Seminar, Coffee-Break Seminar, and Fire-Side Seminar.

Please note that amount of food and beverages are limited.

8. Parking

The OICC has a public parking lot (500 JPY per hour) for the facility users who come by car. Please note that these spaces are limited and not solely reserved for the participants of the meeting. Hence, if possible, as well as from the eco-friendly reason, it is recommended to come to the Meeting using public transportation.

9. Exhibition, Bookshop, Refreshments, Internet Corner

●Place: 3rd, 10th and 12th floors of OICC

●Opening Hours: July 21 (Thur.) 7:30 – 18:00
July 22 (Fri.) 7:30 – 18:00
July 23 (Sat.) 8:00 – 17:00

10. Luncheon Seminars

Vouchers can be obtained at the following locations during the following hours.

Please note the vouchers are valid for only the Luncheon Seminars held on the same day as issued.

●Place: 5th floor, Main Foyer of OICC

●Opening Hours: July 21 (Thur.) 7:30 –
July 22 (Fri.) 7:30 –
July 23 (Sat.) 7:30 –

Since the number of the vouchers is limited, it will be distributed on a first come first serve basis.

Please note vouchers will only be distributed for the Luncheon Seminars, and will not be distributed for any other seminar (Morning, Coffee-Break, and Fire-Side Seminar*).

* Please go to the site directly in time for each seminar. Please also note that amount of food and beverages for the seminars are limited.

11. Accommodations

Please access CVIT2011 "Hotel Accommodation" webpage
(http://www.heartorg.gr.jp/cvit2011/en/staying.html) for detailed information.

Contact: Ms. Takewaka
C/o JTB Western Japan, Corp. MICE Center
Address: Honmachi Cross Bldg. (11F) 3-1-8, Minamikyuhouji-machi, Chuo-ku, Osaka, 541-0058 Japan
Phone: +81-6-6252-2861 / Fax: +81-6-6252-2862
Office hours: 9:30-17:30 Japan Standard Time (weekdays only)
E-mail: m_takewaka115@west.jtb.jp

12. Others

●Except for the designated smoking areas, smoking is prohibited in all areas of the venue.

●Please turn all cellular phones and beepers off or on silent-mode during the sessions.

●Taking pictures, recording videos, and using voice recorders are not allowed during any part of the sessions.

●Except for the designated eating areas (Morning, Luncheon, Coffee-Break and Fire-Side Seminars), eating is prohibited in all meeting rooms

●Please note that, due to the expected warm and humid weather during the meeting, suits and ties are not strictly required. Dress appropriately according to the weather.

Live Demonstration

PCI Live Demonstration
Broadcasting from Osaka University

Japanese

Date : Thursday, July 21　9:00～18:00
Venue : Hall A

Laboratory Director : Koichi Tachibana　Osaka University Graduate School of Medicine
Floor Director : Keita Yamasaki　Osaka University
IVUS・OCT Commentators : Hiromasa Otake　Kobe University Hospital
Toshiro Shinke　Kobe University Hospital
Mitsuyasu Terashima　Toyohashi Heart Center

■Operators
Masaki Awata　Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center
Masashi Iwabuchi　Kokura Memorial Hospital

■Operators
Nobuhiro Tanaka　Tokyo Medical University
Etsuo Tsuchikane　Toyohashi Heart Center

Part1　9:00～10:30

■Chairs
Takeshi Kimura　Kyoto University School of Medicine
Takafumi Ueno　Kurume University Hospital

■Commentators
Junko Honye　Fuchu Keijinkai Hospital Gifu Heart Center
Jun-ichi Kotani　National Cerebral and Cardiovascular Center
Junya Shite　Kobe University
Takeshi Serikawa　Saiseikai Fukuoka General Hospital
Yasunori Ueda　Osaka Police Hospital
Hiroshi Ueno　Imizu City Hospital

Part2　10:30～12:00

■Chairs
Takashi Akasaka　Wakayama Medical University
Kinzo Ueda　Rakuwakai Marutamachi Hospital

■Commentators
Hiroshi Fujita　Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital
Junko Honye　Fuchu Keijinkai Hospital Gifu Heart Center
Keiichi Igarashi　Hokkaido Social Insurance Hospital
Kazushige Kadota　Kurashiki Central Hospital
Hitoshi Matsuo　Gifu Heart Center
Yoshisato Shibata　Miyazaki Medical Association Hospital

■Operator
Satoru Sumitsuji　Osaka University Nozaki and Nagoya Tokushukai Hospital

■Operator
Fuminobu Yoshimachi　Aomori Prefectural Central Hospital

Part3　13:00～15:00

■Chair
Satoru Otsuji　Higashi Takarazuka Satoh Hospital
Tadaya Sato　Akita Medical Center

■Commentators
Daisuke Kamoi　Nagoya Kyoritsu Hospital
Masashi Kimura　Toyohashi Heart Center
Yuji Oikawa　The Cardiovascular Institute
Atsunori Okamura　Sakurabashi Watanabe Hospital
Yuichi Ujiie　Hoshi General Hospital

Part4　16:00～18:00

■Chairs
Yuji Ikari　Tokai University School of Medicine
Ichiro Michishita　Yokohama Sakae Kyosai Hospital

■Commentators
Motomaru Masutani　Hyogo College of Medicine
Yoichi Nozaki　Hokko Memorial Hospital
Hideo Takebayashi　Fukuyama Cardiovascular Hospital
Teruki Takeda　Koto Memorial Hospital
Reiko Tsukahara　Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital

PCI Case Conference
Date : Wednesday, July 20　Venue : Sanraku I , RIHGA Royal Hotel Osaka 2F
Time : 20:00～

EVT Live Demonstration
Broadcasting from Kansai Rosai Hospital

Date：Thursday, July 21　9:00～18:00
Venue：Hall C

Laboratory Director：Hirokuni Akahori　Hyogo College of Medicine
Kuniyasu Ikeoka　Higashi Osaka City General Hospital

■Operators
Daizo Kawasaki　Hyogo College of Medicine
Yoshimitsu Soga　Kokura Memorial Hospital

Part1　9:00～10:30
Basic EVT

■Chairs
Masato Nakamura　Toho University Ohashi Medical Center
Yoshiaki Yokoi　Kishiwada Tokushukai Hospital

■Commentators
Keisuke Hirano　Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital
Yutaka Koyama　Shinkawabashi Hospital
Andrej Schmidt　Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany
Kazushi Urasawa　Tokeidai Memorial Hospital
Terutoshi Yamaoka　Matsuyama Red Cross Hospital
Yasutaka Yamauchi　Kikuna Memorial Hospital

■Floor Director
Taketsugu Tsuchiya　Kanazawa Cardiovascular Hospita

Short Lecturer
「Recent Trend in Germany in EVT」
Andrej Schmidt
（Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany）

■Operators
Osamu Iida　Kansai Rosai Hospital
Yusuke Miyashita　Shinshu University Graduate School of Medicine

Part2　10:30～12:00
Basic EVT

■Chairs
Masato Nakamura　Toho University Ohashi Medical Center
Yoshiaki Yokoi　Kishiwada Tokushukai Hospital

■Commentators
Gary M. Ansel　Riverside Methodist Hospital, USA
Wataru Higashiura　Nara Medical University
Nobuhiko Ogata　Tokai University, School of Medicine
Hidemitsu Ogino　Shonan Kamakura General Hospital
Kenji Suzuki　Sendai Kousei Hospital
Taketsugu Tsuchiya　Kanazawa Cardiovascular Hospital

■Floor Director
Kenji Suzuki　Sendai Kousei Hospital

Short Lecturer
「Recent trend in Japan」
Kenji Suzuki（Sendai Kousei Hospital）

■Operators
Keisuke Hirano　Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital
Osamu Iida　Kansai Rosai Hospital

Part3　13:00～15:00
Advanced EVT

■Chairs
Akira Miyamoto　Kikuna Memorial Hospital
Taketsugu Tsuchiya　Kanazawa Cardiovascular Hospital

■Commentators
Donghoon Choi　Severance Cardiovascular Hospital
Yonsei University College of Medicine, Korea
Osami Kawarada　Kishiwada Tokushukai Hospital
Tomohiro Kawasaki　Shin-Koga Hospital
Yoichi Nozaki　Hokko Memorial Hospital
Yasuhiro Ohba　Kasugai Municipal Hospital
Hiroki Takahashi　Yamagata University School of Medicine

■Floor Director
Daizo Kawasaki　Hyogo College of Medicine

Short Lecturer
「Recent trend in Korea」
Donghoon Choi（Severance Cardiovascular Hospital
Yonsei University College of Medicine, Korea）

■Operators
Osamu Iida　Kansai Rosai Hospital
Shinsuke Nanto　Osaka University
Kazushi Urasawa　Tokeidai Memorial Hospital

Part4　16:00～18:00
Advanced EVT

■Chairs
Akira Miyamoto　Kikuna Memorial Hospital
Hiroyoshi Yokoi　Kokura Memorial Hospital

■Commentators
Michiaki Higashitani　Tokyo Women's Medical University
Koji Hozawa　New Tokyo Hospital
Daizo Kawasaki　Hyogo College of Medicine
John R. Laird　UC Davis Medical Center, USA
Yoshimitsu Soga　Kokura Memorial Hospital
Junichi Tazaki　Graduate School of Medicine, Kyoto University

■Floor Director
Yusuke Miyashita　Shinshu University Graduate School of Medicine

Short Lecturer
「Recent trend in USA」
John R. Laird（UC Davis Medical Center, USA）

EVT Case Conference
Date：Wednesday, July 20　Venue：SanrakuⅡ, RIHGA Royal Hotel Osaka 2F
Time：20:00～

Special Session

■KSIC-CVIT Joint Session

●Date: Thursday, July 21 16:00－18:00

●Venue: Hall H, Osaka International Convention Center 10F

●Theme: Now and Future of CTO

Chairs： The Catholic University of Korea, Seoul/St. Mary's Hospital, Korea — Ki Bae Seung
Toyohashi Heart Center — Takahiko Suzuki

Commentators： Tokai University School of Medicine — Yoshihiro Morino
Shonan Kamakura General Hospital — Satoshi Takeshita
Kumamoto University — Shinji Tayama
Cardio-vascular Center Hokkaido Ohno Hospital — Takehiro Yamashita

1. Now and future of Chronic Total Occlusion -Korean Perspectives from Korean CTO Club-
Korea University Guro Hospital, Korea — Seung-Woon Rha
2. Now and Future of CTO
Toyohashi Heart Center — Osamu Katoh
3. Clinical Outcomes of LMT Lesion in AMI Patients; KAMIR
Konyang University Hospital, Korea — Jang Ho Bae
4. Complex lesion & LMT bifucation
New Tokyo Hospital — Sunao Nakamura
5. Evaluation of neointimal tissue characteristics after drug-eluting stent implantation with OCT
Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea — Myeong-Ki Hong
6. Use of FFR and OCT for preventing ischemic events
Kobe University — Junya Shite

■GW-ICC/CVIT Joint Session

●Date: Friday, July 22 16:00－18:00

●Venue: Hall G, Osaka International Convention Center 10F

Chairs： Himeji Cardiovascular Center — Takatoshi Hayashi
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China — Hongbing Yan

1. Polymer-free Paclitaxel Stents Effect on Coronary Artery De novo Lesions:
a Long-term Clinical and Angiographic Follow-up Results
First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China — Xuchen Zhou
2. CREST-MI Trial six-month Follow-up Results
Chaoyang Hospital, Capital Medical University, China — Xinchun Yang
3. Application of Aspiration Catheters in ACS: The Four Major Reasons,
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China — HongBing Yan
4. What is required for next-generation DES to obtain sufficient vascular healing?:
Discussion based on coronary angioscopic research
Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center — Masaki Awata
5. Evaluation of coronary intervention and outcomes with optical coherence tomography in the era of drug-eluting stent
Kobe University Hospital — Toshiro Shinke

Guide for Presentations

Oral Presentation

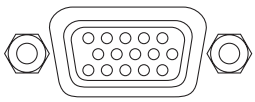
1. To Speakers:

Next Speaker's Seat:

Please be seated at the Next Speaker's Seat in the front row, when the speaker before you started to talk.

●AV Equipments

1. Please Bring your own laptop computer (Windows and Macintosh are acceptable.).
2. Please bring your computer to the Operation Desk located in your session room at least 30min. prior to your presentation.(After the presentation, please pick up your computer at the Operation Desk in the session room.)
3. A monitor is available on the podium. Each speaker is responsible for projection using a mouse by him/herself. Connection with the projector will be operated by the PC operator at the Operation Desk.
   There will be no sound truck for PC presentation.
4. Only Mini-D-SUB 15 pins in 3 rows will be available at the desk. If your computer requires other type of monitor output, please bring an appropriate output connector.



5. The resolution of LCD projector is corresponded to VGA (640x480), SVGA (800x600), and XGA (1024x768).
6. Please bring an AC adaptor.
7. It is recommended to bring a back-up data on CD-R or USB memory just in case of unexpected connecting problems.

●Presentation Method:

Please use the mouse on the podium during your presentation. As you reach the podium, the operator will start your presentation on the first slide and then you will control the presentation of your slide by yourself. For Macintosh presentations, you will not be able to return to previous slides by using the mouse.

●Time allocation:

For the smooth progress of the session, please follow the chair's directions and strictly keep to the time allocations listed below. (Time indicator on the podium will show you yellow lamp for 1min. remaining, and red lamp for finish.)

Medicals/ Free Paper, Case Report:

Presentation 10 min. Discussion 2 min.

Co-Medicals/ Free Paper:

Presentation 7 min. Discussion 3 min.

Other sessions:

Time allocation has been sent to each speaker separately.

2. To Session Chairs and Commentators:

●Next Chairs and Commentators Seat:

Please be seated at the Next Chairs and Commentators Seat in the front row at least 10min. prior to your session. There will be no reception desk for chairs and commentators.

●Session Proceeding:

Chairs are responsible for smooth progress of the session and following the time schedule.

In case you are unable to attend the session for an unavoidable reason, please contact the secretariat at the Osaka International Convention Center at least 1 hour before your session starts and appoint someone to fill in your place.

●Selection of the excellent presentations:

Please select the excellent presentations by scoring each poster.

The designated list of mark will be handed at the Chairs' Reception Desk. Please return the list to the Chairs' Reception Desk after your selection.

3. To Questioners:

Should you wish to ask a question, please stand by a microphone in the session room.

According to the chair's directions, please say your name and affiliation, and then ask your questions or make comments briefly.

4. To Speakers of the Symposia and Panel Discussions:

We will record all lectures and create DVD for educational purpose.

Speakers for the Symposia and Panel Discussions are asked to sign in the Acceptance form for recording on site. Thank you very much for your cooperation.

Poster Presentation

1. To Presenters:

●Set Up / Discussion / Removal Times

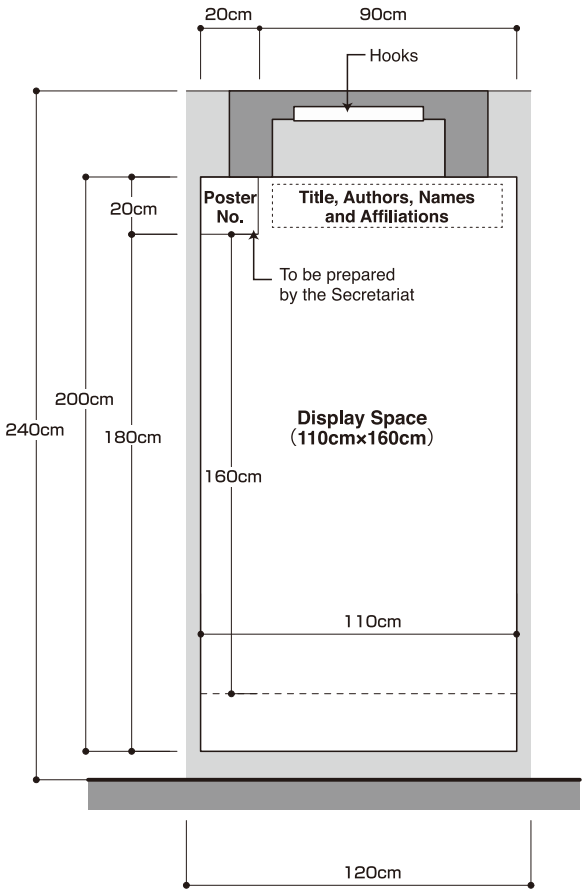
Session Date	Set Up	Discussion	Removal
July 21 (Thur.)	14:00-18:00	-	-
July 22 (Fri.)	7:00-9:00	10:00-11:30 13:30-15:00	17:10-18:00
July 23 (Sat.)	7:00-9:00	10:00-11:30 13:15-14:45	17:10-18:00

●Presenters' Reception Desk:

Please come to the Presenters' Reception Desk prior to mounting a poster.
Presenters will receive information regarding the poster mounting and presentations.

●Preparation of Posters:

1. A Poster number (20 cm x 20 cm) and pushpins to mount posters will be provided to each presenter. A footstool is available in the Poster Session area.
2. Adhesive tape and glue are not allowed to use to mount posters.
3. Graphs and figures should be at least 20 cm2 size and easy to see from 2 or 3 meters away.
4. Try to arrange posters as clearly and concisely as possible.
5. Congress Secretariat will dispose of leftover posters after the removal time.



●Presentation:

1. In this meeting, a unique presentation style will be introduced instead of a conventional way:
   Presenters will NOT make their presentations in front of their posters. However, Presenters will make the presentations at a designated Presentation Space. The posters will be mounted on movable boards (Details will be given in the information sheet handed at the Presenters' Reception Desk at the Venue).
   Each presenter will be asked to move the board of his/her poster to the designated space.
2. Please stand by your poster at least 10 min. prior to your session, and prepare for moving the poster board to the allocated Presentation Space for your presentation.
3. Time allocation:
   Presentation 5 min., Discussion 2 min.
   For the smooth progress of the session, please follow the chair's directions and strictly keep to the time allocation.

2. To Session Chairs:

●Chairs' Reception Desk:

Please come to the Chairs' Reception Desk at least 10 min. prior to your session.

●Session Proceeding:

Chairs are responsible for smooth progress of the session and following the time schedule.

In case you are unable to attend the session for unavoidable reason, please contact the Congress Secretariat at Osaka International Convention Center at least 1 hour before your session starts and appoint a deputy chair.

3. To Questioners:

According to the char's directions, please state your name and affiliation, and then ask your questions or make comments briefly.

Program at a Glance

Abbreviation List

S	Symposium
PD	Panel Discussion
CV	Controversy
SP	Special Program
SL	Special Lecture
TH	Town Hall Meeting
CPD	Panel Discussion (Co-medical)
CS	Symposium (Co-medical)
JP	Joint Program
RP	Radiation Protective Seminar
ES	Educational Session
SS	Satelite Symposium
MS	Morning Seminar
LS	Luncheon Seminar
CB	Coffee Break Seminar
FS	Fireside Seminar
MO	Free Paper (Medical)
CR	Case Report (Medical)
MP	Poster Session (Medical)
CO	Free Paper (Co-medical)

Wednesday, July 20

				9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
RIHGA Royal Hotel Osaka	2F		Sanraku I												PCI LIVE Case Conference p.206	
	2F		Sanraku II												EVT LIVE Case Conference p.207	
	3F	Hall L	Korin I										Satellite Symposium 2 Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd. Kaneka Medix Corporation p.241 J			
	3F	Hall M	Korin II										Satellite Symposium 1 Abbott Vascular Japan, Co., Ltd. p.241			
	3F	Hall N	Korin III										Satellite Symposium 3 TERUMO CORPORATION p.241 J			

Thursday, July 21

				7:00–8:00	8:00–9:00	9:00–10:00	10:00–11:00	11:00–12:00	12:00–13:00	13:00–
Osaka International Convention Center	5F	Hall A	Main Hall		Opening	PCI Live Demonstration Part1 Part2 p.206 J				
	3F	Hall B	Event Hall A			Free Paper (Medical) DES1 p.265 E	Free Paper (Medical) DES2 p.265 E	Free Paper (Medical) DES3 p.266 E		
	10F	Hall C	1003			EVT Live Demonstration Basic EVT Part1 Part2 p.207			Luncheon Seminar 1 Cook JAPAN Incorporated MEDICO'S HIRATA INC. p.242	
	10F	Hall D	1001 + 1002			Free Paper (Medical) IVUS/OCT1 p.267 E	Sponsored Program 2 DES status of new program p.236		Luncheon Seminar 2 Medtronic Japan Co., Ltd. p.242	
	10F	Hall E	1009			Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention1 p.269 E	Symposium 1 J		Luncheon Seminar 3 Johnson and Johnson K.K. p.242	
	10F	Hall F	1004 + 1005		Educational Session 1 J	Case Report (Medical) CAS/Endovascular intervention1 p.304 E	Controversy The best treatment for distal LMT lesion J		Luncheon Seminar 4 Boston Scientific Japan K.K. p.243 J	
	10F	Hall G	1008		Educational Session 2 J	Sponsored Program5 TEVAR and EVAR: What are the ex perts saying? p.237		Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention4 p.271 E	Luncheon Seminar 5 Philips Electronics Japan, Ltd. p.243 J	
	10F	Hall H	1006 + 1007		Educational Session 3 J	Panel Discussion 3 J			Luncheon Seminar 6 Biosensors Japan Co., Ltd. p.243 J	
	12F	Hall I	Conference Hall			Free Paper(Co-medical)	Free Paper(Co-medical)	Free Paper(Co-medical)	Luncheon Seminar 7 Sanofi aventis p.244 J	
	12F	Hall J	1202			Free Paper(Co-medical)	Free Paper(Co-medical)	Free Paper(Co-medical)	Luncheon Seminar 8 DAIICHI SANKYO COMPANY, LIMITED Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation p.244 J	
RIHGA Royal Hotel Osaka	2F	Hall K	Kiri			Free Paper (Medical) AMI 1 p.273 E	Free Paper (Medical) AMI 2 p.273 E	Free Paper (Medical) AMI 3 p.274 E	Luncheon Seminar 9 ONO Pharmaceutical Co., Ltd. p.244 J	
	3F	Hall L	Korin I			Free Paper (Medical) Other modalities p.276 E	Free Paper (Medical) Structural Heart Disease Intervention p.276 E		Luncheon Seminar 10 Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd. p.244 J	
	3F	Hall M	Korin II			Free Paper (Medical) BMS p.277 E	Free Paper (Medical) Restenosis1 p.278 E	Free Paper (Medical) Restenosis2 p.278 E	Luncheon Seminar 11 Nippon Boehringer Ingelheim Co., Ltd. p.245 J	
	3F	Hall N	Korin III			Free Paper (Medical) Debulking1 p.281 E	Free Paper (Medical) Debulking2 p.281 E	Free Paper (Medical) Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)1 p.282 E	Luncheon Seminar 12 MSD K.K. p.245 J	
	2F	Hall O	Katsura							
Osaka International Convention Center	3F	Exhibition								

Simultaneous interpretation will be provided　J Japanese Only　E English Only

13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
	PCI Live Demonstration Part3 p.206 J		PCI Live Demonstration Part4 p.206 J				
	Sponsored Program1 Diagnosis of vulnerable plaque and clinical implication: How to use it for what? p.235	Coffee Break Seminar 1 Abbott Vascular Japan Co., Ltd. p.253 J	Free Paper (Medical) DES4 p.266 E	Free Paper (Medical) DES5 p.267 E			
	EVT Live Demonstration Basic EVT Part3 p.207		EVT Live Demonstration Basic EVT Part4 p.207				
	Free Paper (Medical) IVUS/OCT2 p.268 E	Free Paper (Medical) IVUS/OCT3 p.268 E	Coffee Break Seminar 2 GE Healthcare Japan Corporation p.253 J	Free Paper (Medical) IVUS/OCT4 p.269 E	Case Report (Medical) IVUS/OCT1 p.304 E		
	Sponsored Program3 DEB summit p.236		Panel Discussion 1 Best way to implant stents in a bifurcation J		Fireside Seminar 1 Johnson & Johnson K. K. p.262		
	Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention2 p.270 E	Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention3 p.270 E	Coffee Break Seminar 4 Medtronic Japan Co., Ltd. p.253	Sponsored Program 4 J			
	Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention5 p.271 E	Case Report (Medical) CAS/Endovascular intervention2 p.305 E	Coffee Break Seminar 5 Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd. p.254 J	Panel Discussion 2 Cross fire: Can imaging modality predict future ACS? J			
	Free Paper (Medical) Anti-platelet therapy1 p.272 E	Free Paper (Medical) Other new devices p.272 E		Special Program 1 KSIC-CVIT Joint Session p.226			
	Co-medical Panel Discussion1 J			Free Paper(Co-medical)	Free Paper(Co-medical)		
	Case Report (Medical) Restenosis p.305 E	Case Report (Medical) Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...) p.306 E	Coffee Break Seminar 28 Heart Organization Ltd. J	Free Paper (Co-medical) PAD		Fireside Seminar 2 Japan Lifeline Co., Ltd. p.262 J	
	Free Paper (Medical) AMI 4 p.274 E	Free Paper (Medical) Cardiac - CT/MRI1 p.275 E	Coffee Break Seminar 6 MSD K.K. p.254 J	Case Report (Medical) AMI1 p.306 E	Free Paper (Medical) Cardiac - CT/MRI2 p.275 E		
	Special Program 2 Structure: The key to writing a paper p.226		Coffee Break Seminar 7 Associations for Establishment of Evidence in Interventions (AEEI) p.254 J	Free Paper (Medical) Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire1 p.277 E	Case Report (Medical) Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire p.307 E		
	Free Paper (Medical) PCI and DM/CKD/HD1 p.279 E	Free Paper (Medical) PCI and DM/CKD/HD2 p.279 E	Coffee Break Seminar25 p.254 J	Free Paper (Medical) New approach to devices/Other coronary diagnostic method1 p.280 E	Free Paper (Medical) New approach to devices/Other coronary diagnostic method2 p.280 E		
	Free Paper (Medical) Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)2 p.282 E	Free Paper (Medical) Stent thrombosis1 p.283 E		Free Paper (Medical) Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)3 p.283 E	Free Paper (Medical) Stent thrombosis2 p.284 E		

Friday, July 22

				7:00–8:00	8:00–9:00	9:00–10:00	10:00–11:00	11:00–12:00	12:00–13:00
Osaka International Convention Center	5F	Hall A	Main Hall			Special Program 3 J			
	3F	Hall B	Event Hall A			Free Paper (Medical) DES6 p.285 E	Free Paper (Medical) DES7 p.285 E	Free Paper (Medical) DES8 p.286 E	Luncheon Seminar 13 Abbott Vascular Japan Co., Ltd. p.246
	10F	Hall C	1003			Symposium 2 Structure Heart Disease Current status and future prospective p.229		Free Paper (Medical) CTO1 p.287 E	Luncheon Seminar 14 TERUMO CORPORATION p.246
	10F	Hall D	1001 + 1002			Panel Discussion 5 Long-term result of DES p.228		Free Paper (Medical) IVUS/OCT5 p.288 E	Luncheon Seminar 15 Astellas Pharma Inc. Pfizer Japan Inc. p.246
	10F	Hall E	1009			Symposium 4 Endovascular treatment of peripheral artery disease: Looking at the evidence J		Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention6 p.288 E	Luncheon Seminar 16 ASAHI INTECC CO.,LTD. ASAHI INTECC J-Sales, INC. St. Jude Medical Co., Ltd. p.247 J
	10F	Hall F	1004 + 1005		Education Session 4 J	Symposium 7 CTO Maters championship: Shot of the day J		Case Report (Medical) CAS/Endovascular intervention3 p.308 E	Luncheon Seminar 17 Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation p.247 J
	10F	Hall G	1008		Education Session 5 J	Case Report (Medical) CAS/Endovascular intervention4 p.309 E	Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention8 p.289 E	Case Report (Medical) Follow up results p.309 E	Luncheon Seminar 18 Boston Scientific Japan K.K. p.247 J
	10F	Hall H	1006 + 1007		Education Session 6 J	Free Paper (Medical) Anti-platelet therapy2 p.290 E	Panel Discussion 7 Key issues of intervention for better outcomes of patients with chronic kidney disease J		Luncheon Seminar 19 Japan Lifeline Co.,Ltd. NIPRO CORPORATION p.248 J
	12F	Hall I	Conference Hall			Co-medical Panel Discussion 2 J		Free Paper(Co-medical)	Luncheon Seminar 20 Kowa Pharmaceutical Company Ltd. p.248 J
	12F	Hall J	1202			Free Paper(Co-medical)	Free Paper(Co-medical)	Free Paper(Co-medical)	Luncheon Seminar 21 Sanofi aventis p.248 J
RIHGA Royal Hotel Osaka	2F	Hall K	Kiri			Sponsored Program 6 J		Free Paper (Medical) AMI 5 p.291 E	Luncheon Seminar 22 Volcano Japan, Co., Ltd. p.248 J
	3F	Hall L	Korin I			Sponsored Program 7 OCT:EXTREME RESOLUTION for Confident Lesion Assessment J			Luncheon Seminar 23 Astra Zeneca SHIONOGI & CO., LTD. p.249 J
	3F	Hall M	Korin II			Free Paper (Medical) Complications p.294 E	Sponsored Program 8 Bleeding Complications Associated with Antiplatelet Therapy after Drug-Eluting Stents J		Luncheon Seminar 24 FUKUDA DENSHI CO., LTD. p.249
	3F	Hall N	Korin III		Morning Seminar Takeda Pharmaceutical Company Limited p.242 J	Free Paper (Medical) Prognosis after intervention therapy1 p.295 E	Panel Discussion 8 Postgraduate educational programs for interventional cardiologist J		Luncheon Seminar 25 TOSHIBA MEDICAL SYSTEMS CORPORATION p.249 J
	2F	Hall O	Katsura			Free Paper (Medical) PCI and DM/CKD/HD3 p.297 E	Free Paper (Medical) Electrophysiology p.297 E	Free Paper (Medical) PCI and DM/CKD/HD4 p.298 E	Luncheon Seminar 26 DAIICHI SANKYO COMPANY, LIMITED p.249 J
Osaka International Convention Center	3F	Exhibition					Poster Session		

Poster Session (Medical)

p.315	AMI	MP001 ~ MP007
p.316	CAS/Endovascular intervention1	MP008 ~ MP015
p.317	DES1	MP016 ~ MP022
p.318	IVUS/OCT1	MP023 ~ MP030
p.319	LMT	MP031 ~ MP038
p.320	Prognosis after intervention therapy1	MP039 ~ MP043
p.320	Stent thrombosis	MP044 ~ MP047
p.338	PCI and DM/CKD/HD	MP186 ~ MP195

Simultaneous interpretation will be provided　J Japanese Only　E English Only

13:00　14:00　15:00　16:00　17:00　18:00　19:00　20:00

Special Program 4 J		Special Lecture1 Renu Virmani p.225	Special Program 5 J
Free Paper (Medical) DES9 p.286 E	Coffee Break Seminar 8 Abbott Vascular Japan Co., Ltd. p.255	Panel Discussion 4 Ways to master CTO intervention J	
Free Paper (Medical) CTO2 p.287 E	Coffee Break Seminar 9 Medtronic Japan Co., Ltd. p.255	Symposium 3 The future view of antithrombotic agents J	
Case Report (Medical) IVUS/OCT2 p.308 E	Coffee Break Seminar 10 Johnson & Johnson K.K. p.255 J	Panel Discussion 6 DES Restenosis p.228	
Coffee Break Seminar 11 W. L. Gore & Associates, Co., Ltd. p.256	Symposium 5 Who is the go-to doc for Carotid Artery Stenting? J	Symposium 6 We can work it out: Interventional Cardiologists and EVT p.229	
Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention7 p.289 E	Coffee Break Seminar 12 Chugai Pharmaceutical Co., Ltd. p.256 J	Symposium 8 Expert Talk from a Self-Confessed Iliacist p.230	
Free Paper (Medical) Follow up results p.290 E	Coffee Break Seminar 13 Eisai Co., Ltd. p.256 J	Special Program 6 GW-ICC/CVIT Joint Session p.227	
Free Paper (Medical) Anti-platelet therapy3 p.291 E	Coffee Break Seminar 14 GOODMAN INC p.256 J	Symposium 9 Echocardiographic evaluation of ischemic heart disease p.230	
Free Paper (Co-medical)	Coffee Break Seminar 15 Photron Medical Imaging Inc. p.257 J	Co-medical Panel Discussion 3 J	
Free Paper (Co-medical)	Coffee Break Seminar 16 Novartis Pharma K.K. p.257 J	Free Paper (Co-medical)	Free Paper (Co-medical)
Free Paper (Medical) AMI 6 p.292 E		Free Paper (Medical) AMI 7 p.292 E	Case Report (Medical) AMI2 p.310 E
Free Paper (Medical) Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire2 p.293 E	Coffee Break Seminar 17 Kaneka Medix Corporation p.257 J	Free Paper (Medical) CABG/CABG vs. PCI/ Structual1 p.293 E	Free Paper (Medical) CABG/CABG vs. PCI/ Structual2 p.294 E
Case Report (Medical) Complications1 p.310 E	Coffee Break Seminar 18 Siemens Japan K.K. p.257 J	Case Report (Medical) Complications2 p.311 E	Free Paper (Medical) Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire3 p.295 E
Free Paper (Medical) Prognosis after intervention therapy2 p.296 E	Coffee Break Seminar 19 Boston Scientific Japan K.K. p.258 J		Free Paper (Medical) Distal protection devices p.296 E
Free Paper (Medical) LMT1 p.298 E		Free Paper (Medical) LMT2 p.299 E	Free Paper (Medical) LMT3 p.299 E
Poster Session			

Poster Session (Medical)

p.321	BMS/Debulking	MP048 ~ MP052
p.322	CAS/Endovascular intervention2	MP053 ~ MP060
p.323	Complications	MP061 ~ MP071
p.324	CTO	MP072 ~ MP075
p.324	DES2	MP076 ~ MP082
p.325	IVUS/OCT2	MP083 ~ MP090
p.326	Other modalities/new devices	MP091 ~ MP097
p.326	Prognosis after intervention therapy2	MP098 ~ MP101

Saturday, July 23

7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00

Osaka International Convention Center	5F	Hall A	Main Hall	Panel Discussion 9 Do you do PCI for this particular patient before surgical therapy? J
	3F	Hall B	Event Hall A	Special Program 9 PCI registry: future perspectives J Luncheon Seminar 27 Abbott Vascular Japan Co., Ltd. p.250
	10F	Hall C	1003	Town Hall Meeting part 1 p.233 Town Hall Meeting part 2 p.234 Luncheon Seminar 28 TERUMO CORPORATION p.250 J
	10F	Hall D	1001 + 1002	Sponsored Program 9 Exploration of FFR p.238 Free Paper (Medical) IVUS/OCT7 p.302 E Luncheon Seminar 29 Medicon, Inc. p.250
	10F	Hall E	1009	Symposium 10 Treatment Strategy for CLI: To Bypass or EVT? That is the question J Free Paper (Medical) CAS/Endovascular intervention9 p.303 E Luncheon Seminar 30 DVx Inc. p.251
	10F	Hall F	1004 + 1005	Education Session 7 J Panel Discussion 10 Renal Artery Stenting: Who benefits? J Case Report (Medical) CAS/Endovascular intervention5 p.312 E Luncheon Seminar 31 Johnson & Johnson K.K. p.251 J
	10F	Hall G	1008	Education Session 8 J Symposium 14 Cardiogenic shock: Role of hemodynamic support and hypothermia p.232 Case Report (Medical) CTO p.313 E Luncheon Seminar 32 FUJIFILM RI Pharma Co., Ltd. p.251 J
	10F	Hall H	1006 + 1007	Education Session 9 J Sponsored Program 10 J Symposium 15 J Luncheon Seminar 33 Takeda Pharmaceutical Company Limited p.251 J
	12F	Hall I	Conference Hall	Co-medical Panel Discussion 4 J Co-medical Special Lecture CSL Luncheon Seminar 34 Heart Organization Ltd. p.252 J
	12F	Hall J	1202	Free Paper (Co-medical) Free Paper (Co-medical) Free Paper (Co-medical) Luncheon Seminar 35 Pfizer Japan Inc. p.252 J
RIHGA Royal Hotel Osaka	2F	Hall K	Kiri	
	3F	Hall L	Korin I	
	3F	Hall M	Korin II	
	3F	Hall N	Korin III	
	2F	Hall O	Katsura	
Osaka International Convention Center	3F	Exhibition		Poster Session

Poster Session (Medical)

p.327	Anti-platelet therapy	MP102 ~ MP109
p.328	CAS/Endovascular intervention3	MP110 ~ MP116
p.329	Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire	MP117 ~ MP122
p.330	DES3	MP123 ~ MP129
p.331	Follow up results	MP130 ~ MP137
p.332	New approach to devices/Other coronary diagnostic method1	MP138 ~ MP145
p.339	Restenosis	MP196 ~ MP201

Simultaneous interpretation will be provided　J Japanese Only　E English Only

13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00

Special Program 7
Late Breaking Clinical Study Part 1 J

Special Program 8
Late Breaking Clinical Study Part 2 J

Special Lecture2
Shinsuke Nanto
p.225 J

Free Paper (Medical)
DES10
p.300 E

Free Paper (Medical)
DES11
p.300 E

Free Paper (Medical)
DES12
p.301 E

Case Report (Medical)
Stent thrombosis
p.311 E

Free Paper (Medical)
IVUS/OCT6
p.301 E

Special Lecture3
Mark A. Grise
SL3
p.225

Coffee Break Seminar 20
Pfizer Japan Inc.
p.259 J

Special Program 10
Educational Seminar for Relevant Company for the Sales of Cardiovascular Device
J

Case Report (Medical)
IVUS/OCT3
p.312 E

Free Paper (Medical)
IVUS/OCT8
p.302 E

Coffee Break Seminar 21
SHIONOGI & CO., LTD.
p.259 J

Special Program 11
J

Symposium 11
SFA EVT: Personal Perspectives, Future Perspectives
p.231

Coffee Break Seminar 22
Associations for Establishment of Evidence in Interventions (AEEI)
p.259 J

Symposium 12
Sand Trap! Complications and Bailout Techniques
p.231

Symposium 13
Interventional Cardiologists, Don't try this at home!
J

Coffee Break Seminar 23
Associations for Establishment of Evidence in Interventions (AEEI)
Boston Scientific Japan K.K.
p.260

Special Program
Radiation Protective Seminar
J

Panel Discussion 11
Less harmful intervention for renal function
J

Coffee Break Seminar 24
St. Jude Medical Japan Co., Ltd.
p.260 J

Panel Discussion 12
J

Case Report (Medical)
Complications3
p.313 E

Case Report (Medical)
Complications4
p.314 E

Case Report (Medical)
CABG/CABG vs. PCI/Structual
p.314 E

Co-medical Symposium
J

Coffee Break Seminar 26
TERUMO CORPORATION
p.261 J

Free Paper(Co-medical)

Free Paper(Co-medical)

Free Paper(Co-medical)

Coffee Break Seminar 27
Abbott Vascular Japan, Co., Ltd.
p.261 J

Free Paper (Co-medical)

Poster Session

Poster Session (Medical)

p.333	CABG/CABG vs. PCI/Structual	MP146 ~ MP152
p.334	Cardiac - CT/MRI	MP153 ~ MP157
p.334	CAS/Endovascular intervention4	MP158 ~ MP164
p.335	DES4	MP165 ~ MP171
p.336	DES5	MP172 ~ MP178
p.337	DES6	MP179 ~ MP185
p.339	Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)	MP202 ~ MP206

The 21st Annual Meeting of Cardiovascular Intervention and Therapeutics : CVIT 2012

It is my great pleasure to deliver a few words of greeting concerning the convening of the 21st Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics (CVIT2012) .

First of all, I would like to express my deepest sympathies for those who were affected by the Great East Japan Earthquake. It is anticipated that, given the enormity of devastation caused by this earthquake, there will be a long and difficult road to travel before those affected regions can fully recover. I have, however, been truly impressed with the resilience and strength demonstrated by many people, who stride towards the reconstruction despite the difficult circumstances of today. I am pleased to note that, under the leadership of Dr. Shinsuke Nanto, CVIT2011 is to be held in July in Osaka. It is deeply appreciated that the members of Tohoku chapter of CVIT have strongly supported the idea of convening the 2011 annual meeting despite the many difficulties surrounding them. Thanks to their resilience and commitment, the CVIT has decided not to abort the programme but to continue the tradition of annual meetings. Since March 28, many members of this association have been participating in volunteer programmes to provide medical services in local communities of Tohoku district. While people might feel hopeless and depressed from time to time in the aftermath of this disaster, I am proud and appreciative of the solidarity and cooperation demonstrated by our members, which help us to continue to make progress towards the future. I sincerely hope that those affected regions will be reconstructed as soon as possible.

Shown here is the programme of CVIT2012, the venue of which will be Niigata. It is expected that this annual meeting will provide the participants with a good opportunity to learn and discuss effective methods, strategies and technologies to treat cardiovascular diseases based on catheterisation. This has been an important mission given to CVIT. It has always been important for us not only to pursue the advancement of cardiovascular intervention, a highly specialised field, but also to nurture a holistic perspective amang healthcare professionals in treating patients. In the light of this spirit, we have chosen "Reflect on the Original Intent - The Principles of Medicine and Our Mission as Healthcare Professionals" as the theme of CVIT2012. While treatment technology as well as its strategy becomes more advanced and diversified, this annual meeting will provide us with a valuable opportunity to consider what kind of healthcare services we should seek in society. While as interventional cardiologists we deal with cardiovascular events after the onset of diseases, we are also expected to contribute to the decision-making concerning secondary preventive strategies. I hope that there will be fruitful discussions among the participants about the pursuit of proactive preventive intervention. Today the social environment surrounding healthcare is becoming more strict and demanding. In this context, it is worth discussing medical ethics as well. Included in the programmes are live demonstrations from which to learn about effective and safe catheterisation, a fundamental goal of CVIT. We would appreciate requests and suggestions from members to enhance the quality of the programme.

When CVIT2012 is held in Niigata in middle July, the rainy season will be coming to an end. Niigata City, which faces the Japan Sea, is blessed with a rich natural environment. Standing in the conference hall, people will be thrilled by the scenic beauty of Sado Island and the Japan Sea. They can enjoy a spectacular view of nature in the sunset. I look forward to meeting many participants at CVIT2012.

Hirotaka Oda, M.D., Ph.D.
(Department of Cardiology, Niigata City General Hospital)

President
The 21st Annual Meeting of the Japanese Association of Cardiovascular Intervention and Therapeutics (CVIT2012)

<CVIT2012>
Date: July 12 -14, 2012
Venue: Toki Messe, The Hotel Nikko Niigata and other facilities (to be announced)
Secretariat: Dep. of Cardiology, Niigata City General Hospital
Administrative Secretariat: C/o JTB Communications, Inc.
Tokyo Headquarters, Convention Division
Home Page: To be Announced

Special Program

Special Lecture

Special Program

Panel Discussion

Symposium

Town Hall Meeting

Sponsored Program

Special Lecture

Friday, July 22 — Hall A

Stents vs. Scaffold: Are we sure totally bioerodable scaffolds will be better than Metalic DES? 16:00～17:00

Chair：National Cerebral and Cardiovascular Center — Jun-ichi Kotani

SL1

CV Path Institute, Inc., USA — Renu Virmani

Saturday, July 23 — Japanese — Hall A

Towards greater Knowledge, skills and technology 17:00～18:00

Chair：Kokura Memorial Hospital — Hiroyoshi Yokoi

SL2

Osaka University — Shinsuke Nanto

Hall C

Percutaneous Left Ventricular Support Devices in the Cardiac Catheterization Laboratory 14:00～15:00

Chair：Surugadai Nihon University Hospital — Ken Nagao

SL3

Ochsner Heart and Vascular Institute, USA — Mark A. Grise

Special Program

Thursday, July 21 Hall H

KSIC-CVIT Joint Session 16:00～18:00

Chairs：The Catholic University of Korea, Seoul/St. Mary's Hospital, Korea — Ki Bae Seung
Toyohashi Heart Center — Takahiko Suzuki

Commentators：Tokai University School of Medicine — Yoshihiro Morino
Shonan Kamakura General Hospital — Satoshi Takeshita
Kumamoto University — Shinji Tayama
Cardio-vascular Center Hokkaido Ohno Hospital — Takehiro Yamashita

SP1-1 Now and future of Chronic Total Occlusion -Korean Perspectives from Korean CTO Club-
Korea University Guro Hospital, Korea — Seung-Woon Rha

SP1-2 Now and Future of CTO
Toyohashi Heart Center — Osamu Katoh

SP1-3 Clinical outcomes of LMT lesion in AMI patients; KAMIR
Konyang University Hospital, Korea — Jang Ho Bae

SP1-4 Complex lesion & LMT bifucation
New Tokyo Hospital — Sunao Nakamura

SP1-5 Evaluation of neointimal tissue characteristics after drug-eluting stent implantation with OCT
Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea — Myeong-Ki Hong

SP1-6 Use of FFR and OCT for preventing ischemic events
Kobe University — Junya Shite

Hall L

Structure: The key to writing a paper 13:00～15:00

Chairs：Tokai University School of Medicine — Yuji Ikari
Tenri Hospital — Yoshihisa Nakagawa

SP2-1 Principles of study design and statistical analyses for clinical research.
Kyoto University Graduate School of Medicine — Takeshi Morimoto

SP2-2 How to write scientific papers in busy clinical practice
Kansai Rosai Hospital — Masaaki Uematsu

SP2-3 Structure: The key to writing a paper
Tokyo Dental College — Jeremy Williams

GW-ICC/CVIT Joint Session

16:00～18:00

Chairs：Himeji Cardiovascular Center — Takatoshi Hayashi
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China — HongBing Yan

SP6-1 Polymer-free Paclitaxel Stents Effect on Coronary Artery De novo Lesions: a Long-term Clinical and Angiographic Follow-up Results
First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China — Xuchen Zhou

SP6-2 CREST-MI Trial six-month Follow-up Results
Chaoyang Hospital, Capital Medical University, China — Xinchun Yang

SP6-3 Application of Aspiration Catheters in ACS: The Four Major Reasons
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China — HongBing Yan

SP6-4 What is required for next-generation DES to obtain sufficient vascular healing?: Discussion based on coronary angioscopic research
Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center — Masaki Awata

SP6-5 Evaluation of coronary intervention and outcomes with optical coherence tomography in the era of drug-eluting stent
Kobe University Hospital — Toshiro Shinke

Panel Discussion

Friday, July 22 Hall D

Long-term result of DES

9:00～11:00

Chairs：Kyoto University School of Medicine Takeshi Kimura
CV Path Institute, Inc., USA Renu Virmani

PD5-1 Relationship of In-stent Neoatherosclerosis to Bare-metal Stent Thrombosis.
Kokura Memorial Hospital Kyohei Yamaji

PD5-2 The first report for 5 years clinical outcomes from Cypher J-PMS: Data from consecutive 2050 pts
National Cerebral and Cardiovascular Center Jun-ichi Kotani

PD5-3 Impact of short term temporal discontinuation of dual antiplatelet therapy after drug eluting stent implantation.
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Yasunari Sakamoto

PD5-4 Efficacy of Sirolimus-Eluting Stents after Primary Stenting for First Anterior STEMI: Retrospective Comparison with Bare-Metal Stents Based on Stent Size
Saitama Prefecture Cardiovascular Respiratory Center Tetsuya Ishikawa

Hall D

DES Restenosis

16:00～18:00

Chairs：Wakayama Medical University Takashi Akasaka
University of Virginia, USA Scott Lim

PD6-1 The Morphological Findings of Early and Late In-stent Restenosis after Drug-eluting Stent Implantation: Optiocal Coherence Tomography Analysis
Tenyoukai Central Hospital Hiroshi Yamaguchi

PD6-2 Optical coherence tomography evaluation for drug-eluting stent restenosis
Kobe University Junya Shite

PD6-3 Impact of CYP2C19 Polymorphism on In-stent Restenosis in Patients with Drug-Eluting Stent Implantation
Kumamoto University, Graduate School of Medical Sciences Seiji Hokimoto

PD6-4 Predictors of re-restenosis after repeated drug-eluting stent implantation to treat drug-eluting stent restenosis
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Masatsugu Nakano

Symposium

Friday, July 22 — Hall C

Structure Heart Disease Current status and future prospective 9:00～11:00

Chairs：Osaka University — Toru Kuratani
Sakakibara Heart Institute — Morimasa Takayama

S2-1 Pathophysiology and Diagnosis of Aortic Stenosis
Osaka University Graduate School of Medicine — Satoshi Nakatani

S2-2 PTAV
Ikegami General Hospital — Yoshihito Sakata

S2-3 Lessons From the Partner Trials
Cleveland Clinic, USA — E. Murat Tuzcu

S2-4 TAVI Advancements Expand Treatment Potential for Aortic stenosis
Medtronic, Inc., USA — Thomas L. Armitage

S2-5 Percutaneous Mitral Valve Repair
University of Virginia, USA — Scott Lim

Hall E

We can work it out: Interventional Cardiologists and EVT 16:00～18:00

Chairs：Niigata City General Hospital — Hirotaka Oda
Kokura Memorial Hospital — Hiroyoshi Yokoi

S6-1
UC Davis Medical Center, USA — John R. Laird

S6-2 Endovascular Therapy for Carotid Artery Disease and Peripheral Arterial Disease should be performed by Cardiologists
Kishiwada Tokushukai Hospital — Yoshiaki Yokoi

S6-3
Tokyo Medical University Hachioji Medical Center — Hiroyoshi Komai

S6-4
Miyazaki Medical Association Hospital — Yoshisato Shibata

S6-5
Kokura Memorial Hospital — Hiroyoshi Yokoi

S6-6 The educational program when a interventional cartdiologist works on global EVT
Toho University Ohashi Medical Center — Masato Nakamura

Friday, July 22 Hall F

Expert Talk from a Self-Confessed Iliacist

16:00～18:00

Chairs：Kikuna Memorial Hospital Akira Miyamoto
Kasugai Municipal Hospital Yasuhiro Ohba

S8-1 Imaging for endovascular therapy of iliac artery disease
Nara Medical University Wataru Higashiura

S8-2 Femoral Revascularization Using Surgical Bypass for Iliac PAD lesions
－Ao-F, F-F, Ax-BiF Bypass still alive－
Shinshu University Hospital Daisuke Fukui

S8-3 Initial and mid-term outcome after endovascular therapy with stenting for the patients with Leriche syndorome
Kansai Rosai Hospital Osamu Iida

S8-4 Crossing Iliac Lesions, Tips and Tricks
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany Andrej Schmidt

S8-5 Efficacy of Stent-supported Subintimal Angioplasty in the Treatment of Long Iliac Artery Occlusions
Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea Donghoon Choi

S8-6 IVUS guided EVT for Ilac-CTO
Hyogo College of Medicine Daizo Kawasaki

Hall H

Echocardiographic evaluation of ischemic heart disease

16:00～18:00

Chairs：Osaka University Graduate School of Medicine Satoshi Nakatani
Kansai Rosai Hospital Masaaki Uematsu

S9-1 Key note Lecture
Advances in Quantitative Echocardiography in Ischemmic Heart Disease
University of Pittsburgh, USA John Gorcsan III

S9-2 Coronary Flow Reserve by Echocardiography is a Promising Alternative for Fractional Flow Reserve in Determining Hemodynamic Significance of Coronary Stenosis
Wakayama Medical University Kumiko Hirata

S9-3 Evaluation of Ischemic Heart Disease Using Echocardiography
University of Occupational and Environmental Health School of Medicine Masaaki Takeuchi

S9-4 Evaluation for Coronary Artery Disease Using a Noble Tissue Doppler Imaging: Detection of Diastolic Abnormality by Dyssynchrony Imaging: DADI
University of Pittsburgh, USA Toshinari Onishi

S9-5 Ischemic memory imaging
Osaka University Toshihiko Asanuma

S9-6 Diagnosis of Ischemia by Strain Rate in 3D Adenosine-stress Echocardiography: Which Index is the Most Useful to Identify Adenosine-induced Ischemia?
Fukushima Medical University Masumi Iwai-Takano

Hall E

SFA EVT: Personal Perspectives, Future Perspectives

13:00～15:00

Chairs：Nagoya University Graduate School of Medicine — Kimihiro Komori
Kishiwada Tokushukai Hospital — Yoshiaki Yokoi

S11-1 Pro Femoropopliteal Stenting
Kokura Memorial Hospital — Yoshimitsu Soga

S11-2
UC Davis Medical Center, USA — John R. Laird

S11-3 Current Drug Eluting Balloon Treatment for SFA
Tokeidai Memorial Hospital — Kazushi Urasawa

S11-4 Peripheral Drug-Eluting Stent Update: Zilver PTX Randomized Trial 24-Month Update
Riverside Methodist Hospital, USA — Gary M. Ansel

S11-5 Gore Viabahn Endoprosthesis for Treatment of Complex Superficial Femoral Artery (SFA) Occlusive Disease
Mid-Florida Cardiology, USA — Barry S. Weinstock

Hall E

Sand Trap! Complications and Bailout Techniques

16:00～18:00

Chairs：Sendai Kousei Hospital — Naoto Inoue
Kasugai Municipal Hospital — Yasuhiro Ohba

S12-1 The case that occurred spiral dissection reaches brachial artery after wiring for chronic total occlusion of subclavian artery
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital — Keisuke Hirano

S12-2 Complications and how to bail out: Endovascular therapy for peripheral arterial disease
Sendai Kousei Hospital — Kenji Suzuki

S12-3 The Efficacy of Continuous Local Thrombolysis and Mandatory Perfusion to Bail Out of Thrombotic Complications during Endovascular Treatment
Kikuna Memorial Hospital — Yasutaka Yamauchi

S12-4
Kasugai Municipal Hospital — Yasuhiro Ohba

S12-5 Iliac Artery Rupture during Rercutaneous Transluminal Angioplasty: Prediction, Detection and Optimal Treatment
Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea — Donghoon Choi

S12-6 Complications of endovascular therapy for PAD patients - prevention and salvage
Tokeidai Memorial Hospital — Kazushi Urasawa

S12-7 Management of major complications in endovascular treatment.
Kokura Memorial Hospital — Yoshimitsu Soga

Cardiogenic shock: Role of hemodynamic support and hypothermia

9:00～11:00

Chairs：Ochsner Heart and Vascular Institute, USA Mark A. Grise
Surugadai Nihon University Hospital Ken Nagao

S14-1

Osaka University Graduate School of Medicine Yasushi Sakata

S14-2 Regional Cerebral Oxygen Saturation as a Novel Index of Neurological Outcome in Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest

Osaka Saiseikai Senri Hospital Noritoshi Ito

S14-3

Kokura Memorial Hospital Shinichi Shirai

S14-4 Induction of Mild Therapeutic Hypothermia with Rapid Cold Saline Infusion for the Out-of-Hospital Cardiac Arrest Patients

Sapporo Medical University School of Medicine Mamoru Hase

S14-5 Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation (E-CPR) for Patients with Out-of-Hospital Shockable Cardiac Arrest

Surugadai Nihon University Hospital Ken Nagao

Town Hall Meeting

Saturday, July 23 Hall C

Do something! Or Japan will be left out in the cold with new medical technologies 9:00～12:00

【Part 1】 New generation of drug-eluting stent (DES) 9:00～10:30
- what should Japan do to let the newest DES become available as it becomes available outside of Japan?"

Chairs：Shonan Kamakura General Hospital/Sapporo Higashi Tokushukai Hospital Shigeru Saito
Duke University Medical Center and Duke Clinical Research Institute, USA Mitchell W. Krucoff

TH1-1 DES evolution/biodegradable DES and HBD/DES development in Japan
Shonan Kamakura General Hospital/Sapporo Higashi Tokushukai Hospital Shigeru Saito

TH1-2 Current Issues and Future of DES - Clinical & Scientific Values and Challenges –Physicians' View
Kyoto University School of Medicine Takeshi Kimura

TH1-3 Current available bioabsorbable polymer DES in Japan
TERUMO CORPORATION Kazuhito Ishihara

TH1-4 Future pipeline of DES
Boston Scientific Future Product Pipeline
Boston Scientific Corporation Takahiro Uchida

TH1-5 Abbott Vascular Future Product Pipeline / BVS
Abbott Vascular, USA Charles A. Simonton

TH1-6 Issues of Global Evaluation HBD opened the door of international medical device evaluation in Japan. Japanese regulatory view
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency Koji Ikeda

Panel Discussion

Panelists：

Stanford University, USA	Fumiaki Ikeno
Teikyo University	Ken Kozuma
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency	Koji Ikeda
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency	Yuka Suzuki
Abbott Vascular, USA	Charles A. Simonton
Boston Scientific Corporation	Takahiro Uchida
TERUMO CORPORATION	Kazuhito Ishihara

【Part 2】 When Does Transcatheter Heart Valve Therapy Come to Japan？ 10:30～12:00

Chairs：Toho University Ohashi Medical Center Masato Nakamura
Stanford University, USA Fumiaki Ikeno
Boston Scientific Corporation Takahiro Uchida

TH2-1 Device lag in transcatheter heart valve therapy in Japan
Stanford University, USA Fumiaki Ikeno

TH2-2 Status update – Aortic valve：Physicians' View
Osaka University Yoshiki Sawa

TH2-3 MitraClip Therapy – System Engineering and Learning
University of Virginia, USA Scott Lim

TH2-4 Global & Japan updates
Edwards Lifesciences LLC. Huimin Wang

TH2-5 Transecatheter Valve Program
Medtronic, Inc., USA Thomas L. Armitage

TH2-6 Status update – Industry View－ Mitral Clip
Abbot Vascular, USA Charles A. Simonton

TH2-7 What should we do to prevent the device lag of innavative medical device?
-Japanese regulatory view-
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency Yuka Suzuki

Panel Discussion

Panelist：

Duke University Medical Center and Duke Clinical Research Institute, USA	Mitchell Krucoff
University of Virginia, USA	Scott Lim
Osaka University	Satoshi Nakatani
Shonan Kamakura General Hospital/Sapporo Higashi Tokushukai Hospital	Shigeru Saito
Osaka University	Yoshiki Sawa
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency	Koji Ikeda
Pharmaceuticals and Medical Devices Agency	Yuka Suzuki
Abbott Vascular, USA	Charles A. Simonton
Edwards Lifesciences LLC.	Huimin Wang
Medtronic, Inc., USA	Thomas L. Armitage

Sponsored Program

Thursday, July 21 Hall B

Diagnosis of vulnerable plaque and clinical implication: How to use it forwhat? 13:00～15:00

Chairs：Osaka Police Hospital Yasunori Ueda
CV Path Institute, Inc., USA Renu Virmani

JP1-1 Diagnosis of vulnerable plaque and clinical implication: How to use it for what?-Sponsored by InfraReDx- Pathological overview
CV Path Institute, Inc., USA Renu Virmani

JP1-2 Vulnerable Plaque Update: Recent Data on the Utility of VH-IVUS
Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA Akiko Maehara

JP1-3 Detection of vulnerable plaque by OCT - Can we evaluate the risk of future ACS event?
Kobe University Junya Shite

JP1-4 Importance to know the different plaque morphology in acute coronary syndrome and the response of the lesions to interventions by optical coherence tomography
Wakayama Medical University Takashi Akasaka

JP1-5 Is it possible to predict late stent thrombosis by using “vulnerable plaque” that is identified by coronary angioscopy?
Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center Masaki Awata

JP1-6 Detection of Vulnerable Plaques and Disrupted Plaques by Angioscopy for Better Interventions
Osaka Police Hospital Yasunori Ueda

JP1-7 Combined near-infrared spectrosopy and IVUS for coronary plaque characterization: implications for vulnerable plaque detection
InfraReDx, Inc., USA James Muller

JP1-8 Diagnosis of Vulnerable Plaque: Clinical Implications of InfraReDx IVUS Fingdings
St. Louis University Health Sciences Center, USA Michael Lim

Sponsored by InfraReDx, Inc.

Thursday, July 21 Hall D

DES status of new program

10:00～12:00

Chairs：Osaka Police Hospital Yasunori Ueda
CV Path Institute, Inc., USA Renu Virmani

JP2-1 Xience V Positioning in a DES Civil War
Mitsui Memorial Hospital Kengo Tanabe

JP2-2 Future DES Programs from Abbott Vascular
Abbott Vascular, USA Charles A. Simonton

JP2-3 ELEMENT ～New Technology DES Platform～
Kobe University Junya Shite

JP2-4 New Generation DES : Nobori
Tsuchiya General Hospital Nobuo Shiode

JP2-5 Optimal Indication of ZES from our experience
The Jikei University Hospital Takayuki Ogawa

Sponsored by Abbott Vascular Japan Co., Ltd.
Boston Scientific Japan K. K.
Medotronic Japan Co., Ltd.
TERUMO CORPORATION

Hall E

DEB summit

13:00～15:00

Chair：Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

JP3-1 DEB:the German consensus group recommendations and possible new indications
Medizinisches Versorgungszentrum, Germany Detlef G. Mathey

JP3-2 Drug-eluting Balloon: What is its current status and what possible areas of use?
National Heart Center, Malaysia Mohd Ali Rosli

JP3-3 Drug-eluting balloons for lower limb arterial disease
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany Andrej Schmidt

Sponsored by Medotronic Japan Co., Ltd.
NIPRO CORPORATION

TEVAR and EVAR: What are the experts saying?

9:00～11:00

Chairs：Nara Medical University Kimihiko Kichikawa
Osaka University Toru Kuratani

JP5-1 Update on EVAR and TVAR
Riverside Methodist Hospital, USA Gary M. Ansel

JP5-2
Nara Medical University Wataru Higashiura

JP5-3 Tips & Tricks to perform EVAR with no fault for cases of instruction for use
Graduate School of Medicine, Kyoto University Junichi Tazaki

JP5-4
Morinomiya Hospital Masaaki Kato

JP5-5 The role of the endovascular stent-grafting in treating patients with aortic aneurysm : Vague skepticisms still around
Kobe University Graduate School of Medicine Yutaka Okita

Sponsored by COSMOTEC Corporation
MEDICO'S HIRATA INC. / Cook JAPAN INC.
Medotronic Japan Co., Ltd.
W. L. Gore & Associates, Co., Ltd.

FFR Session: "Exploration of FFR"

8:30～11:00

Chairs：Wakayama Medical University Takashi Akasaka
Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

Lecture: Basics of FFR

JP9-1 How to interpret of Coronary Pressure
Social Insurance Kinan Hospital Takashi Kubo

JP9-2 Significance and How to maximize hyperemia stimuli
Gifu Heart Center Hitoshi Matsuo

JP9-3 Understanding of Gray-zone and Cut-off value of FFR
Tokyo Medical University Nobuhiro Tanaka

Key Note Lecture

JP9-4 Importance of FFR and Insight of FAME
University of Technology and Catharina Hospital, The Netherlands Nico H. J. Pijls

Discussion: Clinical Application of FFR

Commentators：University of Technology Catharina Hospital, The Netherlands Nico H. J. Pijls
Social Insurance Kinan Hospital Takashi Kubo
Gifu Heart Center Hitoshi Matsuo
Tokyo Medical University Nobuhiro Tanaka

JP9-5 Tandem Lesion
Tokai University School of Medicine Yoshihiro Morino

JP9-6 Side Branch
Gunma Prefectural Cardiovascular Center Ren Kawaguchi

JP9-7 LMT
Akita Medical Center Tadaya Sato

JP9-8 STEMI
Osaka Saiseikai Senri Hospital Noritoshi Ito

JP9-9 FFR and OMT (Optimal Medical Therapy)
Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

JP9-10 Take-home Message
The Role of Functional Assessment in Clinical Usage
Wakayama Medical University Takashi Akasaka

Sponsored by St. Jude Medical Japan Co., Ltd.

Sponsored Seminar（PROGRAM）

Satellite Symposium

Morning Seminar

Luncheon Seminar

Coffee Break Seminar

Fireside Seminar

Satellite Symposium

Wednesday, July 20 Hall M

The Future of PCI: Bioresorbable Scaffold Technology Case Presentation -Live Transmission from Europe 18:00～20:00

Chairs: Kyoto University School of Medicine Takeshi Kimura
Maasstad Hospital, The Netherlands Elvin Kedhi

Operators: Thoraxcenter, Erasmus Medical Center, The Netherlands Carl J. Schultz
Thoraxcenter, Erasmus Medical Center, The Netherlands Nicolas Van Mieghem
Panelists: Kurashiki Central Hospital Kazushige Kadota
Mitsui Memorial Hospital Kengo Tanabe
Kokura Memorial Hospital Kyohei Yamaji

SS1-1 BVS Design and Rationale
Abbott Vascular, USA Charles A. Simonton

SS1-2 BVS Clinical Data Update
Thoraxcenter, Erasmus Medical Center, The Netherlands Yoshinobu Onuma

Sponsored by Abbott Vascular Japan, Co., Ltd.

Japanese Hall L

Strategies and Techinique for BK Interventions 18:00～20:00

Chairs: Toho University Ohashi Medical Center Masato Nakamura
Shinsuma General Hospital Ikuro Kitano

Commentators: Kikuna Memorial Hospital Akira Miyamoto
Kobe University Hiroto Terashi
Asahikawa Medical University Nobuyoshi Azuma

SS2-1
Tokeidai Memorial Hospital Kazushi Urasawa

SS2-2
Kansai Rosai Hospital Osamu Iida

SS2-3
Kokura Memorial Hospital Yoshimitsu Soga

Sponsored by Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.
Kaneka Medix Corporation

Japanese Hall N

New Generation DES：Nobori ―Dual antiplatelet therapy and "NIPPON" clinical trial― 18:00～20:00

Chairs: Osaka University Shinsuke Nanto
Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

SS3-1
Kobe university Toshirou Shinke

SS3-2
Jichi medical university saitama medical center Junya Ako

SS3-3
Toho university ohashi medical center Masato Nakamura

Sponsored by TERUMO CORPORATION

Morning Seminar

Friday, July 22 | Japanese | Hall N

Antiplatelet therapy and gastrointestinal bleeding 8:00～9:00

Chair: Osaka Saiseikai Senri Hospital Noritoshi Ito

MS

Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

Sponsored by Takeda Pharmaceutical Company Limited

Luncheon Seminar

Thursday, July 21 | Hall C

PAD Treatment in the future 12:00～13:00

Chair: Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

LS1

Riverside Methodist Hospital, USA Gary M. Ansel

Sponsored by Cook JAPAN Incorporated
MEDICO'S HIRATA INC.

Hall D

CRT in ischemic heart disease 12:00～13:00

Chair: Kansai Rosai Hospital Masaaki Uematsu

LS2-1 Introduction to Advanced Imaging Methods for CRT

University of Pittsburgh, USA Toshinari Onishi

LS2-2 The role of Advanced Imaging in CRT

University of Pittsburgh, USA John Gorcsan III

Sponsored by Medtronic Japan Co., Ltd.

Hall E

Invitation to Global Vascular Management 12:00～13:00

Chairs:Tokai University School of Medicine Yuji Ikari
Teikyo University Hospital Takaaki Isshiki

LS3-1 Prevalence between CVD and CAD in Japan

Japan Red Cross Society Musashino Hospital Tomoyuki Umemoto

LS3-2 Prevalence between PAD and CAD in Japan

Yamagata University School of Medicine Hiroki Takahashi

LS3-3 Global Vascular Management in Korea

Sanggye-Paik Hospital, Inje University, Korea Choong-Won Goh

Sponsored by Johnson and Johnson K.K.

Japanese | Hall F

PCI Strategy for Complicated Coronary Disease
～Tips & Tricks, Device Selection and Trouble-Shooting

12:00～13:00

Chair: Hokkaido Social Insurance Hospital Keiichi Igarashi

LS4-1
Teikyo University School of Medicine Ken Kozuma

LS4-2
Miyazaki Medical Association Hospital Yoshisato Shibata

Sponsored by Boston Scientific Japan K.K.

Japanese | Hall G

Personalized cardiac diagnosis and intervention

12:00～13:00

Chair: Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital Toshiya Muramatsu

LS5-1 Cardiac morphology and physiology by using 256 slice CT and iDose^4
Sakurabashi Watanabe Hospital Yasushi Koyama

LS5-2 What we can improve by optimizing X-ray angiography system setting
Aomori Prefectural Central Hospital Fuminobu Yoshimachi

Sponsored by Philips Electronics Japan, Ltd.

Japanese | Hall H

Biosensors Stent Technology-Evaluated by Clinical Results

12:00～13:00

Chair: Sendai Kousei Hospital Naoto Inoue

LS6-1 S-STENT Clinical Outcomes from The Sakakibara Heart Institute of Okayama
The Sakakibara Heart Institute of Okayama Atsushi Hirohata

LS6-2 S-STENT Clinical Outcomes from Omihachiman Community Medical Center
Omihachiman Community Medical Center Kan Zen

LS6-3 LEADERS Trial / BioFreedom FIM Update
Sendai Kousei Hospital Norio Tada

Sponsored by Biosensors Japan Co., Ltd.

Japanese Hall I

Antiarrhythmic drugs in patients with myocardial infarction (MI) 12:00～13:00

Chair: Kyoto University School of Medicine Takeshi Kimura

LS7-1 Antiarrhythmic therapy in Acute MI
Kyoto University Hospital Satoshi Shizuta

LS7-2 Antiarrhythmic therapy in patients with previous MI
Hirosaki University Graduate School of Medicine Ken Okumura

Sponsored by Sanofi aventis

Japanese Hall J

PCI-associated thrombosis and heparin-induced thrombocytopenia 12:00～13:00

Chair: Niigata City General Hospital Hirotaka Oda

LS8-1 Percutaneous coronary intervention (PCI) in patients with Platelet aggregation state
Sanyudo Hospital Hideki Abe

LS8-2 Heparin-induced thrombocytopenia： recent advance in the diagnosis and treatment
National Cerebral and Cardiovascular Center Shigeki Miyata

Sponsored by DAIICHI SANKYO COMPANY, LIMITED
Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation

Japanese Hall K

The role of coronary CT angiography in Cardiovascular intervention and therapeutics 12:00～13:00

Chair: Keio University Sachio Kuribayashi

LS9-1 Is necessary β-blocker for high speed CT?
-New development of Landiolol hydrochloride-
Tokyo Medical University Masaharu Hirano

LS9-2 Significance of coronary CT angiography in cardiovascular intervention
Keio University Masahiro Jinzaki

Sponsored by ONO Pharmaceutical Co., Ltd.

Japanese Hall L

State-of-the art of Neuroendovascular Therapy 12:00～13:00

Chair: Toho University Ohashi Medical Center Masato Nakamura

LS10 State-of-the art of stroke prevention, carotid artery stenting
Kobe City Medical Center General Hospital Nobuyuki Sakai

Sponsored by Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.

Japanese Hall M

Best Management after PCI(DES) 12:00～13:00

Chair: Toyohashi Heart Center Takahiko Suzuki

LS11-1 The best prevention of cardiovascular disease

Osaka University Graduate School of Medicine Issei Komuro

LS11-2 Protective effect of RAS inhibitors for impairment of endothelial function

Toyohashi Heart Center Mitsuyasu Terashima

Sponsored by Nippon Boehringer Ingelheim Co ., Ltd.

Japanese Hall N

Prospect of Diabetes Treatment by Interventional Cardiologists 12:00～13:00

Chair: Wakayama Medical University Takashi Akasaka

LS12

Kyoto Katsura Hospital Shigeru Nakamura

Sponsored by MSD K.K.

Hall B

Safety of XIENCE V: New Perspective from the Expert's Research 12:00～13:00

Chairs: Osaka University Shinsuke Nanto
CV Path Institute, Inc., USA Renu Virmani
Abbott Vascular, USA Charles A. Simonton

LS13-1 The Clinical Impact of DES Evolution
Maasstad Hospital, Belgium Elvin Kedhi

LS13-2 Is Biodegradable polymer DES always better than 2nd Gen DES?
Tokai University School of Medicine Gaku Nakazawa

LS13-3 Angioscopic Evaluation of Arterial Repair Following XIENCE V Implantation
Kansai Rosai Hospital Masaki Awata

Sponsored by Abbott Vascular Japan Co., Ltd.

Hall C

New Generation DES: Nobori
-Up-to date information and clinical trial "NEXT"- 12:00～13:00

Chair: Wakayama Medical University Takashi Akaska

LS14-1
Teikyo University School of Medicine Ken Kozuma

LS14-2
Kurashiki Central Hospital Kazushige Kadota

Sponsored by TERUMO CORPORATION

Hall D

Percutaneous coronary interventions and statins therapy 12:00～13:00

Chair: Juntendo University Hiroyuki Daida

LS15
University of Rome, Italy Germano Di Sciascio

Sponsored by Astellas Pharma Inc. and Pfizer Japan Inc.

Japanese Hall E

Mastering Guiding Catheters 12:00～13:00
-Guiding Catheter Selection: Applying What You've Learned over 5 Years PCI Experience

Chairs: Kyoto Katsura Hospital Shigeru Nakamura
Osaka University/Nozaki & Nagoya Tokushukai Hospital Satoru Sumitsuji

LS16-1 Guiding Catheter ABC's: Dr. Sumitsuji's Road to Expertise
Osaka University/Nozaki & Nagoya Tokushukai Hospital Satoru Sumitsuji

LS16-2 Guiding Catheter ABC's: Dr. Nakamura's Road to Expertise
Kyoto Katsura Hospital Shigeru Nakamura

Sponsored by ASAHI INTECC CO., LTD.
ASAHI INTECC J-Sales, INC.
St. Jude Medical Co., Ltd.

Japanese Hall F

Reconsidering ACE inhibitor 12:00～13:00

Chair: Nagoya Red Cross Hospital, Daini Haruo Hirayama

LS17 The therapeutic strategy for coronary artery disease in the DES era
-For improving it's quality -
Kurume University Hospital Takafumi Ueno

Sponsored by Mitsubishi Tanabe Pharma Corporation

Japanese Hall G

Platinum as Next Evolutionary Stage 12:00～13:00

Chair: Shonan Kamakura General Hospital Shigeru Saito

LS18-1 A Prospective, Randomized Investigation of a Novel Platinum Chromium Everolimus-Eluting Coronary Stent: The PLATINUM Trial
Tokyo Women's Medial University Fumiaki Mori

LS18-2 ELEMENT: New Material, New Design and New Technology
Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

Sponsored by Boston Scientific Japan K.K.

Friday, July 22

Japanese Hall H

Prevention of no-reflow/slow flow 12:00～13:00

Chair: Teikyo University Hospital Takaaki Isshiki

LS19-1 Effectiveness of Filtrap in emergent & elective PCI
～Detection of high risk patients by Angioscopy～
Osaka Police Hospital Koushi Matsuo

LS19-2 VAMPIRE 2 Study
Kansai Rosai Hospital Takayuki Ishihara

Sponsored by Japan Lifeline Co.,Ltd.
NIPRO CORPORATION

Japanese Hall I

Pharmacological Intervention on Coronary Artery Disease -Clinical Significance of Japanese Evidence- 12:00～13:00

Chair: Chikamori Hospital Kazuya Kawai

LS20 Pharmacological Intervention on Coronary Artery Disease
—Clinical Significance of Japanese Evidence through IVUS trials—
Saiseikai Kumamoto Hospital Koichi Nakao

Sponsored by Kowa Pharmaceutical Co. Ltd.

Japanese Hall J

Global Vascular Intervention based on ATIS 12:00～13:00

Chair: Ogaki Municipal Hospital Takahito Sone

LS21 Panvascular Intervention based on ATIS
Kishiwada Tokushukai Hospital Yoshiaki Yokoi

Sponsored by Sanofi aventis

Japanese Hall K

Practical Clinical Use of VH IVUS 12:00～13:00

Chair: Shin-Koga Hospital Tomohiro Kawasaki

LS22-1
Yokohama Sakae Kyosai Hospital Ichiro Michishita

LS22-2
Cardiovascular Research Foundation, USA Akiko Maehara

Sponsored by Volcano Japan, Co., Ltd.

Japanese Hall L

The benefits of intensive lipid lowering with statin on clinical outcomes and atherosclerosis in patients with established cardiovascular disease 12:00～13:00

Chair: Osaka Police Hospital Yasunori Ueda

LS23

University of Juntendo Katsumi Miyauchi

Sponsored by Astra Zeneca
SHIONOGI & CO., LTD.

Hall M

Development and In Vitro, Animal, Clinical Date of New Concept, Japanese BMS 12:00～13:00

Chair: Kyoto University School of Medicine Takeshi Kimura

LS24-1 The Concept and Design of New Japanese BMS with Preclinical Data
Kansai Electric Power Hospital Kazuaki Kataoka

LS24-2 Clinical Data of New Concept Japanese BMS -Data from Clinical Trial in Europe-
University of Bristol, UK Andreas Baumbach

Sponsored by FUKUDA DENSHI CO., LTD.

Japanese Hall N

Imaging Innovation for Cardiovascular disease 12:00～13:00

Chair: Tenri Hospital Yoshihisa Nakagawa

LS25-1 Novel detection of myocardial ischemia by 3D Wall Motion Tracking of echocardiography
Kansai Electric Power Hospital Katsu Ishii

LS25-2 Advantages and Future Perspectives on 320 Area detector CT
Mitsui Memorial Hospital Kengo Tanabe

Sponsored by TOSHIBA MEDICAL SYSTEMS CORPORATION

Japanese Hall O

The front line of treatment for ischemic heart failure 12:00～13:00

Chair: Tohoku University Graduate School of Medicine Hiroaki Shimokawa

LS26-1 Practical approach to treating patients with ischemic heart failure by beta blockers
Kokura Memorial Hospital Takeshi Arita

LS26-2 Medical therapy for ischemic heart failure
Tokyo Medical and Dental University Mitsuaki Isobe

Sponsored by DAIICHI SANKYO COMPANY, LIMITED

Hall B

Innovation from Abbott Vascular: A Glimpse into the Future

12:00～13:00

Chairs: Teikyo University Hospital — Takaaki Isshiki
Sakakibara Heart Institute — Morimasa Takayama
Abbott Vascular, USA — Charles A. Simonton

LS27-1 The Next Generation EES
Teikyo University School of Medicine — Ken Kozuma

LS27-2 Bioresorbable Scaffolds: From Benchwork to Clinical Application
CV Path Institute, Inc., USA — Renu Virmani

LS27-3 Mitra Clip Therapy -System Engineering and Learning
University of Virginia, USA — Scott Lim

Sponsored by Abbott Vascular Japan Co., Ltd.

Japanese

Hall C

How would you treat this case of AMI? -Recommendation of "NAUSICA-AMI trial"-

12:00～13:00

Chair: Shonan Kamakura General Hospital/Sapporo Higashi Tokushukai Hospital — Shigeru Saito

LS28-1 AMI case presentation
Omutatenryo Hospital — Takurou Yamashita

LS28-2 In my view ①
Hyogo College of Medicine — Motomaru Masutani

LS28-3 In my view ②
Jichi Medical University — Takaaki Katsuki

LS28-4 Overview -Recommendation of “NAUSICA-AMI trial“
Shonan Kamakura General Hospital/Sapporo Higashi Tokushukai Hospital — Shigeru Saito

Sponsored by TERUMO CORPORATION

Hall D

PAD Intervention: The Evidence to Date and Our Expectations for the Future

12:00～13:00

Chair: Osaka University — Shinsuke Nanto

LS29-1 Endovascular Therapy for the Patient with Peripheral Artery Disease
Kansai Rosai Hospital — Osamu Iida

LS29-2 Overview of New Therapies for Lower Extremity Revascularization
UC Davis Medical Center, USA — John R. Laird

Sponsored by Medicon, Inc.

Hall E

The Excimer Laser System

12:00～13:00

Chair: Shinshu University Graduate School of Medicine Yusuke Miyashita

LS30 The Excimer Laser Angioplasty for Coronary and Peripheral

Bryn Mawr Hospital, USA Antonis Pratsos

Sponsored by DVx Inc.

Japanese

Hall F

Renal Artery Stenting: What do we expect?

12:00～13:00

Chairs: Kishiwada Tokushukai Hospital Yoshiaki Yokoi
Toho University Ohashi Medical Center Masato Nakamura

LS31-1 Does the evolution of Best Medical Treatment outperform PTRA?

Tohoku University Hospital Takaaki Abe

LS31-2 Does PTRA improve prognosis? - Cases we should and shouldn't treat -

Cardio-vascular Center Hokkaido Ohno Hospital Takehiro Yamashita

Sponsored by Johnson & Johnson K.K.

Hall G

How does drug-eluting stent change the cardiology practice?

12:00～13:00

Chair: Tokyo Medical University Akira Yamashina

LS32 Angioscopic assessment of arterial repair following latest generation DES Implantation

Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center Masaki Awata

Sponsored by FUJIFILM RI Pharma Co., Ltd.

Japanese

Hall H

Novel findings from AMI registry OACIS

12:00～13:00

Chair: Osaka University Yoshiki Sawa

LS33

Osaka University Graduate School of Medicine Issei Komuro

Sponsored by Takeda Pharmaceutical Company Limited

Japanese Hall I

Unexpected Complication of Coronary Intervenstion: How do you manage the situation as a co-medical staff? 11:15～13:15

Chair: Osaka Police Hospital Yasunori Ueda

LS34

Osaka Police Hospital Koushi Matsuo

Sponsored by Heart Organization Ltd.

Japanese Hall J

Clinical Pathway of the New Era for Cardiovascular Diseases 12:00～13:00

Chair: Sakakibara Heart Institute Tetsuya Sumiyoshi

LS35-1 Introduction of smoking cessation to CAG clinical pathway
-A Challenge to smoker who make a strong stand against smoking cessation-

Nippon Medical School Kuniya Asai

LS35-2 Smoking Cessation Treatment in Patients with Cardiovascular Disease

Nippon Medical School Yoshiko Miyatake

Sponsored by Pfizer Japan Inc.

Coffee Break Seminar

Thursday, July 21

Japanese | Hall B

To Master of CTO Antegrade Approach! From Pathology, IVUS Guided CTO to the Latest Device 15:00～16:00

Chair: Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital Toshiya Muramatsu

CB1-1 Nature of CTO Lesions
Tokai University School of Medicine Gaku Nakazawa

CB1-2 Antegrade Technique Tips and Tricks
Sekishinkai Sayama Hospital Masahisa Yamane

CB1-3 Basic Training for IVUS Guide wiring
Toyohashi Heart Center Kenya Nasu

CB1-4 The Clinical Experience of the New Hybrid Guide Wire
Shin-Koga Hospital Tomohiro Kawasaki

Sponsored by Abbott Vascular Japan Co., Ltd.

Japanese | Hall D

Focus on Radiation Dose by CT vs Low dose innovation 15:00～16:00

Chair: Kusatsu Heart Center Eisho Kyo

CB2-1 GE CT Dose strategy and New Technology
GE Healthcare Japan Corporation Motoki Watanabe

CB2-2 Ultra low Dose Cardiac CT - 1/10 less dose
Edogawa Hospital Takehiko Keida

Sponsored by GE Healthcare Japan Corporation.

Hall F

Strategy of EVT for Limb Salvage -Front-line Treatment Strategy from Europe and Challenge of Japanese Treatment- 15:00～16:00

Chair: Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

CB4-1 Front-Line Treatment Strategy of EVT for Limb Salvage
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany Andrej Schmidt

CB4-2 Challenge of Japanese EVT for Limb Salvage
Kansai Rosai Hospital Osamu Iida

Sponsored by Medtronic Japan Co., Ltd.

Japanese Hall G

Aquaretics: the changing prospects in uresis 15:00～16:00

Chair: Osaka University Graduate School of Medicine Issei Komuro

CB5

Nihon University School of Medicine Atsushi Hirayama

Sponsored by Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.

Japanese Hall K

Clinical Implication of Total Risk Management for Coronary Artery Disease 15:00～16:00

Chair: Toyohashi Heart Center Takahiko Suzuki

CB6

University of Juntendo Katsumi Miyauchi

Sponsored by MSD K.K.

Japanese Hall L

Medical Lawsuit 15:00～16:00

Chair: School of Medicine, Kyorin University Hideaki Yoshino

CB7 A medical accident and legal responsibility Based on the case caused a coronary perforation during Percutaneous Coronary Intervention enforcement

Sekiya Law Firm, Lawyer Yu Munataka

Sponsored by Associations for Establishment of Evidence in Interventions (AEEI)

Japanese Hall M

15:00～16:00

Chair: Sakurabashi Watanabe Hospital Kenshi Fujii

CB25

Keio University Shun Kohsaka

Hall B

New Clinical Results of XIENCE V in Japanese and Asian Patients

15:00～16:00

Chairs: Abbott Vascular, USA — Charles A. Simonton
Tenri Hospital — Yoshihisa Nakagawa
Duke University Medical Center, USA — Mitchell W. Krucoff

CB8-1 SIRIRAJ Registry -Xience V Performance Evaluation in Thailand
Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand — Suwatchai Pornratanarangsi

CB8-2 DES for the treatment of ACS: Experience from Saitama
Jichi Medical University Saitama Medical Center — Junya Ako

CB8-3 Experience of XIENCE V in Kurashiki Central Hospital
Kurashiki Central Hospital — Kazushige Kadota

Sponsored by Abbott Vascular Japan Co., Ltd.

Hall C

Endeavor Update

15:00～16:00

Chair: Toho University Ohashi Medical Center — Masato Nakamura

CB9-1 Endeavor OCT Study Update
Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea — Myeong-Ki Hong

CB9-2 Clinical usefulness of Endeavor stent in daily practice
Teikyo University School of Medicine — Ken Kozuma

Sponsored by Medtronic Japan Co., Ltd.

Japanese Hall D

Cutting Edge of Global Vascular Management

15:00～16:00

Chairs: Toyohashi Heart Center — Takahiko Suzuki
Shonan Kamakura General Hospital/Sapporo Higashi Tokushukai Hospital — Shigeru Saito

CB10-1 Global Vascular Management - Yokohama experience
Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital — Toshiya Muramatsu

CB10-2 Global Vascular Management Overview in Japan
Kokura Memorial Hospital — Hiroyoshi Yokoi

Sponsored by Johnson & Johnson K.K.

Hall E

Endovascular Femoro-popliteal Bypass: Optimal Treatment for Complex SFA Disease 13:30～14:30

Chair: Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

CB11

Mid-Florida Cardiology, USA Barry S. Weinstock

Sponsored by W. L. Gore & Associates, Co., Ltd.

Japanese Hall F

Coronary circulation physiology and interventional starategies 15:00～16:00

Chair: Kinki University Faculty of Medicine Shunichi Miyazaki

CB12-1 Importance of microvascular function on coronary/systemic circulation

Tokyo Medical University Nobuhiro Tanaka

CB12-2 Strategy for Primary PCI for STEMI using an Index of Microcirculatory Resistanse (IMR)

Osaka Saiseikai Senri Hospital Noritoshi Ito

Sponsored by Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.

Japanese Hall G

Management of Patients with Heart Failure Due to Ischemic Etiology 15:00～16:00

Chair: Nihon University School of Medicine Atsushi Hirayama

CB13

Nihon University School of Medicine Mahoto Kato

Sponsored by Eisai Co., Ltd.

Japanese Hall H

NSE -evaluation and expectation- 15:00～16:00

Chair: Kyoto Katsura Hospital Shigeru Nakamura

CB14-1 The nonslip story of NSE

Tokyo Hokubu Hospital Tadashi Yamamoto

CB14-2 The experience using NSE for small vessel lesion

Kawasaki Municipal Tama Hospital Koichi Mizuno

CB14-3 The sefulness of NSE for bifurcation lesion

Saiseikai Kumamoto Hospital Tomohiro Sakamoto

CB14-4 The dilatation effect of NSE for calcified lesion

Uwajima City Hospital Shuntaro Ikeda

Sponsored by GOODMAN INC

Japanese Hall I

Exposure Dose Control using Cardiology PACS 15:00～16:00

Chair: Japan Labour Health and Welfare Organization Yokohama Hospital Yoshihito Hagiwara

CB15

Kagoshima University Medical and Dental Hospital Hiroshi Kawahara

Sponsored by Photron Medical Imaging Inc.

Japanese Hall J

Appropriate statin therapy for Japanese hypercholesterolemia patients 15:00～16:00

Chair: Nippon Medical School Kyoichi Mizuno

CB16 Pathophysiology and Treatment of Coronary Spastic Angina including a New Therapy with Vascular Statin

The Jikei University School of Medicine Michihiro Yoshimura

Sponsored by Novartis Pharma K.K.

Japanese Hall L

Troubleshooting of tne blood vessel perforation ～Effectiveness of perfusion balloon～ 15:00～16:00

Chair: Miyazaki Medical Association Hospital Yoshisato Shibata

CB17-1

Rinku General Medical Center Yoshihiro Takeda

CB17-2

Fukuoka Wajiro Hospital Yoritaka Otsuka

CB17-3

Sakakibara Heart Institute Ryuta Asano

Sponsored by Kaneka Medix Corporation

Japanese Hall M

Purpose of Hybrid OR by looking at TAVI operation 15:00～16:00

Chair: Toranomon Hospital Tetsu Yamaguchi

CB18

Sakakibara Heart Institute Morimasa Takayama

Sponsored by Siemens Japan K.K.

The Spirit of A Rising Generation～Young Investigator Session～ 15:00～17:00

Chairs: Toyohashi Heart Center Kenya Nasu
The Cardiovascular Institute Yuji Oikawa

Session Advisor: Rakuwakai Marutamachi Hospital Kinzo Ueda

CB19

Sponsored by Boston Scientific Japan K.K.

Japanese Hall C

Balloon Pulmonary Angioplasty for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension 15:00～16:00

Chair: Osaka University Graduate School of Medicine Keiko Takihara

CB20

Okayama Medical Center Hiromi Matsubara

Sponsored by Pfizer Japan Inc.

Japanese Hall D

15:00～16:00

Chair: Osaka University Shinsuke Nanto

CB21

Osaka University Gladuate School of Medicine Ryuichi Morishita

Sponsored by SHIONOGI & CO., LTD.

Japanese Hall E

15:00～16:00

Chair: Sendai Kousei Hospital Naot Inoue

CB22-1 Japan Unprotected Left Main Coronary artery Disease PCI Strategy On New Generation Stents

Sendai Kousei Hospital Naoto Inoue

CB22-2 Optimal Duration of DAPT Following Treatment with Endeavor™ (zotarolimus-eluting stent) in Real-world Japanese Patients: A Prospective Multicenter Registry

Sakakibara Heart Institute Ryuta Asano

CB22-3 NoborI dual antiplatlet treatment aPPropriate durati ON

Kobe University Hospital Toshiro Shinke

Sponsored by Associations for Establishment of Evidence in Interventions (AEEI)

Hall F

Learn from the experts, Current EVT for CLI

15:00～17:00

Chairs: Kishiwada Tokushukai Hospital — Yoshiaki Yokoi
Toho University Ohashi Medical Center — Masato Nakamura

CB23-1
Kokura Memorial Hospital — Hiroyoshi Yokoi

CB23-2
Kansai Rosai Hospital — Osamu Iida

CB23-3
Kasugai Municipal Hospital — Yasuhiro Ohba

CB23-4
Kyorin University School of Medicine — Norihiko Ohura

CB23-5
Hyogo College of Medicine — Daizo Kawasaki

CB23-6
Kikuna Memorial Hospital — Akira Miyamoto

CB23-7
UC Davis Medical Center, USA — John R. Laird

Sponsored by Associations for Establishment of Evidence in Interventions (AEEI)
Boston Scientific Japan K.K.

Japanese

Hall G

15:00～16:30

Chairs: Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital — Toshiya Muramatsu
Ogaki Municipal Hospital — Hiroaki Takekawa

CB24-1
The Sakakibara Heart Institute of Okayama — Atsushi Hirohata

CB24-2
Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital — Makoto Kawasaki

CB24-3
Ogaki Municipal Hospital — Kanako Ito

CB24-4
University of Occupational and Environmental Health Hospital — Shinjo Sonoda

CB24-5
Keio University School of Medicine — Akio Kawamura

Sponsored by St. Jude Medical Japan Co., Ltd.

Japanese | Hall I

Course of lectures on "PCI" and "DES"

15:15～16:15

Chair: Miyagi Prefectural Cardiovascular and Respiratory Center Yoshiaki Mibiki

CB26-1 PCI History

Gifu Heart Center Hitoshi Matsuo

CB26-2 DES（Drug-Eluting Stent） up-to-date

Department Of Cardiology Sakakibara Heart Institute Tetsuya Tobaru

Sponsored by TERUMO CORPORATION

Japanese | Hall J

How to improve AMI management

15:00～16:00

Chair: Tenri Hospital Yoshihisa Nakagawa

CB27-1 Responsibility of Technician in Saitama

Jichi Medical University Saitama Medical Center Ryo Kokubo

CB27-2 Overview of PCI in AMI from Physician

Jichi Medical University Saitama Medical Center Junya Ako

CB27-3 Responsibility of Nurse for AMI

Tenri Hospital Kunie Minami

Sponsored by Abbott Vascular Japan, Co., Ltd.

Fireside Seminar

Thursday, July 21 Hall E

Overcoming challenges in lower extremity 18:00～19:30

Chairs: Tokeidai Memorial Hospital Kazushi Urasawa
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany Andrej Schmidt

FS1-1 Techinical tips to increase your success rates in femoro-popliteal intervention
Tokeidai Memorial Hospital Kazushi Urasawa

FS1-2 How CTO devices changed my treatment strategy for illio-femoral CTOs
Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea Donghoon Choi

FS1-3 Long-Term Results of the S.M.A.R.T Control Stent
Sendai Kousei Hospital Kenji Suzuki

FS1-4 Current status and challenges for below-the-knee interventions
Kansai Rosai Hospital Osamu Iida

FS1-5 Advancing treatment below-the-knee: Latest insights from Europe
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany Andrej Schmidt

Sponsored by Johnson & Johnson K. K.

Japanese Hall J

To be Master of the Coronary Catheter Intervention8 18:00～20:00

Chairs: Hoshi General Hospital Nobuyuki Soeda
School of Medicine, Showa University Yuji Hamazaki

FS2-1
Takai Hospital Kazuya Koga

FS2-2
Takaoka Municipal Hospital Takashi Futayama

FS2-3
National Cerebral and Cardiovascular Center Masakazu Sakamoto

FS2-4
School of Medicine, Showa University Yuji Hamazaki

Sponsored by Japan Lifeline Co., Ltd.

Medical (PROGRAM)

Free Paper

Case Report

Poster Session

Medical（Free Paper）

Thursday, July 21 Hall B

DES1

9:00～10:00

Chairs：Tokeidai Memorial Hospital Katsuhiko Sato
Rakuwakai Marutamachi Hospital Kinzo Ueda

MO001 Favorable Long Term Follow-Up Prognosis of Coronary DES and BMS Use to Treat PAD Lesions Below the Knee (BK)
Chiba Nishi General Hospital Takehiko Kuramochi

MO002 Comparison of Clinical Outcomes after Paclitaxel (TAXUS Liberte) and Everolimus-eluting Stent Placements for Consecutive Nonrandomized 532 De novo Native Lesions
Saitama Prefecture Cardiovascular Respiratory Center Tetsuya Ishikawa

MO003 Mid-term outcomes of Everolimus-Eluting Stent compared with Sirolimus-Eluting Stent
Sekishinkai Sayama Hospital Kazuhiko Aramaki

MO004 Comparison of late outcomes following SES implantation in diabetic patients with and without insulin treatment
Toho University Omori Medical Center Hideo Nii

MO005 Percutaneous coronary intervention among the elderly in the drug-eluting stent era
Akane Foundation Tsuchiya General Hospital Masaya Otsuka

Hall B

DES2

10:00～11:00

Chairs：Chonbuk National University Medical School/Hospital, Korea Jei Keon Chae
Sendai Kousei Hospital Naoto Inoue

MO006 Different Impact of Lesion Calcification on Target Lesion Revascularization between Sirolimus-Eluting Stent and Paclitaxel-Eluting Stent
Gunma Prefectural Cardiovascular Center Yusuke Miyaishi

MO007 Reduction of Incidence of Binary Restenosis after Revision of TAXUS Express to TAXUS Liberte in Consecutive 974 Angiographic Followed-up Lesions
Saitama Prefecture Cardiovascular Respiratory Center Tetsuya Ishikawa

MO008 Clinical Implication of Drug-eluting Stents for the Treatment of Coronary Artery Disease in Octogenarians
Juntendo University Jun Suzuki

MO009 The long-term results of a single stenting used 2.5mm-diameter SES for smaller vessels; Comparison between RD<2.2mm and 2.2<RD<3.0mm
Kanazawa Cardiovascular Hospital Yuki Horita

MO010 The compared study of late-catch up restenosis between SES and PES.
Kanazawa Cardiovascular Hospital Naoto Tama

DES3

11:00～12:00

Chairs：Seirei Hamamatsu General Hospital Hisayuki Okada
Kurume University Hospital Takafumi Ueno

MO011 One-year clinical outcomes in dialysis patients after successful drug-eluting stents implantation
Kumamoto Chuou Hospital Shuichi Oshima

MO012 Clinical outcomes with drug-eluting stents versus bare-metal stents in octogenarians
Yokohama Rosai Hospital Shuhei Funada

MO013 Evaluation of neointimal coverage and coronary endothelial function after everolimus-eluting stents implantation: comparison with sirolimus-eluting stents
Kurume University School of Medicine Yoshiaki Mitsutake

MO014 Optical Coherence Tomography evaluation of neointimal coverage after drug eluting stent implantation; comparison between 1st and 2nd generation stents
Nagoya Heart Center Yoriyasu Suzuki

MO015 Mid-term angiographical and clinical outcomes of Zotarolimus-eluting stent (ZES) implantation for coronary artery disease
Higashi Takarazuka Satoh Hospital Masashi Ikushima

DES4

16:00～17:00

Chairs：Higashi Takarazuka Satoh Hospital Satoru Otsuji
National Heart Center, Malaysia Mohd Ali Rosli

MO016 Clinical impact of multivessel stenting with or without left main coronary artery stenting in very long (56-293mm) stent implantation.
Kokura Memorial Hospital Shinichi Shirai

MO017 Two cases of late adverse coronary event associated with peri-stent contrast staining 5 years after sirolimus-eluting stent implantation.
Chikamori Hospital Satoshi Yamamoto

MO018 Long-term clinical outcome of the patients after Sirolimus-eluting stent implantation.
Kyoto Katsura Hospital Atsushi Funatsu

MO019 Predictive Factors for Late Incomplete Stent Apposition of Drug-Eluting Stent: Optical Coherence Tomography Study
Nara Medical University JiHee Sung

MO020 Impact of statin therapy on local coagulative response after sirolimus-eluting stent implantation in late chronic phase
Tokushima Univesity Hospital Toshiyuki Niki

DES5

17:00～18:00

Chairs：Okayama Kyokuto Hospital Kouichirou Iwasaki
Hirakata Hospital/ Kansai Medical University Hiroshi Kamihata

MO021 Short-term Clinical and Angiographical Outcomes in Patients with Everolimus-Eluting Stent Implantation
Yokohama Sakae Kyosai Hospital Kei Yamamoto

MO022 Mid-Term Angiographic and Clinical Outcomes of Everolimus-Eluting Stent in Patients with Chronic Kidney Disease
Kokura Memorial Hospital Michinari Hieda

MO023 Mid-term clinical follow-up of patients showing coronary endothelial dysfunction after drug-eluting stents implantation
Nagoya East Medical Center Higashi Municipal Hospital Shigenori Ito

MO024 Involvement of Rho-kinase activation in the pathogenesis of coronary hyperconstricting responses by drug-eluting stents in patients with coronary artery disease
Tohoku University Graduate School of Medicine Kentaro Aizawa

MO025 Angiographic Comparison between BMSs and DESs in Small Vessels; Single Center Experience.
Tokyo Metropolitan Tama Medical Center Ken Kato

Hall D

IVUS/OCT1

9:00～10:00

Chairs：Ehime Prefectural Imabari Hospital Hiroshi Matsuoka
Fujita Health University Hospital Yukio Ozaki

MO026 Estimation of plaque composition by virtual histology-intravascular ultrasound is useful for predicting acute coronary syndrome
Fukushima Red Cross Hospital Takayuki Ohwada

MO027 Impact of Conventional Coronary Risk Factors, Diabetes and Hypertension, on Coronary Atherosclerosis during Statin Therapy
Yokohama Sakae Kyosai Hospital Tsuyoshi Nozue

MO028 The morphological findings of unstable angina patients with very late in-stent restenosis after bare-metal stent implantation : Optical Coherence Tomography analysis
Toyohashi Heart Center Maoto Habara

MO029 Clinical Significance of Differences of Neointimal Tissue Characteristics in Stent Restenosis Assessed by Optical Coherence Tomography
Tokyo Medical and Dental University Shigeki Kimura

MO030 Relationship between tissue protrusion within stented segment on optical coherence tomography after percutaneous coronary intervention and long-term outcome
Yokosuka Kyosai Hospital Tomoyo Sugiyama

IVUS/OCT2

13:00～14:00

Chairs：Konyang University Hospital, Korea Jang Ho Bae
Yokohama Sakae Kyosai Hospital Ichiro Michishita

MO031 Monocytes comprise an important factor for coronary plaque vulnerability assessed by virtual histology intravascular ultrasound
Fukushima Red Cross Hospital Takayuki Ohwada

MO032 Various Lesion Characteristics in Drug-Eluting Stents Restenosis:Comparison of Optical Coherence Tomography Findings for Bare-Metal Stents
Nippon Medical School Chiba Hokusoh Hospital Osamu Kurihara

MO033 A case of AMI after Bentall operation and successfully treated with Percutaneus Coronary Intervention
Showa University Fujigaoka Hospital Hiroyoshi Mori

MO034 Assessment of Disrupted Fibrous Cap Morphology in Coronary Plaque Rupture by Optical Coherence Tomography
Tsuchiura Kyodo Hospital Taishi Yonetsu

MO035 Impact of Coronary Plaque Morphology Assessed by Optical Coherence Tomography on Cardiac Troponin Elevation in Patients with Elective Stent Implantation
Tsuchiura Kyodo Hospital Tetsumin Lee

Hall D

IVUS/OCT3

14:00～15:00

Chairs：Fuchu Keijinkai Hospital/Gifu Heart Center Junko Honye
Saitama Medical University International Medical Center Nobuyuki Komiyama

MO036 Morphological Plaque Charateristics of Non-culprit Lesions in Acute Coronary Syndrome and Culprit Lesions in Stable Angina by Optical Coherence Tomography
Tsuchiura Kyodo Hospital Kenji Koura

MO037 Restenotic tissue assessment by qualitative optical coherence tomography
Dokkyo Medical University Shuichi Yoneda

MO038 Positive remodeling as a marker of vulnerable patients: A long-term observation of acute coronary syndrome patients
Kawasaki Medical School Hiroyuki Okura

MO039 Impact of plaque composition on high sensitive cardiac troponin T elevation after elective percutaneous coronary intervention: analysis by iMap-intravascular ultrasound
Nagasaki University Hospital Seiji Koga

MO040 Optical Coherence Tomography (OCT) criteria for the assessment of the functional significant coronary artery stenosis
Wakayama Medical University Yasutsugu Shiono

IVUS/OCT4 16:00～17:00

Chairs：Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA Akiko Maehara
Tenyoukai Central Hospital Hiroshi Yamaguchi

MO041 Relationship between coronary stenosis and intramural thrombus
Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital Hiroshi Ishimori

MO042 Assessment of Morphological Features of Plaques with Ultrasound Attenuation in Patients with Acute Coronary Syndrome Using Optical Coherence Tomography
Yokohama City University Medical Center Nobuhiko Maejima

MO043 Comparison of intracoronary Optical Coherence Tomography (OCT) findings between Unstable and Stable Angina Pectoris Patients
Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital Yoshinori Tsubakimoto

MO044 Serial Changes of Neointimal Coverage Conditions of Sirolimus-Eluting Stents and Paclitaxel-Eluting Stents Implantation: Follow-Up Optical Coherence Tomography Study
Osaka Rosai Hospital Daisuke Nakamura

MO045 Is Coronary Plaque Regression Associated with Target Blood Pressure by calcium channel blockers in Hypertensive Patients with Coronary Artery Disease
Juntendo University School of Medicine Tadashi Miyazaki

Hall E

CAS/Endovascular intervention1 9:00～10:00

Chairs：Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea Donghoon Choi
Tokai University School of Medicine Yuji Ikari

MO046 High Volume Analysis of CAS Procedure and Comparison between Angioguard-XP and Filterwire as Distal Protection Performed by Interventional Cardiologists
Chiba Nishi General Hospital Toru Hashimoto

MO047 Spot, Direct Deployment of Stents with IVUS Guide and Minimum Post Dilatation Could be Safest Strategy for CAS Procedure
Chiba Nishi General Hospital Tomohiro Kawasaki

MO048 Long term follow up results: Superficial femoral artery recanalization with self-expanding Nitinol stent (S.M.A.R.T)
Kishiwada Tokushukai Hospital Akihiro Higashimori

MO049 Coronary Angioscopic Findings 8 Months after Drug-Eluting Stent Implantation: a Comparison between Everolimus-Eluting Stent and Sirolimus-Eluting Stent
Hiroshima City Hospital Kazuoki Dai

MO050 Effects of Endovascular Therapy for Renal Artery Stenosis Presenting with Hypertension and Renal Dysfunction
Nozaki Tokushukai Hospital Ko Kotani

CAS/Endovascular intervention2 13:00～14:00

Chairs：Miki City Hospital Kojiro Awano
Duke University Medical Center/ Duke Clinical Research Institute, USA Mitchell W. Krucoff

MO051 The differences in the Outcomes between Different Indications for Percutaneous Transluminal Renal Angioplasty
Kokura Memorial Hospital Hideaki Aihara

MO052 Our Strategy of Endovascular Treatment (EVT) after Successful Guidewire Passage for Chronic Totally Occluded Below-the-knee Arteries (BK-CTO)
Kikuna Memorial Hospital Yasutaka Yamauchi

MO053 The Results of Central Venous Interventional Therapy with Chronic Hemodialysis Patients
Kanazawa Cardiovascular Hospital Yuki Horita

MO054 Clinical Impact of Restenotic Patterns after Femoropopliteal Stenting.
Kokura Memorial Hospital Atsushi Tosaka

MO055 Role of endovascular therapy as a first-line procedure for patient with acute limb ischemia
St. Luke's International Hospital Hitoshi Anzai

CAS/Endovascular intervention3 14:00～15:00

Chairs：St. Luke's International Hospital Hitoshi Anzai
Mid-Florida Cardiology, USA Barry S. Weinstock

MO056 Efficacy of Doppler Measurements of Tibial Arterial Blood Flow (TBF) in Endovascular Therapy (EVT) for Critical Ischemic Limbs (CLI)
Kikuna Memorial Hospital Yasutaka Yamauchi

MO057 Endovascular Treatment for the Lower Limb Peripheral Artery Disease Reduces Blood Pressure
NHO Disaster Medical Center Toshihiro Nozato

MO058 The impact of mesurement of reactive oxygen species (ROS) and hydroxy radicals (-OH) in the patients of peripheral artery disease.
Shinshu University Graduate School of Medicine Yusuke Miyashita

MO059 Clinical effects of percuteneous transluminal renal artery angioplasty for patients with atherosclerotic renal artery stenosis
Ishikiriseiki Hospital Hitoshi Inanami

MO060 Result of the REtrospective AnaLysis of the Renal Artery stenting for the Salvage of the renal function (REAL RAS).
Shinshu University Graduate School of Medicine Yusuke Miyashita

CAS/Endovascular intervention4

11:00～12:00

Chairs：Ochsner Heart and Vascular Institute, USA Mark A. Grise
Hiroshima City Hospital Ichiro Inoue

MO061 Long-term clinical result of Endovascular therapy for Transatlantic Inter-Society Consensus (TASC)2 class D femoropopliteal artery disease (Subanalysis from REAL-FP registry)
Sendai Kousei Hospital Toshio Makita

MO062 A simple score to predict renal artery stenosis
Kawasaki Medical School Yoji Neishi

MO063 Gender-Based Analysis of Superficial Femoral Artery Recanalization with Self-Expandable Nitinol Stents: Clinical and Angiographic Outcome.
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Yasunari Sakamoto

MO064 Impact of endovascular therapy for acute limb ischemia
Tokeidai Memorial Hospital Yukiko Homma

MO065 Safety and efficacy of Endovascular Therapy with Simple Homemade Carbon Dioxide Delivery System
Hyogo College of Medicine Daizo Kawasaki

Hall G

CAS/Endovascular intervention5

13:00～14:00

Chairs：Sanggye-Paik Hospital, Inje University, Korea Choong-Won Goh
Toyohashi Heart Center Yoshihisa Kinosita

MO066 Endovascular Therapy for Chronic Total Occlusion in Superficial Femoral Artery -Procedural Success Rate and Long Term Outcome-
Yokosuka Kyosai Hospital Naohiko Kawaguchi

MO067 The impact of BTK runoff score on the patency after stenting for SFA lesion.
Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Ikki Komatsu

MO068 The clinical outcome of renal artery stenting in patients with atherosclerotic renovascular disease and advanced chronic kidney disease (CKD)
Kishiwada Tokusyukai Hospital Nobuyuki Morioka

MO069 Prognosis of "The Most" Severe Critical Limb Ischemia Patients after Endovascular Therapy.
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Yasunari Sakamoto

MO070 Usefulness of the New Ultrasoundgraphy “Vascular Elastography” for Endovascular Therapy
Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Hideyuki Takimura

Anti-platelet therapy1

13:00～14:00

Chairs：Gifu University Graduate School of Medicine Kazuhiko Nishigaki
University Malaya Medical Centre, Malaysia Wan Azman Wan Ahmad

MO071 The Propriety of Six-month Dual Antiplatelet Therapy Discontinuation after Drug-eluting-stent Implanted Patients
The Cardiovascular Institute Hospital Ryuichi Funada

MO072 Dual Antiplatelet Therapy Discontinuation during the First Year after Drug Eluting Stent Implantation
Sakakibara Heart Institute Tsutomu Murakami

MO073 Benefits and risks of substantial 5-year dual antiplatelet therapy after sirolimus-eluting stents implantation
Mitsui Memorial Hospital Hironori Hara

MO074 Is the concomitant use of thienopyridine and proton pump inhibitor associated with an increased risk of cardiovascular events?
Kumamoto University School of Medicine Tadasuke Chitose

MO075 Cardiovascular risk in clopidogrel-treated patients according to CYP2C19 polymorphism or proton pump inhibitor coadministration in Japan
Kumamoto University, Graduate School of Medical Sciences Seiji Hokimoto

Hall H

Other new devices

14:00～15:00

Chairs：Teikyo University Hospital Takaaki Isshiki
First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China Xuchen Zhou

MO076 IVUS Follow-up Analysis of Biodegradable Poly-l-Lactic Acid Coronary Stents: Igaki-Tamai Stents
Shiga Medical Center for Adults Soji Nishio

MO077 Catheter closure of the patent foramen ovale for prevention of recurrent cryptogenic embolism: First case report in Japan
Okayama University Hospital Yasufumi Kijima

MO078 Our First Experience of Drug- Eluting- Balloon for the In-stent restenosis of Easy Wallstent deployed at Bilateral Superficial Femoral Arteries
Kikuna Memorial Hospital Naohiro Hakamata

MO079 A Case of Transcatheter Closure of Multiple Atrial Septal Defects with Three Amplatzer Septal Occluder Devices in a Elderly Female.
Okayama University Graduate School of Medicine Koji Nakagawa

MO080 Efficacy of New Simulation System for Percutaneous Coronary Intervention Training
Kokura Memorial Hospital Makoto Hyodo

AMI 1

9:00～10:00

Chairs：Tosei General Hospital — Masayoshi Ajioka
Medizinisches Versorgungszentrum, Germany — Detlef G. Mathey

MO081 Relationship Between ST Segment Re-elevation and Microvascular Obstruction Measured by Intracoronary Doppler Flow Velocity in Patients With Acute Myocardial Infarction
Kobe City Medical Center General Hospital — Atsushi Yamamuro

MO082 Comparison of Clinical Outcomes Between Drug-Eluting and Bare-Metal Stents Implantation in Acute Myocardial Infarction Patients: A single Center Experience.
Tokyo-Kita Social Insurance Hospital — Yuya Nakagawa

MO083 Safety and efficacy of drug-eluting stents for selected patients with acute coronary syndrome: a single center experience.
Fukui Prefectural Hospital — Susumu Fujino

MO084 Zotarolimus-eluting stents reduce revascularization compared with bare metal stents in patients with acute coronary syndrome undergoing emergency procedures.
Edogawa Hospital — Masaki Fujita

MO085 Magnitude of Infarction Predicts Progression of Renal Dysfunction in Patients With Acute Myocardial Infarction
Gifu Prefectural Tajimi Hospital — Kazuhiro Yajima

Hall K

AMI 2

10:00～11:00

Chairs：Nara Medical University — Shiro Uemura
Ehime Prefectural Central Hospital — Yukio Kazatani

MO086 Clinical Features of Patients with the Acute Arterial Occlusive Disease
Saiseikai Kumamoto Hospital — Yoshihiro Kotono

MO087 Effect of sodium nitroprusside on microvascular dysfunction in patients who underwent PCI for acute coronary syndrome evaluated by IMR
Nagoya East Medical Center Higashi Municipal Hospital — Kotaro Morimoto

MO088 Impact of primary percutaneous coronary intervention on gender differences in the mortality of patients with acute myocardial infarction in Japan
National Cerebral and Cardiovascular Center — Takafumi Yamane

MO089 Chronic Kidney Disease Predicts New Lesion Revascularization after Acute Myocardial Infarction
Hiroshima City Hospital — Hiroki Ikenaga

MO090 Impact of renal insufficiency on 30-day outcome in patients undergoing primary percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction
Kokura Memorial Hospital — Koyu Sakai

AMI 3

11:00～12:00

Chairs：Hiroshima Prefectural Hospital Kazuo Kimura
Yokohama City University Medical Center, China Mitsunori Okamoto

MO091 Should we initiate emergency percutaneous cardiopulmonary bypass earlier in patients complicated with refractory shock?
Hiroshima City Asa Hospital Eisuke Kagawa

MO092 Effects of β-blocker in Patients with ST-elevation Acute Myocardial Infarction
Kyoto University Hospital Bingyuan Bao

MO093 Combined Usefulness of Admission White Blood Cell Count and QRS Score to Predict Left Ventricular Remodeling after Acute Myocardial Infarction.
Hiroshima City Hospital Masayuki Nakamura

MO094 Clinical outcome of S-Stent implantation for acute coronary syndrome
Tokyo Metropolitan Bokutoh Hospital Takao Yuba

MO095 Impact of Sleep Disordered Breathing on Long-term Outcome in Patients with Acute Coronary Syndrome
Kokura Memorial Hospital Toru Mazaki

Hall K

AMI 4

13:00～14:00

Chairs：Ogaki Municipal Hospital Hiroaki Takekawa
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China HongBing Yan

MO096 Involvement of a focal acute aortic root dissection in the left main coronary artery causing acute myocardial infarction.
Chikamori Hospital Daisuke Furukawa

MO097 No-reflow phenomenon predicts left ventricular systolic dysfunction but does not predict diastolic dysfunction in patients with acute myocardial infarction.
Sakurabashi-Watanabe Hospital Shigemiki Omiya

MO098 Relationship of the extent and severity of myocardial injury assessed by cardiac magnetic resonance with the index of microcirculatory resistance
Tokyo Medical University School Of Medicine Kuniomi Ohi

MO099 Better interventional reperfusion strategy for large ectatic right coronary artery in patients with acute myocardial infarction
Osaka City General Hospital Chiharu Tanaka

Cardiac - CT/MRI1

14:00～15:00

Chairs：Hokkaido Social Insurance Hospital Keiichi Igarashi
School of Medicine, Kyorin University Hideaki Yoshino

MO101 Efficacy of Detecting Left Ventricular thrombosis with Cardiac CT
Nagoya Tokushukai General Hospital Ryosuke Kametani

MO102 Physiological Assessment of Coronary Artery Disease by 64 Multidetector-rowComputed Tomography Using Stress Test
Akane Foundation Tsuchiya General Hospital Tomokazu Okimoto

MO103 Bifurcation Angle is Strongly Correlated with the Development of Left Anterior Descending Artery Ostial Lesion : A Multislice CT 3D Analysis
Himeji Cardiovascular center Takayoshi Toba

MO104 Comparison of In-stent evaluation by MSCT between Cypher, Taxus Express2 and Taxus Liberte.
Nozaki Tokushukai Hospital Masaaki Okutsu

Cardiac - CT/MRI2

17:00～18:00

Chairs：Daiyukai General Hospital Toyoaki Matsushita
Kinki University Faculty of Medicine Shunichi Miyazaki

MO105 Clinical Usefulness of Plasma Eicosapentaenoic Acid / Arachidonic Acid Ratio for the Prediction of Coronary Artery Disease Measured by MDCT
Shin-Koga Hospital Yoshiaki Shintani

MO106 Prognostic Value of Myocardial Contrast Delayed Enhancement with 64-slice Multidetector Computed Tomography After Acute Myocardial Infarction
University of Tsukuba Akira Sato

MO107 64-row Detector Computed Tomography for Quantification of Severity in Patients with Aortic Valve Stenosis
Sendai Kousei Hospital Mikio Mitsuoka

MO108 Noninvasive Assessment of In-Stent Restenosis by High Definition Computed Tomography Coronary Angiography with New Gemstone Detector
Yokkaichi Municipal Hospital Hirotsugu Mihara

MO109 Effectiveness of Low Concentration Contrast for the Diagnosis of In-stent Restenosis Using 64-Slice Computed Tomography
Kasai Cardiology and Neurosurgery Hospital Shunsuke Hirose

Other modalities

9:00～10:00

Chairs：Tohoku Koseinenkin Hospital Yoshiaki Katahira
Toho University Omori Medical Center Kenji Wagatsuma

MO110 Carotid ultrasound parameters can predict intermediate or high SYNTAX score patients
Toho University Medical Center Ohashi Hospital Nobutaka Ikeda

MO111 Relationship between Ankle-Brachial Index and the SYNTAX score
Toho University Medical Center Ohashi Hospital Norihiro Kogame

MO112 Efficacy and safety of Minimum-Radiation PCI using saving fluoro function in complex PCI
Osaka University Graduate School of Medicine Satoru Sumitsuji

MO113 Extracorporeal ultrasonographic guidance for the percutaneous catheter intervention of the complication after vascular closure device
Tohoku University Graduate School of Medicine Yasuharu Matsumoto

MO114 Fibromuscular Dysplasia of Renal Artery: Percutaneous Revascularization Based on Intravascular Ultrasound-Derived Tissue Characterization and Intravascular Pressure Measurement.
Kumamoto University Hospital Kenichi Tsujita

Hall L

Structural Heart Disease Intervention

10:00～11:00

Chairs：Kokura Memorial Hospital Shinichi Shirai
Sakakibara Heart Institute Morimasa Takayama

MO115 Off-label Use of Amplatzer Devices for the Cardiac Shunt Disorders
Sendai Kousei Hospital Norio Tada

MO116 How to Avoid Vascular Complications in Transfemoral Aortic Valve Implantation:
Institut Cardiovasculaire Paris Sud, France Kentaro Hayashida

MO117 Minimally invasive transfemoral aortic valve implantation. True percutaneous approach using femoral artery closure system.
Institut Cardiovasculaire Paris Sud, France Kentaro Hayashida

MO118 Insight into balloon aortic valvuloplasty as a bridge therapy in high-risk aortic stenosis: Subsequent-AVR or Direct-AVR?
Kawasaki Municipal Hospital Akira Furuta

MO119 Transcatheter aortic valve implantation in Europe. Where we are and where to go?
Institut Cardiovasculaire Paris Sud, France Kentaro Hayashida

MO120 Avoidance and management of complications in transcatheter aortic valve implantation. Massy experience.
Institut Cardiovasculaire Paris Sud, France Kentaro Hayashida

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire1

16:00～17:00

Chairs：Hiroshima City Hospital Masaharu Ishihara
St. Louis University Health Sciences Center, USA Michael Lim

MO121 Relationship between the Resting Pd/Pa Value before Pharmacological Stress and Fractional Flow Reserve in Coronary Artery Disease
Aichi Medical University Hiroaki Takashima

MO122 PCI indication at the inlet of LCX is difficult to determine by angiography only and mandatorily requires functional test
Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center Masaki Awata

MO123 Clinical impact of coronary pressure measurement on optimizing stent implantation
Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital Akiko Matsuo

MO124 Index of Microcirculatory Resistance Predicts the Outcome of Acutely Ischemic and Reperfused Myocardium in Patients with Acute Myocardial Infarction
Kansai Rosai Hosipital Takayuki Ishihara

MO125 The association between myocardial deviated enzyme and index of microcirculatory resistance (IMR) in PCI to stable angina
Shinshu University School of Medicine Tatsuya Saigusa

Hall M

BMS

9:00～10:00

Chairs：Konyang University Hospital, Korea Jang Ho Bae
Rakuwakai Marutamachi Hospital Ichiro Hamanaka

MO126 Incidence of Very Late Stent Failure after Bare-Metal Stent Implantation
Yokohama Rousai Hospital Hiroki Nishiyama

MO127 Bare Metal Stent use in the Drug-Eluting Stent Era
Teine Keijinkai Hospital Makoto Natsumeda

MO128 Performance of MULTI-LINK PIXEL and MINI VISION in small vessels in case when drug eluting stent cannot be used.
Kimitsu Central Hospital Masashi Yamamoto

MO129 Evaluation of Late In-stent Restenosis Cases after a few years later of Bare Metal Stent Implantation by Optical Coherence Tomography
Iwate Medical University Kentarou Komuro

MO130 Use experience of Bare Metal Stent (BMS) in our hospital in DES era
Ohta Fukushima General Hospital Hiroki Fukushima

Restenosis1

10:00～11:00

Chairs：Tenri Hospital Yoshihisa Nakagawa
Nagano Red Cross Hospital Jiro Yoshioka

MO131 Impact of fluid shear stress on predictors of restenosis after drug-eluting stent, compared with after bare metal stent
Yokosuka Kyosai Hospital Hiroyuki Hikita

MO132 Comparison of the Long-Term Outcomes after Drug-Eluting Stent Implantation for In-Stent Restenosis of Drug-Eluting and Bare Metal Stents
Red Cross Kyoto Daini Hospital Eigo Kishita

MO133 Predictive Factors for In-stent Restenosis after XIENCE V Everolimus-eluting Stent Implantation
Ohme Municipal General Hospital Asami Suzuki

MO134 Optical coherence tomography before cutting balloon angioplasty may predict whether distal protection should be used for in-stent restenosis lesion
Osaka Rosai Hospital Masayuki Taniike

MO135 The Late Catch-up Phenomenon after Sirolimus-eluting Stent Implantation based on Optical Coherence Tomography Analysis
Sakurabashi Watanabe Hospital Makito Ozawa

Restenosis2

11:00～12:00

Chairs：Maasstad Hospital, The Netherlands Elvin Kedhi
Osaka Medical College Shuji Suzuki

MO136 An evaluation of long-term outcomes (within and beyond 1-year) of in-stent restenosis patients treated with DES.
Kumamoto Chuo Hospital Katsuo Noda

MO137 Efficacy of Scoring Balloon for Target Lesion Revascularization of In-Stent Restenosis -A Comparison with Simple Balloon-
Yokohama Sakae Kyosai Hospital, Federation of National Public Service Personnel Mutual Associations
Hiromasa Katoh

MO138 Impact of Heterogeneous Restenotic Tissue Morphology in Optical Coherence Tomography for the Outcomes after Revascularization of Stent Restenosis
Sakakibara Heart Institute Yusuke Watanabe

MO139 Restenosed Lesions from Stent Fractures have Background Factors that do not Usually Result in Restenosis
Toho University Omori Medical Center Hideo Amano

MO140 Independent predictors of re-restenosis after in-stent restenosis treatment
Fukuoka University Hospital Itsuki Nagata

PCI and DM/CKD/HD1

13:00～14:00

Chairs：Chubu-Rosai Hospital Tetsuya Amano
Graduate School of Medicine, Kagoshima University Shuichi Hamasaki

MO141 Optimal Bi-directional Debulking Technology by Rotablator in Treating Severely Calcified Lesion of Distal LMT Trifurcation
Chiba Nishi General Hospital Shiho Shimizu

MO142 Over 6 Year Follow-Up and Clinical Outcome of Cypher DES in Treating CAD: Impact for Long-Term Survival
Chiba Nishi General Hospital Kazuo Misumi

MO143 Possibility of superior outcomes in diabetic patients treated with everolimus-eluting stent compared to sirolimus-eluting stent
Sekishinkai Sayama Hospital Kazuhiko Aramaki

MO144 Clinical outcomes of coronary stenting in hemodialysis patients with respect to serum calcium × phosphate values
Toho University Omori Medical Center Hideo Nii

MO145 Determinants of contrast induced exacerbation of renal function in the patients with stage 4 or 5 chronic kidney disease.
Saitama Medical Center Jichi Medical University Yousuke Taniguchi

Hall M

PCI and DM/CKD/HD2

14:00～15:00

Chairs：Yokohama General Hospital Yukio Tsurumi
Nippon Medical School Hospital Masahiro Yasutake

MO146 Clinical outcomes of coronary stenting in hemodialysis patients with respect to nutritional status
Toho University Omori Medical Center Hideo Nii

MO147 Long-term clinical outcome after paclitaxel-eluting stent implantation in patients with diabetes mellitus
Yokosuka Kyosai Hospital Tomoyo Sugiyama

MO148 Efficacy of a novel method, periprocedural hemodiafiltration with blood-suction from right-atrium, to prevent the development of contrast-induced acute kidney injury
Yokohama Sakae Kyosai Hospital, Federation of National Public Service Personnel Mutual Associations
Hiromasa Katoh

MO149 High Volume Experience and Clinical Performance of Newer Xience/Promus DES
Chiba Nishi General Hospital Kazuo Misumi

MO150 Clinical and Angiographic Outcomes Following Percutaneous Coronary Intervention with Drug-eluting Stent in Patients with Chronic Renal Insufficiency
Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Hideyuki Takimura

New approach to devices/Other coronary diagnostic method1 16:00～17:00

Chairs：Tohoku Koseinenkin Hospital Yoshiaki Katahira
Duke University Medical Center/ Duke Clinical Research Institute, USA Mitchell W. Krucoff

MO151 The contribution of coronary spasm to the cause of false-positive results on MDCT.
Tokorozawa Heart Center Hirotaka Ezaki

MO152 Post-PCI ST-Segment Elevation of Intracoronary Electrocardiogram Is Associated With Worse Outcome With Non-ST segment Elevation Myocardial Infarction and Unstable Angina
Tsuchiura Kyodo Hospital Keiichi Hishikari

MO153 Utilizing a CT workstaion to identify the optimal working view for PCI.
Kotou Memorial Hospital Yutaka Tadano

MO154 Does examination of 1,5-anhydroglucitol (1,5-AG) be able to predict a coronary artery plaque?
Nagoya Heart Center Suguru Murase

MO155 Efficacy of 4F inner catheter as a distal stent delivery device
National Hospital Organization, Disaster Medical Center Yoshinori Yoshida

New approach to devices/Other coronary diagnostic method2 17:00～18:00

Chairs：Funabashi Municipal Medical Center Shigeru Fukuzawa
First Affilated Hospital of Dalian Medical University, China Xuchen Zhou

MO156 Safety and Short Hemostasis Time of Percutaneus Coronary Intervention Using 3Fr Guiding Sheaths
Toyama Rousai Hospital Kunihiro Yamada

MO157 The Case study of ELCA(Excimer Laser Coronary Atherectomy) for Implanted Unexpandable Coronary Stent.
Oita Oka Hospital Masayuki Kaneko

MO158 Incidence and predictors of radial artery spasm during transradial cardiac catheterization
Keio University School of Medicine Yohei Numasawa

MO159 Utility of intracoronary acetylcholine(Ach) provocation test with therapeutic drugs in patients with vasospastic angina
Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital Jin Iwasawa

MO160 Comparison between 5F and 4F inner catheter as a distal stent delivery device
National Hospital Organization, Disaster Medical Center Yoshinori Yoshida

Debulking1

9:00～10:00

Chairs：Fukuyama Cardiovascular Hospital Seiichi Haruta
Tokyo Women's Medical University Atsushi Takagi

MO161 Mid-term Efficacy of Paclitaxel-Eluting Stent for Severe Calcified Lesions using Rotablator: A Retrospective Comparison with Sirolimus-eluting Stent
Saitama Prefecture Cardiovascular and Respiratory Center Joshi Tsutsumi

MO162 Novel non-surgical bailout method for an entrapped rotablation burr
Jichi Medical University Saitama Medical Center Kenichi Sakakura

MO163 Comparison of Drug-Eluting Stent with Bare-Metal Stent following Rotational Atherectomy: Angiographic and Clinical Outcomes.
Sendai Kousei Hospital Kaname Takizawa

MO164 Mechanisms of acute lumen gain after angioplasty using Scoreflex™: Intravascular ultrasound analysis
Japanese Red Cross Okayama Hospital Soichiro Fuke

MO165 In-hospital and Middle-Term Outcomes of Transradial Coronary Rotational Atherectomy
NHO Disaster Medical Center Kaoru Sakurai

Hall N

Debulking2

10:00～11:00

Chairs：Social Insurance Kinan Hospital Takashi Kubo
National Hospital Organization Nagasaki Medical Center Koji Oku

MO166 Good Early and feasible long term outcome after PCI with scoring balloon (Angiosculpt and Scoreflex).
Mitoyo General Hospital Hiroaki Otsuka

MO167 Stentless Coronary Angioplasty Using Non Slip Elements Balloon
Dokkyo Medical University Michiya Kageyama

MO168 Assessment of Debulking Effect of Rotational Atherectomy using Frequency Domain Type Optical Coherence Tomography (C7-OCT).
Kobe University Graduate School of Medicine Noritoshi Hiranuma

MO169 Low-energy Extracorporeal Shock Wave Therapy as a New and Non-invasive Angiogenic Strategy in Cardiovascular Medicine
Tohoku University Graduate School of Medicine Kenta Ito

MO170 Usefulness of the angiosculpt after the rotational atherectomy in severely calcified lesion.
Kanazawa Medical University Atsushi Motoyama

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)1

11:00～12:00

Chairs：New Tokyo Hospital Sunao Nakamura
Shizuoka City Shizuoka Hospital Akinori Takizawa

MO171 Simple Versus Kissing balloon Technique Strategy For Coronary Artery Bifurcation Lesions: Functional Evaluation Assessed By Myocardial Perfusion Scintigraphy
Fujimoto Hayasuzu Hospital Masanori Tsurugida

MO172 Impact of Kissing balloon inflation before single stenting for LAD-diagonal true bifurcation lesions .
Kusatsu Heart Center Hidefumi Ohya

MO173 Comparison of short-term clinical outcomes between everolimus-eluting and paclitaxel-elutingstents in bifurcation lesions.
Kokura Memorial Hospital Kisaki Amemiya

MO174 Two stent technique in treating coronary bifurcated lesions with drug eluting stents: left main versus non-left main bifurcation.
Showa University School of Medicine Hiroaki Tsujita

MO175 Relationship between lesion type of complexity and SYNTAX score at lesion
Shakaihoken Kobe Central Hospital Tetsuya Tanaka

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)2

13:00～14:00

Chairs：Toyohashi Heart Center Yasushi Asakura
Miyazaki Medical Association Hospital Yoshisato Shibata

MO176 Dual Wire Balloon Angioplasty for Treatment of Calcified Coronary Lesion
National Hospital Organization, Disaster Medical Center Ryuichi Kato

MO177 The management of Extremely Angulated Bifurcation -two cases report-
Saiseikai Fukuoka General Hospital Daisuke Nagatomo

MO178 Mid-term Outcomes of Lesion-specific Stent Strategy for Bifurcation Lesions-Two DESs Strategy versus Single DES Strategy-
Rakuwakai Marutamachi Hospital, Rakuwakai Kyoto Cardiovascular Intervention Center Hiroaki Fujie

MO179 Impact of plaque distribution on side branch compromise after stent deployment in bifurcation
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Masahiro Yamawaki

MO180 How to avoid side branch occlusion in treating bifurcated lesions with DES ?
Kamagaya General Hospital Hiroshi Kano

Stent thrombosis1

14:00～15:00

Chairs：Murase Hospital Naoki Isaka
University of Virginia, USA Scott Lim

MO181 Atherosclerotic Neointimal Change Could Be One of the Causes of Late Stent Thrombosis: An Optical Coherence Tomography Study
Fukuyama Cardiovascular Hospital Yuetsu Kikuta

MO182 Acute and Sub-Acute Stent Thrombosis in Patients complicated with ST-Segment Elevation Myocardial Infarction
Hiroshima City Asa Hospital Kiho Itakura

MO183 A case with repeat stent thrombosis
Prefectural Kiso Hospital Yasushi Wakabayashi

MO184 Simultaneous very late stent thrombosis after sirolimus eluting stent implantation at multiple vessels
Funabashi Municipal Medical Center Atsushi Ikeda

MO185 Arterial Response in Stent Thrombosis After Sirolimus-Eluting Stent Implantation: Final IVUS Results from RESTART – A Nationwide Stent Thrombosis Registry
Stanford University Medical Center Teruyoshi Kume

Hall N

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)3

16:00～17:00

Chairs：Tokyo Heart Center Joji Hosokawa
Maasstad Hospital, The Netherlands Elvin Kedhi

MO186 Single drug-eluting stent implantation in bifurcation lesions: Is the final kiss necessary?
Saiseikai Kurihashi Hospital Shintaro Haruki

MO187 Efficacy and safety of kissing balloon inflation
Saiseikai Fukuoka General Hospital Yusuke Takahara

MO188 Stent Design Plays More Important Rule than Eluting Drug to Prevent Restenosis on Severe Calcified Lesion
Osaka Rosai Hospital Yasuharu Lee

MO189 Non-straightened balloon figure during pre-stent dilatation predicts stent underexpansion
Himeji Cardiovascular Center Hiroyuki Shibata

MO190 Long-Term Angiographic Outcomes of Side Branch at Coronary Artery Lesions Treated with Single-stent of Sirolimus-Eluting Stent and Paclitaxel-Eluting Stent.
Matsue Red Cross Hospital Asao Mimura

Stent thrombosis2

17:00～18:00

Chairs：Chiba University Graduate School of Medicine Yoshio Kobayashi
CV Path, Institute, Inc., USA Renu Virmani

MO191 Different Characteristics of Very Late Stent Thrombosis (> 1 year) after Sirolimus-Eluting Stent Implantation

Yokohama Rousai Hospital Tomoyuki Fukuzawa

MO192 Impact of Mild therapeutic hypothermia on thrombus after stent implantation in patients after out-of-hospital cardiac arrest due to ACS

St. Luke's International Hospital Kunihiro Sakoda

MO193 Histopathological Analysis of Thrombus Aspirates in Patients With Stent Thrombosis

Kokura Memorial Hospital Kyohei Yamaji

MO194 Clinical findings and predictor of very late stent thrombosis (VLST) after sirolimus-eluting stent (SES) implantation.

Yamada Red Cross Hospital Tetsuya Seko

MO195 Predictor of late and very late stent thrombosis after percutaneous coronary intervention

Fukuoka University School of Medicine Ayumi Nakamura

DES6

9:00～10:00

Chairs：Kyoto Kujo Hospital Tetsuya Hata
Akita Medical Center Tadaya Sato

MO196 4 Year Consecutive Complete Follow-up Result of Silorims Eluting Stent Implanted Lesion
Miyazaki Medical Association Hospital Tatsuya Nakama

MO197 An evaluation of long-term (2-year) outcomes in dialysis patients treated with DES.
Kumamoto Chuo Hospital Katsuo Noda

MO198 Late Regression of Sirolimus-eluting Stent (SES) and Paclitaxel-eluting Stent (PES) - Impact of Restenosis Pattern on Late Regression -
Kurashiki Central Hospital Shunsuke Kubo

MO199 Endothelial function is not impaired after Drug-Eluting Stent implantation: evaluation by flow-mediated dilatation using ATP
Fujimoto Hayasuzu Hospital Kazuhiro Anzaki

MO200 Clinical outcome after implantation of Taxus Liberte stents for hemodialysis patients
Iwatsuki-minami Hospital Koichi Sano

Hall B

DES7

10:00～11:00

Chairs：Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea Myeong-Ki Hong
Mie Heart Center Hideo Nishikawa

MO201 Long-term clinical outcome following percutaneous coronary intervention with drug eluting stents in dialysis patients.
Higashi Takarazuka Satoh Hospital Kunihiko Terasoma

MO202 The Association Between Stent Fracture and Peri-Stent Contrast Staining After Drug-Eluting Stent Implantation
Kurashiki Central Hospital Takeshi Tada

MO203 Quantitative Assessment of Late Catch-up Phenomenon in Sirolimus-eluting Stent and Paclitaxel-eluting Stent
Sendai Kousei Hospital Kazunori Horie

MO204 Different patterns of neointimal formation one year after sirolimus, paclitaxel and zotarolimus-eluting stent implantation. -Angioscopic and optical coherence tomography findings-
Ehime Prefectural Imabari Hospital Hideo Kawakami

MO205 Midterm results of Zotarolims-eluting stent implantation in patients with acute coronary syndrome
Fukuoka Tokusyuukai Medical Center Munetaka Yamaguchi

DES8

11:00～12:00

Chairs：Kanagawa Cardiovascular and Respiratory Center Kazuki Fukui
Mitsui Memorial Hospital Kengo Tanabe

MO206 The clinical outcome of 2nd generation DES implantation for small vesseles.
Saiseikai Yokohama-city Eastern Hosiptal Ikki Komatsu

MO207 Comparison of angiographic and clinical outcomes between zotarolimus-eluting stent and everolimus-eluting stent after 7 months follow-up.
Tokyo Medical and Dental University Yu Hatano

MO208 Short-term follow-up result of EES: analysis of Target Lesion Failure with Angiography and OCT
Tokyo University School of Medicine Takeshi Iwasa

MO209 Midterm results of the combination therapy of Zotarolims-eluting stent after Rotational Atherectomy against severe calcified lesions
Fukuoka Tokusyuukai Medical Center Munetaka Yamaguchi

MO210 Perioperative cardiac risk of noncardiac surgery after Sirolimus eluting stent implantation
Keio University School of Medicine Yohei Ohno

DES9

14:00～15:00

Chairs：Tenri Hospital Yoshihisa Nakagawa
CV Path, Institute, Inc., USA Renu Virmani

MO211 Incidence and predictors of late-catch phenomenon after drug-eluting stent implantation
Ohashi Medical Ceneter, Toho University Raisuke Iijima

MO212 Tissue characteristics of restenotic neointima within bare metal stent and drug-eluting stent assessed by optical coherence tomography and coronary angioscopy.
Nihon University School of Medicine Taro Kawano

MO213 Morphology of in-stent restenosis of Cypher and Taxus Express2
Nozaki Tokushukai Hospital Heart center Takashi Kitao

MO214 Historical Comparison Between Everolimus-Eluting Stents and Paclitaxicel-Eluting Stents
Kokura Memorial Hospital Masaomi Hayashi

MO215 Comparison Between Everolimus-Eluting Stents and Sirolimus-Eluting Stents For The Treatment of the Ostuim Right Coronary Artery Lesion.
Kokura Memorial Hospital Ayumi Iwamuro

CTO1

11:00～12:00

Chairs：Iwate Prefectural Central Hospital Eiji Nozaki
Higashi Takarazuka Satoh Hospital Satoru Otsuji

MO216 10-month Angiographic Outcome after DES Placement using a CART technique: Retrospective Comparison with non-CART techniques in Consecutive Nonrandomized 234 CTOs

Saitama Cardiovascular and Respiratory Center Makoto Mutoh

MO217 Efficacy of retrograde approach intervention for chronic total occlusion of the coronary arteries

Kyoto Katsura Hospital Tomoko Kobayashi

MO218 Impact of multislice computed tomography to evaluate the micro-channels in coronary chronic total occlusion lesions prior to percutaneous coronary intervention

Toyohashi Heart Center Atsuko Kodama

MO219 The Safety and Efficacy of Epicardial Collaterals for the Treatment of Coronary Chronic Total Occlusion

Kusatsu Heart Center Satoshi Watanabe

MO220 Clinical Outcome of Coronary Chronic Total Occlusion Treated With Three Types of Drug-Eluting Stents

New Tokyo Hospital Toru Naganuma

Hall C

CTO2

14:00～15:00

Chairs：School of Medicine, Showa University Yuji Hamazaki
Saitama Cardiovascular and Respiratory Center Makoto Mutoh

MO221 Comparison between true lumen stenting and subintimal stenting for chronic coronary total occlusions with drug eluting stent

Hoshi General Hospital Yuichi Ujiie

MO222 Safety of Retrograde Recanalizations to Chronic Total Occlusion Via Transseptal Pathways with Use of A Novel Metal-Catheter Analyzed by Echocardiography

Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Hideyuki Takimura

MO223 Collateral Channel for Retrograde Approach visualized by Coronary Computed Tomography Angiography (CCTA).

Hokkaido Social Insurance Hospital Teppei Sugaya

MO224 Safety and Efficacy of the Rendezvous Method in Retrograde Recanalization for Chronic Total Occlusions

Kurashiki Central Hospital Hiroyuki Tanaka

MO225 The safety and efficacy of a sub-intimal stenting after retrograde approach for chronic total occlusions

Toyohashi Heart Center Masashi Kimura

IVUS/OCT5 11:00～12:00

Chairs：Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA Akiko Maehara
Nara Medical University Shiro Uemura

MO226 A novel radiofrequency signal analysis for coronary plaque characterization at culprit lesion using iMAP™
Kobe University Graduate School of Medicine Amane Kozuki

MO227 The Comparison between Frequency-domain Optical Coherence Tomography and Intravascular Ultrasound after Stent Implantation
Kobe University Graduate School of Medicine Tsuyoshi Ohsue

MO228 Features of No-Reflow Phenomenon after Thrombus Aspiration Preceded by Thrombolytic Therapy in Acute Coronary Syndrome Assessment With Intravascular-Ultrasound and Optical-Coherence-Tomography.
Hiroshima City Asa Hospital Akifumi Higashi

MO229 Lipid -Soluble Statin Can Promote Neointimal Coverage after Sirolimus-Eluting Stents Implantation as Compared with Water -Soluble Statin
Osaka Rosai Hospital Ryu Shutta

MO230 Tissue morphological characteristics in restenosis lesion after paclitaxel eluting balloon inflation on optical coherence tomography
Kurashiki Central Hospital Shingo Hosogi

CAS/Endovascular intervention6 11:00～12:00

Chairs：Riverside Methodist Hospital, USA Gary M. Ansel
Chiba Nishi General Hospital Kazuo Misumi

MO231 Mid-term result of endovascular therapy for aorto-iliac lesion
Sendai Kousei Hospital Kenji Suzuki

MO232 Effects of endovascular stent grafting on aortic stiffness were different by its locations.
Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital Tomohiko Watanabe

MO233 Mid term clinical outcomes of Paclitaxel–eluting balloon in the infra inguinal lesions
Sendai Kousei Hospital Toshio Makita

MO234 Diseased Arterial Segment of Lower Extremity Impact on Adverse Cardiac Events Over Coronary Artery Disease and Peripheral Vascular Disease Patients.
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Yasunari Sakamoto

MO235 Coronary anatomic complexity in patients with critical limb ischemia
Yokohama City University Atsuichiro Shigenaga

CAS/Endovascular intervention7 14:00～15:00

Chairs：Sanggye-Paik Hospital, Inje University, Korea Choong-Won Goh
Kansai Rosai Hospital Osamu Iida

MO236 The Long-term Clinical Outcome of the Femoropopliteal Stenting in hemodialysis patients. (Multicenter retrospective study in Japan).
SaiseikaioYokkohama City Eastern Hospital Keisuke Hirano

MO237 Percutaneous endovascular repairs of internal iliac artery aneurysms using covered stent
Niigata City General Hospital Michio Sato

MO238 Characteristics of Reoccluded Self-expandable Nitinol Stents Implanted for Chronic Total Occlusion of Superficial Femoral Arteries
Kikuna Memorial Hospital Masahiro Fukuda

MO239 Our Strategies of Guidewire Passage for Chronic Totally Occluded Below-the-knee Arteries (BK-CTO)
Kikuna Memorial Hospital Yasutaka Yamauchi

MO240 Outcomes of Self Expandable Nitinol Stent Implantation for Chronic Total Occlusion in Superficial Femoral Artery, Multicenter registry in Japan.
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Yasunari Sakamoto

CAS/Endovascular intervention8 10:00～11:00

Chairs：Oita Cardiovascular Hospital Tadafumi Akimitsu
Park Hospital & Heart Center Leipzig, Germany Andrej Schmidt

MO241 Long-Term Results of SMART Stent for Chronic Occlusion of Iliac Artery
JA Hokkaido Engaru Kosei General Hospital Takahide Suzuki

MO242 The efficacy of Embolic Protection During Renal Artery Stenting
Tokyo Women's Medical University Michiaki Higashitani

MO243 Prevalence of renal artery stenosis in Congestive heart failure patients.
Sendai Kousei Hospital Kenji Yanishi

MO244 Below the Ankle angioplasty is feasible and effective for critical limb ischemia
New Tokyo Hospital Koji Hozawa

MO245 Proximal Protection will reduce Embolic Complication during Carotid Artery Stenting (CAS)
Toride Kyodo General Hospital Tomoyuki Umemoto

Follow up results

14:00～15:00

Chairs：Gifu Prefectural Tajimi Hospital Takeshi Hibino
Kofu Kyoritsu Hospital Kazuyoshi Ohata

MO246 Device Selection without Balloon Sizing Technique in Patients with Large ASD
Okayama University Hospital Yasufumi Kijima

MO247 Three-year outcomes at six month intervals after the implantation of Sirolimus-Eluting Stent, Paclitaxel-Eluting Stent ,and Zotarolimus-Eluting Stent in real world
Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital Takurou Takama

MO248 Does Effects of Coronary Plaque Volume Reduction Differ between Atorvastatin and Rosuvastatin in Patients with Acute Coronary Syndrome?
Iwate Medical University Yuh Ishikawa

MO249 Five years outcome of silolimus-eluting stent implantation in primary percutaneous coronary intervention for ST-segment elevation myocardial infarction
Kasugai Municipal Hospital Keita Kondo

MO250 Five-year outcomes of sirolimus-eluting stent fracture
Toyota Memorial Hospital Kazutaka Hayashi

Hall H

Anti-platelet therapy2

9:00～10:00

Chairs：Ochsner Heart and Vascular Institute, USA Mark A. Grise
Gunma Prefectural Cardiovascular Center Shigeru Oshima

MO251 Influence of approach site and high-response to antiplatelet therapy on procedure-related bleeding in patients undergoing percutaneous coronary intervention
Yokohama City University Medical Center Kengo Tsukahara

MO252 Should we perform prophylactic revasculization before non-cardiac surgery in stable ischemic heart disease?
Saiseikai Fukuoka General Hospital Daisuke Nagatomo

MO253 Platelet reactivity assessed by a point-of-care assay (VerifyNow-P2Y12) in acute coronary syndrome patients undergoing percutaneous coronary intervention
Kokura Memorial Hospital Masahiko Noguchi

MO254 Effect of Proton Pump Inhibitor on Platelet Reactivity to Dual-anti Platelet Therapy and Clinical Outcome in Patients With DES Inplantation
Keio University School of Medicine Takahide Arai

MO255 Impact of CYP2C19 Polymorphism on Platelet Reactivity after Clopidogrel in Patient with Coronary Artery Disease undergoing Percutaneous Coronary Intervention
Kokura Memorial Hospital Yuichiro Toma

Anti-platelet therapy3

14:00～15:00

Chairs：Nakada Internal Medicine Clinic/Mashiko Hospital Nobuhiro Ohmura
University of Rome, Italy Germano Di Sciascio

MO256 Influence of coadministration of proton-pump inhibitors and calcium-channel blockers on the antiplatelet effects in patients receiving dual antiplatelet therapy
Yokohama City University Medical Center Kengo Tsukahara

MO257 Post-clopidogrel platelet reactivity assessed by a point-of-care assay in Japanese patients undergoing percutaneous coronary intervention
Kokura Memorial Hospital Takashi Hiromasa

MO258 The optimal duration of Dual Antiplatelet Therapy in Elderly Patients receiving Drug-Eluting Stents
Yokohama Sakae Kyosai Hospital, Federation of National Public Service Personnel Mutual Associations
Yuya Kimura

MO259 Risk of Bleeding in Patients with Antiplatelet Therapy After Percutaneous Coronary Intervention.
Saitama Medical University International Medical Center Yasutaka Shirasaki

MO260 More rapid and greater pharmacodynamic effects of prasugrel in Japanese patients with stable coronary artery disease (CAD) undergoing elective PCI
Kokura Memorial Hospital Hiroyoshi Yokoi

Hall K

AMI 5

11:00～12:00

Chairs：Osaka City General Hospital Akira Itoh
University Malaya Medical Centre, Malaysia Wan Azman Wan Ahmad

MO261 Presence of Microvascular Obstruction in Myocardial Contrast-Delayed Enhancement with MDCT immediately after PCI in AMI Patients may Predict Poor Prognosis
Ogaki Municipal Hospital Shinyu Ogasawara

MO262 The Relationship of pre-TIMI Grade with the Left Ventricular Function in Patients with Primary PCI for ST-segment Elevation Myocardial Infarction
Teikyo University Hospital Nobuaki Suzuki

MO263 Comparison between 1st and 2nd drug eluting stent implantation for ACS patients; Optical Coherence Tomography evaluation of neointimal coverage
Nagoya Heart Center Yoriyasu Suzuki

MO264 Facilitated percutaneous coronary intervention with only anti-platelet therapy is safe and effective to non-ST-elevation myocardial infarction with good collateral flow
Ota General Hospital Hirotaka Komatsu

AMI 6

14:00～15:00

Chairs：Seiyu Memorial Hospital Yoshiaki Tomobuchi
Toyama Prefectural Central Hospital Kazuo Usuda

MO265 Long term outcome of sirolimus-eluting stent implantation in patients with acute myocardial infarction
Yokkaichi Municipal Hospital Shinji Hayano

MO266 Usefulness of Additional Stent Dilatation in Emergency PCI for ACS
Toho University Omori Medical Center Mikihito Toda

MO267 Predictors of major adverse cardiac events after acute myocardial infarction in the local cardiovascular center
Himeji Cardiovascular Center Tomofumi Takaya

MO268 Comparison of Index of Microcirculatory Resistance after primary PCI between with and without CKD in Patients with STEMI
Osaka Saiseikai Senri Hospital Yuma Kurozumi

MO269 Only occluded type in-stent restenosis affects functional and clinical prognosis after primary percutaneous coronary intervention for ST elevation myocardial infarction
Himeji Cardiovascular Center Hiroyuki Shibata

AMI 7

16:00～17:00

Chairs：Kashiwara Municipal Hospital Kazuo Haze
University of Rome, Italy Germano Di Sciascio

MO270 Usefulness of the Zotarolimus-eluting stent for the acute coronary syndrome: multicenter study(TOKK study group)
Kouseikai Takeda Hospital Noriyuki Kinoshita

MO271 The Prevalence of Sleep Apnea Syndrome and the Effectiveness of the Interview Sheets in Patient with Myocardial Infarction in Japan.
Cardiovascular Center, Nagoya Daini Red Cross Hospital Monami Ando

MO272 Sex and Age Differences In Prognosis Following ACS
Toho University Omori Medical Center Mikihito Toda

MO273 Clinical impact of recurrent myocardial infarction following Discharge for Acute Myocardial Infarction
Osaka University Graduate School of Medicine Daisaku Nakatani

MO274 Follow up and evaluation after introduction of the clinical path of the community medicine after PCI in Iwaki district
Iwaki Kyoritsu General Hospital Tomohiro Tada

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire2 14:00～15:00

Chairs：Korea University Guro Hospital, Korea Seung-Woon Rha
Nippon Medical School Hitoshi Takano

MO275 Investigation of neointima of Xience/Promus 10 months after stent implantation using by IVUS and angioscopy -Comparison with Cypher and Taxus-
Nihon University School of Medicine Tadateru Takayama

MO276 The Relationship Between Coronary Plaque Vulnerability And Serum n-3/n-6 Polyunsaturated Fatty Acid Ratio : Coronary Angioscopic Study
Osaka Police Hospital Toshikazu Kashiyama

MO277 Angioscopic Assessment of Arterial Repair 4 Months After Zotarolimus-Eluting Stent Implantation
Kansai Rosai Hospital Takayuki Ishihara

MO278 Characteristics of Discordant Cases of SPECT and Myocardial Fractional Flow Reserve in Clinical Settings.
Osaka University Graduate School of Medicine Koichi Tachibana

MO279 Assessment of Neointimal Tissue Characteristics in Stent Restenosis by Coronary Angioscopy
Tokyo Medical and Dental University Shigeki Kimura

Hall L

CABG/CABG vs. PCI/Structual1 16:00～17:00

Chairs：Tokyo Heart Center Joji Hosokawa
InfraReDx, Inc., USA James Muller

MO280 Long-term Clinical Outcomes of Patients with Complex Three Vessel Disease Undergoing Percutaneous Coronary Intervention or Coronary artery Bypass Grafting
Toyohashi Heart Center Nobuyoshi Tanaka

MO281 Percutaneous AntegradeTrans-Septal Balloon Aortic Valvuloplasty (PTAV) Using Inoue Balloon for Severe Aortic Stenosis in 89 Consecutive Cases
Dept.of Cardiology,Ikegami General Hospital Yasufumi Hayama

MO282 Percutaneous Transluminal Septal Myocardial Ablation in hypertrophic obstructive Cardiomyopathy : Acute result and 1-year follow-Up in 45 Patietns
Sakaibara Heart Institute Itaru Takamisawa

MO283 A case of uncontrolled angina attack with bypass graft patency.
Kinki University School of Medicine Tomoyuki Ikeda

MO284 Ballon Aortic Valvuloplasty: Long Term Outcome of Subsequent Treatments
Kawasaki Municipal Hospital, Kanagawa, Japan Akira Furuta

CABG/CABG vs. PCI/Structual2 17:00～18:00

Chairs：Chief Medical Officer, Abbott Vascular, USA Charles A. Simonton
Tsukuba University Shigeyuki Watanabe

MO285 Role of Preprocedure CT Scan in Contemporary Percutaeous Transluminal Mitral Commisurotomy. PTMC Revisited.
Keio University School of Medicine Akio Kawamura

MO286 Retrospective Analysis of Outcome in Patients who underwent Aortic Valve Replacement after Balloon Aortic Valvuloplasty as a Bridge-to-AVR in Highly-Experienced-Center
Kawasaki Municipal Hospital, Kanagawa, Japan Akira Furuta

MO287 Comparison of Percutaneous Coronary Intervention and Coronary Artery Bypass Grafting for the Treatment of Triple-Vessel Disease with Complete Revascularization
The University of Tokyo, School of Medicine Yasutomi Higashikuni

MO288 Comparison between elective percutaneous coronary intervention and coronary artery bypass grafting for unprotected left main coronary artery stenosis:a single-center experience
Showa University Northern Yokohama Hospital Hiroshi Araki

MO289 Natural History of Unoperated Severe Aortic Stenosis in Japanese Patients Aged 75 and Over
Kokura Memorial Hospital Shiro Miura

Complications 9:00～10:00

Chairs：Ishikawa Prefectural Central Hospital Honin Kanaya
Medizinisches Versorgungszentrum, Germany Detlef G. Mathey

MO290 Coronary angiography and percutaneous coronary intervention induce irreversible kidney damage even in patients with a low risk of contrast-induced nephropathy.
Chiba Cardiovascular Center Kosei Tanaga

MO291 Efficacy of Hemostasis with New type 6Fr Angio-Seal Evolution Vascular Closure Device for 7Fr Trans Femoral Intervention
Rakuwakai Marutamachi Hospital, Rakuwakai Kyoto Cardiovascular Intervention Center
Hiroaki Fujie

MO292 A case of septal channel perforation during retrograde approach for RCA CTO treated with coil embolization
CardiovascularCenter, Sakurabashi-Watanabe Hospital Daisuke Morisawa

MO293 Impact of syntax score on the occurrence of complicated state during PCI
Saiseikai Kumamoto Hospital Cardiovascular Center Eiji Taguchi

MO294 Thrombin injection therapy for the treatment of iatrogenic large pseudoaneurysm of the subclavian artery.
Shobara red cross hospital Hiroshi Sugino

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire3 17:00～18:00

Chairs：Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital Hiroshi Fujita
University of Technology and Catharina Hospital, The Netherlands Nico H.J. Pijls

MO295 Relation between Functional Stenosis and Tissue Characterization of Intermediate Diffuse Coronary Lesions
New Tokyo Hospital Jun Tanno

MO296 Impact of Fractional Flow Reserve in Patients with Angiographically Moderate Restenosis after Deployment of Paclitaxel Eluting Stent
Tokyo Medical University Hospital Jun Yamashita

MO297 Serial Coronary Angioscopic follow-up of Late Acquired Stent Malapposition in Patient Who Received Sirolimus-Eluting Stent
Kurume University School of Medicine Takaharu Nakayoshi

MO298 Correlation of fractional flow reserve and other modalities
Saiseikai Fukuoka General Hospital Ko Takesue

MO299 Correlations between Infarct Size and Index of Microcirculatory Resistance after Percutaneous Coronary Intervention in Patients with Anterior ST-Elevation Myocardial Infarction
Osaka Saiseikai Senri Hospital Daisuke Tonomura

Hall N

Prognosis after intervention therapy1 9:00～10:00

Chairs：Toranomon Hospital Sugao Ishiwata
National Hospital Organization Hokkaido Medical Center Takashi Takenaka

MO300 The Relationship Between the Presence of Polyvascular Disease and Major Adverse Events in Patients with Coronary Arterial Disease
Mitsui Memorial Hospital Masanori Taniwaki

MO301 Severity of Coronary Artery Disease Affects Major Adverse Cardiac Events and Amputation in Patients with Peripheral Artery Disease.
Kansai Rosai Hospital Takayuki Ishihara

MO302 Spectrum of coronary artery fistula detected by multislice computed tomography
Nagano Chuo Hospital Hiroaki Yamamoto

MO303 Is High SYNTAX Score Really Predict Worse Outcome in PCI-treated Patients with Complete Revascularization Strategy?
Rakuwakai Marutamachi Hospital Ichiro Hamanaka

Prognosis after intervention therapy2

14:00～15:00

Chairs：Himeji Cardiovascular Center Takatoshi Hayashi
National Hospital Organization Kyushu Medical Center Kouji Hiyamuta

MO304 Increased level of high-sensitivity C-reactive protein (hs-CRP) at 6 months after coronary intervention accurately predicts subsequent adverse outcomes
Graduate School of Medicine, University of Tokyo Hiroshi Iwata

MO305 Impact of the Clinical SNTAX Score for Risk Stratification of Patients with Severe Coronary Artery Disease
Saiseikai Kumamoto Hospital Cardiovascular Center Masashi Nakao

MO306 The Syntax Score more accurately predicts future cardiovascular death after percutaneous coronary intervention by adding the inferiority of systemic status.
Nippon Medical School Shunichi Nakamura

MO307 5-year clinical outcomes in patients with target lesion revascularization for instent restenosis (Insights from Takeda Hospital In-stent Restenosis Database)
Kyoto Prefectural University of Medicine Takuya Taniguchi

MO308 Percutaneous Coronary Intervention for cardiac Transplant Vasculopathy in Chinese Patients
Chen-Hsin General Hospital, Taiwan Chin-kun Tseng

Hall N

Distal protection devices

17:00～18:00

Chairs：Rakuwakai Marutamachi Hospital Ichiro Hamanaka
InfraReDx, Inc., USA James Muller

MO309 The Efficacy of Filter Protection during PCI for Acute Myocardial Infarction due to Proximal RCA Lesions
Fukui Prefectural Hospital Tomohito Mabuchi

MO310 Usefulness of distal protection without predilatation using Parachute
Toda Chuo General Hospital Yuichi Kobori

MO311 The comparison between the acute results of Parachute and the results of Filtrap for PCI
Saiseikai Toyama Hospital Kenichi Chatani

MO312 Histological comparison of materials aspirated by dedicated catheter and debris entrapped in Filtrap during coronary intervention for acute myocardial infarction
Higashisumiyoshi Morimoto Hospital Hideshi Ishii

MO313 Effects of using distal protection with filter wire during Primary Percutaneous Coronary Intervention (PCI) for ST elevated Myocardial Infarction (STEMI).
Sagamihara Kyodo Hospital Yota Kawamura

PCI and DM/CKD/HD3

9:00～10:00

Chairs：Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center Masaki Awata
Kaiseikai Takarazuka Hospital Masato Baden

MO314 Successful non-contrast agent percutaneous coronary intervention simultaneously for two vessel diseases .
Saiseikai Fukuoka General Hospital Kumpei Osaka

MO315 The Prognosis of Hemodialysis Patients with Multi-vessel Disease Performed Percutaneous Coronary Intervention with Drug Eluting Stents.
Shonan Kamakura General Hospital Koki Shishido

MO316 First-generation drug-eluting stent vs. everolimus-eluting stents to coronary intervention in dialysis patients
Nagoya Kyoritsu Hospital Daisuke Kamoi

MO317 6 months clinical results of Everolimus-Eluting Stents compared with Paclitaxel-Eluting Stents for dialysis patients.
Kokura Memorial Hospital Hirotoshi Watanabe

MO318 Clinical Outcomes Following Percutaneous Coronary Intervention with Drug-eluting Stent(DES) in Patients with Chronic Kidney Disease: Comparison on Type of DES
Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Hideyuki Takimura

Hall O

Electrophysiology

10:00～11:00

Chairs：Nagoya City University Hospital Nobuyuki Ote
Toyama Prefectural Central Hospital Kazuo Usuda

MO319 Therapeutic hypothermia on prognosis of CPA patients treated with PCI
NHO Disaster Medical Center Yasuhiro Satoh

MO320 Coronary Venous Lead Implantation after an Evaluation by Virtual Histology Intravascular Ultrasound and Percutaneous Venous Angioplasty with a Coronary Stent
University of Tsukuba Yoshihisa Naruse

MO321 Advantage of "Doctor Helicopter" on Survival of Out-of-hospital Cardiac Arrest Associated with Acute Coronary Syndrome in Fukushima Prefecture
Fukushima Medical University Yuichi Nakamura

MO322 Importance of coronary artery spasm in cardiopulmonary arrest
Japanese Red Cross Kyoto Dai-ichi Hospital Akihiro Matsui

MO323 A case report of recurrent syncope with CABG, the cause of syncope has revealed to be ventricular tachycardia
Ohkubo Hospital, Tokyo Metoropolitan Health and Medical Treatment Corporation Hidetaka Okazaki

PCI and DM/CKD/HD4

11:00～12:00

Chairs：Hyogo College of Medicine Motomaru Masutani
Korea University Guro Hospital, Korea Seung-Woon Rha

MO324 The efficacy of the 1st generation drug-eluting stent in hemodialysis patients
Sendai Kousei Hospital Cardiovascular Center Shinichirou Masuda

MO325 Five-year Clinical Outcomes after Implantation of Sirolimus-eluting Stent in Patients With and Without Diabetes Mellitus
Japanese Red Cross Okayama Hospital Tetsuya Sato

MO326 Factors that affect target lesion revascularization of drug-eluting stent implantation in hemodialysis patients
Kasugai Municipal Hospital Akihiro Terasawa

MO327 Long-Term Outcomes of CABG or PCI with Drug-eluting Stent for 3-vessel Coronary Artery Disease in Patients with Chronic Kidney Disease
Toyohashi Heart Center Tatsuya Ito

MO328 mpact of high-sensitive C-reactive protein on target lesion revascularization after drug-eluting stent implantation in diabetic patients with chronic kidney disease.
Juntendo University Manabu Ogita

LMT1

14:00～15:00

Chairs：Hokkaido Social Insurance Hospital Yasumi Igarashi
The Catholic University of Korea, Seoul/St. Mary's Hospital, Korea Ki Bae Seung

MO329 Long-term outcomes of elective drug-eluting stent implantation for left-main trunk disease
Shonan Kamakura General Hospital Junya Matsumi

MO330 Results of the dominance of 1-stent strategy for the left main coronary artery lesions
New Yukuhashi Hospital Yoshinobu Murasato

MO331 Clinical results after elective Cypher stent implantaion in non-protected LMT bifurcation
Kyoto Katsura Hospital Tomoko Kobayashi

MO332 One-year clinical outcomes of percutaneous coronary intervention with drug-eluting stent and coronary artery bypass grafting in unprotected left main disease.
Sakakibara Heart Institute Mitsumasa Sudo

MO333 Zotarolimus-stent is Superior to Bare Metal-stent in Left Main Trunk's Lesions.
Takase Clinic Junichi Sugiyama

LMT2 16:00～17:00

Chairs：Higashisumiyoshi Morimoto Hospital Takahiko Kawarabayashi
Hokko Memorial Hospital Yoichi Nozaki

MO334 Examination of mid-term result of unprotected LMT treated with DES from radial approach in our hospital.
Kamagaya General Hospital Yoshie Inaba

MO335 Management of Restenosis after Single Stent Treatment of LMT
Mitosaiseikai Sougoubyouin Kouji Ohhira

MO336 Long-Term (3-Year) Durability of "Flower Petal Stenting " for Unprotected Left Main Bifurcation Lesions
Rinku General Medical Center Yoshihiro Takeda

MO337 Acute, middle term, and long term clinical outcome after stent implantation in LMT/bifurcated lesions
Dai-ni Okamoto General Hospital Masaki Tanabe

MO338 Comparison of Angiographic Outcomes of LCX ostium after 2-stent Techniques of LMCA Distal Bifurcation: Benefit of TAXUS Liberte
Saitama Prefecture Cardiovascular Respiratory Center Kotarou Nakata

Hall O

LMT3 17:00～18:00

Chairs：Korea University Guro Hospital, Korea Seung-Woon Rha
Takahashi Hospital Akihiko Takahashi

MO339 Optimal stenting for LMT in DES era and one year outcome
Nagoya Heart Center Osamu Matsuda

MO340 The Dominance of One-stent Strategy In the Unprotected Left Main Trunk Bifurcation Treatment with Sirolimus Eluting Stent
Himeji cardiovasucular center Takayoshi Toba

MO341 Outcome of Everolimus-eluting Stents for Unprotected Left Mein Coronary Artery Disease Compared with Paclitaxel-eluting Stents
Kokura Memorial Hospital Akihiro Nomura

MO342 Clinical and Angiographic Outcomes after T-stenting with Sirolimus-Eluting Stent to De Novo Bifurcation of Unprotected Left Main Coronary Artery
Saitama Prefecture Cardiovascular and Respiratory Center Takeyuki Kubota

MO343 Long-term (5-year) Clinical Outcomes of Sirolimus-eluting Stent Implantation for Patients with Unprotected Left Main Coronary Artery Lesions
Kurashiki Central Hospital Yasushi Fuku

DES10

13:00～14:00

Chairs：Fukuyama Cardiovascular Hospital Seiichi Haruta
Teikyo University School of Medicine Ken Kozuma

MO344 Restenosis and Major Adverse Cardiac Events in Diabetic and Nondiabetic Patients Treated with Everolimus-eluting Stents
Kokura Memorial Hospital Soichiro Enomoto

MO345 Comparison Between Everolimus-eluting Stents and Paclitaxel-eluting Stents In Patients With Small Vessels
Kokura Memorial Hospital Masato Fukunaga

MO346 Angioscopic Findings of Neointimal Coverage Following Everolimus-Eluting Stent Implantation In Patients
Kansai Rosai Hospital Cardiovascular Center Masaki Awata

MO347 Drug-Eluting Stents in Elderly Patients: A Comparison of Clinical Outcomes of Drug-Eluting Stent Implantation between Elder and Younger
Juntendo University School of Medicine Shuta Tsuboi

MO348 Statin reduces TLR rate as well as mortality after sirolimus-eluting stent implantation: From J-Cypher Registry
Kyoto University School of Medicine Yoshihiro Katoh

Hall B

DES11

14:00～15:00

Chairs：University of Virginia, USA Scott Lim
Saiseikai Yokohama-City Eastern Hospital Toshiya Muramatsu

MO349 Long-term (4-year) Clinical Outcomes of Sirolimus-eluting Stent Implantation for Hemodialysis Patients
Kurashiki Central Hospital Yasushi Fuku

MO350 Stent Fracture In Various Drug-Eluting Stents - How does it occur?
Toyohashi Heart Center Yoshihisa Kinoshita

MO351 1-year clinical outcome after drug-eluting stents in patients with acute coronary syndrome in comparison with bare metal stents.
University of Tokyo Hospital Arihiro Kiyosue

MO352 Clinical outcome of Everolims-eluting stent in patients with acute coronary syndrome undergoing emergency procedure
Komaki City Hospital Junnya Funabiki

MO353 Evaluation of rate of restenosis in Shizuoka City Hospital after implantation of zotarolimus-eluting stent.
Shizuoka City Hospital Kousuke Takahashi

DES12

16:00～17:00

Chairs：Shizuoka Prefectural General Hospital Osamu Doi
National Cerebral and Cardiovascular Center Jun-ichi Kotani

MO354 Probable predictor of proximal edge stenosis is the ratio of stent area to lumen area after drug eluting stent implantation
Komaki City Hospital Naoaki Kano

MO355 Long term outcome of percutaneous coronary intervention with sirolimus eluting stent in patients with acute coronary syndrome
Kurashiki Central Hospital Takeshi Tada

MO356 The usefulness of KIWAMI catheter for the PCI of the patient with effort angina
Isahaya Health Insurance General Hospital Atsuki Fukae

MO357 Long Term Incidence and Timing of Target Lesion Revascularization for the Stent Restenosis. ～Comparison between Sirolimus-Eluting Stent and Paclitaxel-Eluting Stent～
Gunma Prefectural Cardiovascular Center Ren Kawaguchi

MO358 Efficacy of Endeavor stent implantation for lesions with acute myocardial infarction
NTT Medical Center Tokyo Masao Yamasaki

Hall C

IVUS/OCT6

13:00～14:00

Chairs：Toyohashi Heart Center Kenya Nasu
The Cardiovascular Institute Yuji Oikawa

MO359 The Different Healing Process of Edge Dissections After Sirolimus and Zotarolimus Eluting Stent Implantation Observed by Optical Coherence Tomography
Osaka Medical College Yoshihiro Takeda

MO360 Chronic peristent plaque change after drug-eluting stents implantation - Comparison between zotarolimus-eluting stents and paclitaxel-eluting stents -
University of Occupational and Environmental Health Yoshitaka Muraoka

MO361 Intravascular Ultrasound Analysis of Right Coronary Artery Ostium Stenting in Drug Eluting Stent Era.
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Yasunari Sakamoto

MO362 Difference of in-stent restenosis pattern of drug-eluting stent in early and late phase
Kokura Memorial Hospital Takenori Domei

MO363 Intravascular ultrasound findings in patients with very late stent thrombosis of bare-metal stent: Integrated backscatter ultrasonic and pathological evaluation
Yokohama General Hospital Masato Otsuka

IVUS/OCT7

11:00～12:00

Chairs：Sakurabashi Watanabe Hospital Kenshi Fujii
Ishikawa Prefectural Central Hospital Honin Kanaya

MO364 Difference of Neointimal Appearance between Late Restenosis and Early Restenosis after Sirolimus-Eluting Stent Implantation Assessed by Optical Coherence Tomography
Wakayama Medical University Yasushi Ino

MO365 Chronic peristent plaque change after zotarolimus-eluting stents implantation - Comparison between zotarolimus-eluting stents and bare-metal stents -
University of Occupational and Environmental Health Yoshitaka Muraoka

MO366 Intravascular Ultrasound findings at In-stent Restenosis Segment of Overlap Drug-Eluting Stent.
Saiseikai Yokohama City Eastern Hospital Yasunari Sakamoto

MO367 Evaluation of late phase in-stent restenosis of Bare metal stent and Drug eluting stent by optical coherence tomography
Nagoya Daini Red Cross Hospital Ryunosuke Okuyama

MO368 Comparison of OCT findings in in-stent restenosis between drug-eluting stents and bare metal stents-Focused on peri-strut low-intensity area and neovascularization-
Nagoya East Medical Center Higashi Municipal Hospital Masahiko Inomata

IVUS/OCT8

14:00～15:00

Chairs：Yonsei Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea Myeong-Ki Hong
Nara Hospital, Kinki University School of Medicine Manabu Shirotani

MO369 Impact of the left main trunk arthrosclerosis in the long term outcome – intravascular ultrasound analysis
Kawakita General Hospital Takanori Higuchi

MO370 Optical coherence tomography observations of micro channels in chronic total occlusion lesion: a report of 2 cases.
Saitama Red Cross Hospital Mitsutoshi Asano

MO371 Detailed assessment of plaque components susceptible to slow flow phenomenon: Insights from iMap™ analysis
Kobe University Graduate School of Medicine Masayuki Nakagawa

MO372 IVUS and OCT findings in patients with slow flow and CPK elevation after stenting
Hoshi General Hospital Youhei Gotou

MO373 Necrotic Core Distribution at the Coronary Bifurcation: A VH-IVUS Study
Toho University Omori Medical Center Hideo Amano

CAS/Endovascular intervention9

11:00～12:00

Chairs：UC Davis Medical Center, USA John R. Laird
Kumamoto Chuou Hospital Shuichi Oshima

MO374 Midterm Outcome of Endovascular Interventions for TASCIID femoropoplteal lesions
New Tokyo Hospital Koji Hozawa

MO375 The efficacy of the bare metal stent for infrapopliteal artery lesion
Kansai Rosai Hospital Kiyonori Nanto

MO376 Long-term efficacy of 2nd generation self-expanding stent (SMART control) for SFA-CTO lesions
Rakuwakai Marutamachi Hospital Madoka Ida

MO377 Endovascular therapy for over the 85 years old patients with critical limb ischemia
Kansai Rosai Hospital Shin Okamoto

MO378 How to achieve acceptable results of shunt PPI
Iwaki Kyoritsu General Hospital Yoshito Yamamoto

Medical（Case Report）

Thursday, July 21 Hall D

IVUS/OCT1 17:00～18:00

Chairs：Fukuoka Medical Association Hospital Yousuke Katsuda
Saitama Social Insurance Hospital Norifumi Kubo

CR001 A ruptured plaque remote from the culprit lesion in a patient with acute coronary syndrome: Is additional stenting necessary?
Fukushima Medical University Nobuo Sakamoto

CR002 A case report of the restenotic tissue structures of zotarolimus-eluting stent compared to paclitaxel-eluting stent: Insights from OCT imagings
Sekishinkai Sayama Hospital Kazuhiko Aramaki

CR003 A case of expanding incomplete stent apposition after Zotarolimus-elutingstent implantation observed by OCT and IVUS
Kitasato University School of Medicine Makoto Nishinari

CR004 A rapidly progressive ACS case of which pathology was elucidated with OCT
The Cardiovascular Institute Hospital Shunsuke Matsuno

CR005 Inflation of occlusion balloon during optical coherence tomography progress coronary artery stenosis: two cases report
Nagasaki University Hospital Daisuke Sato

Hall F

CAS/Endovascular intervention1 9:00～10:00

Chairs：Komaki City Hospital Katsuhiro Kawaguchi
Mid-Florida Cardiology, USA Barry S. Weinstock

CR006 Noble strategy for percutaneous transluminal angioplasty for complex critical hand ischemia
Toho University Ohashi Medical Center Hideki Itaya

CR007 The stent selection on PTA for left brachiocephalic venous lesions with chronic hemodilasis patients: Choice of self-expandable and balloon-expandable stent.
Kanazawa Cardiovascular Hospital Yuki Horita

CR008 Retrograde endovascular treatment of chronic total occlusion via the distal superficial femoral artery approach: A case report
Sapporo Higashi Tokushukai Hospital Kazumasa Yamasaki

CR009 Complex Renal Artery Aneurysm Successfully Exclusion with Balloon-Expandable Covered Stent
Sendai Kousei Hospital Mio Musashi

CR010 Percutaneous celiac artery stenting under intravascular ultrasound (IVUS) guidance in patient with acute type B aortic dissection with hepatic malperfusion
Chiba Hokusoh Hospital, Nippon Medical School Nobuaki Kobayashi

CAS/Endovascular intervention2

14:00～15:00

Chairs：Riverside Methodist Hospital, USA — Gary M. Ansel
Ohta General Hospital Foundation, Ohta Nishinouchi Hospital — Nobuo Komatsu

CR011 PTRA for renal artery protection and precise deployment of stent graft during EVAR: A case report
Mito Saiseikai general Hospital — Yoshiro Chiba

CR012 Popliteal artery thrombosis caused by long yoga exercise sitting with her leg crossed.
Kouseikai Takeda Hospital — Takeshi Yamada

CR013 A case report: Successful PPI for right iliac artery chronic total occlusion which jailed by PALMAZ stent
Abashiri-Kosei General Hospital — Takuya Myojo

CR014 Successful endovascular treatment for an acute occlusion of the Zenith Flex iliac leg
Fukuoka Red Cross Hospital — Nobuhiro Suematsu

CR015 A case report : Successful Lower Limb Salvage with Necrotizing Fascilitis by Endvascular Treatment
Osaka Kouseinenkin Hospital — Hiroyo Yamahira

Hall J

Restenosis

13:00～14:00

Chairs：NHO Ehime Hospital — Junichi Funada
Toyama Red Cross Hospital — Yutaka Nitta

CR016 Histology and Optical Coherence Tomography Images of Restenotic Lesions due to Late Catch-Up Phenomenon after Sirolimus-Eluting Stent Imp.lantation
Cardiovascular Center,Sakurabashi-Watanabe Hospital — Hiroyuki Nagai

CR017 A Successful Case of Bare Metal Stent Treatment for Coronary Stenosis in Sirolimus -eluting stent with Stent Fracture
St. Marianna University Yokohama-city Seibu Hospital — Yuki Ishibashi

CR018 The Efficacy of Sealing Effect of Zotarolimus-Eluting Stent in Treating In-stent Restenosis
Tokyo Medical and Dental University — Rena Nakamura

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...) 14:00～15:00

Chairs：Kyoto Katsura Hospital Shigeru Nakamura
Mazda Motor Co., Mazda Hospital Kotaro Sumii

CR019 A case of successful bailing out from stent dislodgement in the left main tranck with a low-profile balloon catheter.
Sapporo Higashi Tokushukai Hospital Seiji Yamazaki

CR020 Mini-crush stenting with a 6Fr catheter via the transradial approach during PCI for AMI caused by LMT occlusion: Balloon crush
Sapporo Higashi Tokushukai Hospital Hidemasa Shitan

CR021 A case of stent graft treatment for chronic coronary artery aneurysm after stent implantation.
Yokohama City University School of Medicine Takeshi Takamura

CR022 2 Two-wire Technique was Feasible in an Extreme Tortuous LCX
Kumamoto University Shinji Tayama

CR023 Successful Coronary Stent Implantation through Abdominal Aortic Aneurysm and Aortic Arch Graft
Osaka Medical College Yohei Yamauchi

AMI1 16:00～17:00

Chairs：Sapporo Medical University School of Medicine Mamoru Hase
Toda Central General Hospital Takashi Uchiyama

CR024 A survived case of extensive anterior acute myocardial infarction with complete AV block undergoing two staged percutaneous coronary angioplasty
Osaka Saiseikai Izuo Hospital Bin Tsukada

CR025 A case of spontaneous spiral right coronary artery dissection bailed out by IVUS guided percutaneous coronary intervention.
Saiseikai Kumamoto Hospital Hiroto Suzuyama

CR026 Successful percutaneous coronary intervention for acute myocardial infarction in a young adult with Kawasaki disease: Long-term angiographic follow-up from childhood.
Tenri Hospital Masataka Nishiga

CR027 How to manage acute myocardial infarction of small vessels?
Tottori University Hospital Yoshiyuki Furuse

CR028 A case of DES implantation for angina caused by GEA graft stenosis
Kameda Medical Center Ryota Iwatsuka

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire 17:00～18:00

Chairs：Stanford University, USA Fumiaki Ikeno
Komaki City Hospital Taizo Kondo

CR029 Incomplete neointimal coverage and red thrombi with massive yellow plaques of stent edge after paclitaxel-eluting stent implantation: coronary angioscopic findings
Institute of Clinical Medicine, Graduate school of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba Yuki Kakefuda

CR030 Assessment of restenotic lesion morphology in 9 cases by various imaging modality
Ehime Prefectural Imabari Hospital Akira Oshita

CR031 Delayed endothelialization of polytetrafluoroethylene-covered stent by coronary angioscopy and OCT
Nippon Medical School Chiba-Hokusoh Hospital, Chiba, Japan Toru Inami

CR032 The Efficacy of Fractional Flow Reserve Measurement in Mild Coronary Lesions: A Case Report
Aichi Medical University Akiyoshi Kurita

IVUS/OCT2

14:00～15:00

Chairs：Tokyo Medical University Nobuhiro Tanaka
Tokeidai Memorial Hospital Kazushi Urasawa

CR033 A 15 years-old girl of unsatable angina with severe bilateral coronary artery ostial stenosis caused by unknown etiology
Kurume University School of Medicine Yoshiaki Mitsutake

CR034 The observation of peri-stent contrast staining using optical coherence tomography in a patient with very late stent thrombosis
Ehime Prefectural Central Hospital Fumiyasu Seike

CR035 Low intensity site of neointimal tissue in Paclitaxel-eluting stent is easily removed by balloon angioplasty: two cases reports by OCT
Nagasaki University Hospital,Nagasaki,Japan Tomoo Nakata

CR036 Lotus Root-Like Appearance Observed in Naturally Recanalized Right Coronary Artery by Optical Coherence Tomography
Nara Medical University Yoko Dote

Hall F

CAS/Endovascular intervention3

11:00～12:00

Chairs：Severance Cardiovascular Hospital/Yonsei University College of Medicine, Korea Donghoon Choi
Osaka Rosai Hospital Masami Nishino

CR037 A case of peripheral intervention for a Luriche syndrome patient with critical limb ischemia
Takeda General Hospital Shinich Takeda

CR038 Salvaged ischemic limb by catheter treatments for distal embolism immediately after surgical graft replacement for abdominal and iliac aneurysms
Ogikubo Hospital Kentaro Yoshida

CR039 Successful treatment of refractory congestive heart failure by renal artery stenting in a solitary functioning kidney: a case report
Nagai Hospital Naoto Kumagai

CR040 Successful endovascular therapy of renal artery dissection caused by blunt abdominal trauma
Kishiwada Tokushukai Hospital Masahiko Fujihara

CR041 A case of multi-vessel stenosis including left coronary, left subcrabian and bilateral common iliac arteries with approach difficulties
New Tokyo Hospital Hiroyoshi Kawamoto

CAS/Endovascular intervention4

9:00～10:00

Chairs：UC Davis Medical Center, USA John R. Laird
Kishiwada Tokushukai Hospital Yoshiaki Yokoi

CR042 An untreatable case of Aortic Dissection
The Sakakibara Heart Institute of Okayama Keizo Yamamoto

CR043 Successful Endovascular Repair in a Saccular-type Abdominal Aortic Aneurysm Case with Small-diameter Aorta.
Kansai Rosai Hospital Tomoharu Dohi

CR044 A case Report of DVT owing to Iliac Compression Syndrome (ICS), and its efficacy of stent supported thrombo-aspiration without thrombolysis.
Kumamoto Chuo Hospital Shinsuke Hanatani

CR045 A case of mechanical catheter thrombectomy and aspiration of thrombus rich lesion in patient with SFA stent re-occlusion
Kumamoto Chuo Hospital Tomoaki Uemura

Hall G

Follow up results

11:00～12:00

Chairs：Hayama Heart Center Hiroshi Amemiya
Anjo Kosei Hospital Masato Watarai

CR046 Do the severity of below-knee lesions affect the restenosis of PTA for SFA lesions ?
Kanazawa Cardiovascular Hospital Toshimitsu Takagi

CR047 A case of nine months follow-up optical coherence tomography examination for thin cap fibroatheroma with lipid-lowering therapy
Kobe University Graduate School of Medicine Ryo Nishio

CR048 Successful percutaneous atrial septal defect closure using AMPLATZER septal occluder for an adult patient with paradoxical brain embolisation
Toho University Ohashi Medical Center Hidehiko Hara

AMI2

17:00～18:00

Chairs：Nagoya Ekisaikai Hospital Hiroaki Sano
School of Medicine, Kyorin University Hideaki Yoshino

CR049 Premenopausal Woman With Acute Myocardial Infarction Caused by Spontaneous Coronary Artery Dissection and Potential Association With Coronary Vasospasm
Kumamoto University Hospital Kenichi Tsujita

CR050 A Case of Out-of-Hospital Cardiac Arrest due to Acute Coronary Syndrome: Which Lesions should be underwent Angioplasty?
St. Luke's International Hospital Takuya Watanabe

CR051 The relationship of spontaneous coronary dissection and spasm--2 cases report--
Osaka Red Cross Hospital Motoko Tokunaga

CR052 What is the best strategy for very young patients with acute myocardial infarction (AMI)?
Toride Kyodo General Hopital Toshiyuki Iwai

Hall M

Complications1

14:00～15:00

Chairs：Sapporo Cardio Vascular Clinic Tsutomu Fujita
Cleveland Clinic, USA E. Murat Tuzcu

CR053 Iatrogenic dissection of the anomalous-origin right coronary artery and the left sinus of Valsalva
Kitami Red Cross Hospital Takahiko Saito

CR054 Rotational atherectomy causing dissection and intramural hematoma of the coronary artery
Nagasaki Kohseikai Hospital Toshiro Katayama

CR056 Successful Removal of the Chronically Fractured Stent Implanted at the Right Coronary Ostium
Ogikubo Hospital Yasuhiro Ishii

CR057 Stent disloadgement in right coronary artery and failed retrieval during percutaneous coronary intervention
Sendai Kousei Hospital Tsuyoshi Isawa

Friday, July 22 Hall M

Complications2 16:00～17:00

Chairs：Fukuoka Tokushukai Medical Center Hideki Shimomura
University Malaya Medical Centre, Malaysia Wan Azman Wan Ahmad

CR058 A successful deployment of PTFE covered stent through 5Fr guiding catheter to stop bleeding caused by coronary rupture
Kimitsu Central Hospital Yoshihide Fujimoto

CR059 A rare case of alopecia induced by TAXUS Express stent
Fukuchiyama City Hospital Manabu Nishio

CR060 A Case of Very Late Onset Coronary Perforation Caused by Fractured Guidewires
Nara Medical University Tsunenari Soeda

CR061 Pulse infusion thrombolysis with monteplase was useful for treatment of HITTS during PCI
Takaoka Municipal Hospital Tatsuo Haraki

CR062 A case of ACS with LMT lesion, complicated by acute occlusion and coronary perforation during emergent PCI supported by PCPS.
Akashi Medical Center Takeshi Matsuura

Saturday, July 23 Hall B

Stent thrombosis 17:00～18:00

Chairs：Chonbuk National University Medical School/Hospital, Korea Jei Keon Chae
Tsukuba Medical Center Hospital Yuichi Noguchi

CR063 Coronary artery stenting in a patient with factor XI deficiency with and without anticoagulation therapy.
Toyama Red Cross Hospital Bunji Kaku

CR064 A Case of Very Late Stent Thrombosis Related with Allergic and Inflammatory Reaction after Paclitaxel Eluting Stent Implantation
Iwate Medical University Tetsuya Fusazaki

CR065 A case of FD-OCT finding of huge thrombus attached to the uncovered struts of PES protruding into distal LMT bifurcation
New Tokyo Hospital Satoru Mitomo

CR066 OCT Confirms Aneurysm Formation : a Very Late Dual Site Thrombus Occurrence at both Proximal and Distal Sites of SES
Ohsumi Kanoya Hospital Takafumi Koga

CR067 Relationship between late acquired stent malapposition and vascular inflammation in a patient with very late sirolimus-eluting stent thrombosis
University of Occupational and Environmental Health Kuninobu Kashiyama

IVUS/OCT3

13:00～14:00

Chairs：Kyoto Katsura Hospital Tomoko Kobayashi
Cardiovascular Research Foundation/Columbia University Medical Center, USA Akiko Maehara

CR068 A case of acute myocardaial infarction caused by spontaneous coronary intramural hematoma
Niigata City General Hospital Ryutaro Ikegami

CR069 Atherosclerotic Renal Artery Stenosis Mimicking Fibromuscular Dysplasia
Ehime University Graduate School of Medicine Haruhiko Higashi

CR070 A case with spontaneous coronary dissection which entry point was detected by frequency domain OCT
Kobe University Graduate School of Medicine Masayuki Nakagawa

CR071 OCT findings of carina shift after stenting in patient with bifurcation lesion
Hoshi General Hospital Youhei Gotou

Hall F

CAS/Endovascular intervention5

11:00～12:00

Chairs：Kikuna Memorial Hospital Akira Miyamoto
Bryn Mawr Hospital, USA Antonis Pratsos

CR072 Successful stenting to thrombotic occluded artificial FP bypass
St. Luke's International Hospital Taku Aasano

CR073 Two cases of Endovascular therapy of the Superior Mesenteric Artery for chronic and acute Splanchnic Ischemia
Tokyo Women's Medical University Michiaki Higashitani

CR074 Two cases of Everolimus eluting stent restenosis; evaluation by IVUS, OCT, coronary angioscopy, and histopathology.
Department of Cardiology, The Cardiovascular Insitiute Katsuhiro Koyama

CR075 Successful Revascularization of SMA Total Occlusion Supported by CT and IVUS
Graduate School of Medicine, Kyoto University Junichi Tazaki

CTO

11:00～12:00

Chairs：Toyohashi Heart Center Etsuo Tsuchikane
Rakuwakai Marutamachi Hospital Kinzo Ueda

CR076 A case of retrograde approach PCI for CTO of proximal LAD from septal channel via gastroepipolic artery graft to RCA
Miyagi pref. Cardiovascular and Respiratoy Center Yoshiaki Mibiki

CR077 Successful revascularization for the chronic total occlusion of right coronary artery using contralateral angiography of the separate right ventricular branch
National Cerebral and Cardiovascular Center Toshikazu Jinnai

CR078 Successful CTO PCI case by antegrade knuckle wire method
Hokusetsu General Hospital Wataru Nagamatsu

CR079 Successful case of Chronic Total Occlusion in Right Coronary Artery using "Stent reverse CART" technique
Toho University Ohashi Medical Center Mami Nakanishi

CR080 Percutaneous Coronary Intervention of Chronic Total Occlusion of the Right Coronary Artery by Contralateral Injection via an Isolated Conus Artery
Keio University School of Medicine Takahide Arai

Complications3

13:00～14:00

Chairs：Higashi Takarazuka Satoh Hospital Yorihiko Higashino
Cardiovascular Institute and Fu Wai Hospital, China HongBing Yan

CR081 Case report that guide wire and Corsair were broken, when guide wire located outside stent was pulled using Corsair.
Fukushima Medical Universuty Yasuto Hoshino

CR082 Successful retrieval of broken guidewire from the distal coronary artery using Soutenir CV
St.Marianna University Yokohama-city Seibu Hospital Ryo Kamijima

CR083 A troubled case of removal of cutted wire during Rotablator procedure
Komaki City Hospital Kentaro Mukai

CR084 A case of acute coronary syndrome with difficulty of blood access.
Shuwa General Hospital Ryo Gotoh

CR085 Urgent transport of a certified interventional cardiologist using a helicopter rescued a patient with iatrogenic LMCA dissection in rural area.
Kurume University Yasuyuki Toyama

Complications4

14:00～15:00

Chairs：Chikamori Hospital Kazuya Kawai
Niigata City General Hospital Hirotaka Oda

CR086 Example of the right ventricle fistula was formed when the coronary stent in the left coronary
Kumamoto Rousai Hospital Hiroaki Kusaka

CR087 Successful recovery from vessel perforation during iliac CTO angioplasty with Biliary covered stent.
Iwaki Kyoritsu General Hospital Yoshito Yamamoto

CR088 How to retrieve the stacked Rotablator burr from left main trunk (LMT) during LMT ablation. - A case report -
Iwaki Kyoritsu General Hospital Tomohiro Tada

CR089 A case with the intra-stent knotting of Filtrap system during endovascular intervention.
Iwaki Kyoritsu General Hospital Yasuhide Asaumi

Hall H

CABG/CABG vs. PCI/Structual

16:00～17:00

Chairs：National Hospital Organization Kumamoto Medical Center Kazuteru Fujimoto
Hiratsuka Kyosai Hospital Akihiro Niwa

CR090 A catheter intervention for floating snakelike thrombus in right atrium in a patient with pulmonary embolism and acute myoccarditis.
Nagano Matsushiro General Hospital Takehiro Morita

CR091 A successful case of percutaneous transluminal septal myocardial ablation(PTSMA) in a patient with severe MR and sigmoid septum
Mimihara General Hospital Shozo Ishihara

CR092 A case of simultaneous percutaneous coronary intervention and balloon aortic valvuloplasty in 63-year-old dialysis patient.
Ikegami General Hospital Satoshi Kasai

CR093 Improvement of dynamic left ventricular outflow tract obstruction after percutaneous coronary intervention toleft anterior descending artery lesion
Niigata City General Hospital Kazuyuki Ozaki

CR094 Bridge-Therapy using Combination of Balloon Aortic Valvuloplasty and Endovascular Aneurysm Repair for High-aged Severe Aortic Stenosis Patient with Multiple Comorbidities
Kawasaki Municipal Hospital, Kanagawa, Japan Akira Furuta

CR095 What do you do when INOUE Balloon do not pass through the severely stenosed Mitral Valve?
Keio University School of Medicine Masashi Takahashi

Medical (Poster Session)

Friday, July 22 | Poster Hall

AMI 10:00～11:30

Chair：Higashi-osaka City General Hospital Yoshiyuki Kijima

MP001 The Relationship between Hemoglobin concentration and B-type Natriuretic Peptide in Patients with first Acute Myocardial Infarction.
Sendai Open Hospital Tadashi Sugie

MP002 The Safety and Efficacy of the 6.5French Sheathless Guiding Catheter for STEMI Patients
Social Medical Corporation Meiwakai, Nakadori General Hospital Takanori Harima

MP003 Heart rate at discharge as an independent prognosis factor in patients with acute myocardial infarction (AMI)
Showa University Nothern Yokohama Hospital Koichi Hoshimoto

MP004 A case of AMI due to Spontaneous dissection of right coronary artery successfully treated by intravascular ultrasound guided PCI
Fukuyama Cardiovascular Hospital Masahito Taniguchi

MP005 Clinical usefulness of optical coherence tomography (OCT) for acute ST elevation myocardial infarction.
New Tokyo Hospital Yuzo Watanabe

MP006 Usefulness of Thrombectomy Using Dio in the RCA for STEMI cases.
Koto Memorial Hospital Teruki Takeda

MP007 Lower levels of EPA/AA have a potential relation in patients with ACS
Tokyo University Masao Takahashi

CAS/Endovascular intervention1

10:00～11:30

Chair：Takai Hospital Yasunori Nishida

MP008 Plaque characterization using carotid CTA can detect the high risk of carotid artery stenting (CAS)

Social Medical Corporation Meiwakai, Nakadori General Hospital Makoto Sato

MP009 Endovascular Therapy(EVT) for CTO of Superficial Femoral Artery(SFA) of A Chronic Kidney Disease(CKD) Patient under Carbon Dioxide Angiography

Yokohama Sakae Kyosai hospital Taku Iwaki

MP010 Mid-term outcome of endovascular treatment with primary self expandable stent placement for chronic total occlusion of iliac artery

Saiseikai Yokohama city Eastern Hospital Takuro Takama

MP011 The importance of appropriate management of CAD for the high risk patients undergoing EVAR

Sakakibara Heart Institute Jun Nakata

MP012 Initial outcome of Carotid artery stenting in octogenarians

Kokura Memorial Hospital Takashi Miura

MP013 Three cases of successful endovascular treatment of chronic total occlusion of the axillary artery and brachial artery

Fukuyama City Hospital Makoto Nakahama

MP014 Coil embolization to the aneurysm of renal artery

Kyushu University Hospital Mitsuhiro Fukata

MP015 Medium-term outcomes after SMART Stent Implantation for Superficial Femoral Artery

Fukuyama City Hospital Hironobu Toda

DES1 10:00～11:30

Chair：Sendai Kousei Hospital Kaname Takizawa

MP016 Retrospective Comparison of the Clinical Outcomes after Paclitaxel and Sirolimus-eluting Stent Implantation for 600 Lesions in diabetic patients
Saitama Prefecture Cardiovascular and Respiratory Center Yosuke Nakano

MP017 The evaluation of peri-stent contrast staining after implantation of sirolimus -eluting stents
Matsue Red Cross Hospital Fumiyo Tsunoda

MP018 Five-Year Results of Sirolimus-Eluting Stents Implantation
Ishikawa Prefectural Hospital Masaru Inoue

MP019 Sirolimus-Eluting Stent Versus Paclitaxel-Eluting Stent in "full metal jacket" stenting strategy for Patients With Diffuse Coronary Lesions.
Shouwa University School Shigeto Tsukamoto

MP020 Safety and Efficacy of Drug-Eluting Stent Implantation for the Diabetic Patients
～ Comparison between Sirolimus-Eluting Stent and Paclitaxel-Eluting Stent ～
Gunma Prefectural Cardiovascular Center Hakuken Kan

MP021 Differential response of local persistent hypercoagulability after zotarolimus-eluting, paclitaxel-eluting, sirolimus-eluting and bare-metal stent implantation
Tokushima University Hospital Koji Yamaguchi

MP022 DES implantation following Rotational atherectomy: SES versus PES
Saitama Medical Center, Jichi Medical University School of Medicine Ryo Naito

IVUS/OCT1

10:00～11:30

Chair：Tsuchiura Kyodo General Hospital Tsunekazu Kakuta

MP023 Comparison of Coronary Plaque Characterization by Spectral Radiofrequency of Intravascular Ultrasound Signals (VH-IVUS and i-MAP)

The Sakakibara Heart Institute of Okayama Atsushi Hirohata

MP024 Positive remodeling is associated with more plaque vulnerability by using newly developed 40 MHz intravascular ultrasound imaging system

Toho University Ohashi Medical Center Tadashi Araki

MP025 Relation between Morphological Features after Drug Eluting Stent Implantation and Late In-stent Neointimal Proliferation: Optical Coherence Tomography Study

Nara Medical University Kenichi Ishigami

MP026 Coronary Plaque Patterns of Young and Middle-age Patients with Acute Coronary Syndrome Using Intravascular Ultrasound

Matsue City Hospital Hirotomo Sato

MP027 Plaque components analyzed by integrated backscatter intravascular ultrasound (IB-IVUS) predict coronary no-reflow phenomenon after percutaneous coronary intervention (PCI)

Yamagata University School of Medicine Hiyuma Daidouji

MP028 Difference of Ruptured Plaque Morphologies between Non ST Elevation Acute Coronary Syndrome and Asymptomatic Patient: an Optical Coherence Tomography Study

Wakayama Medical University Kunihiro Shimamura

MP029 Does NSD (macrophage density) reflect cardiac events ? : 52 cases follow up study with OCT

Urasoe General Hospital Naoto Miyagi

MP030 A follow-up case of peri-stent contrast staining formed around only in the limited portion of multiple sirolimus-eluting stents.

Sagamihara Kyodo Hospital Daiki Ito

LMT

10:00～11:30

Chair：School of Medicine, Saga University Yutaka Hikichi

MP031 Midterm Outcomes of Triple Kissing Balloon Technique after Drug-Eluting Stent Implantation for Left Main Trifurcation Disease

Kurashiki Central Hospital Shunsuke Kubo

MP032 Clinical Outcome After Drug-eluting Stents Implantation in Unprotected Left Main Bifurcation Lesions with the Mini-Crush Technique for Acute Coronary Syndrome

Sakurakai Takahashi Hospital Shingo Sakamoto

MP033 The Initial and mid-term Clinical Outcome of percutaneous coronary intervention to unprotected left main coronary trunk

Tomishiro Central Hospital Atsushi Kakazu

MP034 ADP Induced Platelet Aggregation after coronary stenting to Left main trunk may be a Predictor of Instent Restenosis

Ogaki Municipal Hospital Hiroaki Nagai

MP035 Evaluation of SYNTAX score for unprotected left main coronary disease.

Toho unversity Ohashi medical center Masaki Hori

MP036 The Determinants of Cross Over Stent Strategy for the Left Main Coronary Artery (LMCA)

Kumamoto University Shinji Tayama

MP037 A case report of left main trunk disease after Bentall operation.

Kobe City Medical Center General Hospital Tomohiro Nishino

MP038 LMT bifurcation calcified plaque case which was dropped off to Circumflex after LAD dilatation during LAD CTO angioplasty

Iwaki Kyoritsu General Hospital Yoshito Yamamoto

Prognosis after intervention therapy1

10:00～11:30

Chair：Akiru Municipal Medical Center Mitsuo Kashida

MP039 Long term follow-up of patients with acute coronary syndrome and the importance of secondary prevention

Hiratsuka Kyosai Hospital Takayuki Onishi

MP040 Impact of Acute Kidney Injury following Percutaneous Coronary Intervention on Clinical Outcomes in STEMI Patients with Renal Insufficiency

Osaka Minami Medical Center Kiyoshi Kume

MP041 Safety and efficacy of coronary and cerebrovascular angiography during same procedure in patients with cerebrovascular disease

General Showa Hospital Tomoyuki Yamada

MP042 Screening of Coronary and Peripheral Artery Disease with 12-lead ECG in the Patients for Eye Surgery

Shinkawabashi Hospital Yutaka Koyama

MP043 Does PCI improve prognosis for stable angina?

Kumamoto Chuo Hospital Tsunenori Nishijima

Poster Hall

Stent thrombosis

10:00～11:30

Chair：Cardio-vascular Center Hokkaido Ohno Hospital Takehiro Yamashita

MP044 Late and very late stent thrombosis after Sirolymus eluting stent implantation

Hiratsuka Kyosai Hospital Yuko Ohnishi

MP045 Acute stent thrombosis after left main cross-over bare metal stenting due to poor-apposed stent expansion

Fukuyama Cardivascular Hospital Sunao Kodama

MP046 A Case of Simultaneous Very Late Stent Thrombosis in Two Coronary Arteries

Osaka Minami Medical Center Ryo Matsutera

MP047 Repeating optical coherence tomography studies in acute thrombosis after primary stenting for ST-segment elevation myocardial infarction.

Nippon Medical School Chiba-Hokusoh Hospital Mitsunobu Kitamura

BMS/Debulking

13:30～15:00

Chair：Osaka Rosai Hospital Ryu Shutta

MP048 Clinical efficacy of coronary stenting with intravascular ultrasound guidance in lesion outcomes in patients with acute coronary syndrome

Nihon University Itabashi Hospital Hirokazu Hayashida

MP049 Effects of Short term Cardiac Rehabilitation following Primary Percutaneous Coronary Intervention using Baremetal stent for Acute Coronary Syndrome.

Sagamihara Kyodo Hospital Yota Kawamura

MP050 Coronary stenting for the very small vessels

Yamagata Prefectural Central Hospital Kaoru Ando

MP051 Mid and long term outcomes after Rotational atherectomy prior to stenting with sirolimus-eluting stents, compared to bare-metal stents.

Showa University Northern Yokohama Hospital Naoei Isomura

MP052 A comparative study of prevention effect of re-restenosis in PCI using Scoring Balloon (ScoreFlex) and Cutting Balloon(Flextome).

Nagano Red Cross Hospital Cardiovascular Center Izumi Miyazawa

CAS/Endovascular intervention2

13:30～15:00

Chair：Asahikawa Medical College Hospital Masaru Yamaki

MP053 A Novel Procedure for Renal Artery Stenting without Using Contrast Media.
Mie Heart Center Kazuaki Miyata

MP054 Renal artery stenosis increases overall mortality in patients with advanced chronic kidney disease.
Toho University Ohashi Medical Center Masaki Hori

MP055 Three Cases of Successful Endovascular Revascularization for Acute Limb Ischemia
Yokosuka Kyosai Hospital Tatsuya Fujinami

MP056 Treatment of Renal Arter Aneurysm with Vein-Covered Coronary Stent
Yokohama Rosai Hospital Hojo Sasaki

MP057 A case report of Leriche syndrome given endovascular treatment
Kasukabe Chuo General Hospital Shunsuke Ozaki

MP058 Endovascular stent implantation for severe porcelain aortic coarctation in patients
Nagoya Heart Center Akira Murata

MP059 The Method of CO2 Angiography Contributes to Reducing the Dosage of Contrast Media for the Endovascular Therapy
Iwakuni Clinical Center Kenji Kawamoto

MP060 Minimum Invasive Percutaneous Transluminal Renal Artery Stenting.
St. Marianna University School of Medicine. Ken Kongoji

Complications

13:30～15:00

Chair：Sanyudo Hospital Hideki Abe

MP061 A case of intramuscular hemorrhagic complication with difficulty in completing hemostasis during percutaneous peripheral intervention.
Saiseikai Kyoto Hospital Mitsuo Takeda

MP062 Sheath size in transradial coronary angiography and angioplasty is an independent risk factor for vascular complications after transradial procedure
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center Tsuyoshi Honda

MP063 A Case That Guidewire Tip Fractured During Passage to Coronary Artery with Acute Bifurcation Angle was Disappeared at Follow-up Angiography
Tokushima Red Cross Hospital Shinichiro Miyazaki

MP064 In which cell design of stent does superiority lie between open-cell and close-cell one for prevention of side branch occlusion?
Yokohama City Bay Red Cross Hospital Daisuke Ueshima

MP065 The risk factors of prolonged and delayed renal failure from contrast-induced nephropathy (CIN) in patients undergoing cardiovascular intervention
Toride Kyodo General Hospital Osamu Kuboyama

MP066 A case report: successful retrieval of a migrating stent using a small profile balloon catheter.
Nagano Red Cross Hospital Nobuyuki Totsuka

MP067 A case of anaphylactoid shock with coronary vasospasm during coronary angiography despite steroid premedication.
Toyama Red Cross Hospital Taiji Yoshida

MP068 A case that anchor and collagen sponge of ANGIO-SEAL dropped in a vessel and collected by surgery using Fogarty catheter.
Fukushima Red-Cross Hospital Kenichi Watanabe

MP069 The risk factors of contrast-induced nephropathy (CIN) in patients with acute myocardial infarction (AMI)
Toride Kyodo General Hospital Osamu Kuboyama

MP070 A case of axillary artery pseudoaneurism accompanied by puncture site infection and upper limb paralysis after transbrachial iliac PPI.
Hitachi General Hospital Akio Yukawa

MP071 Retrospective Validation Study in Patients Underwent Supported Percutaneous Coronary Intervention with 6-Fr Intra-aortic Balloon Pumping Catheter
Sakurakai Takahashi Hospital Takeshi Yamada

CTO

13:30～15:00

Chair：Teine Keijinkai Hospital Mitsugu Hirokami

MP072 Predictors of Successful Revascularization of CTO: Assessment from Computed Tomography Coronary Angiography
Saiseikai Yokohama city Eastern Hospital Ikki Komatsu

MP073 Effectiveness of Coronary Intervention for Chronic Total Occlusions: 8-Months Follow-up of Myocardial Perfusion-Metabolic Mismatch and Function by 201TL/123-I-BMIPP dual SPECT
Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Shinya Sasaki

MP074 Two-stage stenting strategy for CTO lesion
Nagoya Daini Redcross Hospital Ruka Yoshida

MP075 A case of PCI to late re-occlusion in long segment of sirolimus-eluting stents implanted to chronic total occlusion in RCA
Akashi Medical Center Akira Matsuura

Poster Hall

DES2

13:30～15:00

Chair：Osaka Nakatsu Saiseikai Hospital Toshihiko Seo

MP076 Late Follow-up of Stent Fracture Lesion after Sirolimus-Eluting Stent and Paclitaxel-Eluting Stent Implantation
Kurashiki Central Hospital Yuki Hayakawa

MP077 In-stent Tissue Response in Restenotic and Non-restenotic Lesions after Paclitaxel-eluting Stent: An Optical Coherence Tomography Study
Kawasaki Medical School Ryotaro Yamada

MP078 Three-year clinical outcomes of multiple overlapping small drug eluting stents for treatment of diffuse coronary artery lesions.
Kokura Memorial Hospital Masashi Kato

MP079 Effect of Renal Impairment in Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention with Sirolimus-eluting Stents Versus Paclitaxel-eluting Stents.
Showa University Northern Yokohama Hospital Kennosuke Yamashita

MP080 Middle-term clinical and angiographic outcomes after Zotarolimus-Eluting Stent in our hospital
NTT Medical Center Tokyo Masashirou Matsushita

MP081 Angiographic findings in early and late restenosis of Drug-eluting stent
Tenyoukai Central Hospital Ryo Arikawa

MP082 Initial results of percutaneous coronary intervention with everolimus-eluting stent.
Kurashiki Central Hospital Koshi Miyake

IVUS/OCT2

13:30～15:00

Chair：Tokushima University Hospital Tetsuzo Wakatsuki

MP083 Arterial remodeling and coronary plaque compositions: an in vivo tissue characterization using integrated backscatter-intravascular ultrasound

Kawasaki Medical School Yoshinori Miyamoto

MP084 Natural consequence of stent malapposition tissue prplapse and thrombus assessed by optical coherence tomography

Kobe University Graduate School of Medicine Hiroyuki Kawamori

MP085 Optical coherence tomography and integrated backscatter intravascular ultrasound findings in an acute coronary syndrome patient with no-reflow phenomenon during PCI

St.Marianna University School of Medicine Kohei Koyama

MP086 Difference of macrophage density (NSD) of coronary artery between LDL cholesterol and Triglyceride: 52 cases follow up with OCT study

Urasoe General Hospital Naoto Miyagi

MP087 Circulating Malondialdehyde-Modified Low-Density Lipoprotein Levels Correlate with Plaque Instability in Patients with Angina Pectoris: An Optical Coherence Tomography Study

Ishikawa Prefectural Central Hospital Kenji Miwa

MP088 Association between abdominal fat distribution and tissue characteristics of coronary plaque

Shinshu University School of Medicine Hikaru Kimura

MP089 In-stent vulnerable plaque disruption in patients with sirolimus eluting stent implantation and recurrent ischemia at late follow up

Fukuoka Medical Association Hospital Junichirou Shimamatsu

MP090 A case of unique OCT image in Drug eluting stent in chronic stage

Akita Medical Center Tadaya Sato

Other modalities/new devices

13:30～15:00

Chair：Tokorozawa Heart Center Masami Sakurada

MP091 Effects of Intracoronary Administration of Nicorandil Following Successful Primary Percutaneous Coronary Intervention on Left Ventricular Function in Chronic Phase
Osaka Saiseikai Senri Hospital Noriaki Yamada

MP092 The snare using a suture technique for an ectopic peripherally inserted central catheter in the left pulmonary artery
Hiroshima General Hospital of West Japan Railway Company Hiroki Teragawa

MP093 Relationship between the level of plasma D-dimer and uterine artery embolization (UAE) procedure for patients of uterine leiomyoma and adenomyosis.
Fuchu Keijinkai Hospital Hiroshi Ishikawa

MP094 Case of successful stent delivery by using Cokatte catheter in proximal and angulated lesion with 6Fr PCI
Kansai Medical University Takii Hospital Haengnam Park

MP095 The usefulness of QuickClot
Ichinomiya Nishi Hospital Hiroki Ishihara

MP096 The experience that a treatment of TLR using DEB was effective in a patient with drug additive allergy
Maizuru Kyosai Hospital Kimihito Usui

MP097 Pathological analysis of coronary debris that were captured by Filter-wire device (Filtrap3.5TM)
Teikyo University Hospital Shuji Otsuki

Poster Hall

Prognosis after intervention therapy2

13:30～15:00

Chair：Showa University Fujigaoka Rehabilitation Hospital Yoichi Takeyama

MP098 The state of global cardiovascular intervention at Kishiwada Tokushukai Hospital
Kishiwada Tokushukai Hospital Masahiko Fujihara

MP099 Comparison of Three-Year Clinical Outcomes after Transradial versus Tranfemoral Percutaneous Coronary Intervention
Kyoto University Graduate School of Medicine Masahiro Natsuaki

MP100 Predictors of subsequent revascularization in reccurent angina patients who underwent coronary angiography after medium interval
Tottori Prefectural Central Hospital Akihiro Endo

MP101 A possibility of early stenotic progression due to lipidic plaque disruption underreceiving appropriate medical therapy
Chiba-Hokusoh Hospital, Nippon Medical School Tetsuro Shimura

Anti-platelet therapy

10:00～11:30

Chair：Kishiwada City Hospital Mitsuo Matsuda

MP102 Comparison of early outcomes in patients undergoing primary stenting between Clopidogrel and Ticlopidine in concomitant use with proton-pump inhibitor
Handa City Hospital Akihito Tanaka

MP103 Incidence of Premature Discontinuation of Clopidogrel after Drug-Eluting Incidence of Premature Discontinuation of Clopidogrel after Drug-Eluting Stent Implantation
Yokosuka Kyosai Hospital Shunsuke Kuroda

MP104 Unexpected non-cardiac events within 1 year after drug-eluting stent implantation
Prefectual Hospital Koseikan Keiki Yoshida

MP105 Results of Tokai Protocol
Tokai University School of Medicine Eri Toda

MP106 The impact of long-term dual antiplatelet therapy in patients with stent fracture after sirolims-eluting stent implantation
Kurashiki Central Hospital Harumi Katoh

MP107 Optimal Cut-off Levels for On-clopidogrel Platelet Aggregation Based on Functional CYP2C19 Gene Variants in Patients Undergoing Elective Percutaneous Coronary Intervention
Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University Koichi Kaikita

MP108 The long-term effects of renal insufficiency on platelet reactivity and clopidogrel efficacy in patients undergoing coronary stent implantation
Teikyo University School of Medicine Qiang Fu

MP109 The Impact of Continuation of Dual Antiplatelet Therapy after Sirolimus-eluting Stent Implantation on VLST in Patients With Peristent Contrast Staining
Kurashiki Central Hospital Naoki Saito

CAS/Endovascular intervention3

10:00～11:30

Chair：Saitama Medical University International Medical Center Nobuyuki Komiyama

MP110 A drastic recovery of renal function after bilateral renal artery intervention. A case report of bilateral renal artery stenosis.

Akita City Hospital Toshiya Fujiwara

MP111 Strategy of In Stent Restenosis after Endovascular Treatment for Superficial Femoral Artery

Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Hideyuki Takimura

MP112 Acute Renal Infarction Treated With Thrombus Aspiration Therapy: A Case Report

National Hospital Organization Okayama Medical Center Toshihiro Sarashina

MP113 A case of May-Thurner syndrome remarkably improved by endovascular intervention

St. Marianna University School of Medicine Takashi Shimozato

MP114 Transbrachial Intervention for Renal Atherosclerotic stenosis Using a Novel 4.5Fr Sheathless Guiding Catheter.

Shonan Kamakura General Hospital Shingo Mizuno

MP115 Prognostic values of C-reactive protein levels on clinical outcome after endovascular therapy in hemodialysis patients with femoropopliteal artery disease

Nagoya Kyoritsu Hospital Yoshihiro Kawamura

MP116 Initial results of interventional approach for blood access troubles

Kishiwada Tokushukai Hospital Shinji Shiotani

Coronary angioscopy/ Flow wire/Pressure wire

10:00～11:30

Chair：Osaka University Graduate School of Medicine Koichi Tachibana

MP117 Differences in Mid-term Angioscopic Evaluation of Neointimal Coverage over Different Drug-eluting Stents

Japanese Red Cross Okayama Hospital Haruaki Kawai

MP118 Neointimal Coverage of Zotarolimus-Eluting Stent is More Heterogeneous than That of Sirolimus-Eluting Stent

Osaka Rosai Hospital Nobuhiko Makino

MP119 Insulin-Resistance Increases Coronary Microvascular Damage after Percutaneous Coronary Intervention in Patients with Stable Angina Pectoris

The Sakakibara Heart Institute of Okayama Keisuke Okawa

MP120 The Value of Fractional Flow Reserve in Predicting Myocardial Injury after Percutaneous Coronary Intervention in Patients with Coronary Artery Disease

St. Marianna University Yokohama-city Seibu Hospital Yuki Ishibashi

MP121 Influence of intraaortic balloon pumping on fractional flow reserve

Hiroshima General Hospital of West Japan Railway Company Yusuke Oonari

MP122 Relationship between neointimal coverage after paclitaxel-eluting stent and in-stent thrombus observed by angioscopy at chronic followup period.

Ukima Central Hospital Tadahiro Saruya

DES3 10:00～11:30

Chair：Sakakibara Heart Institute Ryuta Asano

MP123 Midterm results of everolimus-eluting stent implantation
Kurashiki Central Hospital Koshi Miyake

MP124 Long-term Outcomes after Treatment of Bifurcation Lesions with the Two-stent Strategy
Kurashiki central hospital Seiji Habara

MP125 Impact of drug-eluting stents on long-term prognosis of large size coronary lesions.
Toyama Red Cross Hospital Taiji Yoshida

MP126 Potential role of blood glucose level in the development of late lumen loss
Kanazawa Medical University Makoto Watanabe

MP127 Clinical efficacy of Paclitaxel-eluting stents in patients with diabetes mellitus
Kakogawa East City Hospital Yuya Terao

MP128 One year clinical follow up of Zotarolimus-eluting Stent
Sendai Kosei Hospital Naoki Uemura

MP129 The clinical outcomes of DES for AMI patients.
Higashi Takarazuka Satoh Hospital Katsuaki Asano

Follow up results

10:00～11:30

Chair：Hayama Heart Center Hiroshi Amemiya

MP130 Characteristics and Clinical Outcomes Following Percutaneous Coronary Intervention With Diabetes in the Era of Bare-metal vs Drug-eluting Stents

Juntendo University Shuta Tsuboi

MP131 Comparison of Silorimus-eluting stents and bare-metal stents on target lesion revascularization at more than one year after implantation

Kameda Medical Center Masakazu Ohno

MP132 Beneficial contribution of single center multidisciplinary care to revascularization, wound healing and nutritional status in patients with critical limb ischemia.

Showa University Fujigaoka Hospital Atsuo Maeda

MP133 Prognostic Values of C-reactive Protein Levels on Long-term Clinical Outcome after Percutaneous Coronary Intervention in Patients on Chronic Hemodialysis

Nagoya Kyoritsu Hospital Kazuhiro Kawashima

MP134 Very late outcomes of SES implantation: Clinical course over the 6 years after the procedure

Toho University Omori Hospital, Tokyo Yasuto Uchida

MP135 Long-term clinical outcomes of aggressive revascularization for stable angina pectoris in DES era

The Cardiovascular Institute Hospital Mikio Kishi

MP136 Mid-term clinical outcomes after zotarolimus-eluting stent (ENDEAVOR) implantation in Japanese patients.

Sakakibara Heart Institute Japan Research Promotion Society For Cardiovascular Disease Takeru Kasahara

MP137 Clinical and angiographic outcomes of paclitaxel eluting stent (PES) for PCI in small coronary artery

NHO Disaster Medical Center Masahiro Sekigawa

New approach to devices/Other coronary diagnostic method1 10:00～11:30

Chair：Mitsubishi Kyoto Hospital Shinji Miki

MP138 Contribution of Eicosapentaenoic acid Arachidonic acid ratio to the Progression of Atherosclerosis among patients with Ischemic Heart Disease

Toho University Ohashi Medical Center Mami Nakanishi

MP139 Effective use of Corsair to advance a 4.5Fr Device Delivery catheter Cokatte for stent advancement to tortuous vessel

Fukushima Red Cross Hospital Takayuki Sakamoto

MP140 Impact of Different Sizes of a Mother Guiding Catheter upon Backup Support of a 4-Fr Mother-Child Guiding System

Shonan Kamakura General Hospital Satoshi Takeshita

MP141 Two cases of intervention with KIWAMI for native coronary artery through the left internal thoracic artery graft.

Kimitsu Central Hospital Masashi Yamamoto

MP143 Lipid Biomarkers: Useful Indicators for Stratification of Coronary Artery Disease

Showa University Northern Yokohama Hospital Myong Hwa Yamamoto

MP144 What is Coronary slow flow phenomenon during routine coronary angiography?

Kouseikai Takeda Hospital Nobuyuki Miyai

MP145 Successful treatment of instent restenosis using 4-French guiding catheter with optical coherence tomography guidance

Kouseikai Takeda Hospital Reo Nakamura

CABG/CABG vs. PCI/Structual

13:15～14:45

Chair：Osaka University Isamu Mizote

MP146 Long term clinical outcome of retrievable IVC filter and filter complications assessed by CT image

St. Luke's International Hospital Taku Inohara

MP147 Modified hemostatic technique with Perclose™ and Angio-Seal™ in retrograde Percutaneous Transluminal Aortic Valvuloplasty(PTAV).

Sendai Kousei Hospital Mitsuru Kahata

MP148 Reduction of concomitant aortic regurgitation by antegrade PTAV for severe AS

Kokura Memorial Hospital Takeshi Arita

MP149 A case of severe aortic stenosis with severe coronary artery disease which was successfully treated by BAV and PCI

Keio University School of Medicine Yuichiro Maekawa

MP150 Comparison of clinical outcomes between PCI and CABG in patients with three-vessel or left main trunk disease.

Kobe City Medical Center General Hospital Yuya Ide

MP151 Limitation of percutaneous transluminal aortic valvuloplasty (PTAV): experience of 3 cases

Iwakuni Clinical Center Kenji Kawamoto

MP152 The effectiveness of the manual aspiration thrombectomy in pulmonary thromboembolism in the situation where thrombolysis is contraindicated

Okinawa Chubu Hospital Jun Nakazato

Cardiac - CT/MRI

13:15～14:45

Chair：Osaka University Graduate School of Medicine Yuhei Nojima

MP153 One case of very late-acquired stent malapposition detected by MSCT – two years after the implantation of Cypher stent
Nagoya Tokusyuukai General Hospital Hiroki Watanabe

MP154 Usefulness of 320-row area detector computed tomography to detect obstructive coronary artery disease
Saiseikai Kumamoto Hospital Shinzo Miyamoto

MP155 Comparison of 320-slices area detector computed tomography scanner (ACDT) with coronary angiography
Chiba Cardiovascular Center Akihiko Kubota

MP156 The relationship between patient with chronic occluded coronary artery and Pericardial Fat tissue assessed by CTCA
Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Ikki Komatsu

MP157 Diagnostic accuracy of high definition 64-slice multidetector CT for detection of in-stent restenosis.
Edogawa Hospital Tatsuo Kikuchi

CAS/Endovascular intervention4

13:15～14:45

Chair：Shinkawabashi Hospital Yutaka Koyama

MP158 Two cases of aspiration of thrombus with temporary inferior vena cava filter
Yokosuka Kyosai Hospital Nao Nagai

MP159 A case of arterial stenting for subacute thrombosis of lower extremeties
Kaisei General Hospital Tomonari Kimura

MP160 Gradual Expansion of SMART Stents Implanted in Iliac Chronic Total Occlusive Lesions
Osaka Rosai Hospital Takahiro Yoshimura

MP161 Strategy of hybrid therapy for multi-lesion arteriosclerosis obliterans
Wakayama National Hospital Takayuki Kuriyama

MP162 Clinical Outcome of hemodialysis patients with peripheral arterial disease according to the disease localization
Kyoto Second Red Cross Hospital Tomohiko Sakatani

MP163 Mid- to Long Term Prognosis of Endovascular Therapy Treated with Peripheral Arterial Diseases in Iliac and Femoropopliteal Lesion
National Hospital Organization Okayama Medical Center Mitsuru Munemasa

MP164 Preoperative embolization of the celiac artery before stent-graft implantation for thoracic aortic aneurysm.
The Sakakibara Heart Institute of Okayama Yuko Toyama

DES4 13:15～14:45

Chair：Kanazawa Cardiovascular Hospital Yuki Horita

MP165 Comparison of chronic outcomes following SES or PES implantation by difference in reference vessel diameter

Toho University Omori Hospital, Tokyo Yasuto Uchida

MP166 Comparison among Sirolimus-eluting Stent, Paclitaxel-eluting Stent, Zotarolims-eluting Stent and Everolimus-eluting Stent in Patients with Diabetes Mellitus

Funabashi Municipal Medical Center Juji Sugioka

MP167 Comparison of angiographic outcomes after everolimus- and sirolimus-eluting stents implantation in diabetic patients

Komaki City Hospital Yoshihiro Kamimura

MP168 Clinical and Angiographic Outcomes Following Perctaneous Coronary Intervention with 3 types of Drug-Eluting Stents in Hemodialysis

Osaka Rosai Hospital Nobuhiko Makino

MP169 Two-year Follow-up of Paclitaxel-Eluting Stent Implantation for Acute Myocardial Infarction

Shizuoka City Shizuoka Hospital Koichiro Murata

MP170 Immediate and middle-term angiographic results of everolimus-eluting stent

Okazaki City Hospital Yosuke Negishi

MP171 A comparison of everolimus-versus paclitaxel-eluting stent implantation in patients with diabetes mellitus.

Anjo Kosei Hospital Chikara Ueyama

DES5 13:15～14:45

Chair：Kusatsu Heart Center Takafumi Tsuji

MP172 Clinical Outcomes of Sirolimus-Eluting Stent and Paclitaxel-Eluting Stent Implantation in Small Coronary Artery.

Fukuoka University School of Medicine Makoto Sugihara

MP173 Impact of diabetes on mid-term outcomes in patients with severely calcified coronary lesions required rotational atherectomy prior to sirolimus-stent implantation.

Teikyo University School of Medicine Hiroyuki Kyono

MP174 Incidence of target lesion revascularization or stent thrombosis after percutaneous coronary intervention with sirolimus-eluting stent: 5-year follow-up

Funabashi Municipal Medical Center Shinichi Okino

MP175 Clinical experience and initial results of Everolimus-eluting Stents (Xience V) in the unprotected left main coronary artery revascularization

Syounai Amarume Hospital Tadashi Kikuchi

MP176 A Case of Endothelial Dysfunction After Drug-Eluting Stent Implantation

National Heart Centre Singapore, Republic of Singapore Choon Pin Lim

MP177 Benefit of Cypher (BxVelocity) for Multiple Overlapping Long (≥ 50 mm) Stenting in Left Anterior Artery Compared to TAXUS (Express)

Saitama Prefecture Cardiovascular and Respiratory Center Teruhiko Suzuki

MP178 Outcome of Paclitaxel-Eluting Stents (PES) and its roles in the clinical practice.

Tokyo Metropolitan Hiroo Hospital Yasuhiro Tanabe

DES6

13:15～14:45

Chair：Tokushima Red Cross Hospital Koichi Kishi

MP179 Acute and late clinical outcomes of TAXUS Liberte® paclitaxel-eluting stent for diabetic patients.

Anjo kosei Hospital Chikara Ueyama

MP180 Comparison between Silorimus-Stent and Everolimus-Stent in the Intra-vascular Ultrasound Guided Stent Implantation.

New Yukuhashi Hospital Tomohiko Yamamoto

MP181 Comparison of clinical outcomes following everolimus-eluting stent vs paclitaxel-eluting stent implantation in diffuse coronary artery lesions

Kokura Memorial Hospital Toru Mazaki

MP182 Endothelial dysfunction after SES implantation remains even in long-term follow-up.

Chiba-Hokusoh Hospital, Nippon Medical School Daisuke Murakami

MP183 Very Late Stent Thrombosis five years after Sirolimus-Eluting Stent Implantation Observed Using Optical Coherence Tomography and Coronary Angioscopy

Hiroshima City Hospital Takashi Miki

MP184 Correlation between inflammatory markers and late lumen loss after DES implantation for de novo coronary leisions

Nagasaki Medical Center Takashi Matsuo

MP185 Serial neointimal coverage after everolimus-eluting stent implantation using optical coherence tomography

Oe Kyoudou Hospital Atsuhiko Iuchi

PCI and DM/CKD/HD

10:00～11:30

Chair：Toda Central General Hospital Takashi Uchiyama

MP186 The clinical outcomes of 2nd generation DES implantation for diabetic patients.
Saiseikai Yokohama-city Eastern Hospital Ikki Komatsu

MP187 The efficacy of paclitaxel-eluting stent (PES) in patients with hemodialysis: The relation with anti-inflammation Effect of paclitaxel-eluting stent
Dokkyo Medical University Hospital Hideki Yano

MP188 Impact of Chronic Kidney Disease for Prognosis in Patients with Acute Myocardial Infarction
Tokushima Prefectural Central Hospital Ayumi Okada

MP189 The adverse long-term impact of hypertension in patients with chronic kidney disease in the drug-eluting stent era
Mie University Graduate School of Medicine Toshiki Sawai

MP190 Impact of managing LDL-cholesterol/HDL-cholesterol ratio for the tissue character of coronary artery wall assessed by integrated-backscatter intravascular ultrasound
KKR Takamatsu Hospital Ichiro Matsumoto

MP191 Clinical backgrounds of the patients with coronary artery disease; 4-year trends in our hospital.
Keio University School of Medicine Satoshi Mogi

MP192 Relationship between hemodialysis and 2-year clinical outcomes in patients treated with bare metal or sirolimus eluting stents
Social Insurance Chukyo Hospital Tomoyuki Ota

MP193 Statin treatment has protective effect for contrast-induced renal damage independent with antioxidative effect
University of Fukui Hospital Hiroyuki Ikeda

MP194 Impact of Diabetes on Clinical Outcomes in Hemodialysis Patients with Coronary Artery Disease (CAD) Undergoing Stent Implantation
National Hospital Organization Kumamoto Medical Center Kazuteru Fujimoto

MP195 Impact that influences secondary prevention in patient with coronary artery disease who has glucose intolerance
KKR Takamatu Hospital Ryo Kawakami

Restenosis

10:00～11:30

Chair：Kameda Medical Center Akihiko Matsumura

MP196 Comparison of long-term Outcomes between Bare-Metal Stent and POBA: 1 year, 3 year, 5 year, 10 year angiographic follow-up

Matsue Red Cross Hospital Yasuhiro Kaetsu

MP197 Clinical Outcomes of Covered Stent Implantation

Kurashiki Central Hospital Yuki Hayakawa

MP198 Clinical and Lesion Characteristics Affect Early Restenosis after SES Implantation and Fracture Affects Late Restenosis

Toho University Omori Medical Center Hideo Amano

MP199 Favorable effect of uric acid on prevention of in-stent restenosis after percutanous coronary intervention with drug-eluting stents

Kagoshima University School of Medicine Daisuke Kanda

MP200 LDL-C/HDL-C Ratio is the Critical Marker for the Prevention of Cardiac Events After Coronary intervention

The Jikei University School of Medicine Kazuo Ogawa

MP201 Relation of the ratio of Low-density Lipoprotein Cholesterol to High-density Lipoprotein Cholesterol to In-stent Restenosis in Acute Myocardial Infarction

Hirosaki University Graduate School of Medicine Motoi Kushibiki

Poster Hall

Other complex lesion (bifurcation, calcified lesion...)

13:15～14:45

Chair：New Yukuhashi Hospital Yoshinobu Murasato

MP202 Which drug-eluting stent (DES) was suitable to coronary bifurcation lesions?-The comparison with EES and SES-

Fukui CardioVascular Center Junji Sakata

MP203 Clinical outcomes of treating unprotected ostial left anterior descending coronary artery lesions.

Yokkaichi Municipal Hospital Takayuki Mitsuda

MP204 Jailed Balloon Technique:A Novel Technique for the Prevention of Side Branch Occlusion

New Yukuhashi Hospital Akihiro Nakamata

MP205 Stent implantation in degenerated saphenous vein graft lesions in the drug eluting stent era.

Anjo Kosei Hospital Kenji Takemoto

MP206 Mid-term outcomes of stenting for bifurcation lesions with Drug-Eluting Stent

Mitsubishi Kyoto Hospital Tomohiko Taniguchi